MITSUBISHI

三菱 地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。

製造番号は安全確保上重要なものです。お買上げの際は、製品本体および保証書に記載の製造番号をお確かめになり、裏表紙の「お客さま便利メモ」に記入しておいてください。

AVCHD
本紙の端面で手などを傷つけないよう、ご注意ください。

もくじ

次ページへつづく

ページ

テレビを見る

使えるメディア

次ページへつづく

予約する（録画）

ページ

次ページへつづく

見る（再生）

ページ

次ページへつづく

残す（ダビング）

ページ

次ページへつづく

テレビを お好みの設定にする

ページ

次ページへつづく

ページ

テレビを お好みの設定にする

お知らせ

困ったとき

このテレビの便利な機能

テレビ機能

しゃべるテレビ

番組表の内容や、録画一覧のタイトルを自動で読み上げます。P.161

いつも適度な音量の範囲で聞く

チャンネルを換えたり、CMに換わったとき、DVDを見るときなどに大き過ぎたり小さ過ぎたりする音量を自動で調整し音量感が大きく変わることを抑え、音量調節頻度を減らします。P.160

音だけ楽しむ

何かをしながらテレビを見るときなど画面は見られないけれど音は聞いていたいというとき、音楽CDを聞いているときに画面を消しておけます。電力消費が抑えられます。P.54

誤操作を防止する

- 本体のボタンを触っても機能しないようにします。P.174
- リモコンの一部のボタンを機能しないようにし、設定を変えてしまってテレビが見られなくなることを防ぎます。P.174
- 見られない放送に切り換わらないようにします。（放送波無効設定）P.188
- 当社製テレビが2台あるとき、リモコン操作が片方のテレビだけに利くようにします。P.188

使う人に合わせた設定にかんたんに切り換える

使う人に応じた複数の設定（画面や音、読み上げ、誤操作防止機能など）をモードを切り換えるだけで設定できます。3つあるモードはそれぞれ設定する内容が換えられます。P.175

座ったままテレビを見やすい向きに変える

リモコンのボタンを押すだけでテレビが向きを変えます。テレビを見る位置が変わってもテレビのそばまで行く必要はありません。P.45

目覚ましとして使う（オンタイマー）

曜日を指定してテレビの電源の入る時間、チャンネル、音量他が指定できます。操作がなければ自動で電源が切れるのでつけっぱなしになる心配もありません。P.55

録画・再生機能

見たいシーンだけを見る

録画したスポーツ番組の盛り上がったシーン、音楽番組の楽曲部分だけを自動で選んで再生します。P.102

見たいシーンを簡単に探す

録画した番組のシーンの切り換わりを画像で表示。見たいシーンがすぐに探せます。P.110

おすすめの番組を探して録画する

録画、視聴履歴を元にお好みにあった番組を探して自動で録画します。P.90

本編だけを手早く見る

録画した番組を見ているとき、シーンの変わり目までボタンひとつで飛ばします。何度も見ているタイトルやCMなどをジャンプします。P.110

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

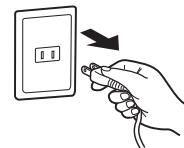
絶対に行わない	絶対に分解・修理はしない	絶対に触れない	絶対に風呂・シャワー室では使用しない
絶対に水にぬらさない	絶対にぬれた手で触れない	必ず指示に従い行う	必ず電源プラグをコンセントから抜く
手をはさまないよう注意する	高圧注意（本体後面に表示）		

警告

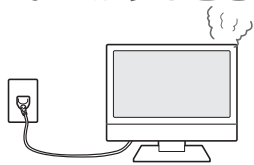
電源プラグは容易に手が届く場所の電源コンセントに差込んでください。
完全に通電を遮断するには電源プラグを抜いてください。

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、
販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない

火災・感電の原因になります。

使用禁止

煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

本機を落としたり、キャビネットを破損したときは使わない

火災・感電の原因になります。

万一落としたり破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

使用禁止

水をかけない 水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないこと

本機の中に水などが入ると、火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

異物を入れない 特にお子様にご注意ください

通風孔やトレイ開閉口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。

禁止

万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

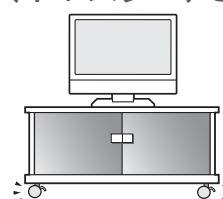
ぐらついたり変形した台の上や傾いた所など。

設置禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

テレビ台の車（キャスター）を固定する

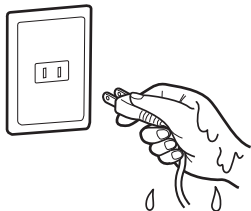
台が動くと本機が倒れ、けがの原因になります。

車を固定

⚠警告

本機にのったり、ぶらさがったりしない

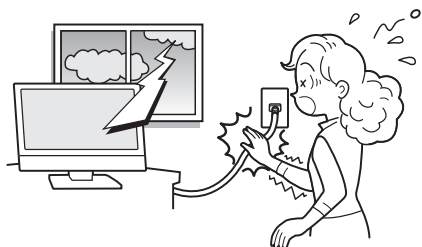
特にお子様にご注意ください

落下してけがの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

風呂場では使わない
機器を水滴のかかる場所に置かないこと

水気の多い場所での使用は、火災・感電の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない

火災・感電の原因になります。

小さな付属品は幼児の手の届くところに置かない

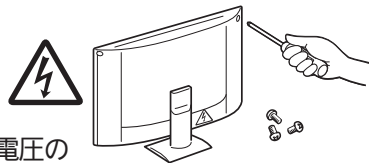
飲み込むと窒息死する原因になります。

万一飲み込んだ場合は医師に相談してください。

接続線で遊ばせない。けがの原因になります。

電源コードを傷つけない

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らない。
コードが破損して火災・感電の原因になります。

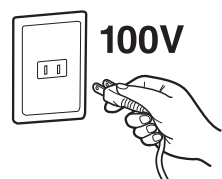
分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。また、けが・火災の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりがついたりコンセントの差込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

傷んだ電源コードや差込みのゆるいコンセントは使わないでください。1年に一度は電源プラグとコンセントの定期的な清掃と接続を点検してください。

電源は、交流100Vを使う

交流100V電源以外で使用すると、火災・感電の原因になります。

安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

設置のときは次のことをお守りください

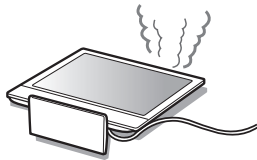
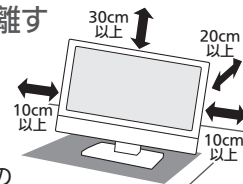
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

空気穴（通風孔）をふさがない

あお向けや横倒し、さかさまにしない

直射日光の当るところや熱器具のそばに置かない

キャビネットが
変色、変形などの劣化を起こす原因になることもあります。

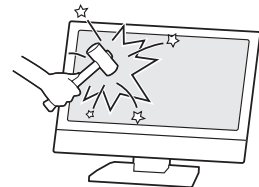
押入れ、本箱などに入れない

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

据付の際は壁から離す

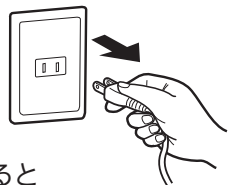
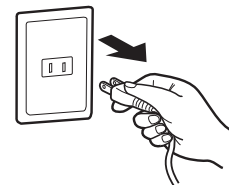
壁掛けや設置位置に
よっては、通風孔からの
空気の流れで壁を汚す原因になることもあります。

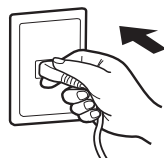
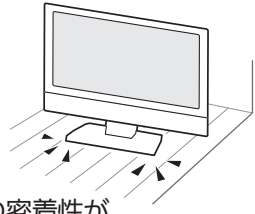
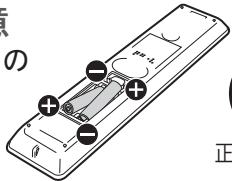
接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の
原因や、つま
ずいてけがの
原因になります。

電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や
転倒防止金具をはずしたことを確認のうえ、移動してください。

液晶画面に強い衝撃を加えない

パネルが割れて、けがの原因になります。

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると
傷がつき、感電・火災の原因になります。

お手入れのときは、電源プラグを抜く

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込む

差し込みが不完全な場合、
火災・感電の原因になります。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜く

⚠注意

本機の上や近くにものを置かない

ローソクのような
裸火を本体の上や
近くに置かない

禁止

金属類や液体が
内部に入ると、火災・感電の原因になります。

ワックスのかかった床に直接置かない

設置禁止

床上のワックス、
洗剤、溶剤により、
床材と本体底面の
すべり止め用ゴムの密着性が
上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

トレイ開閉口の前にものを置かない

禁止

倒れたり落下によって、
けがや故障の原因になります。

ディスクトレイが開いているときに、開閉口に手を入れない

特にお子様にご注意ください

手はさみ注意

手がはさまれ、けがの原因になります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使わない

禁止

飛び散って、けがの原因になります。

持ち運びは2人以上で行う

2人以上で

本機の落下や思わぬけがの原因になります。

車(キャスター)付きのテレビ台ごと移動
させるときは、テレビ台のキャスター固定
手段をはずして本機を支えながらテレビ台を押す。

本機を支えながらテレビ台を押さないと、本機が落下してけがの原因になることがあります。

車の中で使用しない

禁止

熱・振動により壊れて、
火災・感電の原因になります。

オートターン使用中は、本機に近づかない

特にお子様にご注意ください

禁止

回転させたときに、壁との間にはさまれると、
けがの原因になります。

日本国内専用です

国内専用

外国では放送方式、電源電圧が異なるので
使えません。
また、アフターサービスもできません。

This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.

乾電池取扱いの注意

- プラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れる。
- マイナス⊖側から入れる。

正しく入れる

- 分解したり、ショートさせたり、火の中に　投入したりしない。
- 充電しない。
- 種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

禁止

電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になります。

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。
また、目に入ったときはきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店に相談する

販売店にご相談ください。

送配電線から離れた場所に
設置してください。

アンテナが倒れると感電の原因になります。

BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので確実に取り付けてください。

内部掃除は、販売店に依頼する

内部掃除

1年に一度くらいを目安にしてください。
内部にほこりがたまったまま使うと、
火災や故障の原因になります。

とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。

ケーブル類を接続したりはずしたりする前に、必ず主電源を切ってください。

ご使用上のお願い

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近付けると互いに妨害を受けることがあります。このときは機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。
  横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。
- ディスクやSDカードは取り出しておいてください。

画面の残像について

時刻表示や静止画を長時間表示された場合や、画面に黒帯等が出る状態で長時間ご使用された場合、部分的に映像が消えない(残像)症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

露付き(結露)について

本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます。
露付き状態で本機を使用すると、本体(HDD)やディスク、SDカードの情報が読みとれないなど、本機が正常に動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 露付きは、次のように温度が急に変わる場合に起こります。
  - ・部屋を急激に暖房したとき
  - ・エアコンなどの冷風を直接当てたとき
  - ・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
- 露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おき、充分に乾燥させてからご使用ください。
  ディスクやSDカードが入っているときは、必ず取り出しておいてください。
- ディスクが結露しているときは、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからお使いください。

置き場所

- 使用時は、水平で安定した場所に置いてください。傾きのある場所、不安定な場所に置くと、ディスクが正常に動作しないなどの原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所、油煙・湯気・たばこの煙などが当たりやすい場所に置くことは避けてください。
  録画/再生用レンズが汚れ、正常に録画・再生できなくなることがあります。

引っ越しのときは

製品が入っていた段ボール箱か同等品で梱包してください。ない場合は、本機に衝撃が加わらないように毛布などで包んでください。また、ディスクやSDカードは取り出しておいてください。

動作時の本体温度について

本体や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

取り扱い

本機は、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい部品(HDD(本体)など)を使用した精密な機器です。取り扱いは慎重に行ってください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。
  液晶パネルを素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐに拭きとってください。
  そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

本機を使わないときは

ふだん使わないときは、ディスクやSDカードを取り出し、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。

録画/再生用レンズ(レーザーピックアップ)について

- 録画/再生用レンズにごみ・ホコリ・たばこのヤニなどがつくと、映像の乱れや音飛びなどが発生し、正常に録画や再生ができなくなります。
  点検、清掃については「三菱電機お客さま相談センター」にご相談ください。正常にお使いいただくためには、定期的な点検をおすすめします
- 市販のレンズクリーニングディスクを使用する場合は、次のディスクの使用をおすすめします。(2011年2月現在)
  サンワサプライ　マルチレンズクリーナー　CD-MDV10WN
  http://www.sanwa.co.jp/

大切な録画(録音)の場合は

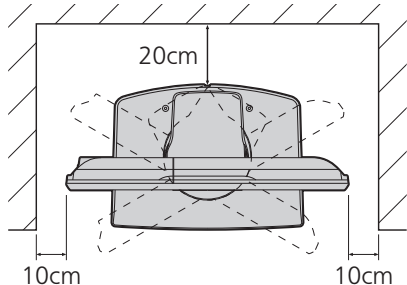
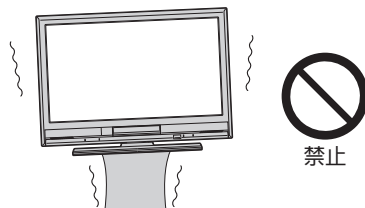
- **本体はディスクにダビングするまでの、一時的な保管場所としてお使いください。**
- **大切な録画(録音)内容は、BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-Rに保存しておくことをおすすめします。**
- 事前に録画(録音)をして、正常に録画(録音)されていることを確認しておくことをおすすめします。
- 本機に故障や異常が発生すると、本体に録画(録音)された内容が失われることがあります。

録画(録音)内容の補償について

- **万一、下記を一例とする何らかの不具合が発生した場合、停電、結露、その他の事象により録画(録音)や編集が正常に行われなかった場合に、録画内容やデータの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。**
  (例)
  - ・本機で録画したディスクを、他社のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで動作させたことによる不具合
  - ・上記の動作を行ったディスクを、再び本機で動作させたことによる不具合
  - ・他社のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで録画したディスクを、本機で動作させたことによる不具合
  - ・本機、記録媒体(本体、メディアなど)の故障または異常による録画(録音)内容の損失
- 本機を修理した場合(本体以外の修理を行った場合でも)、本体の録画(録音)内容が失われることがあります。その場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本機の設置についてのお願い

お願い！
傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
本機の下へ物をはさまないでください。

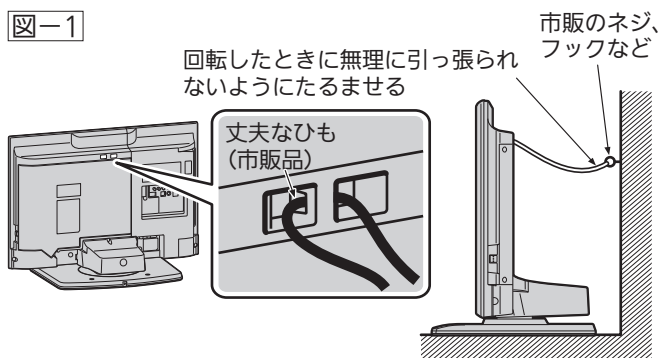
● 最低限、下図のスペースを取ってください。

● 不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。

転倒防止についてのお願い

⚠注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら次の処置をお願いします。次の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震等に対してその効果を保証するものではありません。

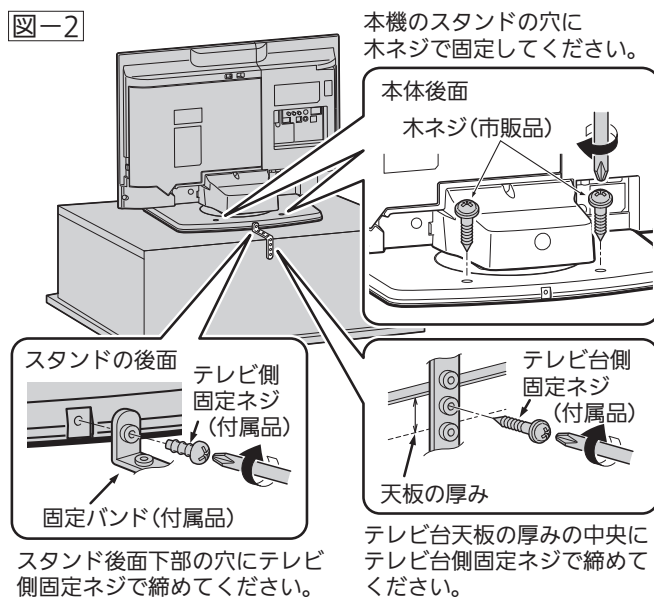
壁や柱などの安定した場所への固定

図－1のように本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも（市販品）で確実に取り付けてください。

図－1

お願い！ ひも、ネジなどの取り付けは確実に行ってください。

テレビ台への固定

図－2のように、お使いの台の天板と本機のスタンド（2ヵ所）を市販の木ネジで取り付けてください。スタンドのネジ穴部分の厚みは5.6 mmです。
または、テレビ台への固定用部品（付属品）で、スタンド後面下部とお使いの台の強固な部分を、固定してください。

図－2

お願い！ 再び移動させるときは木ネジやテレビ台への固定用部品をはずしてから行ってください。

留意点

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

■受信異常により本機の操作ができなくなった場合は、本体右側のインジケーターが光っていないことを確認したあと、本機画面右側面の主電源ボタンで主電源をいったん切り、しばらくして再度主電源を入れ直してください。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
■付属のB-CAS(ビーキャス)カードはデジタル放送を視聴していただくために、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS(ビーキャス)〔(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕カスタマーセンター P.196 へご連絡ください。なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
■万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
■本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（VHF：90～222MHz、UHF：470～770MHz、BS：1032MHz～1336MHz、CS：1595MHz～2071MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

本機の主電源は頻繁に切らないことをおすすめします

本機には、側面に主電源ボタンがあります。 P.18
長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしたり、主電源「切」のままにしないことをおすすめします。本機は電源オフ（待機）状態でも、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合があります。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

本機に付属しているB-CAS(ビーキャス)カード以外のものを挿入しないでください

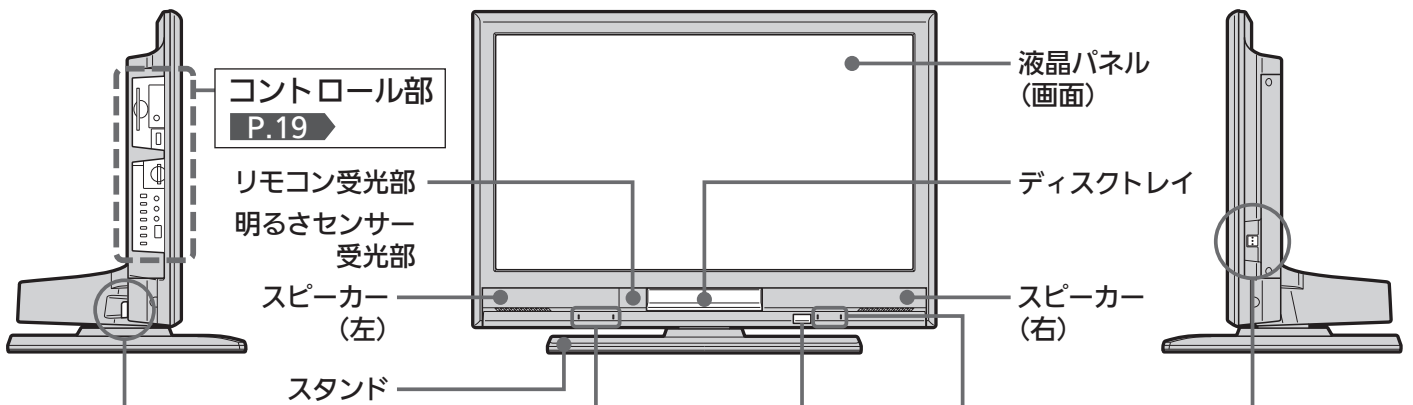
B-CAS(ビーキャス)カード挿入口に、正規のB-CAS(ビーキャス)カード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

■液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。
■お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」P.195 により個人情報を消去されることをおすすめします。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
  DOLBY DIGITAL PLUS
- Manufactured under license under U.S. Patent #' s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0+ Digital Out and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は、商標です。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は(株)アクトビラの商標です。
- 「TSUTAYA TV」「 」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- 『「スカパー!HD録画」ロゴ』は、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  ・個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
  ・ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

本体前面/側面

お知らせ

- 主電源が「切」の状態は、消費電力0Wになります。リモコンや本体の電源ボタンは、はたらきません。
- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。マイコンおよびデジタルチューナーなどの回路が通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は主電源を「切」にしないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、本体右側のインジケーターが光っていないことを確認したあと、しばらく主電源を「切」にしてみてください。
- **次のようなときは、主電源を「切」にしないでください。**
  - ・本体右側のインジケーターが光っているとき
  - ・ディスクの読み込み中、初期化（フォーマット）中、ファイナライズ中/解除中
  - ・SDカードやUSB機器の認識中や読み込み中
  - ・録画予約したとき
  - ・録画中
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。
  くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。

コントロール部

付属のB-CASカードを入れる。 P.25

- B-CASカードを抜き差しするときは、必ず本体の主電源を「切」にしてください。
- カードを入れる前に、この説明書の裏表紙にカード番号を記入してください。
- 付属のカード以外のものを入れないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

ステレオのヘッドホンを差し込む。

HDMI機器を接続する。 P.31

主電源が入っているときに、電源を入/切できる。 P.42

メニューを表示する。 P.142〜143

ビデオなどを見るときに押す。 P.46

押すごとに、地上デジタル→BS→CS1→CS2→側面端子→ビデオ1→HDMI1→HDMI2→i.LINKの順に切り換わります。
メニュー表示中はリモコンの 決定 と同じはたらきをする。
P.142〜143

視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。 P.42

メニュー表示中はリモコンの ▲▼ と同じはたらきをする。 P.142〜143

音量を調節する。 P.42

メニュー表示中はリモコンの ◀▶ と同じはたらきをする。 P.142〜143

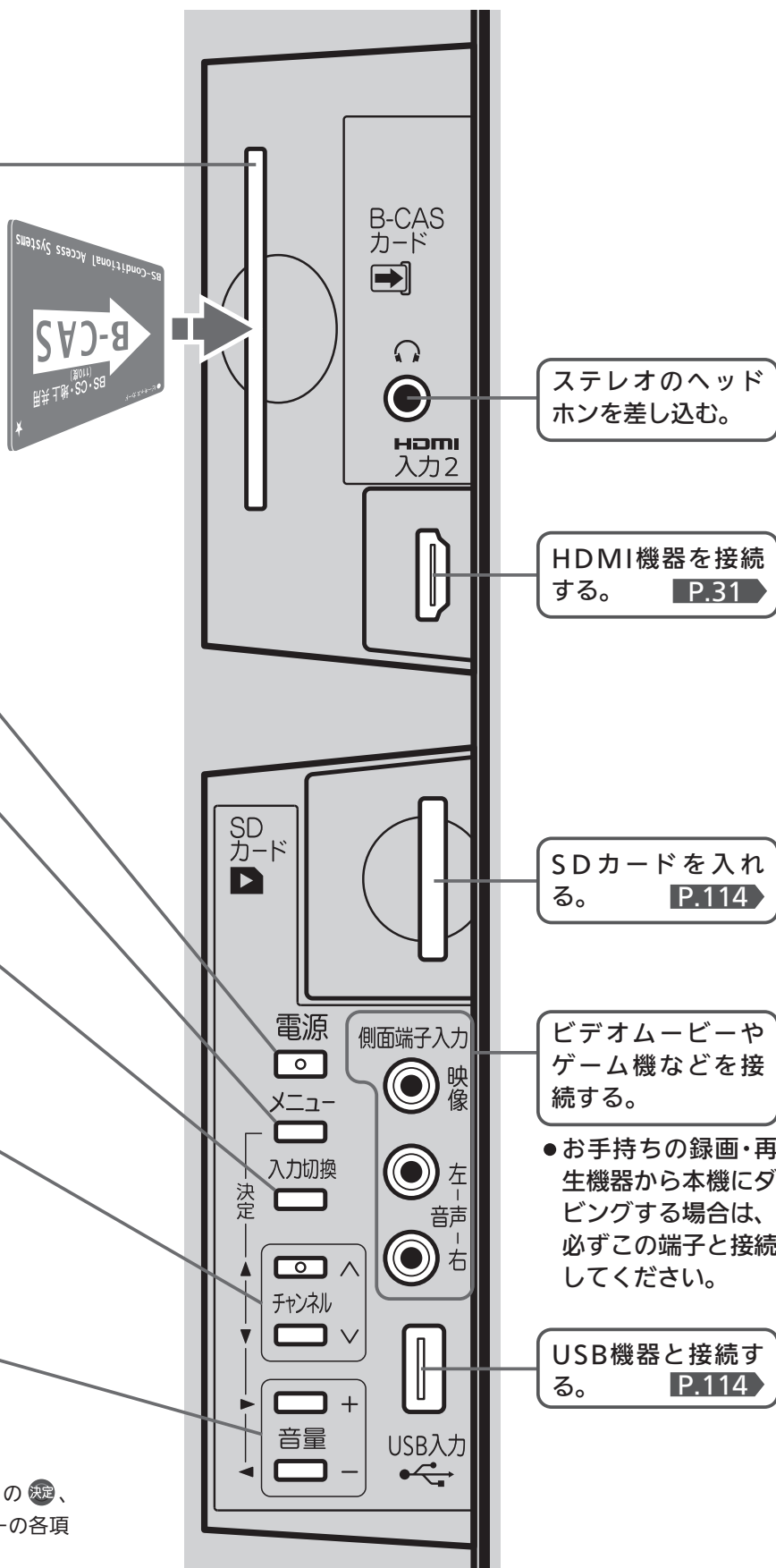
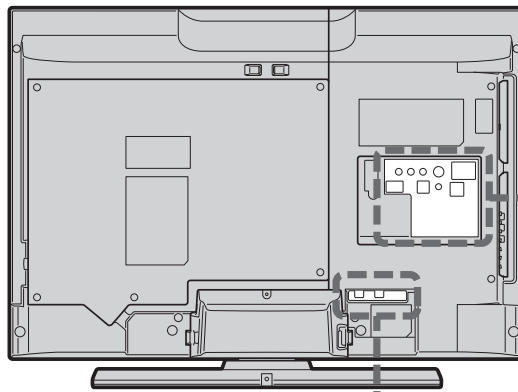
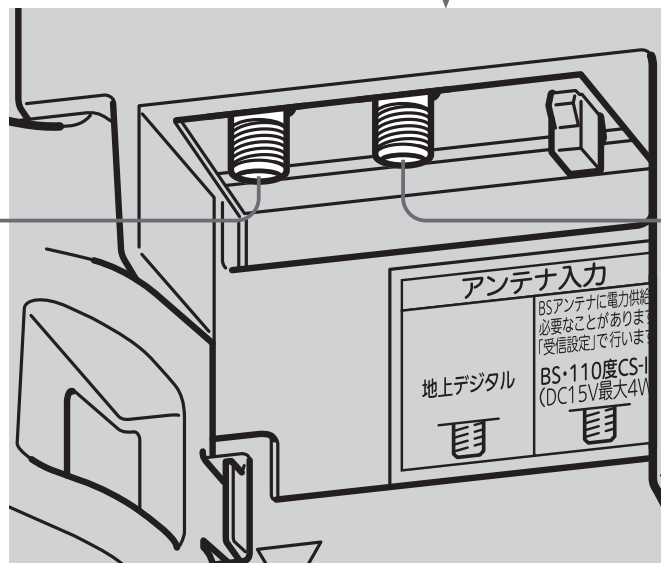
SDカードを入れる。 P.114

ビデオムービーやゲーム機などを接続する。

- お手持ちの録画・再生機器から本機にダビングする場合は、必ずこの端子と接続してください。

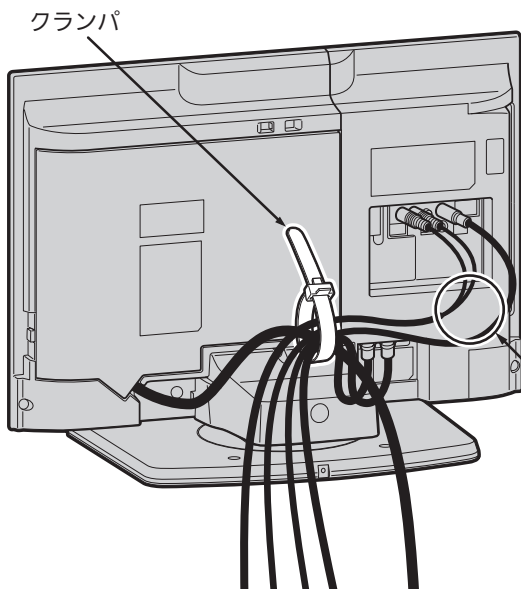
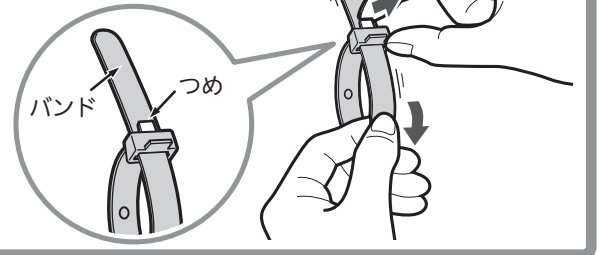
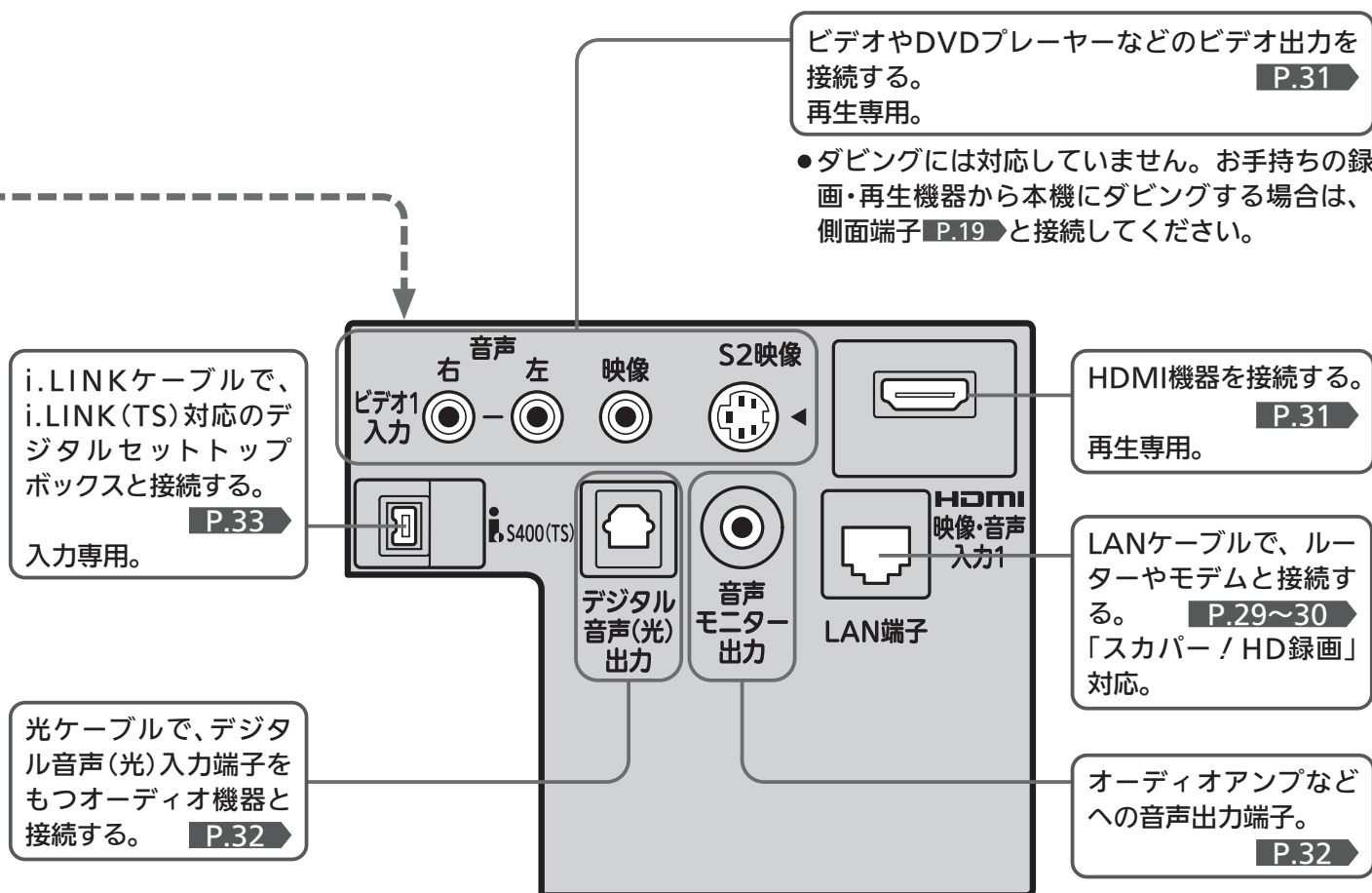
USB機器と接続する。 P.114

お知らせ

入力切換、チャンネル、音量ボタンが、リモコンの 決定、▲▼◀▶と同じはたらきをするのは、メニューの各項目が画面に表示されているときに限ります。
メニュー項目が消えたあとの画面、たとえば項目「見る（再生）」から表示した録画一覧など、ではリモコンと同じはたらきはしません。

本体後面

〈左＝地上デジタル入力〉
地上デジタル用のアンテナ（UHF）を接続する。
P.26～28

〈右＝BS・110度CS-IF入力〉
BS・110度CSアンテナを接続する。
P.27

アンテナ入力
地上デジタル
BS・110度CS-I
(DC15V最大4W

他の機器を接続したあとは…

下図のように、ケーブルを後面のクランパで、しっかり固定してください。
電源コードを束ねているクランパをほどいて、接続線と電源コードを束ねてください。

お知らせ

これまでD端子を使って接続していた機器で、HDMI端子があるものについては、HDMI端子をご利用ください。

お願い!

- 接続は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
  映像…黄、音声－左…白、音声－右…赤
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- 接続線は、後面のクランパで固定してください。 P.20
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることがあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

リモコン

ふだんよく使うボタン

この製品はリモコンコードを変更できます。

当社製テレビがもう1台近くにあるときなどに切り換えると便利です。
くわしくは P.188 をご覧ください。

押すごとに、側面端子→ビデオ1→HDMI1→HDMI2→i.LINK→放送の順に切り換わる。 P.46

使用しない入力をスキップ（飛び越し）することができます。 P.174

番組表を表示する。 P.49
番組表から録画予約をする。 P.85

録画一覧（全）を表示する。 P.100

デジタル放送のとき、テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示する。 P.43

画面に「ⓓボタンを押してください」と表示が出たときにも押します。

本体の向きを変えたり、中央に戻す。 P.45

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送に切り換える。 P.42

視聴しない放送波のボタンを無効にすることができます。 P.188

数字ボタン
チャンネルを直接選んだり、数字や文字を入力する。 P.42

チャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。 P.42

画面表示
番組名、チャンネル番号、ディスク残量（停止中）、録画中、再生中、視聴中の情報や、現在時刻などを画面に表示する。 P.44

消音
音を一時的に消す。

電源を入/切する。 P.42

サブメニューを表示する。 P.143

手間なしダビングをする。 P.134
ダビング一覧を表示する。 P.135

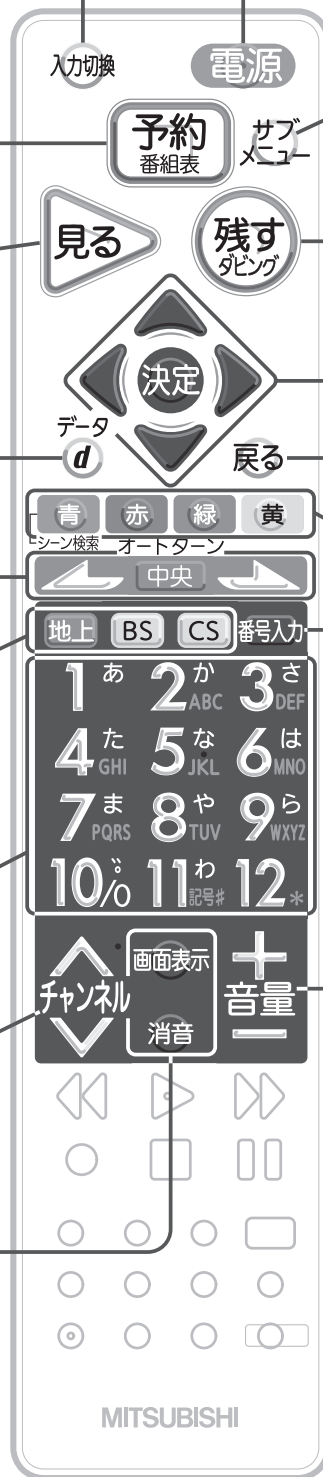
番組表、メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする。 P.142

メニューなどの画面を表示中に、１つ前の画面や元の画面に戻る。 P.142

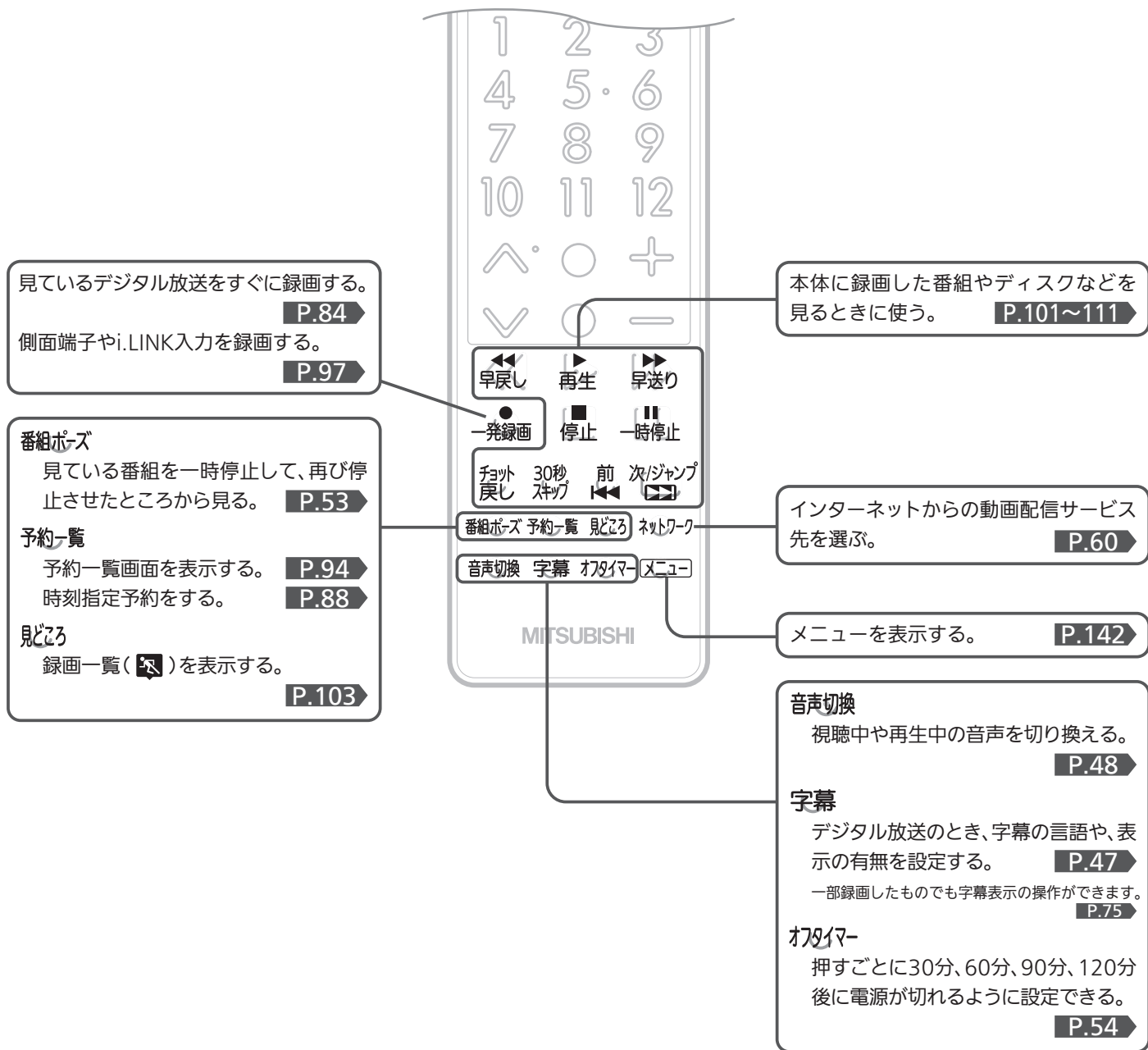
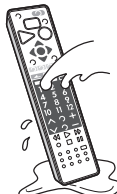
番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用できる。 P.43
再生中にシーン検索をする。 P.110

画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って操作してください。

このボタンに続けて3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ。 P.42

音量を調節する。 P.42

お願い！

- ボタンは、表示の真ん中あたりを真上から押してください。
- ボタンを押すときは、力を入れすぎないようにしてください。
- 丁寧に扱ってください。

さらに便利に使いこなすボタン

早戻し　再生　早送り
一発録画　停止　一時停止
チョット戻し　30秒スキップ　前　次/ジャンプ
番組ポーズ　予約一覧　見どころ　ネットワーク
音声切換　字幕　オフタイマー　メニュー
MITSUBISHI

見ているデジタル放送をすぐに録画する。 P.84
側面端子やi.LINK入力を録画する。 P.97

番組ポーズ
見ている番組を一時停止して、再び停止させたところから見る。 P.53

予約一覧
予約一覧画面を表示する。 P.94
時刻指定予約をする。 P.88

見どころ
録画一覧（ ）を表示する。 P.103

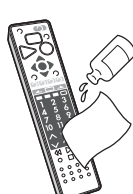
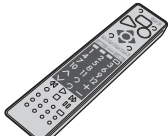
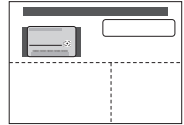
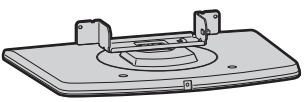
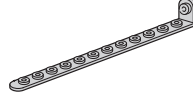
本体に録画した番組やディスクなどを見るときに使う。 P.101～111

インターネットからの動画配信サービス先を選ぶ。 P.60

メニューを表示する。 P.142

音声切換
視聴中や再生中の音声を切り換える。 P.48

字幕
デジタル放送のとき、字幕の言語や、表示の有無を設定する。 P.47
一部録画したものでも字幕表示の操作ができます。 P.75

オフタイマー
押すごとに30分、60分、90分、120分後に電源が切れるように設定できる。 P.54

テレビを見るまでの準備の流れ

準備1 付属品を確認する

テレビを見るために

リモコン…1台	単4形乾電池…2個	B-CASカード…1枚

※スタンド…1台

※スタンド取付ネジ…2個

製品に同梱されているスタンド取付け説明書「スタンドの取付」に貼り付けられています。

安全のために

テレビ台への固定用部品

固定バンド…1本	テレビ側固定ネジ…1個	テレビ台側固定ネジ…1個

※最初に本体と付属品のスタンドをスタンド取付ネジで確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。
取付方法は、製品に同梱されているスタンド取付け説明書「スタンドの取付」をご覧ください。

準備2 B-CASカードを入れる

本機には、B-CASカードを付属しています。**B-CASカードはデジタル放送を見るために必要です。**
番組の著作権保護のため、**B-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。**
現在、デジタル放送をご覧にならなくてもB-CASカードを入れておかれることをおすすめします。
B-CASカードの詳しい説明は、 P.196 をご覧ください。

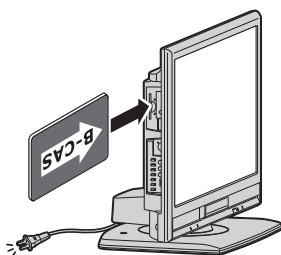
B-CASカードの入れかた

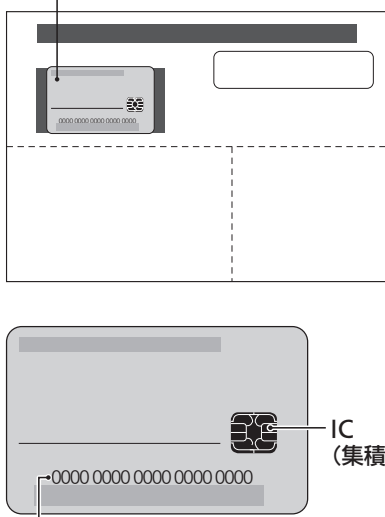
※B-CASカードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課されることはありません。

1 電源コードがコンセントに差し込まれていないことを確認する

B-CASカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

2 B-CASカードを入れる

B-CASカードの絵柄表示面を確認して挿入口方向に合わせ、ゆっくりと突き当たるまで押し込んでください。

本体前面から見てB-CASカードの矢印の絵柄が見えるようにして、カード絵柄の矢印の方向に挿入します。

お願い！

- 本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。
  挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

B-CASカードについて

B-CASカード
デジタル放送を見るために必要なカードです。

0000 0000 0000 0000 0000

IC（集積回路）

B-CASカード番号
ご確認のうえ、裏表紙の「お客さま便利メモ」に記入しておいてください。

■ B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC（集積回路）部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

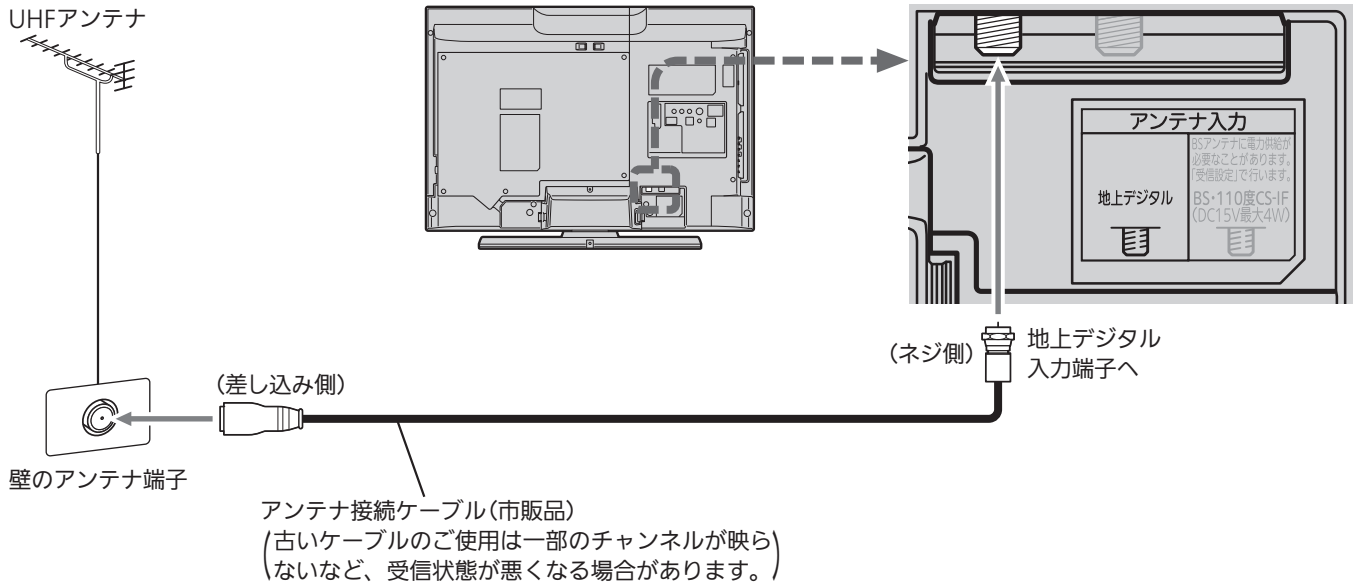
■ B-CASカードを抜くとき

- 万一B-CASカードを抜く必要があるときは、本機の主電源を「切」にしたあと、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

準備3 アンテナをつなぐ

本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。
26ページから28ページの図を参考にして、あてはまる接続を確実に行ってください。

UHFアンテナ 地上デジタル放送を見るとき

- 地上デジタル放送をご覧になるためには、UHFアンテナとの接続が必要です。
- ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。
- 現在VHFアンテナだけで地上アナログ放送を受信している場合、地上デジタル放送を受信するためには、あらたに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置が必要です。お買上げの販売店にご相談ください。

次ページへつづく

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」P.41 をご覧ください。

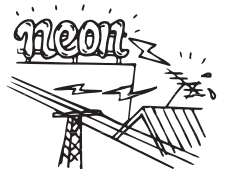
よりきれいな映像で見るために

本機はデジタル回路を多く内蔵しています。このためアンテナ接続部のシールドをより強化して、デジタル回路からアンテナ線に飛び込むノイズを抑え込むことが、よりきれいな映像でご覧いただくためのコツです。

お願い

- アンテナ線の接続には、市販のアンテナ接続ケーブルか、同軸ケーブルに市販のネジ式F形コネクタを取付けたものを使用してください。妨害を受けにくい二重シールドタイプ(3C-FB、5C-FB等)をおすすめします。
- F形以外の同軸ケーブル用コネクタは、内部のデジタル回路やパソコン、他のAV機器などからの妨害を受けやすくなりますのでなるべく使用しないでください。
- 平行フィーダー線はデジタル回路からの妨害を受けやすくなりますのでなるべく使用しないでください。
- お部屋(壁側)のアンテナ端子が平行フィーダー線用端子の場合は、販売店にご相談ください。
- アンテナ分配器などを使用されている場合は、それらの器具のシールド効果が弱い場合、本機から遠ざけると妨害が減ることがあります。

アンテナの場所

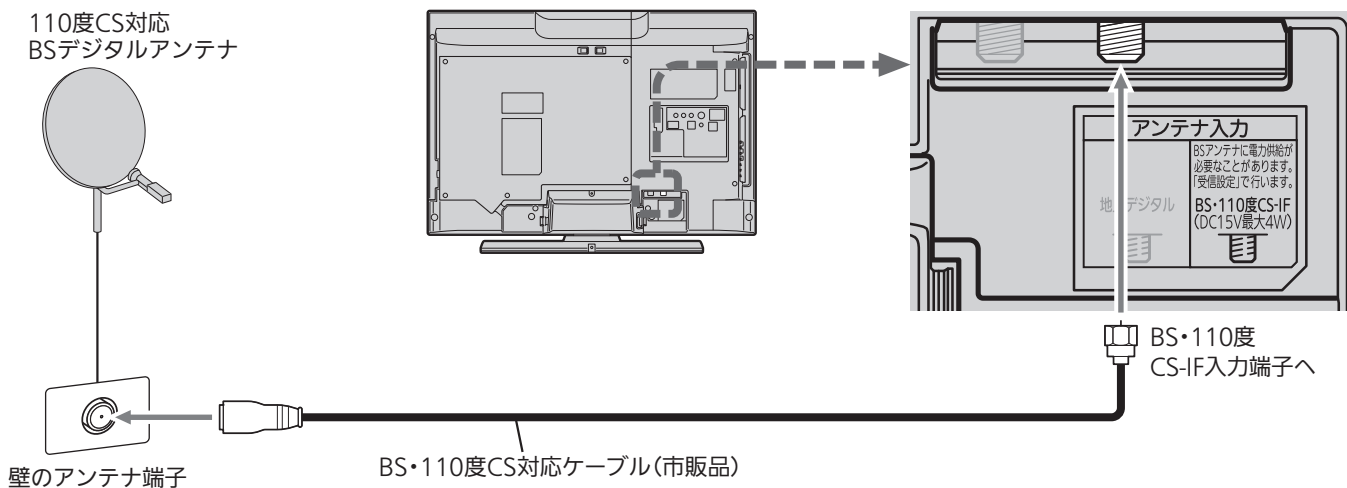
妨害電波の影響をさけるため交通の頻雑な道路、電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離してください。
万一アンテナが倒れた場合の事故を防ぐためにも有効です。なおアンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

アンテナの定期的な点検・交換を

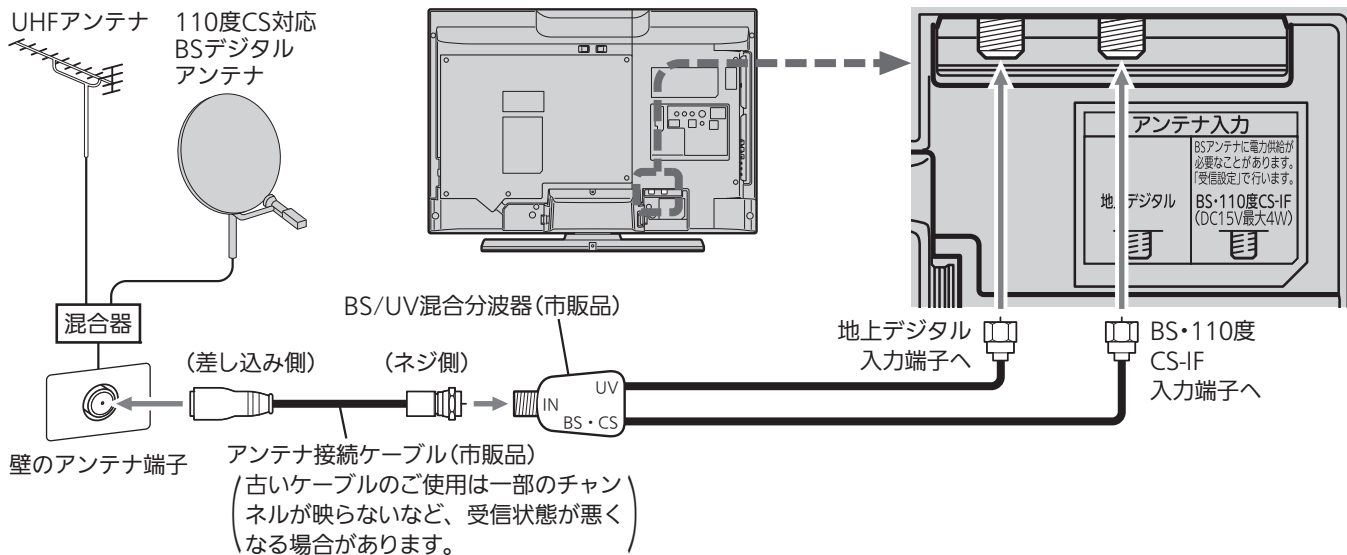
アンテナは屋外にあるため傷みやすく性能が低下します。映りが悪い時は販売店にご相談ください。

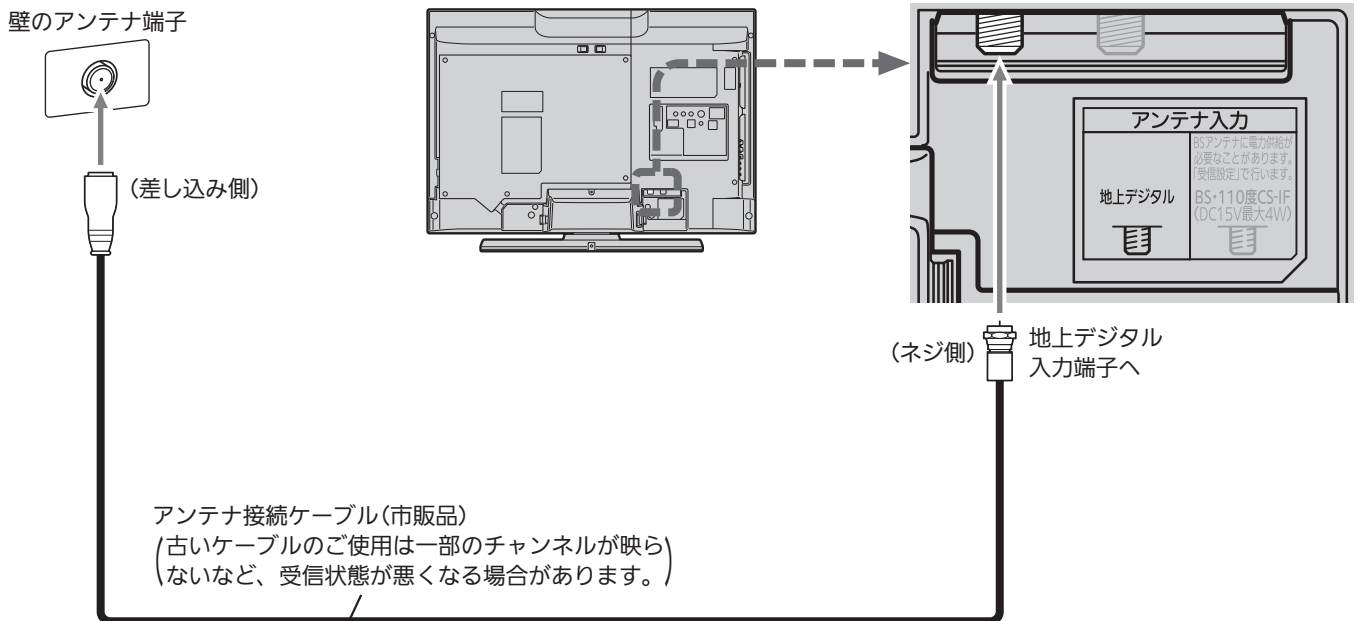
BS・110度CSアンテナ　BSデジタル・110度CSデジタル放送を見るとき

アンテナは、110度CS対応のBSデジタルアンテナをご使用ください。
ケーブルや分配器などは、110度CS帯域に対応しているものをご使用ください。

- **BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
  BS・110度CSアンテナをお買上げの販売店にご相談ください。
  設置のしかたについては、BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
  BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **BS・110度CSアンテナをつなぐときは、本機の主電源を切ってください。**

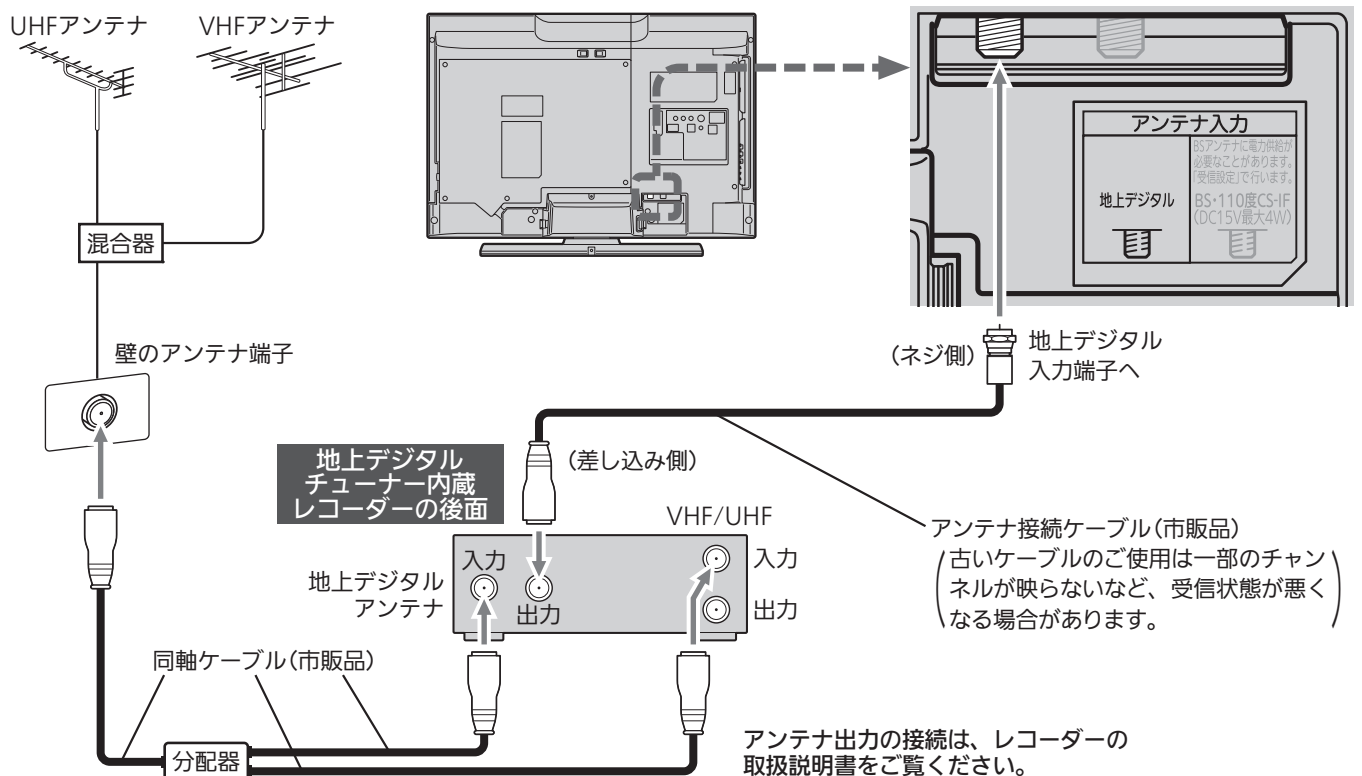
お知らせ　アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「入」に設定 P.185 すると、保護回路がはたらき、自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。

UHF/BS・110度CS混合のとき

(マンションの共同受信など)

アンテナをつなぐ(つづき)

CATV(ケーブルテレビ)パススルーのとき

代表的な接続方法を記しています。
くわしくはCATV会社へお問合わせください。

レコーダーを通して接続するとき

(例:レコーダーが地上デジタルチューナー内蔵で
アンテナ入力がVHF/UHF混合のとき)

アンテナ出力の接続は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

準備4 LAN端子につなぐ

デジタル放送のデータ放送を行っている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境（ADSL、CATV、FTTHなど）をお持ちの場合、本機のLAN端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。「動画配信サービス」を利用するためにはブロードバンド環境が必要です。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

- 回線業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

- ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーター等に接続してください。

● ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いの場合などは、ADSL事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの接続については、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。

● CATV（ケーブルテレビ）回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

● FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線業者へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線業者と別途ご契約（有料）をしていただく必要があります。
  くわしくは、プロバイダまたは回線業者にお問い合わせください。

● 接続についてのお願い

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、モデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。

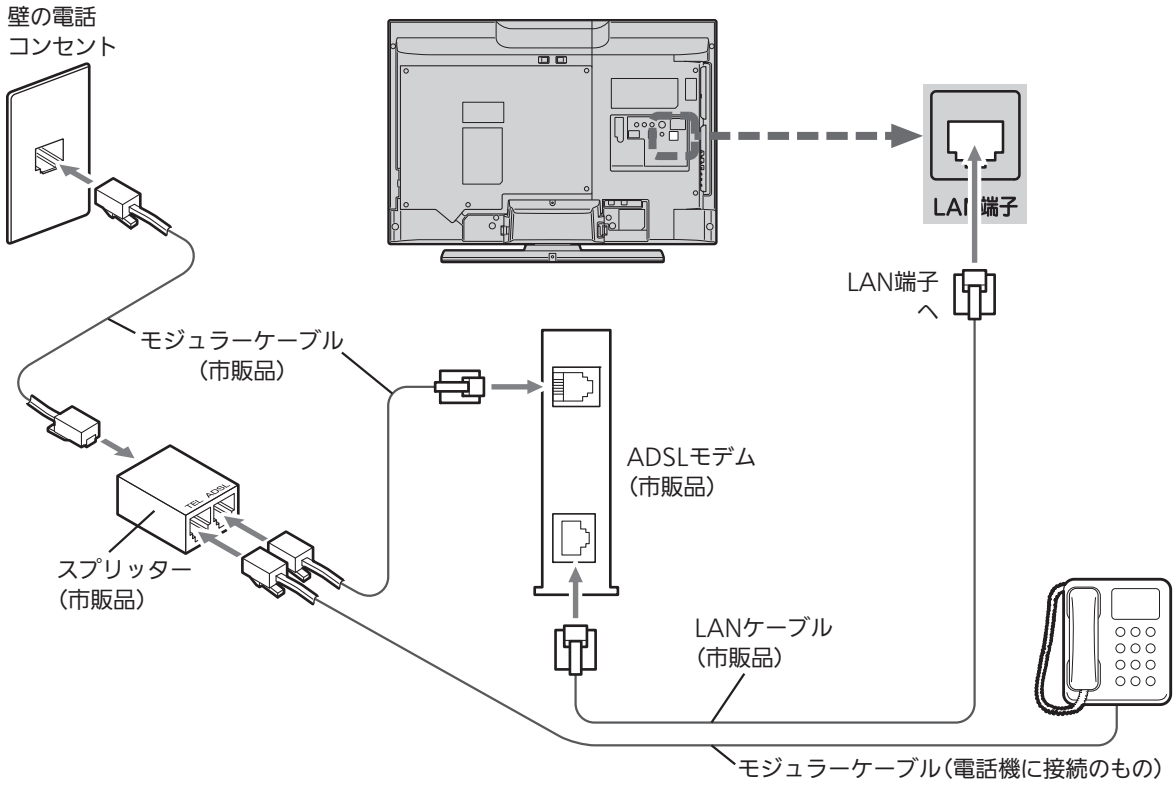
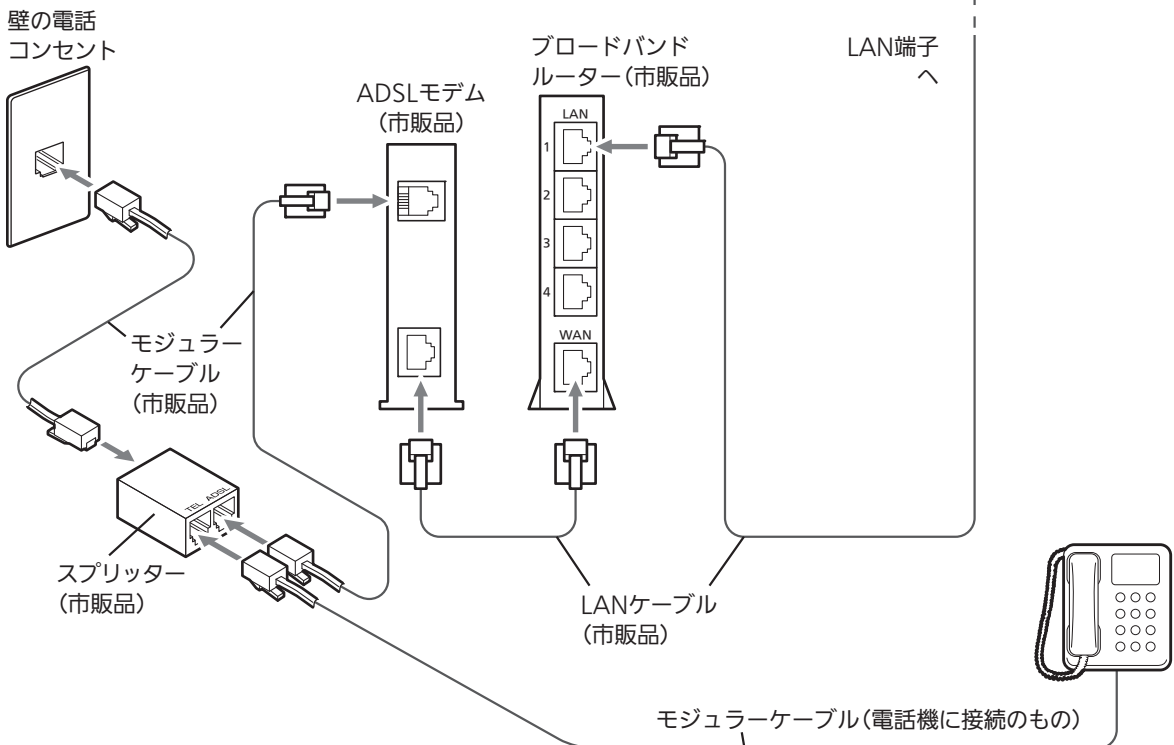
● 本機のMACアドレスの確認方法

ルーターの設定などで本機のMACアドレスを確認する場合は、P.186 をご覧ください。

LAN端子につなぐ(つづき)

ADSL回線

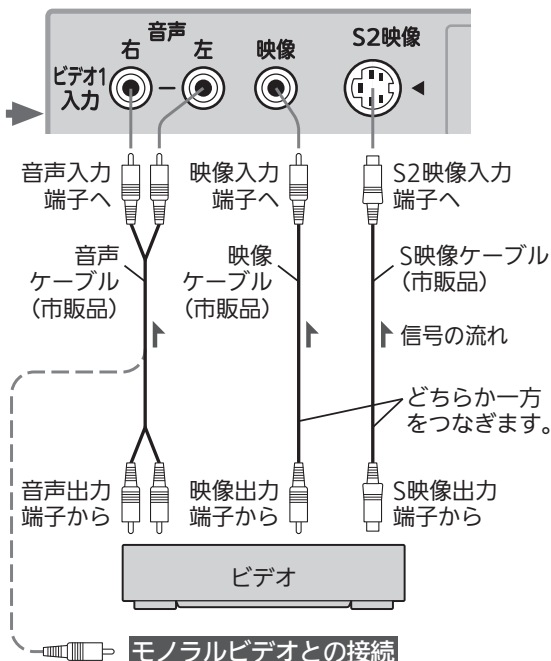
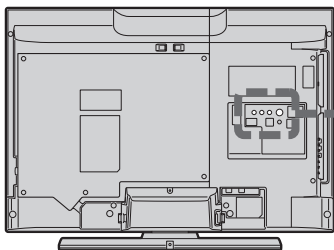
接続後は、「ネットワーク設定」P.185〜186 を行ってください。

ADSLモデムにブロードバンドルーター機能がある場合

ADSLモデムにブロードバンドルーター機能がない場合

準備5 他の機器とつなぐ

ビデオとの接続

例：「ビデオ1入力」に接続する

モノラルビデオとの接続

音声入力コネクタは、ピンプラグ×1←→ピンプラグ×2のケーブル（市販品）で、必ず映像入力コネクタと同じ系統の左と右の両方とも接続します。

お知らせ

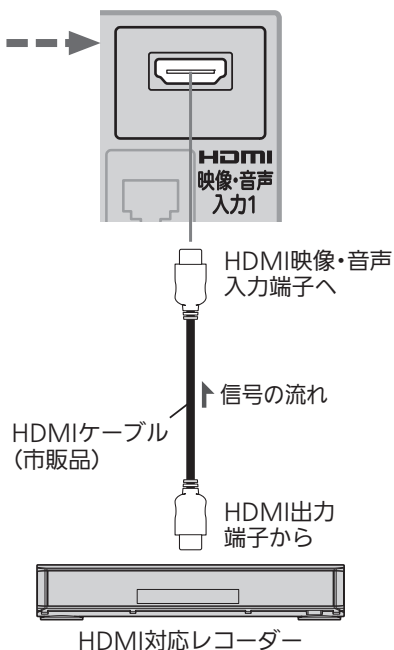
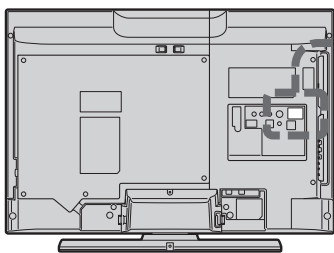
- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。
- ビデオ1入力の場合、S2映像入力に接続すると、その系統の映像入力は自動的に「切」の状態になり、S2映像入力がはたらきます。（S2映像優先）
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「ビデオ1」（または「側面端子」）を選んでください。
- ビデオテープなどの内容を、お手持ちの機器から本機の本体(HDD)にダビングする場合は、必ず本機の側面端子入力と接続してください。本機のビデオ1入力はダビングに対応していません。

お願い！

ビデオ側の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI機器との接続

映像･音声信号を1本のケーブルでつなぐことができます。

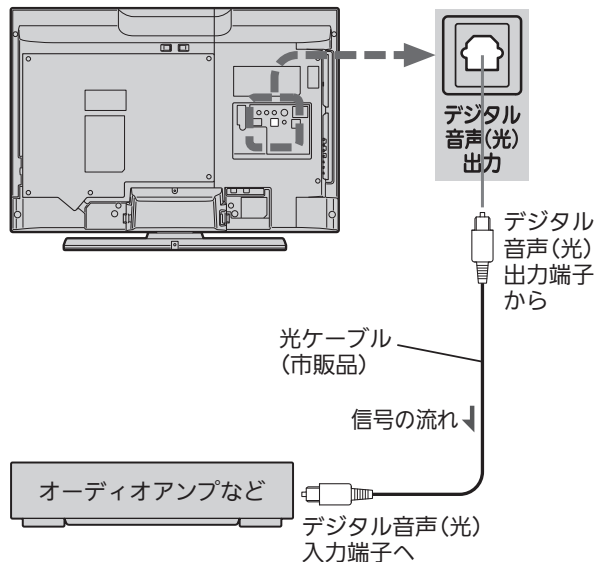
例：HDMI対応レコーダーを「HDMI1入力」に接続する

お知らせ

- 対応している映像信号
  480i、480p、1080i、720p、1080p
- 対応している音声信号
  種類：PCMのみ
  サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「HDMI1」（または「HDMI2」）を選んでください。
- 「HDMI2入力」は画面に向かって左側面にあります。
- 非対応の信号を入力すると、映像が乱れたり、映像が出なくなることがあります。接続機器側の設定には十分ご注意ください。
- HDMI出力端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。

お願い！

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル音声（光）入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声（光）入力対応のオーディオ機器を接続すると、今見ている番組やブルーレイのマルチチャンネル音声を楽しんだり録音したりすることができます。
接続後は、接続先に合わせて光音声出力の設定が必要です。 P.162

お知らせ

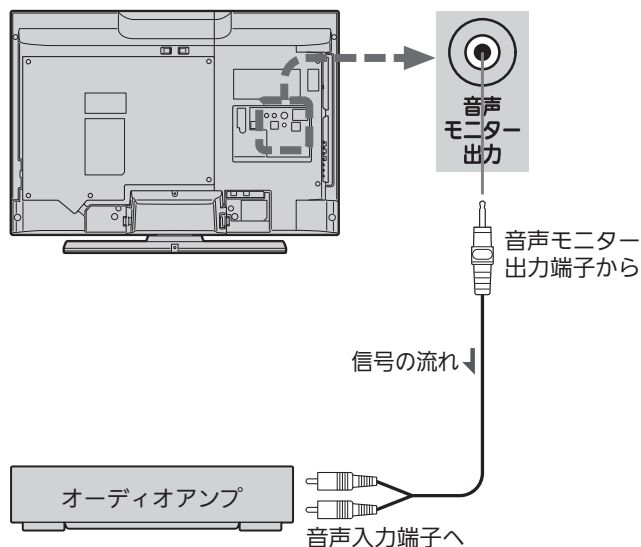
- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、デジタル音声（光）入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulation の略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、本機の音量を「0」にしてください。

お願い！

- 接続前に本機とオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

アナログ音声入力対応のオーディオ機器との接続

音声モニター出力端子からは、画面に映っている番組などの音声が出力されます。

例：オーディオアンプとの接続

お知らせ

音声モニター出力端子から出力される音声レベルは固定です。本機の音量を変えても出力される音声レベルは変わりません。オーディオアンプ側で音量を調節してください。本機の音量は「0」にしてください。

お願い！

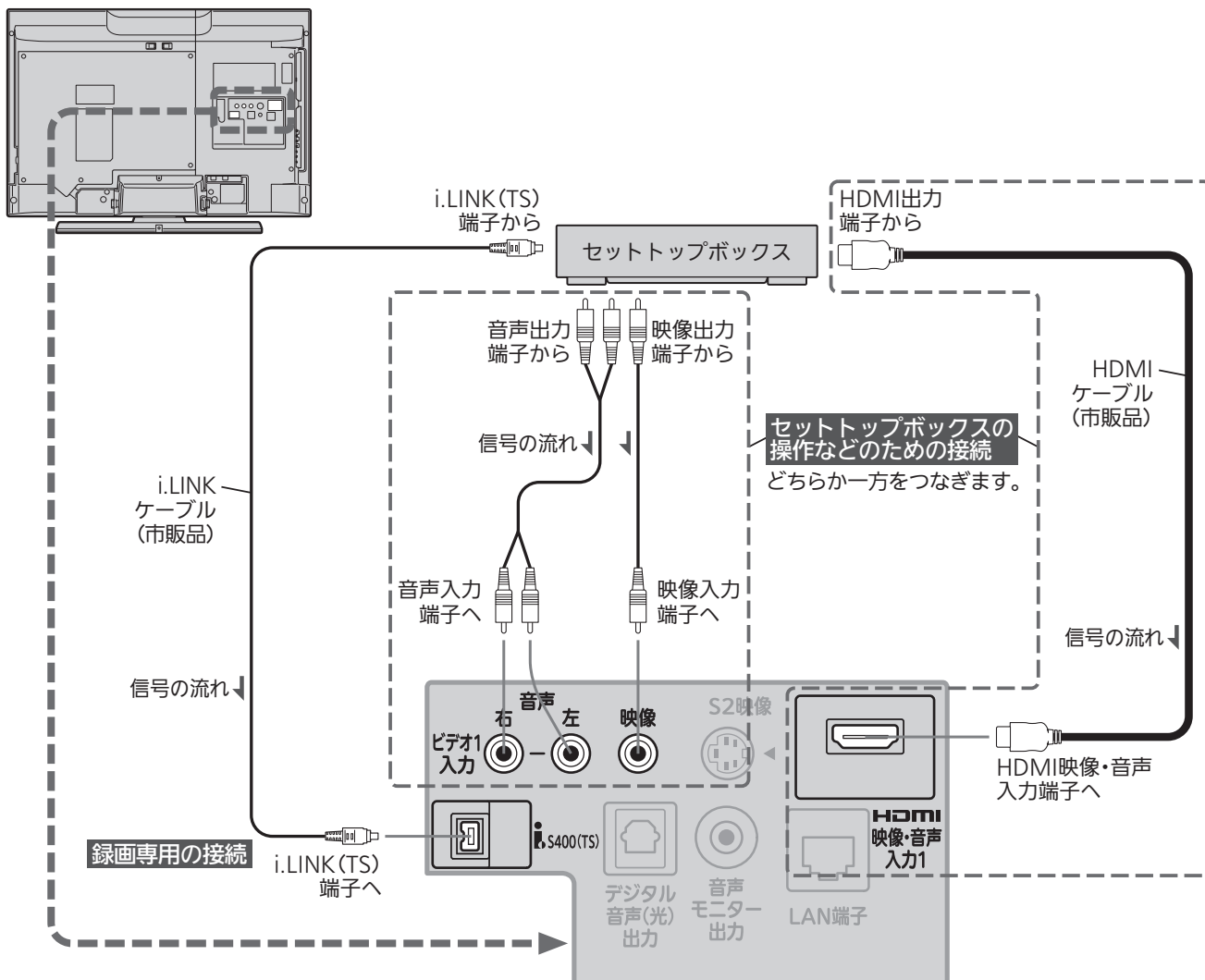
オーディオアンプなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

CATV（ケーブルテレビ）のデジタルセットトップボックスとの接続（録画）

CATV（ケーブルテレビ）の放送はサービスの行われている地域でのみ受信でき、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
CATV会社によって仕様や接続方法、受信できる放送が異なりますので、くわしくはCATV会社にご相談ください。

コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を視聴・録画するためには、CATV会社専用のセットトップボックスが必要です。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

i.LINKケーブルで、i.LINK（TS）対応しているセットトップボックスを接続すると、ハイビジョン画質のままで本機に録画できます（本体にのみ）。

この端子は、番組の視聴や録画のための入力専用です。セットトップボックスの操作などを行う画面を表示するには、別に入力端子との接続が必要です。
出力には対応していません。また、接続できる機器は、CATVのセットトップボックス1台だけです。

お願い

- i.LINKケーブルはS400対応のものをご使用ください。S400に準拠していないケーブルでは動作しません。
- P.223 の「【解説】i.LINK（TS）入力からの録画」もご覧ください。

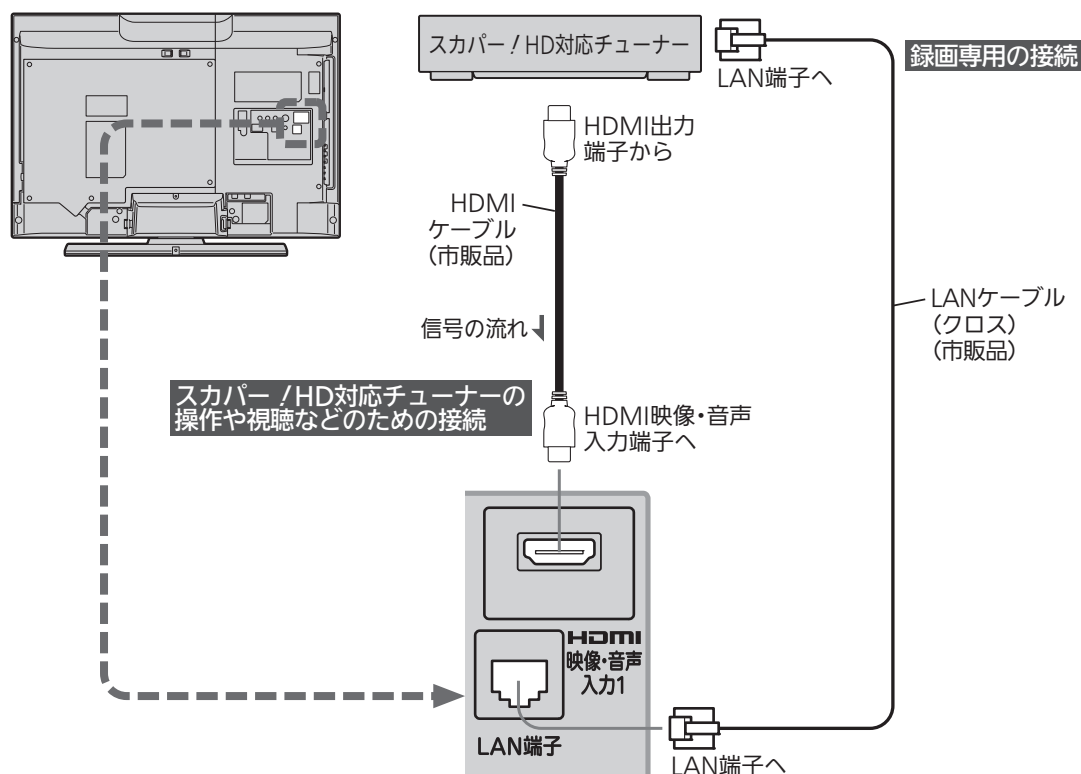
お知らせ

- デジタルビデオカメラなどのi.LINK（DV）対応機器や、D-VHSビデオなどのi.LINK対応機器とは、接続しても動作しません。
- セットトップボックスがi.LINK対応でない場合、本機で録画するためにはセットトップボックスのビデオ出力と本機の側面端子入力を接続してください。

スカパー！ＨＤ対応チューナーとの接続（録画）

本機は「スカパー！ＨＤ録画」に対応しています。
本機でスカパー！ＨＤサービスを録画するためには、スカパー！ＨＤ対応チューナーとのLAN接続が必要です。
34ページから35ページの図を参考にして、あてはまる接続を行ってください。
接続後は、本機のネットワーク設定 P.185～186 と、スカパー！ＨＤ対応チューナーのネットワーク設定を行ってください。

スカパー！ＨＤ対応チューナーの設定方法につきましては、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

直接接続する場合

「スカパー！HD録画」とは

「スカパー！ＨＤ録画」は、スカパー！ＨＤサービスをデジタル録画できる録画方法です。
「スカパー！ＨＤ録画」に対応したチューナーと本機をLAN接続することで、ハイビジョン番組をハイビジョン画質のまま録画できます。
※標準画質番組は標準画質での録画となります。

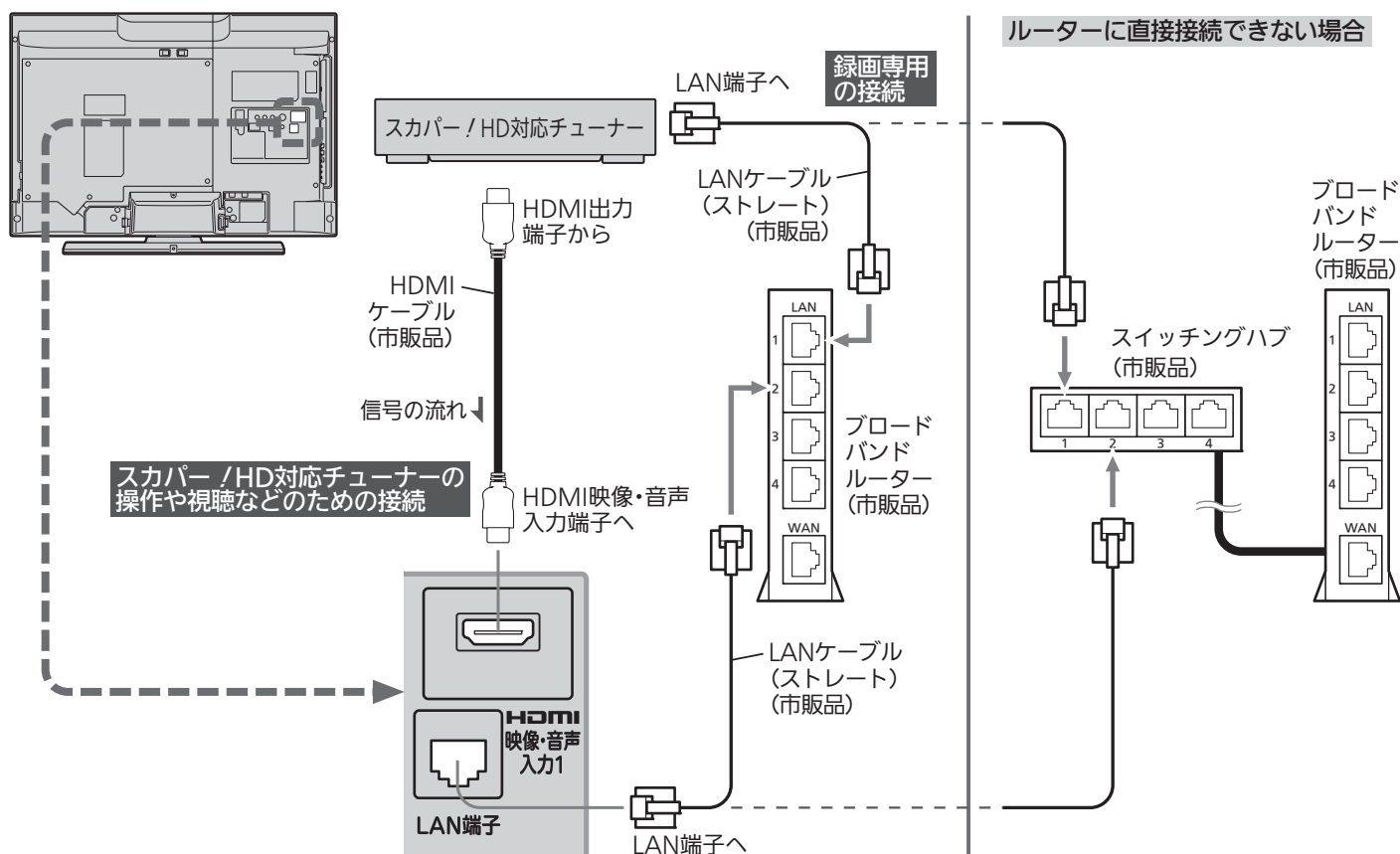
お願い！

- LANケーブルは、カテゴリー5以上のものをご使用ください。
- 本機とデジタル放送用アンテナとの接続も行ってください。本機は録画予約に必要な時刻設定をデジタル放送から取得しています。
- スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- P.224 の『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。

お知らせ

- スカパー！ＨＤのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- PPV（ペイ・パー・ビュー）の番組を録画する場合は、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で電話回線の接続などが必要です。くわしくは、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

ブロードバンドルーター経由で接続する場合

本機で「アクトビラ」「TSUTAYA TV」などの動画配信サービスや、データ放送の双方向通信をブロードバンド経由で利用する場合の接続例です。

お願い！

- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダへご確認ください。
- P.224 の『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。

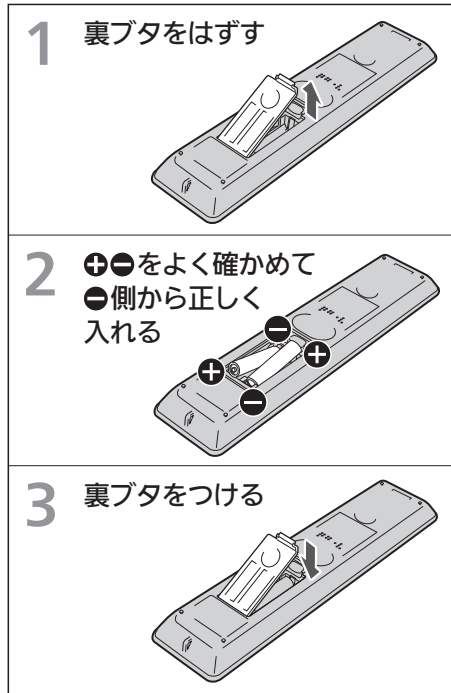
準備6 リモコンの準備をする

乾電池を入れる

単4形乾電池　R03（UM-4）を2個使用

1 裏ブタをはずす

2 ⊕⊖をよく確かめて
⊖側から正しく
入れる

3 裏ブタをつける

⚠警告

電池および電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かない。

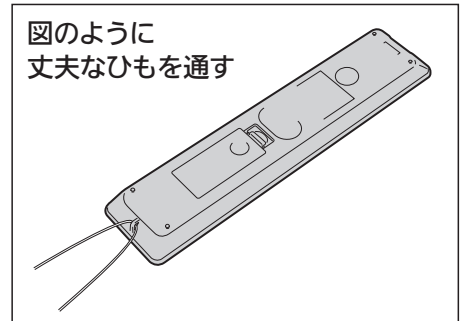
⚠注意

乾電池は⊖側から入れる

- 乾電池の寿命は約半年です。（ご使用の状態によって寿命が変わります。）
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2個とも新しい乾電池と交換してください。

吊りひもをつけるとき

太さ2mm程度の丈夫なひもを用意してください。

図のように
丈夫なひもを通す

⚠注意

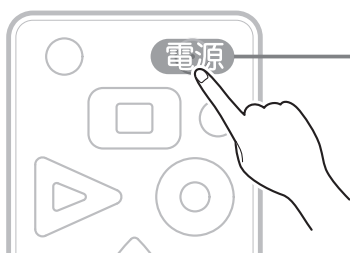
吊りひもを持って振り回さない

人に当たると、けがの原因になります。

準備7 電源を入れる

電源コードをつなぐ

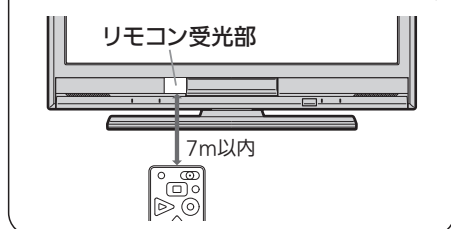
電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。

リモコンで電源を入れる

電源ボタンを押す

お買い上げ後、初めて電源を入れると
下記の画面（らくらく設定）が表示されます。

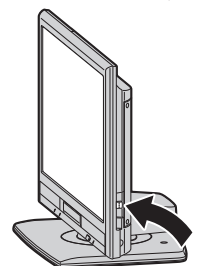
お知らせ

電源が入らないときは、本体右側面の主電源ボタンが「切」になっていないか確認してください。

リモコンは受光部に向けて操作してください。

らくらく設定

お買い上げいただきありがとうございます。
これからテレビを視聴するための初期設定を行います。

設定を始める前に「かんたんガイド」の
「テレビを見るための準備」をご覧いただき、
準備が完了していることをご確認ください。

しばらくお待ちください。

準備8 らくらく設定をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、画面にらくらく設定画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って、次の順で設定してください。

1. らくらく設定を開始する
2. 地域設定をする
3. 地上デジタル放送のチャンネルを設定する
4. BS・110度CSアンテナの設定をする
5. ECO画質設定をする
6. 高速起動の設定をする
7. らくらく設定を終了する

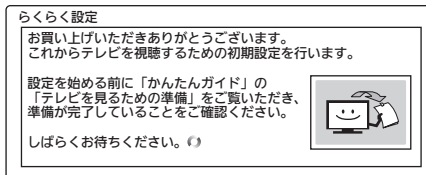
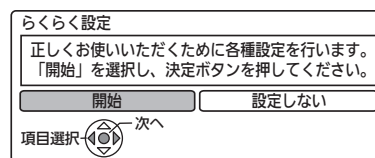
らくらく設定をする

1. らくらく設定を開始する

1 らくらく設定の画面が表示されたら、しばらく待つ

開始画面が表示されます。

2 「開始」が選ばれているので、そのまま決定する

らくらく設定
正しくお使いいただくために各種設定を行います。
「開始」を選択し、決定ボタンを押してください。
開始 | 設定しない
項目選択 次へ

確認画面が表示されます。

- アンテナ線の接続が済んでいない場合は、いったん主電源を切り、そのあと、アンテナ線を接続してください。
- 「B-CASテストを行います」という画面が表示されるときは、B-CASカードが正しく挿入されていません。
  P.25 でB-CASカードの挿入を確認し、決定 を押してください。
  「OK」が表示されたときは、決定 を押して次の手順に進んでください。
  「NG」が表示されたときは、デジタル放送を視聴・録画できません。
  ◀▶ で「いいえ」を選んで 決定 を押し、次の手順に進んでください。

3 確認画面の表示内容を確認し、準備が済んでいれば 決定 を押す

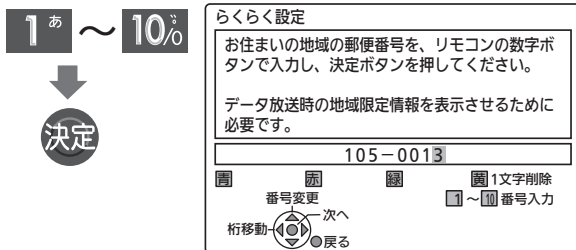
お住まいの地域の郵便番号を設定する画面が表示されます。

次ページへつづく

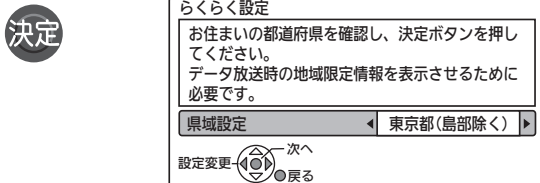
お知らせ

- らくらく設定は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯に行ってください。チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- らくらく設定中は、主電源(本体右側)を「切」にしないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、らくらく設定をやり直したいときは P.179 をご覧ください。

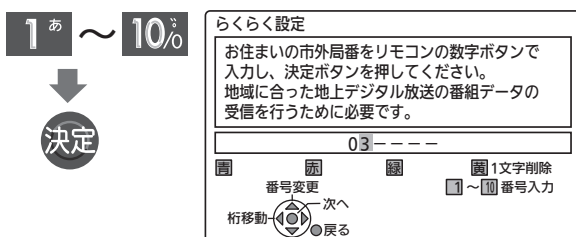
2. 地域設定をする

4 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定する

お住まいの地域の都道府県を設定する画面が表示されます。

- 入力を間違えたときは、 黄 を押します。

5 お住まいの都道府県を確認し、決定する

お住まいの地域の市外局番を設定する画面が表示されます。

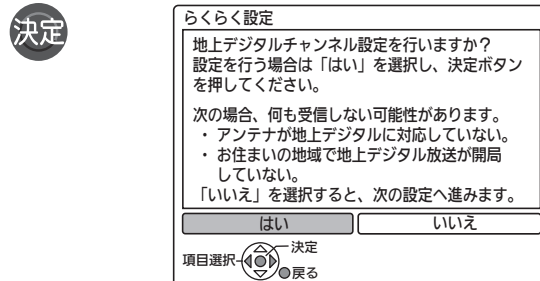
- 変更したいときは ◀▶ で選び、 決定 を押します。
- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都島部」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県島部」を選びます。

6 お住まいの地域の市外局番を入力し、決定する

地上デジタル放送用のチャンネル設定画面が表示されます。

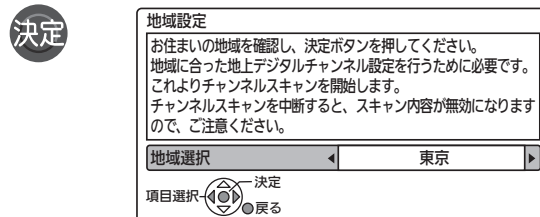
- 入力を間違えたときは、 黄 を押します。

3. 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

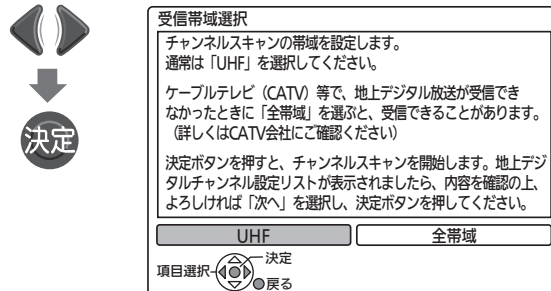
7 「はい」が選ばれているので、そのまま決定する

らくらく設定
地上デジタルチャンネル設定を行いますか？
設定を行う場合は「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。
次の場合、何も受信しない可能性があります。
・ アンテナが地上デジタルに対応していない。
・ お住まいの地域で地上デジタル放送が開局していない。
「いいえ」を選択すると、次の設定へ進みます。
はい　いいえ
項目選択　決定　戻る

お住まいの地域を設定する画面が表示されます。

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定しない場合は、◀▶ で「いいえ」を選び、 決定 を押します。（そのあとは、手順11へ進んでください。）

8 お住まいの都道府県（地域）を確認し、決定する

受信帯域選択画面が表示されます。

- 変更したいときは ◀▶ で選び、 決定 を押します。

9 「UHF」または「全帯域」を選び、決定する

「UHF」････ 通常はこちらを選んでください。

「全帯域」･･･ ケーブルテレビ（CATV）をお使いの場合で、地上デジタル放送がパススルー方式で再送信されているとき。

- チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。

設定が終わると、画面に一覧が表示されます。
（設定が終わるまで10分程度かかることがあります。）

次ページへつづく

10 チャンネル一覧の設定内容を確認したあと、「次へ」が選ばれているので、そのまま決定する

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	121	放送大学	テレビ

修正確認
修正する　次へ
項目選択　決定

衛星アンテナ（BS・110度CSアンテナ）電源の設定画面が表示されます。

- 「UHF」を選んで設定し、一覧の「CH」や「チャンネル名」が「----」になって設定ができないチャンネルがあるときは
  ① 決定 を押して、次の手順11の画面を表示する
  ② 戻る を押して、手順7の画面に戻す
  ③ もう一度、手順7 ～ 10を行う
  手順9のときに「全帯域」を選んでください。
- 地上デジタル放送のチャンネルを修正したいときは、らくらく設定終了後に修正してください。P.180

4. 衛星アンテナ（BS・110度CSアンテナ）電源の設定をする

11 決定 を押す

らくらく設定
衛星アンテナの電源を設定します。
次の画面でアンテナの接続状況を確認しますので、画面の指示に従って、アンテナの電源を設定してください。
決定ボタンを押してください。
次へ
戻る

BS・110度CSアンテナ電源を設定する画面が表示されます。

12 BS・110度CSアンテナ電源の設定を選び、決定する

らくらく設定
マンションなどの共同アンテナで受信する場合は「供給しない」を、
個人でアンテナを設置している場合は「テレビ連動」を、
衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を
選択し、決定ボタンを押してください。
供給しない　テレビ連動　接続しない
項目選択　決定　戻る

「供給しない」

・・・ ・他の機器（レコーダーなど）からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しているとき。
・マンションなどで共同受信しているとき。
・ケーブルテレビ（CATV）で受信しているとき。

「受信設定」（衛星）画面の「アンテナ電源」が「オフ」に設定され、本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しません。
この場合、他の機器からBS・110度CSアンテナへ電源が供給されていないと（他の機器が通電状態になっていないなど）、本機でBS・110度CSデジタル放送を視聴・録画することはできません。

「テレビ連動」

・・・ ・本機とBS・110度CSアンテナを直接つなぎ、他の機器からBS・110度CSアンテナへ電源を供給していないとき。

「受信設定」（衛星）画面の「アンテナ電源」が「オン」に設定され、本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給します。

設定後、確認画面が表示されます。

「接続しない」

・・・ ・BS・110度CSアンテナを接続していないとき。
（そのあとは、手順14へ進んでください。）

13 確認画面で正しく設定されたことを確認し、決定 を押す

ECO画質の設定画面が表示されます。

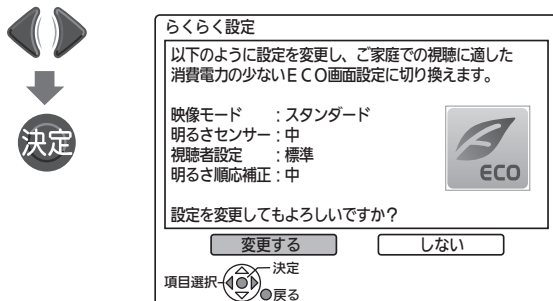
- 正しく設定されていないときは、◀▶ で「再設定」を選び、決定 を押すと手順12の画面に戻りますので、もう一度設定してください。

次ページへつづく

お知らせ

- 手順7で「いいえ」を選び、地上デジタル放送のチャンネルを設定しなかったときは、らくらく設定終了後、必ず時計を合わせてください。P.190
  （時計を合わせないと、録画予約ができません。）
- 手順13で再設定をしても正しく設定できない場合は、アンテナの向きや受信環境に問題があると考えられますので、お買上げの販売店にご相談ください。

5. ECO 画質設定をする

14 ECO画質設定にするかどうかを選び、決定する

「変更する」･･･ ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

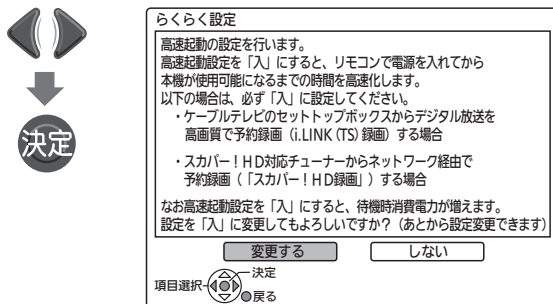
「しない」･････ 工場出荷時の画質のままになります。

- 「変更する」でECO画質設定にすると、バックライトでの消費電力を削減します。ECO画質設定 P.192 にすることで、工場出荷設定の状態のままでお使いになる場合と比べ、消費電力が削減されます。
  画面が、それまでと比べ、やや暗くなります。

高速起動の設定画面が表示されます。

6. 高速起動設定をする

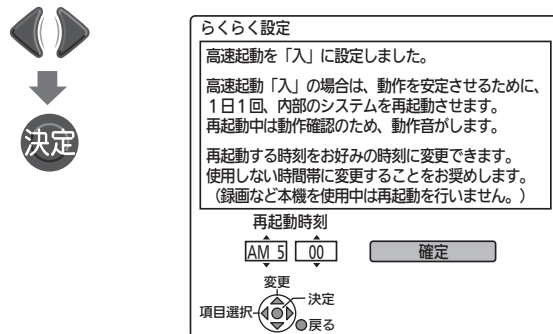
15 高速起動するかどうかを選び、決定する

らくらく設定
高速起動の設定を行います。
高速起動設定を「入」にすると、リモコンで電源を入れてから本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。
以下の場合は、必ず「入」に設定してください。
・ケーブルテレビのセットトップボックスからデジタル放送を高画質で予約録画（i.LINK（TS）録画）する場合
・スカパー！HD対応チューナーからネットワーク経由で予約録画（「スカパー！HD録画」）する場合
なお高速起動設定を「入」にすると、待機時消費電力が増えます。
設定を「入」に変更してもよろしいですか？（あとから設定変更できます）
変更する　しない
項目選択　決定　戻る

「変更する」･･･ i.LINK（TS）入力から録画予約する場合や、スカパー！ＨＤ対応チューナーから「スカパー！ＨＤ録画」する場合は、必ずこちらに設定してください。
高速起動が「入」になり、電源が切の状態から起動して（本機の電源が入になって）から本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。

再起動時刻の設定画面が表示されます。

「しない」･････ 高速起動が「切」になり、起動時間を高速化しません。
（そのあとは、手順17へ進んでください。）

- 高速起動を「入」にすると
  - 内部の制御部が通電状態になるため、高速起動を「切」にしたときと比較して待機時消費電力（リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力）が増えます。
  - 動作を安定させるために1日1回内部のシステムを再起動させます。再起動中は動作確認のため、動作音がします。（次の手順で、使用しない時間帯に変更することができます。）

16 再起動する時刻が変更不要な場合は「確定」に移動し、決定する

■ 再起動する時刻を変更する場合は

① ▲▼ で「時」を選び、▶ で分に移動する

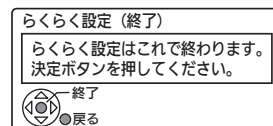
② ▲▼ で「分」（10分単位）を選び、▶ で「確定」に移動する

③ 決定 を押して、確定する

確認事項の画面が表示されます。

7. らくらく設定を終了する

17 確認事項を確認し、決定 を押す

18 決定 を押して、終了する

これで、らくらく設定は終わりです。

- 追加のメッセージが表示されるときは、メッセージに従って必要な接続や設定を行ってください。
- 「受信できません」が表示されるときは、らくらく設定中に視聴しない放送が選ばれたままになっている可能性があります。受信可能な放送に切り換えてみてください。 P.42

地上デジタル放送が映らないとき

地上アナログ放送が受信できていても、地上デジタル放送が同じように受信できるとは限りません。

次の点をご確認ください。

◆ケーブルテレビをご利用の方‥‥ケーブルテレビ会社に受信できるかご確認ください。
◆集合住宅にお住まいの方‥‥‥‥管理組合または、管理会社などに受信できるかご確認ください。

1 お住まいの地域は地上デジタル放送を受信できますか？

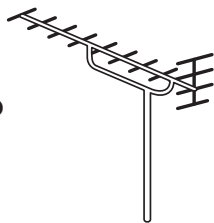
現在受信できない地域もあります。

お住まいになっている地域の「地デジ」**開局状況**をお確かめください。

●**webで**
社団法人 デジタル放送推進協会[Dpa]
http://www.dpa.or.jp/

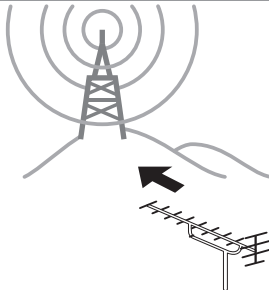
●**お電話で**
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
0570-07-0101（IP電話：03-4334-1111）
（受付時間　月～金　9:00～21:00　土･日･祝日　9:00～18:00）

2 地上デジタル放送対応のアンテナを設置していますか？

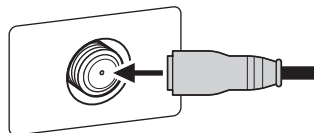
地上デジタル放送対応のUHFアンテナが必要です。

※地上アナログ放送用のVHFアンテナでは受信できません。

●お住まいの地域に合った**放送局に対応した**UHFアンテナが必要な場合があります。
※アンテナ設備の点検をしましょう。
専門知識が必要ですので販売店などにご相談ください。

3 アンテナの向きは正しいですか？

アンテナが、地上デジタル放送送信所の方向を向いている必要があります。

●放送局により、地上アナログ放送と**アンテナの向き**や**電波の強さ**が違う場合があります。
その放送局の受信状態が悪くなることもあります。
※アンテナ設備の点検をしましょう。
専門知識が必要ですので販売店などにご相談ください。

4 壁のアンテナ端子は同軸プラグ型端子(下図参照)ですか？

壁のアンテナ端子が同軸プラグ端子である方が、地上デジタル放送をよりきれいに受信できます。

●壁の端子への取り付けはもちろん、接続器具(分配器 P.28、分波器 P.27)との接続もしっかり奥まで差し込んでください。

●アンテナから端子までの屋内配線や接続器具の**老朽化**も受信状態を悪くします。
特定の放送局が映らなかったり、受信状態が悪くなることもあります。
※アンテナ設備の点検をしましょう。
専門知識が必要ですので販売店などにご相談ください。

アンテナを接続 P.26～28 をして、らくらく設定 P.37～40 が終わったら、受信レベルの確認 P.184 をおすすめします。
安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

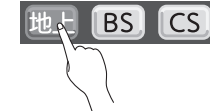
デジタル放送の受信状態が悪いと、画面にモザイクのようなノイズが出たりまったく映らなかったり、音が途切れたりします。
受信状態があまりよくないと、天候によってもノイズが出たり音が途切れたりすることがあります。

受信状態が良くないときは、販売店や総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センターにご相談ください。

デジタル放送を見る（地上・BS・110度CSデジタル）

1 電源を入れる

● 電源インジケーターが赤から緑に変わります。
（主電源 P.18 が入っているときに使えます。）

2 デジタル放送の種類を選ぶ

● CS は押すごとにCS1とCS2が切り換わります。
● 視聴しない放送波を誤って選ばないように、無効にすることができます。P.188

3 チャンネルを選ぶ

● 数字ボタンは、数字の真ん中を押してください。
● チャンネルボタンに設定する放送チャンネルを変えることができます。
P.180～181

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す

● BS・110度CSデジタル放送の工場出荷時に設定されているチャンネルについては、P.181 をご覧ください。

3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

番号入力ボタンを押した後、数字ボタンで3桁入力する

3秒以内に次の番号を押してください。

例：103チャンネルを選ぶとき

▶
▶
▶ 3

「0」を入力するときは 10 を押します。

● 110度CSデジタル放送では、CS1、CS2のどちらからでも選べます。
●「サブメニュー」→「番号入力」を選んでから数字ボタンで入力して選ぶこともできます。サブメニューについては P.142～143 をご覧ください。

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ

チャンネル ∧ ∨ ボタンを押す

4 音量を調節する

● 音量は0から最大60まで変化します。
● 待機状態※のときでも、音量を小さくすることができます。
※電源「切」直後、5秒程度は受け付けません。
● スピーカーとヘッドホンは、別々に音量調節できます。
● 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。
P.160

お知らせ

● 本体右側面の主電源が「切」の状態は、消費電力0Wになります。リモコンや本体の電源ボタンは、はたらきません。
● 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。
一部の回路が通電しています。
● 視聴年齢制限の対象番組を選んだときは、暗証番号入力画面が表示されます。P.144
● 地上アナログ放送で受信できた放送局が地上デジタル放送では受信可能エリアが異なり受信できないことがあります。P.196
● 受信状況（受信レベル）の確認ができます。
P.184

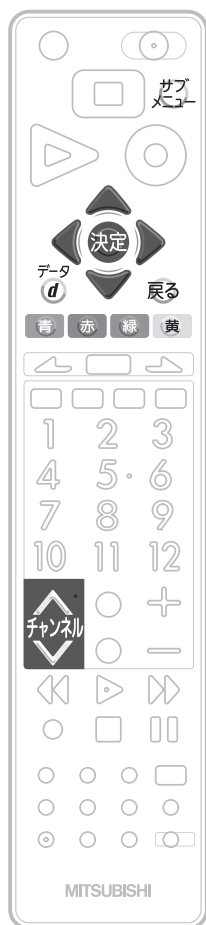
お願い！

携帯電話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。
音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。
異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」P.41 をご覧ください。

音量、選局などの操作以外は、起動中の表示が消えてから行ってください。

データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。
(2011年2月現在、BSラジオ放送は実施されていません。)
データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。
データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。
またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。P.29·185

1 デジタル放送を見ているときに

データ d を押す

番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2

画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン(青 赤 緑 黄 ボタン)や ▲▼◀▶ ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。
操作方法は番組、内容などによって異なります。画面の指示をご覧ください。

連動データ放送を見ているときに データ d をもう一度押すと、テレビ放送に戻ります。

お知らせ

- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、「サブメニュー」→「番組内容を表示する」を選んで「番組内容」画面を表示し、アイコンなどで確認できます。
- 電話回線のみで通信が行われるデータ放送には、対応していません。
  くわしくは放送事業者へお問い合わせください。
- デジタル放送を録画した番組の再生中、番組ポーズした番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴することはできません。
- デジタル放送の録画中のチャンネルは、テレビ放送に連動したデータ放送を視聴することはできません。

お知らせ

- 本機ではデータ放送を録画することはできません。見ている番組の録画が始まるとデータ放送の画面が消えます。
- 空いている数字ボタンに、よく使うデータ放送のチャンネルを設定しておくと便利です。くわしくは P.181 をご覧ください。

独立データ放送を見る

1 デジタル放送を見ているときに

チャンネル ∧ ∨ を押して、チャンネルを選ぶ

番組表 P.49 から選局したり、3桁のチャンネル番号を入力して選局することもできます。
- 地域により放送がない場合は選局できません。

2

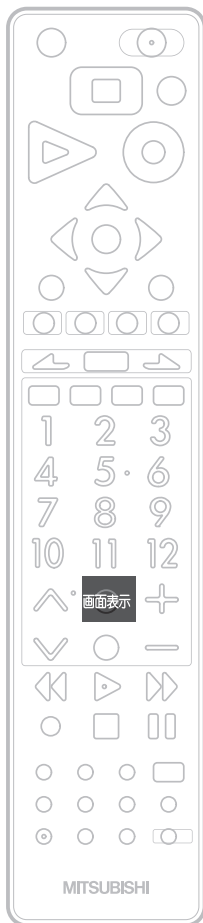
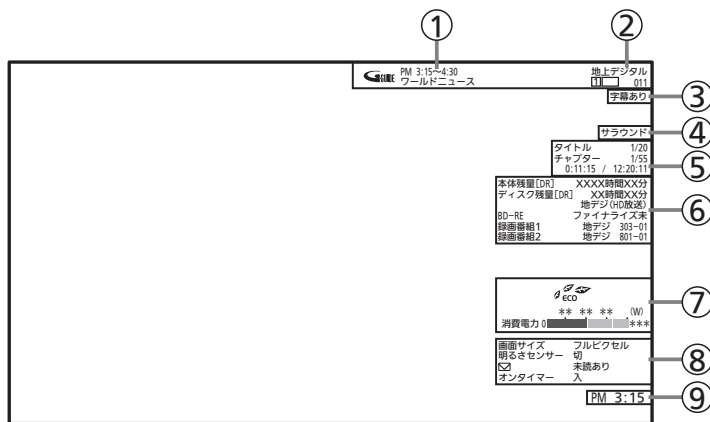
画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン(青 赤 緑 黄 ボタン)や ▲▼◀▶ ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。
操作方法は番組、内容などによって異なります。画面の指示をご覧ください。

チャンネル番号などを表示する

現在見ている番組の番組名、放送の種類、チャンネル番号、外部入力、現在時刻などを確認できます。

お知らせ

- **残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。**
  残量時間は、録画中、停止中の情報に表示されます。現在本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。
- 他機で録画されたディスクでは、正しく表示されないことがあります。
- ネットワークで全画面、および画面の一部で動画を表示中は、画面表示は表示されません。

画面表示 を押す

押すごとに次のように切り換わります。

- 「①～⑧」は、続けてボタンを押さない場合、数秒で消えます。
- 「②、⑨」は、焼き付け（映像内容が変わっても画像が消えずに残る）防止のため、電源を切ると表示は消えます。
- 「⑤」は、再生中のみ表示されます。

① ～ ⑧ → ② → ⑨ → 表示なし → ① ～ ⑧

①…番組の開始時刻と終了時刻、番組名

②…放送の種類、チャンネル番号、外部入力など

③…字幕の有無 P.47

④…音声の種類 P.48

⑤…番組のタイトルの現在番号/総数、
チャプターの現在番号/総数、
再生経過時間/総再生時間（時間、分、秒）
時間やチャプター数などの数字は、とびとびに表示されることがあります。

⑥…本体（ハードディスク）などの動作状態や残量時間、いろいろな情報
再生中、録画中、停止中によって、表示される情報が変わります。

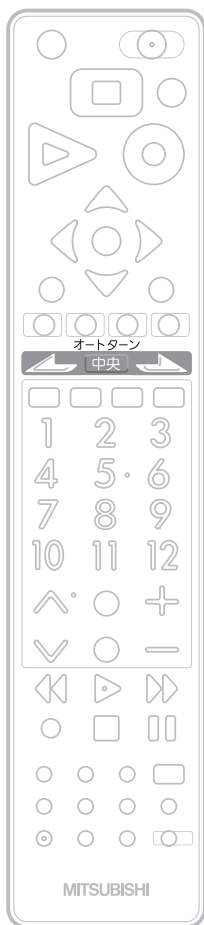
⑦…ECOメーター P.57

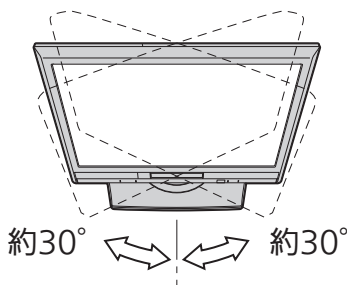
⑧…画面サイズ P.58、明るさセンサー P.152、
未読メールの有無 P.146、オンタイマー P.55

⑨…現在時刻

リモコンで画面の向きを変える（オートターン）

リモコンでテレビ画面を見やすい方向に調整できます。

■ オートターン機能をお使いになるときは、必ず後面の黄色いリード線を専用コネクタ（メス）P.18 に接続してください。

を押す

画面が左右に約30°回転します。

を押している間は左へ回転します。

を押している間は右へ回転します。

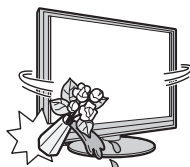
中央 を押すと、中央に戻ります。

⚠注意　特にお子様にご注意ください。

回転中に、指や物をはさまない。

本機が回転したときに、指をはさみ危険です。

本機にのったり、重い物をのせて回転させない。

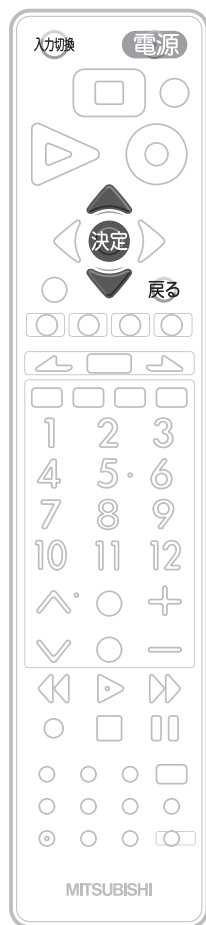
回転範囲には、物を置かない。

お願い！

長時間、連続回転させない。

お知らせ

- 中央ボタンを押して中央に戻っている途中で回転を止めたいときは、［左］［中央］［右］のいずれかのボタンを一回押してください。
- お子様のいたずら防止などのため、オートターンを使えなくすることができます。また、向きを変えたまま電源を切ったとき（主電源は「入」）、自動で中央に戻るように設定することができます。
  くわしくは P.175 をご覧ください。
- オートターンを使わずに、手で回転することもできます。
- 左右で回転音に差が生じることがあります。
- 本機が中央位置のときに中央ボタンを押すと、中央位置検出のため、わずかに回転しますが、異常ではありません。また、わずかに中央を過ぎることがあります。電源オフ時に中央に戻る設定となっている場合も同様です。

他の機器の映像を見る（入力切換）

他の機器との接続方法については、 P.31～35 をご覧ください。

例：ビデオ1に接続したビデオの映像を見る場合 P.31

1 本機とビデオの電源を入れる

2 入力切換 を押して、「ビデオ1」に切り換える

入力切換 を押すごとに次のように切り換わります。

決定 で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

本体側面の入力切換ボタンでも切り換わります。

- 視聴しない放送波を無効にすることができます。 P.188

3 ビデオの再生をする

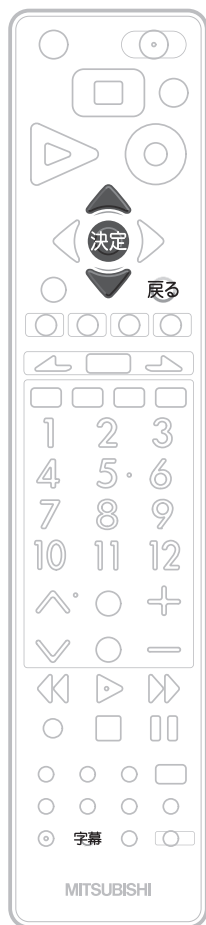
お知らせ

- 「入力スキップ設定」 P.174 によりすべての入力は、スキップする（飛ばす）ことができます。
- お買い上げ時、側面端子とビデオ1は、ケーブルを接続しない場合、自動でスキップします。ケーブルが接続されていない入力を選択できるようにするには、「入力スキップ設定」 P.174 で「しない」に設定してください。
- HDMI1、HDMI2、i.LINKをスキップするには、「入力スキップ設定」 P.174 で「する」に設定してください。
- 本機のi.LINK（TS）端子に接続できる機器は、CATVのセットトップボックス1台だけです。デジタルビデオカメラなどのi.LINK（DV）対応機器や、D-VHSビデオなどのi.LINK対応機器とは、接続しても動作しません。

お願い！

ビデオなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕や文字スーパーが表示できるようになっています。
本機では、字幕や文字スーパーの表示／非表示や言語を設定できます。

字幕があるデジタル放送の番組を見ているときに

字幕 を押す

- 字幕が表示できるかどうかは、次の方法で確認できます。
  - 「サブメニュー」→「番組内容を表示する」を選ぶ
    字幕表示できる番組では、番組内容画面に 字幕 マークが表示されます。

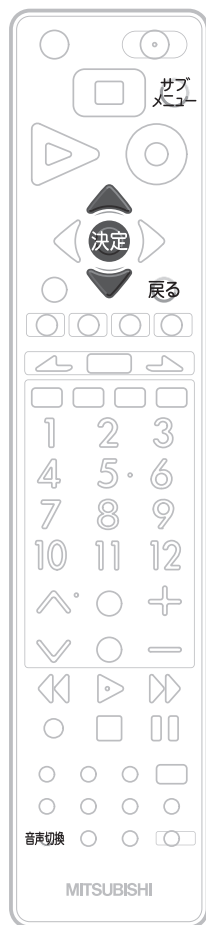
くり返し押して「日本語」または「英語」を選ぶと字幕が表示されます。
押すごとに次のように切り換わります。

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

「日本語」……… 番組の日本語の字幕を表示します。
「英語」………… 番組の英語の字幕を表示します。
「オフ」………… 字幕や文字スーパーを表示しません。

お知らせ

- 英語の字幕が放送にないときは、「英語」を選択しても字幕は表示されません。
- 一発録画 P.84 中や番組ポーズ P.53 した番組の再生中は、再生設定によります。 P.164
- BD/DVDの場合は P.165 もご覧ください。

視聴中の番組の音声を切り換える(音声切換)/「サラウンド」で聞く

視聴中の番組の音声を切り換える(音声切換)

複数の音声がある番組を見ているときは、視聴中に音声を切り換えることができます。

複数の音声がある番組を見ているときに

 を押す

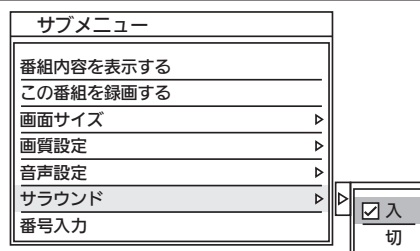
押すごとに音声が切り換わります。

お知らせ

P.162「音声設定」→「光音声出力設定」→「Dolby Digital」を「ビットストリーム」に設定してDolby Digitalの二重音声を再生しているときは、デジタル音声(光)出力端子から出力している音声を、本機の「音声切換」操作で切り換えることはできません。この場合は、「光音声出力設定」を「PCM」にするか、アンプ側で切り換えてください。

「サラウンド」で聞く

サラウンドを「入」にすると、音声の奥行き感や広がり感が強調されます。音楽番組やスポーツ中継などに適しています。

1. サブメニュー を押す
2. ▲ ▼ で「サラウンド」を選び、決定 を押す
3. ▲ ▼ で「入」を選ぶ
4. 戻る を押す

2.0ch音源でも包み込むようなサラウンド感覚で楽しめます。センター定位がしっかりした自然なサラウンド感です。

お知らせ

- サラウンドを「入」に設定すると、音が大きくなるように感じることがあります。
- モノラル音声や二重音声を左右同じ音で聞いているときには効果がありません。
- 「サブメニュー」→「音声設定」→「サラウンド」でも設定を切り換えることができます。音声設定については P.156 をご覧ください。
- ヘッドホン使用時にこの機能はありません。

番組表(Gガイド)を見る

番組表を表示して、録画予約(簡単予約・詳細予約) P.85 ～ 87 をしたり、見たい番組を選ぶことができます。
番組表は、最大8日分まで表示できます。

番組表(Gガイド)について

番組表（G ガイド）の見かた

(例) 1画面の表示チャンネル数が、5チャンネル表示のとき

- 番組表から録画予約した番組には「 予 」が表示されます。(毎週/毎日録画の番組の場合は、1回目の予約にだけ表示されます。)
- 番組情報のジャンル情報によって、代表的な4つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ)の番組は色分け表示されます。
- 番組表の表示対象は サブメニュー で、次の中から選べます。 P.50
  「設定チャンネル」(チャンネル設定で設定されているPo1 ～ 36チャンネルだけ)、「テレビ」、「ラジオ」、「データ」、「すべて」
- 番組表を表示中に 黄 を押すと、選んでいる番組の詳しい情報(番組内容)を見ることができます。 P.52
- P.161 の「音声設定」画面の「読み上げ設定」–「自動読み上げ」を「入」に設定していると、選択中の番組内容の一部を読み上げます。(複数の読みかたや特殊な読みかたをする場合、本来の読みかたと異なる読みをすることがあります。)

番組表の表示について

● お買上げ後、すぐには番組表を表示できません。
らくらく設定(チャンネル設定)を済ませていないと、番組データが受信できないため、番組表を表示できません。

● それぞれのデジタル放送を受信できる環境であれば、各放送局から送信される番組表を表示できます。

- 現在視聴中の放送の番組表が表示されます。
- 地上デジタル放送では、放送局ごとに番組情報を送信します。受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、◀▶ でその放送局を選択し(青色にする)、決定 を押してください。
- BS・110度CS放送では、どの放送局を選局してもすべての放送局の番組情報を表示します。
- 番組表を表示中に、サブメニューの「番組データ取得」から取得して表示することもできます。 P.50
- 番組表の内容が表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

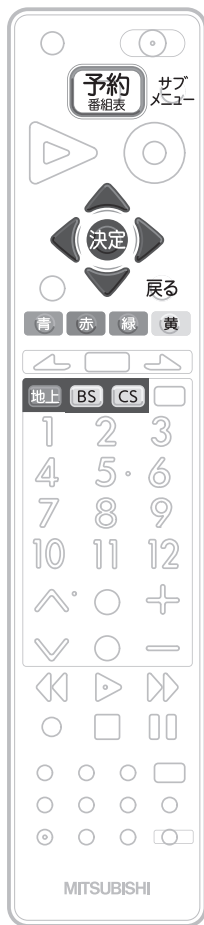
● ケーブルテレビ(CATV)は、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できないことがあります。
ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。

番組データの受信（取得）について

● Gガイドによる番組内容情報や番組検索のための番組データは、番組データの受信時刻に本機の電源が切のときに受信(取得)できます。
主電源を切らずに、通電状態にしておいてください。

- 番組データの受信時刻は、放送ごとに異なります。
  放送ごとの受信開始時刻を確認したいときは、 P.182 をご覧ください。
- ダウンロード更新(オンエアーダウンロード)と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。

お知らせ

- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が変更され、番組表の内容と異なることがあります。
- 本機は、番組表の表示機能にGガイドを採用しています。なお、当社はGガイドを利用した番組表のサービス内容については、関与しておりません。

放送中の番組を番組表から選んで見る

1 予約/番組表 を押して番組表を表示する

2 ◀▶ で現在放送中の視聴したい番組を選ぶ

- 選ばれた番組は青色で表示されます。

■ 別の放送の種類の番組表を見るときは

地上 BS CS を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

- 別の日の番組表を見るときは、青 を押して「日付選択」画面を表示し、▲▼ で日付を選んで 決定 を押します。（現在放送中以外の番組は、視聴できません。）

3 決定 を押して、番組内容画面を表示する

- 現在放送中以外の番組を選んで 決定 を押した場合は、簡単予約 P.85 になります。

4 ◀▶ で「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

- その番組の画面に変わります。

- 「今すぐ見る」は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

番組表の表示内容を変更するときは

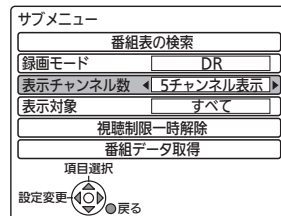
1 番組表を表示中に、サブメニュー を押す

- 「サブメニュー」画面が表示されます。

2 ▲▼ で設定を変更したい項目を選び、◀▶ で設定を変更する

「表示チャンネル数」‥‥ 番組表の1画面に表示されるチャンネル数

「表示対象」‥‥‥‥‥‥ 番組表に表示される対象
「設定チャンネル」（チャンネル設定で設定されているPo1～36チャンネルだけ）、「テレビ」、「ラジオ」、「データ」、「すべて」

3 変更が終わったら
戻る を押し、番組表に戻す

選択した放送局の番組情報を取得するときは

① 番組表を表示中に、サブメニュー を押す
- 「サブメニュー」画面が表示されます。

② ▲▼ で「番組データ取得」を選び、決定 を押す
- 表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

見たい番組を検索する

ジャンル検索、キーワード検索、人名検索、トピックス

1 番組表を表示中に、サブメニュー を押す

- 「サブメニュー」画面が表示されます。

2 「番組表の検索」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

サブメニュー
番組表の検索
録画モード　DR
表示チャンネル数　5チャンネル表示
表示対象　すべて
視聴制限一時解除
番組データ取得
項目選択　決定　戻る

3 ▲▼ で検索方法を選び、決定 を押す

- 検索項目が表示されます。

4 ▲▼ で希望の項目を選び、決定 を押す

- この操作をくり返し、検索したい項目を絞り込みます。
- 絞り込みが終わると、受信できるすべての放送の検索結果画面が表示されます。

5 検索結果が表示されたら
▲▼ で見たい番組を選び、決定 を押す

- 番組内容画面が表示されます。

■ 特定の放送の検索結果だけを見るときは

地上 BS CS を押します。

- すべての放送の結果に戻すときは
  - ① サブメニュー を押し、サブメニュー画面を表示する
  - ② ▲▼ で「放送種別」を選ぶ
  - ③ ◀▶ で「全放送」を選ぶ
  - ④ 戻る を押す

■ 検索結果が2ページ以上あるときは

緑（前ページ）、黄（次ページ）を押します。

■ 別の日の検索結果を見るときは

青（前日の番組）、赤（翌日の番組）を押します。

6 ◀▶ で「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

- その番組の画面に変わります。
- 「今すぐ見る」は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

フリーワード検索

1 左記の手順**3**のときに、「フリーワード検索」を選び、決定 を押す

2 フリーワードを登録する

① 緑 を押す

②「フリーワード」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

③ 文字を入力する P.123

④ 文字入力が終わったら、決定 を押す

⑤ ◀▶ で「登録」を選び、決定 を押す

- 複数のフリーワードを登録する場合は、手順①～⑤をくり返します。（最大5件まで）
- 登録したフリーワードを変更するときは
  - ① ▲▼ でフリーワードを選び、決定 を押す
  - ② ▲▼ で「フリーワード編集」を選び、決定 を押す
  - ③ 上の手順②～④を行い、文字を変更して登録する
- 登録したフリーワードを削除するときは
  - ① ▲▼ でフリーワードを選び、黄 を押す
  - ② ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す
- 検索する放送の種類を変更するときは、赤 を押したあと、検索したい放送を「入」にし、決定 を押します。

3 青 を押す

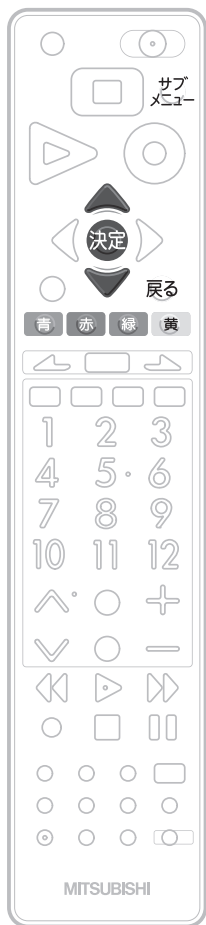
- 検索結果画面が表示されます。
- 複数のフリーワードを登録している場合は、1つでも条件を満たす番組を検索します。

4 検索結果が表示されたら
左記の手順**5**、**6**を行う

お知らせ

- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- フリーワード検索で英数の文字入力をした場合、半角文字で登録されますが、検索は全角文字と半角文字を区別せずに行います。
- フリーワード検索の検索条件は、「フリーワード」以外に「ジャンル」、「出演者」で検索することもできます。（最大5件まで）
- フリーワード検索で複数の検索条件を登録して検索した場合は、1つでも条件を満たす番組を検索します。
- 「ジャンル検索」、「人名検索」で検索した場合とフリーワード検索の「ジャンル」、「出演者」で検索した場合では、検索結果が異なることがあります。

番組の詳しい情報(番組内容)を見る

視聴中の番組の内容や、番組表を表示中に選んでいる番組の内容を確認することができます。

番組の詳しい情報を見る(番組内容)

番組を視聴中のとき

1 サブメニュー を押して、「サブメニュー」画面を表示する

2 ▲▼ で「番組内容を表示する」を選び、決定 を押す

- 視聴中の番組内容画面が表示されます。

■ 番組内容画面を消すときは

番組内容画面を表示中に、戻る を押します。

番組表を表示中のとき

黄 を押す

- 選んでいる番組の番組内容画面が表示されます。

■ 番組の属性(番組の種類、映像、音声、ジャンル、信号情報、視聴制限など)を確認するときは

番組内容画面を表示中に、赤 を押します。

番組内容画面に戻すときは、青 を押します。

■ 関連情報を確認するときは

番組内容画面を表示中に、緑 を押します。

番組内容画面に戻すときは、戻る を押します。

■ 番組内容画面を消すときは

番組内容画面を表示中に、戻る を押します。

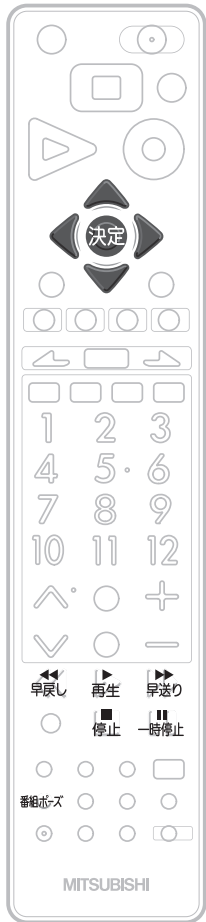
お知らせ

- P.161 の「音声設定」画面の「読み上げ設定」−「自動読み上げ」を「入」に設定していると、表示中の番組内容の一部を読み上げます。(複数の読みかたや特殊な読みかたをする場合、本来の読みかたと異なる読みをすることがあります。)

番組内容画面のマークについて

- テレビ：テレビ放送の番組
- データ：データ放送の番組
- +d テレビ：テレビ放送と連動したデータ放送がある番組
- d テレビ：テレビ放送とは別のデータ放送がある番組
- ラジオ：ラジオ放送の番組
- +d ラジオ：ラジオ放送と連動したデータ放送がある番組
- d ラジオ：ラジオ放送とは別のデータ放送がある番組
- ステレオ：ステレオ音声の番組
- モノラル：モノラル音声の番組
- 主+副：二重音声放送で「主+副」音声の番組
- サラウンド：5.1chなどのサラウンド音声の番組
- 信号：マルチ番組(映像や音声などが複数あり、切り換えできる番組)
- デジタル COPY 制限 ：「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」(コピー9回+ムーブ1回)番組(デジタル放送)
- デジタル COPY ×：「録画禁止」番組(デジタル放送)
- アナログ 出力 ×：映像/S映像/D映像、音声などのアナログ出力端子から映像・音声が出力されない番組
- 16:9 1080i：番組の映像信号情報 上：画面の縦横比 下：信号方式
- 字幕：字幕がある番組
- 4才〜：視聴制限がある番組

番組ポーズ機能を使う

視聴中のデジタル放送の番組の画面を一時停止しておいて、あとからその続きを見られる機能です。
急な来客などでテレビの前から離れるときに便利です。

番組ポーズは録画機能を使用しますが、一時的なものです。残したい番組は一発録画をご利用ください。

※録画モードはDRです。

録画モードについては P.72 をご覧ください。

1 番組ポーズ を押す

- 画面に「番組ポーズ準備中」と表示されます。その後、「ポーズ中　続きを見るには、番組ポーズボタンを押してください。」と表示され、静止画になります。同時に本体へ録画を開始します。（この録画は一時的なものです。）
- 番組が終了すると、自動的に録画が終了します。

2 番組の続きを視聴するときは

もう一度 番組ポーズ を押す

- 静止画が解除され、再生を始めます。
- 番組終了前の場合、録画を始めた位置からの追っかけ再生になります。追っかけ再生については、 P.111 をご覧ください。
- 番組終了後の場合、録画を始めた位置からの通常再生になります。
- 通常の再生や追っかけ再生と同様に、早送り/早戻しや一時停止、音声切換などの操作ができます。

■ 番組の続きを最後まで視聴すると、

- 一時的に本体に録画されていた番組が消去されます。

■ 番組の続きを視聴中に、停止 を押すと、

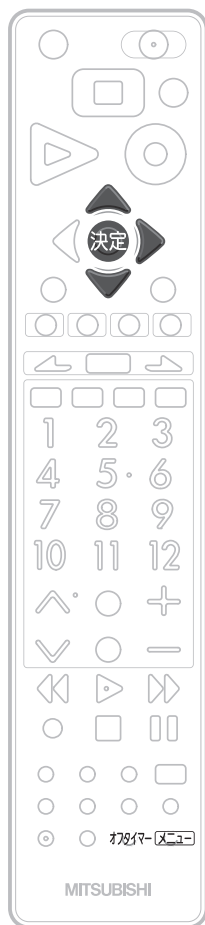
- 画面に「番組ポーズの再生を終了しますか？」と表示されます。
  - ・終了するときは ◀ ▶ で「はい」を選んで決定ボタンを押してください。一時的に本体に録画されていた番組が消去されます。
  - ・引き続き視聴するときは ◀ ▶ で「いいえ」を選んで決定ボタンを押してください。

■ 番組の続きを視聴中に、チャンネル切換や入力切換の操作を行うと、

- 再生が中止され、一時的に録画されていた番組が消去されます。

お知らせ

- 番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。購入直後などは本機の番組表が利用できるように番組データを受信してからご使用ください。P.50
- 次のような場合は、番組ポーズ機能は使えません。
  - ・メニュー表示中 P.142
  - ・らくらく設定中 P.37
  - ・録画中
- 番組ポーズ中（静止画中、再生中）に予約録画が始まると、番組ポーズは解除されます。
- 番組ポーズ終了後すぐは録画された番組を消去するため、見るボタンなどの機能が動かないことがあります。

画面だけを消す(消画)/自動的に電源を切る(オフタイマー)

画面だけを消す(消画)

何かをしながらテレビを見るときなど、音声を聞ければいいというときは、消画にすると電力の節約にもなります。

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」 P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「消画」を選び、決定 を押す

画面だけが消えます。

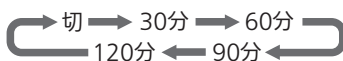
■ 画面を戻したいときは

電源以外の、何かボタンを押す

消画が解除されますが、押したボタンの動作はしません。

自動的に電源を切る(オフタイマー)

 を押す

ボタンを離したところの時間が設定されます。
押すごとに次のように切り換わります。

 で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

約3秒後に表示が消え、オフタイマーがスタートします。

■ オフタイマーを取消したいときは

オフタイマー「切」が選択されるまで オフタイマー を押す

■ 設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは

オフタイマー を1回押す

2回以上押すとオフタイマーが設定し直されます。

■ 電源が切れる1分前になると

「オフタイマー　1分前」の表示が出ます。

引き続き見るときは、「いいえ」が選ばれている状態で決定を押してください。

お知らせ

●「メニュー」→「テレビ操作」→「オフタイマー」でも設定することができます。
　メニューについては、 P.142 をご覧ください。

●オンタイマーについては、 P.55 をご覧ください。

自動的に電源を入れる（オンタイマー〈目覚まし〉）

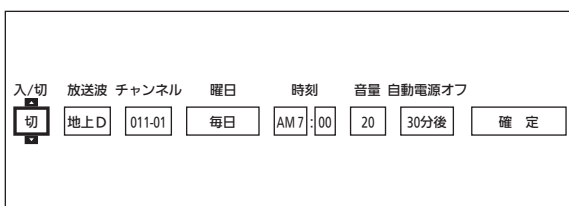
自動的に本機の電源を入れることができます。
また、オンタイマーを使う曜日と時刻や、電源が入ったときに選ばれるチャンネルと音量を設定できます。

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「オンタイマー」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

- チャンネル、曜日、時刻、音量など、オンタイマーの内容を変更する場合は、手順5へ進みます。
- オンタイマーの内容に変更がない場合は、手順10へ進みます。
- オンタイマーを使わない場合は、▲▼ で「切」を選び、手順10へ進みます。
- 「切」では手順5～9の内容を変更することができません。

5 放送波とチャンネルを選ぶ

① ▶ でカーソルを「放送波」へ動かし、
▲ ▼ で放送波を選ぶ

- 放送波無効設定 P.188 されている放送波は選べません。

② ▶ でカーソルを「チャンネル」へ動かし、
▲ ▼ でチャンネルを選ぶ

6 オンタイマーを使う曜日を選ぶ

▶ でカーソルを「曜日」へ動かし、
▲ ▼ でオンタイマーを使う曜日を選ぶ

- 工場出荷時は「毎日」が選ばれています。

7 電源「入」にする時刻を選ぶ

▶ でカーソルを「時刻」へ動かし、
▲ ▼ ▶ で時刻を選ぶ

- 工場出荷時は「AM7時00分」が選ばれています。
- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせます。

8 音量を選ぶ

▶ でカーソルを「音量」へ動かし、
▲ ▼ で音量を選ぶ

- 工場出荷時は、オンタイマー画面を表示したときの音量が選ばれています。

9 自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

オンタイマーで電源「入」になったあとは、安全のため、自動でオフタイマー P.54 が設定された状態になります。
電源「入」になってから何分後に自動で電源「切」にするかを設定してください。

▶ でカーソルを「自動電源オフ」へ動かし、
▲ ▼ で自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

- 工場出荷時は「30分後」が選ばれています。

〈オンタイマーで電源「入」になったあとの「自動電源オフ」の解除のしかた〉

オフタイマーを使います。 P.54

① オフタイマー を押す

② オフタイマー をくり返し押して「切」を選ぶ

または、▲ ▼ で「切」を選び、決定 を押す

10 ▶ で「確定」を選び、決定 を押す

お知らせ

- オンタイマーを設定後は、主電源（本体右側面）を切らないでください。電源を切るときは電源ボタン（リモコンまたは本体左側面）を押してください。
- オンタイマーで電源が入ったあとは、手順9で設定された時間を経過すると、自動的に電源が切れます。
- オンタイマーを利用されるときは、主電源を「入」にしてください。
- 予約録画が同じ時刻に2番組あるとき、その2分以内にオンタイマーの開始時刻が設定されていると録画が優先されます。3分以上あけて設定してください。
- 2番組録画中は、録画中のチャンネルが表示されます。

省エネ効果を確認する（ECOモニター）

ECOモニター画面では、ECOメーターで省エネ効果の確認をしたり、ご使用を開始されてからの電力・CO_2排出の削減量や電気代の節約量を確認することができます。省エネの目安として参考にしてください。
また、リセットできますので、月々の節約量をチェックする、といった使いかたもできます。
電力単価、CO_2排出原単位はご契約の電力会社に合わせて設定を変更することができます。

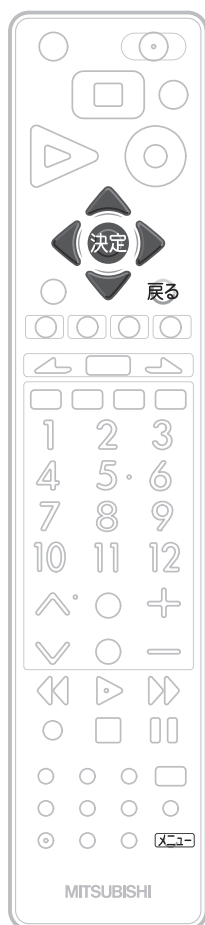
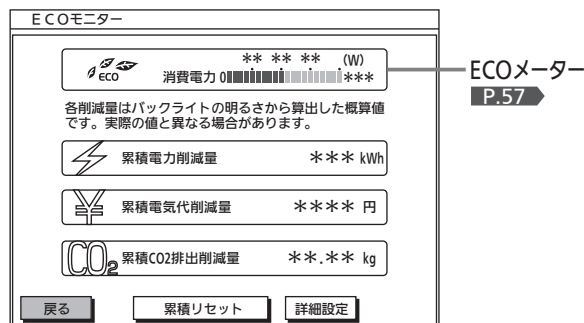
お知らせ

- 電力・CO_2排出の削減量や電気代の節約量は目安として表示します。
- 電気代は消費電力と電気代の単価を元に算出していますが、電気代の単価は電力会社の契約によって異なります。
  ご契約の電気代の単価については、電力会社にご確認ください。
  本機に設定されている電気代の単価を変更する場合は、手順9「電力単価」で変更してください。
- CO_2排出量は消費電力とCO_2排出原単位を元に算出していますが、CO_2排出原単位は電力会社によって異なります。
  CO_2排出原単位については、ご契約の電力会社にご確認ください。
  本機に設定されているCO_2排出原単位を変更する場合は、P.57 手順10「CO_2排出原単位」で変更してください。

1 メニュー を押す

- 「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「ECOモニター」を選び、決定 を押す

4 内容を確認する

- 累積値をリセットする場合は、手順5へ進みます。
- 電力会社との契約内容にあわせて電気代の単価やCO_2排出原単位を変更する場合は、手順7へ進みます。
- そのまま終了する場合は、メニュー を押します。
- 各累積値が表示されない(「－－－」になっている)場合は、ECO画質設定にすると表示されるようになります。ECO画質設定にするには、◀ ▶ で「ECO画質設定へ」を選び、決定を押すとECO画質設定画面が表示されますので設定を変更してください。ECO画質設定については P.192 をご覧ください。

累積値をリセットする場合

5 ◀ ▶ で「累積リセット」を選び、決定 を押す

6 ◀ ▶ 「はい」を選び、決定 を押す

累積値がリセットされ、手順4の画面に戻ります。

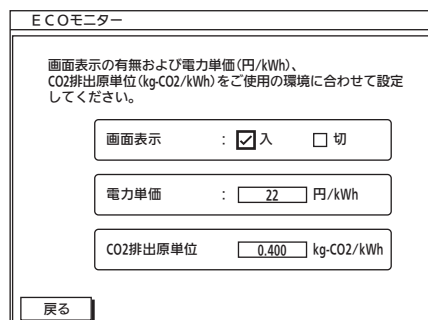
画面表示の有無と、電力単価やCO_2排出原単位を変更する場合

7 ◀ ▶ で「詳細設定」を選び、決定 を押す

8 画面表示の有無を設定する

画面表示 P.44 にECOメーターを表示するかどうかを設定します。

① ◀ ▶ で「入」または「切」を選び、決定 を押す

- 「入」にすると、画面表示を出したときにECOメーターが表示されます。

次ページへつづく

9 電気代の単価を変更する

① ▼ で「電力単価」を選び、決定を押す

② ▲ ▼ で1時間あたりの電気料金を選び、決定を押す

- 工場出荷時は「22円/kWh」に設定されています。

10 CO_2排出原単位を変更する

① ▼ で「CO_2排出原単位」を選び、決定を押す

② ▲ ▼ でCO_2排出原単位を選び、決定を押す

- 工場出荷時は「0.400kg/kWh」に設定されています。

11 メニュー を押す

お知らせ

- 累積電力削減量は、バックライトでの消費電力削減量の累積です。ECOメーターの葉っぱマークが現れている間（省エネ効果のある設定*になっている間）、削減された電力を加算していきます。
  バックライトでの消費電力削減量は、工場出荷設定のまま（最もバックライトが明るい状態）のバックライトでの消費電力から、
  ・省エネ効果のある設定*にする
  ことによりバックライトの明るさを抑えたときのバックライトでの消費電力を引いたものです。
  ＊：省エネ効果のある設定とは、「明るさセンサー」、「視聴者設定」が「切」以外の設定をいいます。 P.152
  省エネ効果のある設定中では、
  ・「バックライト」 P.150 を調整する（映像モードを切り換えても「バックライト」の値は変わります）
  ことによるバックライトでの消費電力削減量も加算されます。
- ECOモニター表示内容の一例として、平成20年度改正省エネ法に定める液晶テレビの年間消費電力量測定における「節電機能による低減消費電力」の測定条件で、1日4.5時間、1年間使用時に「ECO画質設定」 P.192 を行った場合、ECOモニター表示値は次のようになります。
  〈例：26V型の場合〉
  ［消費電力の削減量 約19 W（＝約65 W－約46 W P.192）×4.5 h×365≒31 kWh］
  累積電力削減量　約31 kWh
  累積電気代削減量　約682 円（電力単価＝22 円/kWh）
  累積CO_2排出削減量　約12.40 kg（排出原単位＝0.4 kg/kWh）
- 累積電力削減量は、バックライトの明るさからの算出値です。実際のテレビ全体の消費電力の差分と数値は異なります。
- 表示される電気代は、計量法で定められた算出方法とは異なるため、公的な取引に用いることはできません。

ECOメーターについて

この表示をECOメーターといいます。

ECO　消費電力 0 ** ** ** (W) ***

※目盛は機種によって異なります。

葉っぱマーク

お部屋の明るさや見る人に合わせて画面の明るさをコントロールする「明るさセンサー」と「視聴者設定」で、省エネ効果がより高い状態になると葉っぱの枚数が増えます。

省エネ効果のある設定でテレビをご覧になるには、メニューから「ECO画質設定」 P.192 を行うと簡単に設定することができますが、次のような設定を行った場合もECOメーターが表示されます。

- 「明るさセンサー」を「弱」「中」「強」のいずれかに設定する。 P.152
- 「視聴者設定」を「標準」「ジュニア」「シニア」のいずれかに設定する。 P.152

葉っぱの数は、設定により以下のように変わります。
1枚は「明るさセンサー」＝「弱」で「視聴者設定」＝「切」のとき
　または「明るさセンサー」＝「切」で「視聴者設定」＝「切」以外のとき
2枚は「明るさセンサー」＝「弱」で「視聴者設定」＝「切」以外のとき
　または「明るさセンサー」＝「中」で「視聴者設定」＝「切」のとき
3枚は「明るさセンサー」＝「強」で「視聴者設定」＝「切」のとき
　または「明るさセンサー」＝「中」または「強」で「視聴者設定」＝「切」以外のとき

- 「明るさセンサー」を「切」以外に設定すると、
  …お部屋の明るさをセンサーが検知し、暗くなると画面の明るさを自動的に抑えるので、バックライトでの消費電力が少なくなる省エネ効果があります。
- 「視聴者設定」を「切」以外に設定すると、
  …画面全体の明るさを検出し、視聴者の目の特性に合わせて明るすぎないように画面の明るさを自動的に抑えるので、バックライトでの消費電力が少なくなる省エネ効果があります。

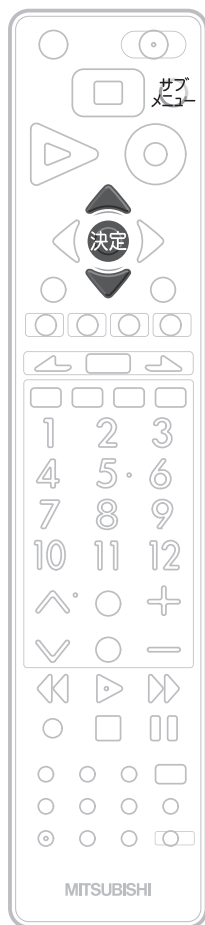
消費電力値

現在の消費電力の目安をバーグラフで表示します。

お知らせ

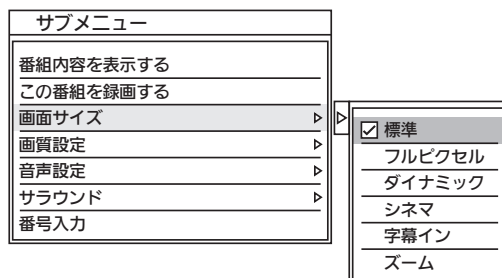
消費電力値はテレビ機能のみからの算出値で、使用状況、個体差などの条件により、実際と異なります。

画面サイズを選ぶ

映像に合わせた画面サイズを選べます。
選べる画面サイズは、見ている番組や放送の種類によって異なります。

1 サブメニュー を押す

2 ▲ ▼ で「画面サイズ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で項目を選び、決定 を押す

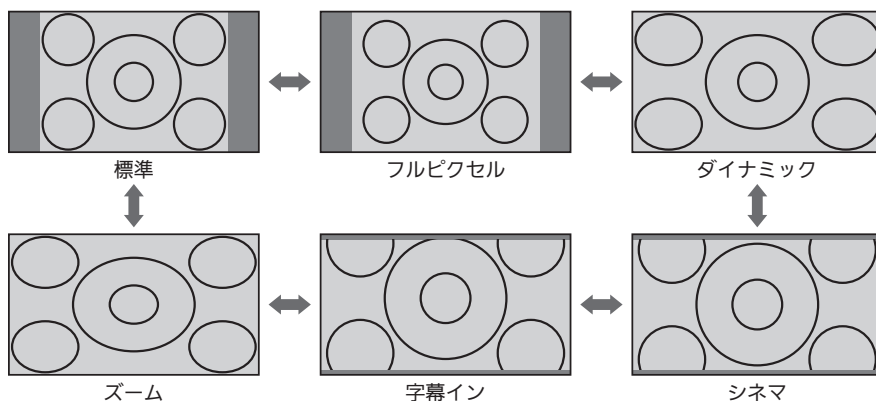
切り換わる画面サイズの種類は、標準映像とハイビジョン映像とで異なります。

ビデオ、DVDなどの場合

標準映像（480i、480p）

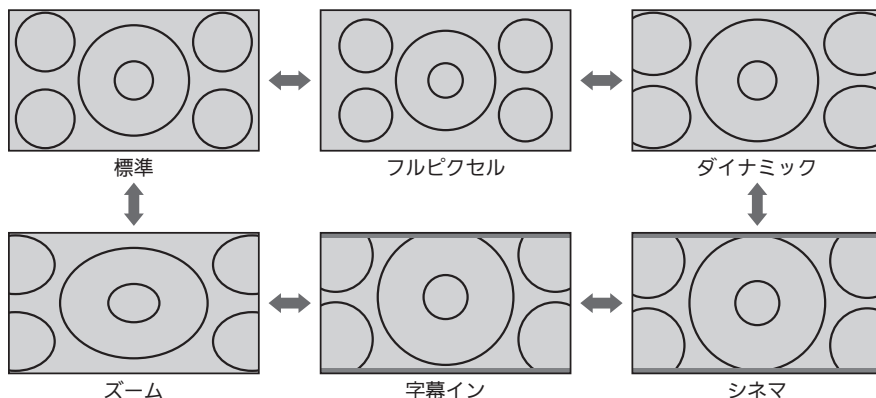
▼ ▲ で項目を選ぶごとに次のように切り換わります。
各画面サイズの特徴は次ページをご覧ください。

ハイビジョン番組、ブルーレイディスクプレーヤーなどの場合

ハイビジョン映像（1080i、1080p）

▼ ▲ で項目を選ぶごとに次のように切り換わります。
各画面サイズの特徴は次ページをご覧ください。

■ 720pのハイビジョン映像の場合

自動的に「標準」になります。
他の画面サイズは選べません。

お願い!

- 本機は、各種の画面サイズ切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるサイズを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切換機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- S2映像入力端子にS1またはS2対応のビデオなどをつないで映像を見るときは、自動的に次のように切り換わります。
  - ・16:9の映像 ⟶「ズーム」(画面の横と縦の比が16:9の映像)
  - ・劇場サイズの映像 ⟶「シネマ」(S2対応のとき)
- 見ている映像によっては、映像の上下が画面の外にはみ出したり、映像が画面の中央からずれていることがあります。このようなとき、映像を上下に移動させることができます。P.155
- デジタル放送の視聴中に予約が始まると、見ているサイズにより画面サイズが切り換わることがあります。
- 番組やビデオソフトにより、画面の端に欠けや映像以外の輝点などが見えることがあります。

画面サイズについて

標準(480i、480p)

4:3の画面サイズで見る

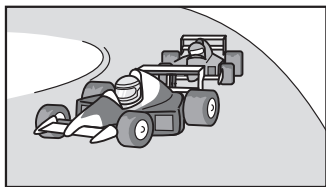
横と縦の比が4:3の映像に切り換わります。

フルピクセル

ハイビジョン番組やDVDなどのスクイーズ16:9映像をすべて画面内に表示して見る

画面からはみ出した部分がなく、映像信号を全て画面内に表示します。ハイビジョン映像(1080i、1080p)では、画素変換を行わないので入力信号そのままの映像となります。

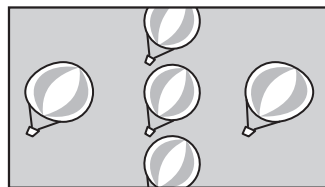
- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。

この画面サイズでは「垂直位置調整」P.155の操作はできますが無効です。

ダイナミック/ズーム

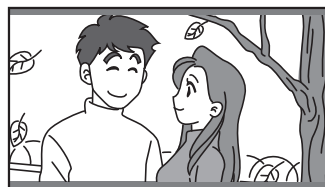
4:3の映像を画面いっぱいにして見る

4:3映像で左右の黒帯や固定画面が気になるときにも使います。画面左右を拡大して表示します。

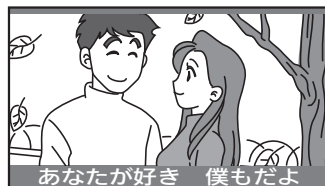
ダイナミックのとき
- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

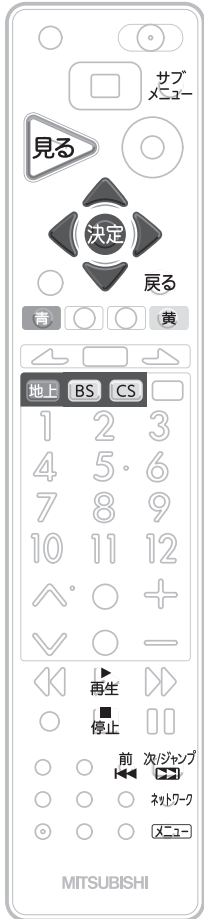
ズームのとき
- 画面が水平に均一に広がります。

シネマ

劇場サイズの映画・ビデオを見る

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見ることができます。
- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。

字幕イン

字幕付劇場サイズの映画・ビデオを見る

字幕の部分を縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

「ネットワーク」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、役立つ情報や映画などの映像をテレビで見ることができます。
本機では「アクトビラ」「TSUTAYA TV」をお楽しみいただけます。
ネットワークの利用には料金はかかりません(一部有料のサービスもあります)。ただし、回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金は別途必要です。

ネットワークを利用するために必要な接続と設定

本機でネットワークを利用するためには、ブロードバンド環境(ADSL、FTTH、CATVなど)が必要です。

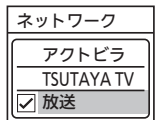
P.29 ~ 30 で本機をネットワークと接続したあと、P.185 ~ 186 でネットワークの設定を行ってください。

- 動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。

利用するサービスを選び、専用画面を表示する

1 放送視聴中またはネットワーク利用中に、
ネットワーク を押す

- ネットワーク画面が表示されます。
- 録画中など、本体やディスクの動作中は表示されません。

2 **▲▼ で見たいネットワークを選び、決定 を押す**

■ P.173 の「ブラウザ制限」を「する」に設定している場合は

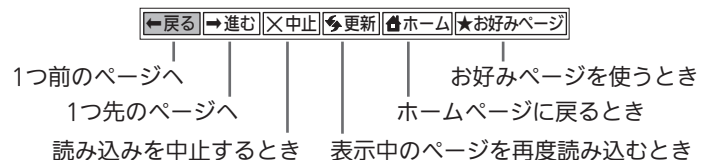
- 1 ~ 10 で暗証番号の入力が必要です。

3 「アクトビラ」のポータルサイト、または「TSUTAYA TV」のホームページが表示されたら
▲▼◀▶ で見たい項目を選び、決定 を押す

- 選択したサービスの画面が表示されます。画面に沿って操作してください。主に使用するのは ▲▼◀▶ と 決定 です。
  ここからは各サービスが提供する画面となりますので、ご不明な点等は各サービスへお問い合わせください。

■ ネット操作パネルを表示して操作するときは

① ホームページ表示中に、サブメニュー を押してネット操作パネルを表示する
② ◀▶ で希望の操作を選び、決定する

⬅戻る	➡進む	✕中止	更新	ホーム	★お好みページ
1つ前のページへ	1つ先のページへ	読み込みを中止するとき	表示中のページを再度読み込むとき	ホームページに戻るとき	お好みページを使うとき

③ ネット操作パネルの表示を消すときは、サブメニュー を押す

■「アクトビラ」のポータルサイト、または「TSUTAYA TV」のホームページに戻るときは

① ネットワーク を押して、選択画面を表示する
② 「アクトビラ」または「TSUTAYA TV」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

ネットワークを終了するとき

4 地上 BS CS のいずれかを押す

P.188 「初期設定」画面の「放送波無効設定」で「無効にする」に設定している放送波のボタンでは終了できません。

- ネットワーク で放送を選択して終了することもできます。

気に入ったホームページを登録して、あとで見る(お好みページ)

お好みページに登録する

1 ホームページを表示中に サブメニュー を押す

- ネット操作パネルが表示されます。

2 ◀▶ で「お好みページ」を選び、決定 を押す

3 青 を押す

4 内容を確認し、決定 を押す

- 表示中のホームページがお好みページに登録されます。(最大20件まで)

登録したお好みページを見る

1 上記の手順1、2を行い、お好みページを表示する

2 ▲▼ で表示したいタイトルを選び、決定 を押す

- 登録したホームページが、提供者の都合で削除されたり、アドレスが変更された場合には、表示できません。

不要なお好みページを削除する

1 上記の手順1、2を行い、お好みページを表示する

2 ▲▼ で削除したいタイトルを選ぶ

3 黄 を押す

4 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

ネットワークの閲覧制限について

本機には、ネットワークを利用するときにお子さまなどに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使ってネットワークを利用になるご家庭では、ネットワークを利用する際に暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。(設定のしかたは、P.172 ～ 173 をご覧ください。)

アクトビラ(acTVila)について

本機は、「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」「アクトビラ ビデオ・フル/ダウンロード」のコンテンツをお楽しみいただけます。

- 「アクトビラ」のサービスの内容は、予告なく変更されることがあります。
- 「アクトビラ」の最新情報は、アクトビラ公式情報サイト http://actvila.jp/ をご覧ください。(2011年2月現在)
- 「アクトビラ」の利用条件については、アクトビラ公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

TSUTAYA TVについて

視聴形式は、レンタル(ストリーミング)/レンタル(ダウンロード)/セル(動画販売)の3種類があります。

お知らせ

- ネットワークでは、テレビ向けのコンテンツを見ることができます。パソコン用のホームページなど、テレビ用に作られていないホームページには接続できません。
- ネットワーク利用中に文字入力が必要となった場合は、P.123の手順をご覧ください。
- 各サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- 初めて利用されるときや、長期間ポータルサイトを利用しなかったときは、各サービスの案内画面が表示されます。
  画面の指示に従ってお使いください。(送信される情報には、郵便番号や本機の識別IDが含まれます。)

ネットワークの動画コンテンツを本機にダウンロードする

ダウンロードするときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

ネットワークのページから動画コンテンツを購入し、本機にダウンロードすることができます。

- ネットワークの動画コンテンツを購入する方法については、それぞれのホームページに従ってください。
- 動画コンテンツ購入の課金方法は、ネットワークのページでご確認ください。

ネットワークから動画コンテンツを購入すると、本機の本体の録画一覧（⬇）画面にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードが自動的に開始されます。

- ダウンロードの進捗状況は、P.63 の録画一覧（⬇）画面でダウンロード実行中（⬇）の番組を選ぶと確認できます。

選択中の番組の静止画
(表示されない場合があります)

選択中の番組と情報（青色）
収録時間、ダウンロードの進捗状況

現在時刻　ラベル

まだ一度も見ていない
（未再生の）番組

ダウンロード日

視聴期限、
コピー可能回数

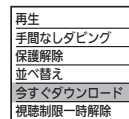
🔒：保護されている番組
⬇：ダウンロード実行中の番組
⬇：ダウンロード中断中の番組

- 本機の電源が切のときでも、ダウンロードは実行されます。
  （本体から動作音がしますが、故障ではありません。）
- 次の操作中は、ダウンロードは実行されません。
  - 録画中
  - ダビング中
  - BDビデオ再生中
  - AVCHDで記録されたディスクの再生中
  - 各動画配信サービスのホームページを表示中

  また、ダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。（ダウンロードだけを手動で中断することはできません。）
- ダウンロード後は、P.63 の録画一覧（⬇）画面で番組を選択し、視聴期限やコピー回数などを確認してください。

■ダウンロードを中断中に、ダウンロードを再開したいときは

① 録画一覧（⬇）画面を表示中に、サブメニュー を押してサブメニュー画面を表示する

② ▲▼ で「今すぐダウンロード」を選び、決定 を押す

お知らせ

- ダウンロードした番組が録画一覧（⬇）画面に表示されないときは
  P.166 の「録画・再生設定」画面の「再生設定」－「視聴制限設定」－「スカパー！ＨＤとダウンロード番組の視聴可能年齢」が「無制限」以外に設定されている場合は、表示されない番組があります。次の操作を行うと、表示させることができます。
  ① 録画一覧（⬇）画面を表示中に、サブメニュー を押してサブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼ で「視聴制限一時解除」を選び、決定する
  ③ 画面に指示に従って、1 ～ 10 を押して P.172 で設定した暗証番号を入力する
- ダウンロードに失敗したときは、内部メールでお知らせします。P.146

ダウンロードした番組を、録画一覧画面から視聴（再生）する

本体

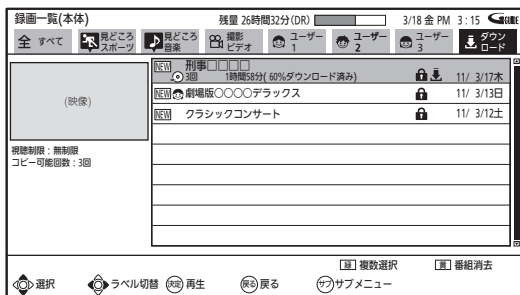
再生するときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

本機では、ダウンロードした番組を再生するときは、録画一覧（⬇）画面から再生します。

1 見る を押す

- 録画一覧（全）画面が表示されます。

■ 本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは
「録画した番組を見る」が選ばれているので、を押します。

2 ◀▶ で録画一覧（⬇）画面に切り換える

3 ▲▼ で希望の番組を選ぶ

■ 別のページを表示するときは
前、次/ジャンプ を押します。

■ 一覧画面に表示する並び順を変えたいときは
① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す
③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

- （フォルダー）がある場合に、その中の一覧を表示したいときは、P.100 をご覧ください。
- ダウンロードした番組の視聴期限やコピー回数などを確認するときは、確認したい番組を選ぶと表示されます。

4 再生 または 決定 を押して、再生を始める

- 再生が始まる位置（始めから、続きから）については、P.108 をご覧ください。
- ダウンロード中の番組を追っかけ再生 P.111 することもできます。
（視聴期限のある番組を追っかけ再生すると、再生開始時点から視聴期間が開始されますので、お気を付けください。）
- 再生中に、次の操作ができます。
（番組によっては、操作できない場合があります。）
  - 再生速度の変更 P.109
  - 見たいところまでとばす P.110
（シーン検索はできません）
  - 音声切換や字幕切換 P.112

■ 確認メッセージが表示されるときは、
画面に指示に従って、▲▼◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

■ 暗証番号の入力画面が表示されたら、
画面の指示に従って、1 ～ 10 で P.172 で設定した暗証番号を入力します。

5 再生を停止するときは 停止 を押す

- 再生を停止します。（停止位置が記憶されます。）

ダウンロードした番組を削除する

ダウンロードした番組は保護設定されていますので、削除するときは番組の保護を解除してください。

1 P.63 の手順1～3を行い、削除する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「保護解除」を選び、決定 を押す

4 不要な番組を削除する P.118･119

- 1番組だけの削除と、複数の番組の一括削除ができます。

ダウンロードした番組をBD/DVDに残す（ダビング）

本体 → BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -RW(VR) -R(AVCREC) -R(VR)

ダビングするときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

ネットワークからダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。
本機では、メニュー（または録画一覧画面）からダビングの操作を行います。

- 残す ボタンを押してもダビングはできません。
- DVD-RW/-Rにダビングする場合は、CPRM対応 P.81 のDVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)/-RW(VR)/-R(VR)にだけダビングできます。

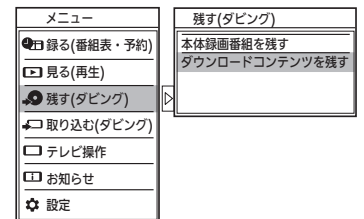
メニューから操作するとき

1 ダビングが可能なディスク（録画が可能で残量があるディスク）を入れる P.130

2 メニュー を押す

3 ▲▼ で「残す（ダビング）」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「ダウンロードコンテンツを残す」を選び、決定 を押す

- ダビング一覧画面が表示されます。

5 P.136～139 の手順3～26を行い、ダビングを始める

- 録画一覧画面から番組を追加するときは、録画一覧（⬇）画面だけから選ぶことができます。

録画一覧（⬇）画面から操作するとき

1 ダビングが可能なディスク（録画が可能で残量があるディスク）を入れる P.130

2 P.63 の手順1～3を行い、ダビングする番組を選ぶ

3 サブメニュー を押す

4 ▲▼ で「手間なしダビング」を選び、決定 を押す

- 選んだ1番組だけがダビングされます。

お知らせ

- 番組によっては、ダビングできるディスクに制限がある場合や、ダビング（コピー）回数や期限などが設定されている場合があります。番組によってダビングできるディスクに制限がある場合、ダビング（コピー）できるディスクは録画一覧（⬇）画面の番組を選んだときに表示される情報で確認することができます。
- ダビングを途中で中止したり失敗などでキャンセルされたときは、再度ダビングすることができます。ただし、キャンセルされた番組をダビングせずに違う番組をダビングすると、キャンセルされた番組のダビング回数だけが減ってしまいます。

ネットワークについての補足説明

■ 全般

- 録画予約の開始時刻になると、ネットワークは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方法・契約内容によっては、ネットワークを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、ネットワークのサービスを表示できない場合があります。
- ネットワークを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。

■ 接続

- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」をご利用の場合は映像が乱れる/途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出たり、「アクトビラ ビデオ・フル/ダウンロード」ではダウンロード途中で通信が途切れたりする場合があります。実行速度12Mbps以上のFTTH（光）での接続をおすすめします。

■ 再生、編集

- 視聴期限のある番組は、期限内に再生してください。期限を過ぎると、録画一覧画面から自動的に消去されます。
- 先行ダウンロード番組の場合は、視聴開始日時になるまで再生できません。
- ダウンロード中の番組を追っかけ再生する場合、ダウンロードが完了していない場面に追いつくと再生を終了します。
- 番組によっては、再生速度の変更や頭出しを禁止している場合があります。
- 最後に停止した番組がネットワークからダウンロードした番組の場合は、[再生]ボタンで直接再生を開始することはできません。録画一覧画面から再生してください。
- ダウンロードした番組のチャプター追加/削除、部分削除、分割などの編集はできません。

「アクトビラ」の最新情報は
アクトビラ公式情報サイト　http://actvila.jp/

「アクトビラ」に関するお問い合わせは
アクトビラ・カスタマーセンター
（10：00～19：00　水・木・年末年始以外営業（水・木が祝日の場合は営業））
TEL　：0570-09-1017
メールアドレス　：info@desk.actvila.jp
WEB・携帯　：アクトビラ公式情報サイト（http://actvila.jp/）でご確認ください。
（2011年10月現在）

「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせは
TSUTAYA TV公式情報サイトでご確認ください。
または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認いただけます。

「TSUTAYA TV」の最新情報は
TSUTAYA TV公式情報サイト　http://tsutaya-tv.jp/
（2011年2月現在）

本機で使えるメディア(ディスク・カード)

本機で録画・再生ができるディスク

本機で使えるディスクは、ここの表に載っている次のディスクだけです。

● ディスクのバージョン(Ver)が違う場合、本機では使えないことがあります。

○:できる　×:できない

メディアの種類 P.69 の「本体(内蔵HDD)、ディスクについて」もあわせてご覧ください。			本体(HDD) 本体 内蔵ハードディスク(HDD)
録画予約で直接録画 ／ 一発録画		デジタル放送	○ ／ ○
		側面端子入力	○ ／ ○
		i.LINK(TS)入力	○ ／ ○　※2
「スカパー！HD録画」			○
ダビングで録画	「1回だけ録画可能」番組　※1 「ダビング10」番組　※1		×
	「制限なしに録画可能」番組		○
くり返し録画			○
再生			○
録画一覧からの再生			○
追っかけ再生、見どころ再生			○

メディアの種類 P.69 の「本体(内蔵HDD)、ディスクについて」もあわせてご覧ください。			BD　ブルーレイディスク	
			BD-RE Blu-ray Disc BD-RE SL (片面1層) BD-RE DL (片面2層) Ver 2.1 高速記録2倍速ディスクまで	BD-R Blu-ray Disc BD-R SL、BD-R SL LTH (片面1層) BD-R DL (片面2層) Ver 1.1、1.2、1.3 高速記録6倍速ディスクまで
録画予約で直接録画 ／ 一発録画		デジタル放送	○ ／ ×	○ ／ ×
		側面端子入力	○ ／ ×	○ ／ ×
		i.LINK(TS)入力	× ／ ×	× ／ ×
「スカパー！HD録画」			×	×
ダビングで録画	「1回だけ録画可能」番組　※1 「ダビング10」番組　※1		○	○
	「制限なしに録画可能」番組		○	○
くり返し録画			○	×
再生			○	○
録画一覧からの再生			○	○
追っかけ再生、見どころ再生			×	×

○：できる　×：できない

メディアの種類

P.69 の「本体（内蔵HDD）、ディスクについて」もあわせてご覧ください。

デジタル放送をDVD-RW/DVD-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使いください。

DVD-RW/DVD-Rには録画方式が3種類（AVCREC、VR、Video）あります。P.131

		DVD デジタルビデオディスク					
		-RW DVD-RW			-R DVD-R （1層） DVD-R DL （2層）※7		
		Ver 1.1、1.2 高速記録6倍速 ディスクまで			Ver 2.0、2.1 高速記録16倍速 ディスクまで		Ver 3.0 高速記録8倍速 ディスクまで
		-RW (AVCREC) DVD-RW (AVCREC)	-RW (VR) DVD-RW (VR)	-RW (Video) DVD-RW (Video)	-R (AVCREC) DVD-R (AVCREC)	-R (VR) DVD-R (VR)	-R (Video) DVD-R (Video)
録画予約で直接録画 ／ 一発録画		×／×	×／×	×／×	×／×	×／×	×／×
「スカパー！HD録画」		×	×	×	×	×	×
ダビングで録画	「1回だけ録画可能」番組 ※1 「ダビング10」番組 ※1	○ ※3	○※3 （標準画質）	×	○ ※3	○※3 （標準画質）	×
	「制限なしに録画可能」番組	○ ※4	○	○ ※5	○ ※4	○	○※5
くり返し録画 ※6		○	○	○	×	×	×
再生		○	○	○ ※5	○	○	○※5
録画一覧からの再生		○	○	× ※5	○	○	× ※5
追っかけ再生、見どころ再生		×	×	×	×	×	×

※1　デジタル放送をダビングする場合、「コピー」、「ムーブ（移動）」のどちらになるかについては、P.81 をご覧ください。
- ケーブルテレビ（CATV）、スカパー！HD、スカパー！e2、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。

※2　i.LINK（TS）入力から録画予約する場合は、ケーブルテレビのi.LINK（TS）対応セットトップボックス側で予約の設定をします。（本機側では予約の設定は行いません。）

※3　DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）には録画モードAF ～ AEでのみ、DVD-RW（VR）/-R（VR）には録画モードXP ～ EPでのみダビングできます。P.73

※4　側面端子入力から本体に録画された番組（録画モードXP ～ EP）は、ダビングできません。

※5　DVD-RW（Video）/DVD-R（Video）にダビングしたときは、ダビングを終了後、自動的にファイナライズ P.128 が行われます。本書では、ファイナライズされたDVD-RW（Video）/DVD-R（Video）は P.68 の DVDビデオ として扱います。

※6　ファイナライズされたDVD-RW（AVCREC）/-RW（Video）に録画できるようにする場合は、初期化（再フォーマット）P.194 を行ってください。（ただし、初期化を行うと録画内容は消去されます。）

※7　DVD-R DL（2層）ディスクの場合、本機ではDVD-R（AVCREC）にだけダビングできます。

＋RW/＋R、DVD-RAM、BDXLについては、本機では対応していません。

推奨ディスクについて

本機の性能を充分に発揮するため、次のメーカー製ディスクの使用をおすすめします。（2011年2月現在）
ただし、推奨メーカー製のディスクであっても、動作を保証するものではありません。

- BD-RE・・・・・・・ SL（1層）　：パナソニック、三菱化学メディア、ビクター・JVC、ソニー、TDK
  DL（2層）　：パナソニック、三菱化学メディア、ソニー
- BD-R ・・・・・・・・ SL（1層）　：パナソニック、三菱化学メディア、ビクター・JVC、ソニー、TDK、That's
  DL（2層）　：パナソニック、三菱化学メディア、ビクター・JVC、TDK
- DVD-RW ・・・・・・・・・・・・・ ：［2倍速］三菱化学メディア、ビクター・JVC　［4倍速］三菱化学メディア、ビクター・JVC
  ［6倍速］ビクター・JVC
- DVD-R ・・・・・・ SL（1層）　：［8倍速］三菱化学メディア、ソニー、That's　［16倍速］三菱化学メディア、ソニー、That's
  DL（2層）　：［8倍速］三菱化学メディア

本機で再生だけができるディスク

本機で使えるディスクは、ここの表に載っている次のディスクだけです。

● ディスクのバージョン(Ver)が違う場合、本機では使えないことがあります。

○:できる　×:できない

メディアの種類 P.69 の「本体(内蔵HDD)、ディスクについて」もあわせてご覧ください。	市販のBDソフト、など BDビデオ リージョンコードに「A」が含まれるディスク	市販のDVDソフト、など DVDビデオ リージョンコードに「2」や「ALL」が含まれるディスク	市販の音楽用ソフト、など 音楽用CD ・音楽用CD(CD-DA) ・音楽用CD形式で記録され、ファイナライズ済みのCD-RW/CD-R
再生	○	○	○
録画一覧からの再生	×	×	×

メディアの種類 P.69 の「本体(内蔵HDD)、ディスクについて」もあわせてご覧ください。 本機で再生できるJPEG形式については、P.116 をご覧ください。	JPEGで記録されたディスク CD (JPEG) JPEGファイル(デジタルカメラで撮影された写真など)が記録された、CD-RW/CD-R	AVCHDで記録されたディスク DISC(AVCHD) AVCHD(デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画)が記録され、ファイナライズ済みのDVD-RW/DVD-R (2層ディスクを含む)
再生	○	○
録画一覧からの再生	○ (JPEG専用)	× ※1

※1　本体に取り込んで(ダビングして)、本体の録画一覧(🎥)画面から再生することができます。

本機で再生できるSDカード、USB

本機で使えるSDカード、USBは、ここの表に載っているものだけです。

● SDカード、USBのバージョン(Ver)が違う場合、本機では使えないことがあります。

○:できる　×:できない

メディアの種類 P.69 の「SDカードについて」、「USB機器について」もあわせてご覧ください。 本機で再生できるJPEG形式については、P.116 をご覧ください。	JPEGで記録されたSD、USB SD (JPEG)　USB (JPEG) JPEGファイル(デジタルカメラで撮影された写真など)が記録された、 ・SDHC (4GB〜32GB)　・USB機器 ・SD (8MB〜2GB)	AVCHDで記録されたSD、USB SD (AVCHD)　USB(AVCHD) AVCHD(デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画)が記録された、 ・SDHC (4GB〜32GB)　・USB機器 ・SD (8MB〜2GB)
再生	○	× ※1
録画一覧からの再生	○ (JPEG専用)	

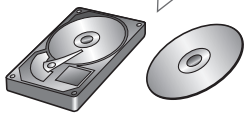
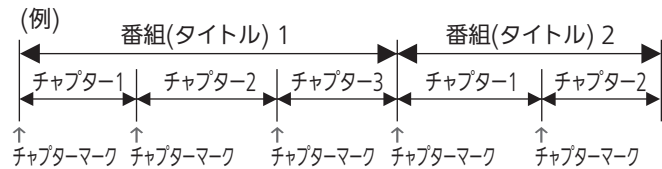
※1　直接再生はできませんが、本体に取り込んで(ダビングして)、本体の録画一覧(🎥)画面から再生することができます。

本体(内蔵HDD)、ディスクについて

ディスクの構成の区分

本体 /BD/DVD

「番組(タイトル)」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。

(例)

本体/BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-R

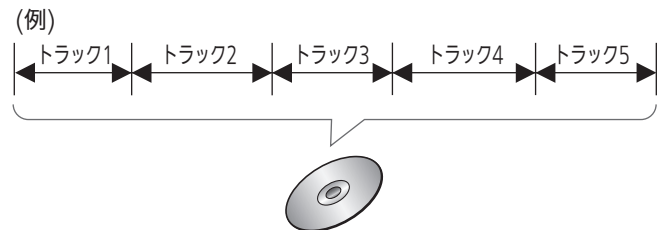
- 1回の録画が1番組(タイトル)となります。 P.71
- チャプターは、チャプターマークを追加することによって、さらに細かく区切ることができます。

BDビデオ/DVDビデオ

- 一般的には1つの映画が1番組(タイトル)になっており、番組(タイトル)ごとに複数のチャプターで構成されています。

音楽用 CD

一般的には、曲ごとに「トラック」という区切りが付けられています。

(例)

本体(内蔵HDD)について

■ HDD[ハードディスク(ドライブ)]とは?

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。

- 本機では、HDDを「本体」と表現しています。

■ 次のようなことは行わないでください!

- **本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気を付けください。**
- **本書で指示している場合を除き、本機の電源が入っている状態で、主電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。**
- **本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。)**
- **本機が結露した状態で使わないでください。**
- HDDは、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画(録音)内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- HDDが故障すると、HDDの録画(録音)内容が失われることがあります。

■ HDDは、録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

- 大切な録画(録音)内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- HDDは、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となり、録画(録音)内容が再生できなくなることがあります。
- HDDに異常が発生した場合、HDDの録画(録音)内容は失われます。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合、HDDが寿命近くになっています。
  - ・再生できない、再生一時停止をくり返す
  - ・ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が発生する
  - ・映像が乱れる

■ その他

- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDDは、お買上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画してから、再生をお楽しみください。

SDカード、USB機器については、 P.114 をご覧ください。

- 本機で再生できるJPEG形式については、 P.116 をご覧ください。

気を付けて

- **内蔵のHDDやディスクドライブをはずして、お客さま自身で交換することはできません。**
  正常に動作しません。また、保証が無効となります。
  故障のときは、お買上げの販売店にご相談ください。

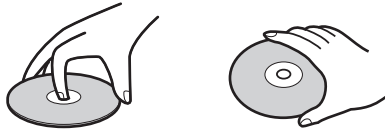
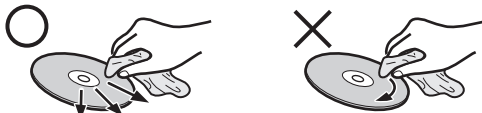
ディスクについて

BD/DVD/CD 全般

■ 次のような場合は、正常に録画・再生できません。

- **記録状態が悪い、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画/再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。**
- **本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。**
- **パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。**
- PAL方式（海外のテレビ方式）など、NTSC方式(日本のテレビ方式)以外で記録されたDVDディスク。
- 無許諾（海賊版など）のディスク。
- クローズド・キャプション（Closed Caption）（コピー防止機能）の録画・再生。

■ ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面（光っている面）には手を触れないでください。

- 指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。
  布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。

- 市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

■ 次のようなディスクは使わないでください！

- ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。
  - 傷が付いているディスク
  - ラベルやシールが貼られているディスク
  - ラベルがはがれているディスク
  - のりがはみ出しているディスク
  - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク
  - 六角形など、特殊な形状のディスク

■ 8cm盤のディスクを使用するときは

- 本機では再生だけができます。録画や編集はできません。
- 8cmアダプターなしで使用できます。

ブルーレイ（BD-RE/BD-R）

- **他の機器で録画してファイナライズ P.128 していないBD-Rは、本機で正常に再生・録画・編集ができなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。**
- BD-RE/BD-Rは、お買上げ時には初期化（フォーマット）されていません。
  使用する前に初期化 P.131 してください。
- BD-RE Ver1.0（カートリッジタイプ）は、本機では使用できません。

DVD-RW/DVD-R

- **他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生・録画・編集ができなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。**
- DVD-RW(AVCREC)/DVD-R（AVCREC）は、AVCREC方式に対応したレコーダー /プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW(VR)は、RW COMPATIBLE 表示の付いたVR方式対応のレコーダー /プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-R(VR)は、DVD-RのVR方式に対応したレコーダー /プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のレコーダー /プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW（Video）/DVD-R（Video）は、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機ではDVDビデオと同様の扱いとなります。
- 1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。

BD ビデオ、DVD ビデオ（レンタルや市販の映画などすでに内容が入っているもの）

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。くわしくは、ディスクの説明書をご覧ください。

音楽用 CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD（コピーコントロール付きCDなど）やMP3ファイル形式で録音されたディスクは、まったく再生できないか、正常に再生できません。

CPRM（シーピーアールエム）について

CPRMとは、「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10（コピー 9回＋ムーブ1回）」番組に対する著作権保護技術です。
デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10（コピー9回＋ムーブ1回）」番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。

お知らせ

- 次のような場合、実際に録画できる時間は短くなります。
  - ディスクに傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき。
  - 映りの悪い（電波状態が悪い、弱い）番組など、画質が良くない映像を録画したとき。
- 高速記録対応のディスクを使用して高速ダビングをしているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。

録画・録画予約の前に

● **録画予約をしたときは、必ず主電源(本体右側 P.18)を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

本機でできる録画・録画予約について

本機では、最大80番組まで録画予約できます。おすすめ自動録画 P.90 は最大40番組まで予約でき、ユーザー予約(自分で予約)は80番組からおすすめ自動録画の予約数を除いた番組数まで予約できます。

今すぐ録る(一発録画)

番組を今すぐ録る(一発録画) P.84 — *デジタル放送、側面端子入力、i.LINK(TS)入力* 本体

こんなときに		
	番組を今すぐ録画したいとき	[一発録画]ボタンを押すだけで、今見ている番組をすぐに録画できます。

ユーザー予約(自分で予約)

番組表(Gガイド)から簡単に予約する(簡単予約) P.85 — *デジタル放送* 本体

こんなときに		
	番組表から簡単に番組を予約したいとき	番組表から予約したい番組を選ぶだけで、8日先までの番組を簡単に予約できます。毎週録画の設定も簡単にできます。

番組表(Gガイド)から好みの設定で予約する(詳細予約) P.86 — *デジタル放送* 本体 BD-RE BD-R

こんなときに		
	番組表から好みの設定で番組を予約したいとき	番組表から予約したい番組を選んで、8日先までの番組を好みの設定で予約できます。また、ジャンル検索やブルーレイディスクへの予約、毎週/毎日録画の設定などもできます。

予約内容を手動で入力して予約する(時刻指定予約) P.88 — *デジタル放送、側面端子入力* 本体 BD-RE BD-R

こんなときに		
	番組表を利用できない番組を予約したいとき	自分でチャンネル、予約日、開始/終了時刻などを入力して、約1カ月先までの番組を予約できます。

自動予約

過去の録画履歴などをもとに、本機におまかせで自動予約する(おすすめ自動録画) P.90 — *デジタル放送* 本体

こんなときに		
	本機におまかせで自動予約したいとき	自分で予約をする必要はありません。過去の録画履歴などをもとに、番組表の8日先までの番組を1日最大4番組まで自動予約できます。

録画予約をしたときの本機の動き

希望の時刻に録画するには、デジタル放送を受信する必要があります。

■ 予約があるときは
- 本体のデジタルインジケーター P.18 が橙に点灯します。

■ 予約開始時刻の直前になると
- 本機の電源が入のときでも、予約の録画は実行されます。
- 本機の電源が切のときは、予約開始時刻の約3分前に一部電源が入ります。画面は映りません。

■ 予約の録画中は
- 本体のデジタルインジケーターが赤色でゆっくり点滅します。

■ 予約終了時刻になると
- 自動的に録画が終わります。
- 録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。
- 録画を停止した位置までが、1番組(タイトル)となります。

ブルーレイディスク(BD-RE/BD-R)に録画予約した録画を本体に録画する場合(代理録画)

- 次のような場合は本体に録画し、内部メールでお知らせします。(本体が録画可能な場合のみ)
  - ・ディスクを再生しているとき。 P.106
  - ・録画不可のディスク(ソフトなど)が入っているときや、ディスクが入っていないとき。
  - ・ブルーレイディスク(BD-RE/BD-R)の残量時間が不足しているとき。

等速ダビングと、予約の録画が重なった場合

等速ダビングが優先して録画されます。
予約は取り消され、録画されません。

録画モードとおよその録画時間（目安）

録画モードは、「録画・再生設定」画面の「録画設定」−「録画モード」 P.168 **で設定します。**

本体（HDD）

録画モード		本体（500 GB）	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
DR	地上デジタル（HD放送）	63時間	デジタル放送 i.LINK（TS）入力	放送そのままの画質（ハイビジョン画質）	高画質　画質優先
	BSデジタル（HD放送）	45時間			
	BSデジタル（SD放送）	90時間			
AF		80時間	デジタル放送 i.LINK（TS）入力	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質	
AN		126時間			
AE	5.5倍モード	252時間			
	12倍モード	540時間			時間優先
XP		110時間	デジタル放送 側面端子入力 i.LINK（TS）入力	標準画質（従来の画質）	画質優先
SP		222時間			
LP		442時間			
EP	6時間モード	665時間			
	8時間モード	887時間			従来の画質　時間優先

「スカパー！ＨＤ録画」の場合

録画モード　※		本体（500 GB）	録画できる放送	記録される画質
DR	スカパー！HD（ハイビジョン画質番組）	約120時間（約65〜150時間）　※	スカパー！HD	ハイビジョン画質
	スカパー！HD（標準画質番組）	約205時間（約130〜395時間）　※	スカパー！HD	標準画質

※「スカパー！ＨＤ録画」の録画モードは、DRだけとなります。
「スカパー！ＨＤ録画」の（　）内の時間は、変動する録画可能時間の目安です。

●録画時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。

- BSデジタルのSD放送は、DR、AF〜AEで録画しても標準画質で録画されます。
- 110度CSデジタル放送は、番組ごとに時間当たりの情報量が異なるため、番組ごとに録画可能時間(残量)が変わります。
- AE、EPは、「録画・再生設定」画面の「録画設定」−「AEモード」、「EPモード」の設定によって録画できる時間が変わります。P.168
- スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をAEで録画すると、ブロックノイズなどが目立つことがあります。
- i.LINK（TS）入力から録画予約で本機に録画する場合は、DRで録画されます。この場合、録画終了後も録画モードはDRのままとなりますので、他の番組をDR以外で録画されるときは、録画モードを変更してください。P.168
  i.LINK（TS）入力から一発録画で本機に録画する場合は、本機で現在選ばれている録画モードで録画されます。この場合、録画終了後も録画モードはそのままとなります。
- ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングする番組の合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が不足していない場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。
- 本機は、効率よく録画を行うために時間当たりの情報量を可変して録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1番組あたりの連続録画可能時間は、最大8時間です。（連続録画時間が8時間になると、録画が自動的に停止します。）

BD-RE **BD-R**

録画モード		片面1層（25 GB）	片面2層（50 GB）	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
DR	地上デジタル（HD放送）	3時間	6時間	デジタル放送	放送そのままの画質（ハイビジョン画質）	高画質 画質優先
	BSデジタル（HD放送）	2時間10分	4時間20分			
	BSデジタル（SD放送）	4時間20分	8時間40分			
AF		4時間	8時間	デジタル放送	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質	
AN		6時間	12時間			
AE	5.5倍モード	12時間	24時間			
	12倍モード	26時間	52時間			時間優先
XP		5時間15分	10時間30分	デジタル放送 側面端子入力	標準画質（従来の画質）	画質優先
SP		10時間30分	21時間			
LP		21時間	42時間			
EP	6時間モード	31時間30分	63時間			
	8時間モード	42時間	84時間			従来の画質 時間優先

-RW **-R** （ダビングのみ可能）　-RW (AVCREC) -R (AVCREC)・・・AF～AEのみ可能　-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)・・・XP～EPのみ可能

録画モード		1層（4.7 GB）	片面2層（8.5 GB）	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
AF		42分	1時間20分	デジタル放送	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質	高画質 画質優先
AN		1時間5分	2時間			
AE	5.5倍モード	2時間10分	4時間10分			
	12倍モード	4時間50分	9時間			時間優先
XP		1時間	―	デジタル放送 側面端子入力	標準画質（従来の画質）	画質優先
SP		2時間	―			
LP		4時間	―			
EP	6時間モード	6時間	―			
	8時間モード	8時間	―			従来の画質 時間優先

録画・録画予約の前に（つづき）

二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕の録画

録画モードや「録画・再生設定」画面の「録画設定」、「録画予約設定」 P.168 ～ 169 の設定によって、記録される映像や音声が異なります。録画前に、設定を確認してから録画してください。

デジタル放送の二重音声、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声

録画先 （ ）はダビングのみ	本体 BD-RE BD-R	本体 BD-RE BD-R （-RW (AVCREC) -R (AVCREC)）	本体 BD-RE BD-R （-RW (VR) -R (VR)）
録画モード	**DR**	**AF～AE**	**XP～EP**
二重音声	主音声/副音声の両方が記録されます。※1 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。		主音声/副音声の両方が記録されます。※2 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。
マルチ番組の映像･音声	複数の映像･音声が記録されます。 ● 再生中は･･･ 映像･音声が選べます。	1つの映像･音声だけが記録されます。 ■ 現在放送中の番組を録画するとき、■ 手間なしダビングするとき 視聴中/再生中の映像･音声が記録されます。 ■ 番組表（Gガイド）から録画予約で録画するとき 「予約設定」画面で選んだ映像･音声が記録されます。 ■ 時刻指定予約で録画するとき、■ ダビングリストからダビングするとき 映像1･音声1が記録されます。 ● 再生中は･･･ 映像･音声の切り換えはできません。	
サラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます。	放送の音声方式を変換したサラウンド音声で記録されます。※3	ステレオ音声で記録されます。

※1　i.LINK(TS)入力の音声方式がAAC以外の二重音声放送の場合、次のようなときには「録画設定」－「二重音声選択」で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。（この場合、再生時に音声は選べません。）
　・録画モードAF ～ AEで録画するとき　・本体に録画モードDRで録画した番組を、ディスクに録画モードAF ～ AEでダビングするとき

※2　「録画設定」－「XP記録音声」の設定を「LPCM」にして録画モードXPで録画するときは、「録画設定」－「二重音声選択」で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。（この場合、再生時に音声は選べません。）

※3　i.LINK（TS）入力から録画するときは、放送の音声方式を変換したステレオ音声（ダウンミックス2チャンネル）で記録されます。

側面端子入力からの二重音声

録画先 （ ）はダビングのみ	本体 BD-RE BD-R	（-RW (VR) -R (VR)）	（-RW (Video) -R (Video)）
録画モード	**XP～EP**	**XP～EP**	**XP～EP**
二重音声	■「Video高速ダビング」の設定が「切」のとき 主音声/副音声の両方が記録されます。※1 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。 ■「Video高速ダビング」の設定が「入」のとき 「二重音声選択」で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。※2 ● 再生中は･･･ 音声の切り換えはできません。	主音声/副音声の両方が記録されます。　※1 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。	「二重音声選択」で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。　※2 ● 再生中は･･･ 音声の切り換えはできません。

※1　「録画設定」－「XP記録音声」の設定を「LPCM」にして録画モードXPで録画するときは、「録画設定」－「二重音声選択」で設定している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。（この場合、再生時に音声は選べません。）

※2　外部入力の二重音声のどちらか一方だけを記録する場合は、必ず「録画設定」－「外部音声選択」の設定を「二重音声」にしてください。設定が「ステレオ」になっていると、再生時に主音声と副音声が重なって再生されます。

デジタル放送の字幕

録画先 （ ）はダビングのみ	本体 BD-RE BD-R	本体 BD-RE BD-R （-RW (AVCREC) -R (AVCREC)）	本体 BD-RE BD-R （-RW (VR) -R (VR)）
録画モード	DR	AF〜AE	XP〜EP
字幕	字幕の情報が記録されます。※1 ● 再生中は･･･ 字幕表示の入/切ができます。	■ 番組表から録画予約、おすすめ自動録画で録画予約した場合 「録画予約設定」－「字幕焼きこみ」を「あり」に設定して録画予約したときだけ、映像といっしょに字幕 (「録画予約設定」－「字幕焼きこみ言語」で設定された言語)が記録されます。※2 ■ 時刻指定予約の場合 字幕の設定 P.47 に応じて映像といっしょに字幕が記録されます。 ● 再生中は･･･ 字幕表示の入/切はできません。	

※1　ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組を高速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。

※2　ダビングするときは、映像といっしょに字幕が記録されている場合は字幕もダビングされます。
「字幕焼きこみ」の設定を「あり」にしている場合は、次のようなときに字幕が自動的に表示されます。「なし」にしているときは、字幕表示が消えます。
- 字幕ありの番組を視聴中に、番組指定での録画予約（DRモード以外で録画）が開始されたとき
- 番組指定での予約録画中（DRモード以外で録画）に、字幕ありの番組に切り換えたとき

視聴中の番組の字幕を表示させたくない場合は、P.47 の「字幕を出す」の手順で「字幕」を「オフ」に変更してください。

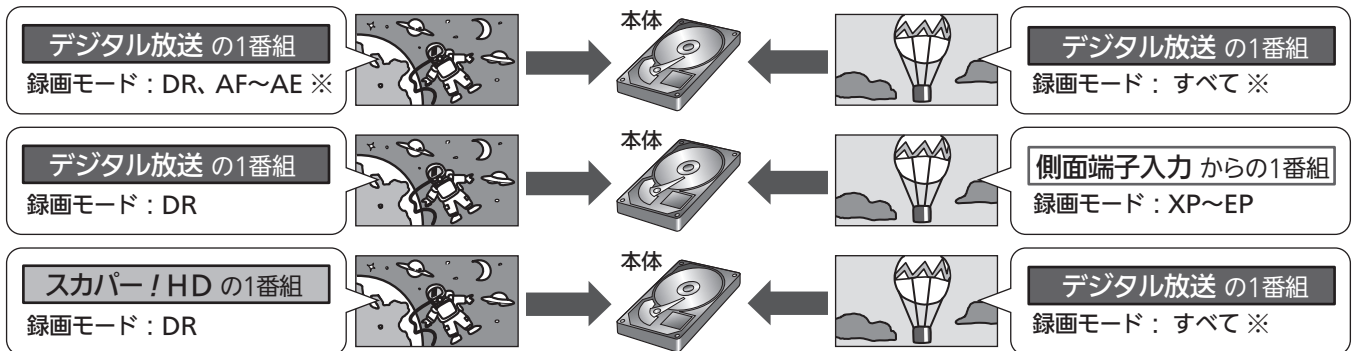
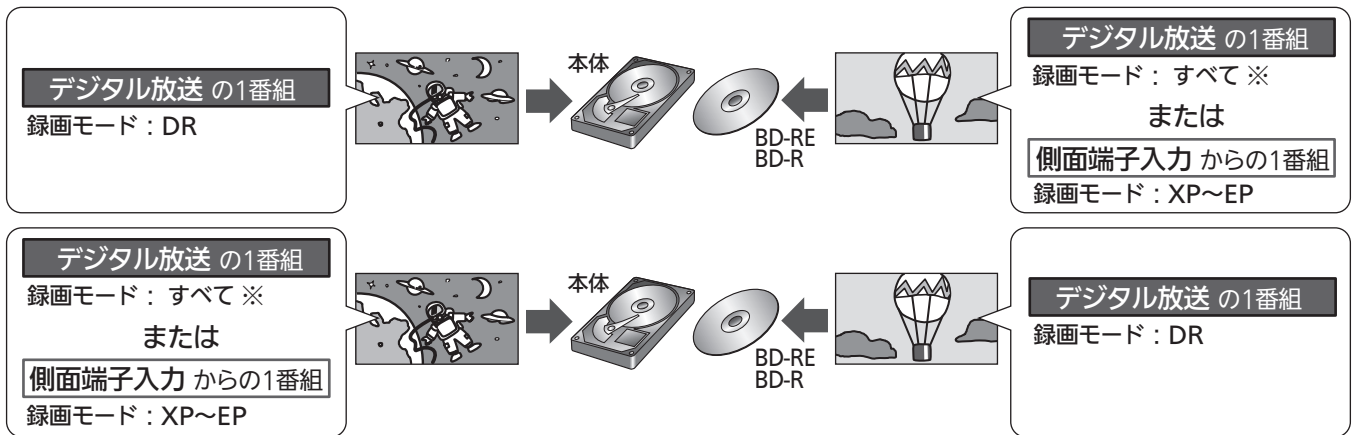
2番組を同時に録画する場合（2番組同時録画）

「同時操作について」P.78 ～ 80 もご覧ください。

本機で可能な2番組同時録画の組み合わせ

● 本機では、次の組み合わせのときに2番組を同時に録画することができます。
- デジタル放送の2番組（本体に2番組、または本体とBD-RE/-Rに各1番組）
- デジタル放送と側面端子入力からの各1番組（本体に各1番組、または本体とBD-RE/-Rに各1番組）
- スカパー！ＨＤとデジタル放送の各1番組（本体に各1番組）

● 録画する番組の録画モードによって、2番組同時録画できる/できないが異なります。

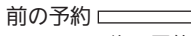
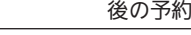
【2番組とも 本体 に録画するとき】

【 本体 と BD-RE BD-R に1番組ずつ録画（またはダビングで録画）するとき】

※ デジタル放送を録画モードＤＲ以外で同時録画する場合は、同時録画開始時点からいったん録画モードＤＲで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードの変換が開始されます。
変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。（変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。）
変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

●本機では、録画予約の2番組、一発録画の2番組、一発録画と録画予約の2番組を同時に録画することができます。
● デジタル放送の1つの番組（同じ番組）を2回予約して、同じ番組の2番組同時録画をすることもできます。

●本体→BD/DVDへ高速ダビング中は、ダビング中の番組のほかに本体に1番組同時に録画することができます。

お知らせ

● 録画モード変換予定番組は、録画一覧画面 P.100 の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
（例） 録画モードAFに変換予定の番組の場合　　変換前 ･･･ 変換予定➡AF　　変換終了後 ･･･ HD画質AF

次の場合、2番組の同時録画はできません

- スカパー！ＨＤと側面端子入力からの各1番組
- スカパー！ＨＤとBD-RE/-Rへの各1番組
- BD-RE/-Rへの2番組
- 本体→BD/DVDへ等速ダビング中
- BD/DVD→本体へダビング中
- i.LINK（TS）入力から録画するとき
- 本機のi.LINK（TS）端子に接続したケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスなどから録画するとき

2番組同時録画をする場合のご注意

●**同時録画ができない場合、2番組の録画予約が重なった部分は後の番組が優先して録画されます。前の番組は、後の番組と重なる部分の手前1分ほどから先が録画されません。** P.82

- 2番組同時録画中のチャンネル切り換えは、右記をご覧ください。

録画中のチャンネルや入力の切り換え

■ 2番組同時録画中は

●**録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。**

- 予約録画により2番組同時録画となったときは予約を優先しますので、視聴中の番組が録画している番組に切り換わります。（視聴中の番組が予約番組と同じ場合は切り換わりません。）
- 2番組連続予約録画で、連続する2番組が同時録画可能な組み合わせの場合、次の番組の録画が始まるときに一時的に2番組同時録画となり、視聴中の番組が録画している番組に切り換わります。10数秒後、選局できるようになります。（視聴中の番組が予約番組と同じ場合は切り換わりません。）

予約	前の予約 後の予約
テレビ画面に映る番組	切り換わる 現在視聴中の番組　後の予約の番組

■ デジタル放送の録画中は

- i.LINK（TS）入力に切り換えることはできません。
- 側面端子入力との2番組同時録画中は、他のデジタル放送やチャンネルに切り換えることはできません。

■ 他の機器からの映像･音声を録画中は

- i.LINK(TS)入力視聴中にデジタル放送の録画が始まると、デジタル放送に切り換わります。

お知らせ

- 他の機器から外部入力で録画する場合は、側面端子入力、i.LINK（TS）入力だけから録画できます。

録画・録画予約の前に（つづき）

同時操作について

視聴中、再生中、録画中、ダビング中によって、同時にできる操作が異なります。

視聴中の同時操作について

■ 視聴中の録画・ダビング　　○：できる　×：できない　中断：録画中は中断し、録画終了後に再開する

これから始める（始まる）こと ／ 今やっていること	本体へ一発録画する	本体へ予約した録画を実行する	i.LINK（TS）入力から録画する	「スカパー！ＨＤ録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する	ダビングする
放送の視聴中	○	○	視聴：×（※1） 録画：○	○	○	○
側面端子入力からの映像を視聴中	○	○	視聴：×（※1） 録画：○	○	○	○
i.LINK（TS）入力からの映像を視聴中	○	視聴：×（※2） 録画：○	○	×	視聴：×（※2） 録画：○	○
上記以外の外部入力からの映像を視聴中	視聴：○ 録画：×	○	○	○	○	○
ネットワークのホームページ表示中 ネットワークから動画コンテンツを表示（視聴）中	表示：○ 録画：×	表示：× 録画：○	表示：○ 録画：×	表示：× 録画：○	表示：× 録画：○	表示　：○ ダビング：×
ネットワークのダウンロード（DL）中	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ：中断 録画：○	ＤＬ　：中断 ダビング：○

※1　画面が録画中の映像に切り換わりますが、入力切換 P.46 を切り換えて、引き続き放送や映像を視聴することができます。
※2　画面が録画中の映像に切り換わりますが、入力切換 P.46 をCATVのセットトップボックスを接続している端子（「HDMI1、2」、「ビデオ1」、「側面端子」など）の入力に切り換えて、引き続き視聴することができます。

再生中の同時操作について

■ 再生中の録画、ダビング

○：できる　×：できない　代理：本体が録画可能な場合は、本体に代理録画 P.71 される　終了：再生停止

これから始める（始まる）こと ／ 今やっていること	本体へ予約した録画を実行する		i.LINK（TS）入力から録画する	「スカパー！ＨＤ録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する	ダビングする
	放送	側面端子入力				
本体の再生中	○（※1）	○	再生：終了 録画：○	○	○	再生　：× ダビング：○ （手間なしダビングのみ）
BD-RE/-R、 DVD-RW/-Rの再生中	○（※1）	○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理	再生　：× ダビング：○ （録画モードDR以外の「制限なしに録画可能」番組の手間なしダビングのみ）
DVDビデオ、 音楽用CDの再生中	○（※1）	○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理	再生　：○ ダビング：×
BDビデオの再生中 DISC（AVCHD）の再生中	○（※2）	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理（※2）	再生　：○ ダビング：×
CD（JPEG）、SD（JPEG）、 USB（JPEG）の再生中	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：代理（CD） ○（SD、USB）	再生　：○ ダビング：×

※1　録画モードXP～EPで録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードの変換が開始されます。
※2　録画モードDR以外で録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードの変換が開始されます。

録画中の同時操作について

■ 録画中の再生・ダビング

○：録画中に再生できる（★は追っかけ再生 P.111 もできます）　×：録画中に再生・ダビングできない

これから始める（始まる）こと ＼ 今やっていること		再生する				ダビングする
		本体	BD-RE/-R DVD-RW/-R DVDビデオ 音楽用CD	BDビデオ DISC（AVCHD）	CD(JPEG) SD(JPEG) USB(JPEG)	
本体に録画中	放送を録画中	○★	○	○（※1）	×	×
	側面端子入力から録画中	○★	○	×	×	×
	i.LINK（TS）入力から録画中	○★	音楽用CD以外：○ 音楽用CDのみ：×	○ （録画モードDRのみ）	×	×
	「スカパー！ＨＤ録画」中	○★	×	×	×	×
BD-RE/Rに録画中		○	×	×	×	×

※1　録画モードDR以外で録画している場合は、再生開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードの変換が開始されます。

■ 録画中に別の番組の録画（2番組同時録画） P.76

○：録画できる　△：録画モードによって録画できる/できないが異なる　×：録画できない　終了：録画停止（録画終了）
代理：本体が録画可能な場合は、本体に代理録画 P.71 される

これから始める（始まる）こと（2番組目の録画） ＼ 今やっていること（1番組目の録画）		② 本体へ一発録画する		② 本体へ予約した録画を実行する		② i.LINK（TS）入力から録画する	②「スカパー！ＨＤ録画」する	② BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する
		放送	側面端子入力	放送	側面端子入力			
① 本体に録画中	放送を録画中	①：○ ②：○（※2）	①：○ ②：△	①：○ ②：○（※2）	①：△ ②：○（※2）	①：○ ②：×	①：○ ②：○（※2）	①：△ ②：○（※2）
	側面端子入力から一発録画中	①：○ ②：△（※3）	①：○ ②：×	①：○ ②：△（※3）	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：△（※3）
	側面端子入力から予約の録画中	①：○ ②：△（※3）	①：○ ②：×	①：△ ②：○（※2）	①：終了 ②：○	①：○ ②：×	①：終了 ②：○	①：△ ②：○（※2）
	i.LINK（TS）入力から録画中	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×
	「スカパー！ＨＤ録画」中	①：○ ②：○（※2）	①：○ ②：×	①：○ ②：○（※2）	①：終了 ②：○	①：○ ②：×	チューナーの仕様による	①：終了 ②：○
① BD-RE/Rに録画中		①：○ ②：△（※3）	①：○ ②：△（※3）	①：△ ②：○（※2）	①：△ ②：○（※2）	①：○ ②：×	①：終了 ②：○	①：△ ②：代理（※2）

※2、※3　どちらかの番組を録画モードDR以外で録画する場合は、同時録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードの変換が開始されます。
※2のみ　2番組同時録画できない場合は、先の番組（①）の録画が終了し、後の番組（②）が録画されます。 P.82
※3のみ　2番組同時録画できない場合は、先の番組（①）の録画が継続し、後の番組（②）は録画されません。

お知らせ

録画モード変換予定番組について

- 録画一覧画面 P.100 の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
  （例）　録画モードAFに変換予定の番組の場合　　変換前・・・ 変換予定➔AF 　変換終了後・・・ HD画質AF
- 変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。（変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。）
- 変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

録画・録画予約の前に（つづき）

ダビング中の同時操作について

ダビング中の視聴

○：できる　×：できない

これから始める（始まる）こと ／ 今やっていること	放送の画面の映像を見る	外部入力の映像を見る	ダビング中の映像を見る
本体→DVD-RW（Video）/-R（Video）へのダビング中	○（※1）	○（※2）	○
上記以外のダビング中	○	○	×

※1　高速ダビングの場合のみ、ダビング開始時に選局していたチャンネルだけ視聴できます。
※2　「HDMI1、2」、「ビデオ1」だけ視聴できます。（「側面端子」からは視聴できません。）

ダビング中の再生

○：できる　×：できない

これから始める（始まる）こと ／ 今やっていること	再生する	
	本体	本体以外
本体→ディスクへの高速ダビング中 ディスク→本体への高速ダビング中	○（※3）	×
DISC（AVCHD）→本体へのダビング中	×	×
上記以外のダビング中	×	×

※3　ダビングが「コピー」になる場合だけ、再生できます。
「ムーブ（移動）」になる場合は、再生できません。

ダビング中の録画

○：できる　×：できない　代理：本体が録画可能な場合は、本体に代理録画 P.71 される

これから始める（始まる）こと ／ 今やっていること	本体へ一発録画する		本体へ予約した録画を実行する		i.LINK（TS）入力から録画する「スカパー！ＨＤ録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する
	放送	側面端子入力	放送	側面端子入力		
本体→BD/DVDへの高速ダビング中 BD/DVD→本体への高速ダビング中	×	×	○（※4）	○	×	代理（※4）
本体→BD/DVDへの等速ダビング中 BD/DVD→本体への等速ダビング中	×	×	×	×	×	×
DISC（AVCHD）→本体へのダビング中	×	×	○（※4）	○	×	代理（※4）
SD/USB→本体へのダビング中	×	×	○（※4）	○	×	代理（※4）

※4　録画モードDR以外で録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードの変換が開始されます。

お知らせ

録画モード変換予定番組について

- 録画一覧画面 P.100 の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。

（例）　録画モードAFに変換予定の番組の場合　　変換前・・・ 変換予定➜AF　　変換終了後・・・ HD画質AF

- 変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。（変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。）
- 変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

番組の録画制限、ダビング制限

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限 ○：できる ×：できない	本体(HDD)	BD-RE BD-R	-RW -R
制限なしに録画可能	○	○	×
1回だけ録画可能	○	○	×
ダビング10	○	○	×
録画禁止	×	×	×

ダビング制限 ◎：「コピー」 ○：「ムーブ(移動)」 ×：できない	BD DVD ↓ 本体	本体 ↓ BD-RE BD-R	本体 ↓ -RW(AVCREC) -R(AVCREC)	本体 ↓ -RW(VR) -R(VR)	本体 ↓ -RW(Video) -R(Video)
制限なしに録画可能	◎	◎	◎	◎	◎
1回だけ録画可能	×	○	○	○	×
ダビング10(9回目まで)	×	◎	◎	◎	×
ダビング10(10回目)	×	○	○	○	×

デジタル放送をDVD-RW/-Rにダビングする場合は
CPRM対応 のディスクをお使いください。

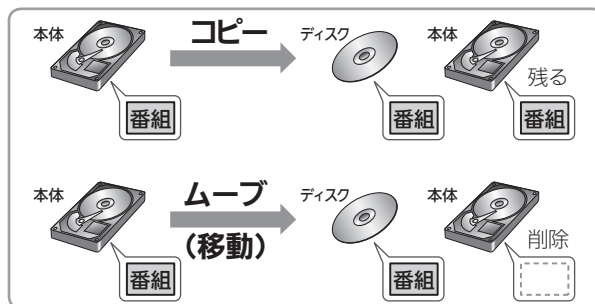
■「制限なしに録画可能」番組について

ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング後も本体の元の番組はそのまま残ります。
デジタル放送の場合は、一部の番組を除き、ほとんどの番組が「1回だけ録画可能」番組または「ダビング10」番組となります。

■ デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組について

ダビングする場合は「ムーブ(移動)」となり、ダビング後に本体の元の番組が削除されます。

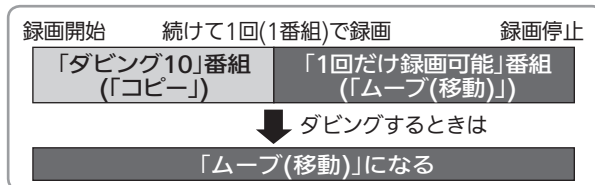
■ デジタル放送の「ダビング10」(コピー 9回＋ムーブ1回)番組について

ダビングする場合、9回目までは「コピー」となり、ダビング後も本体の元の番組はそのまま残ります。
10回目は「ムーブ(移動)」となり、ダビング後に本体の元の番組が削除されます。

● **ケーブルテレビ(CATV)、スカパー！HD、スカパー！ e2、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。**

ただし、ケーブルテレビ(CATV)のホームターミナル/セットトップボックス経由で「ダビング10(コピー 9回＋ムーブ1回)」番組を録画する場合は、「1回だけ録画可能」番組として録画されます。

● **本機にケーブルテレビ(CATV)のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して、側面端子入力でコピー制限のある番組を録画する場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW(AVCREC)/DVD-R(AVCREC)にダビングしたりすることはできません。**

この場合は、BD-RE/BD-RまたはCPRM対応のDVD-RW(VR)/DVD-R(VR)にダビングすることをおすすめします。

- 「ダビング10(コピー)」「制限なしにコピー可能」になる番組と、「1回だけ録画可能」「ダビング10(ムーブ)」番組を続けて1回で録画すると、録画の開始から停止までが1番組(タイトル)となるため、ダビングする場合はすべての部分が「ムーブ(移動)」となります。

- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は、録画できません。
- デジタル放送の4：3の映像を録画したときや、側面端子入力のワイド映像(16：9)を「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「Video高速ダビング」P.168 の設定を「入」にして録画したときは、4：3の映像に左右に黒帯が付いた状態で録画されます。16：9の映像で録画するには、「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「Videoアスペクト」を「16：9」に設定します。
- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢制限のある番組になったときは、録画を一時停止します。
録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- 録画モードや音声、字幕による録画の制限は、P.72～75 をご覧ください。

予約が重なった場合

予約が重なっている場合は、「予約一覧」画面で重なっている予約に「重○」「重×」が表示されます。（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を除く）P.95

重○ …その番組の全部が録画されます。

重× …その番組の全部または一部が録画されません。

3つ以上の予約が重なった場合

■ おすすめ自動録画以外の予約（ユーザー予約）が重なった場合

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

(例)

- 開始時刻が同じ場合は、「予約一覧」画面で順番が上の方の予約が優先的に録画されます。

(例)

予約 一覧の順番が上 一覧の順番が下
実際の録画

- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合

(例)

■ ユーザー予約とおすすめ自動録画が重なった場合

- ユーザー予約が優先的に録画されます。

(例)

■ 予約が重なる手前の▨の部分について

- 前の予約の場合、後の予約と重なる部分の手前1分ほど（▨部分）は録画されません。

2番組同時録画ができない組み合わせ（P.76）で、 2つ以上の予約が重なった場合

■ ユーザー予約が重なった場合

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、「予約一覧」画面で順番が上の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の場合、後の予約と重なる部分の手前1分ほどは録画されません。（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む）

■ ユーザー予約とおすすめ自動録画が重なった場合

- ユーザー予約が優先的に録画されます。

i.LINK（TS）入力から録画･録画予約する場合

- i.LINK（TS）入力から録画予約する場合は、必ず P.177 の「機能設定」画面の「高速起動設定」を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。
- i.LINK（TS）入力から録画中に、本機の操作を行うと録画が中断することがあります。
また、次のような場合、本機の状態によってはi.LINK（TS）入力からの録画予約が開始されない場合があります。
  - 本機を操作中
  - 本機の他の動作（録画、ダビング、ネットワーク、各種設定など）を実行中
  - 本機の電源が入ってから操作可能になるまで
- ディスクが挿入された状態で本機の電源を入れた場合、本機が操作可能になるまでに時間がかかり、i.LINK（TS）入力からの録画予約が開始されない場合があります。
i.LINK（TS）入力から録画予約する場合は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
- i.LINK（TS）入力から録画中に、本機の電源を切らないでください。
- i.LINK（TS）入力から録画する番組は、2番組同時録画できません。
- 本機からケーブルテレビのセットトップボックスを操作したり、セットトップボックスから本機を操作したりすることはできません。
- ケーブルテレビのセットトップボックスによっては、i.LINK（TS）端子からは録画できない場合があります。
- ケーブルテレビの専用チャンネル（地上デジタル/アナログ、BSデジタル、110度CSデジタル以外）の番組をi.LINK（TS）入力から録画予約して本機に録画した場合、その番組に対して次の再生はできません。
  - 見どころ再生
  - シーン検索

■ 本機の予約とi.LINK（TS）入力からの予約が重なった場合

- 録画開始時刻が早い方の予約が優先的に録画されます。

(例)

予約 本機 i.LINK（TS）
実際の録画

(例)

予約 i.LINK（TS） 本機
実際の録画

- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合でも、後の予約が取り消されて録画されません。

(例)

予約 本機 i.LINK（TS）
実際の録画

(例)

予約 i.LINK（TS） 本機
実際の録画

- P.223 の「【解説】i.LINK(TS)入力からの録画」もご覧ください。

「スカパー！ＨＤ録画」をする場合

- 「スカパー！ＨＤ録画」をするときは、必ずP.177の「機能設定」画面の「高速起動設定」の設定を「入」にしてください。「切」にすると録画できません。
- ディスクが挿入された状態で本機の電源を入れた場合、本機が操作可能になるまでに時間がかかり、「スカパー！ＨＤ録画」の録画開始が遅れる場合があります。
  「スカパー！ＨＤ録画」をする場合は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
- 「スカパー！ＨＤ録画」の録画中に、本機の主電源を切らないでください。
- ネットワーク環境により、通信速度が遅い場合は録画が停止することがあります。
- 本機からスカパー！ＨＤ対応チューナーを操作したり、スカパー！ＨＤ対応チューナーから本機を操作したりすることはできません。
- P.224の『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。

スカパー！放送サービスおよびご契約内容の変更に関するお問い合わせは

（2011年6月現在）

スカパー！カスタマーセンター
0570-039-888（PHS・IP電話のお客様は045-287-7777）
受付時間　10：00～20：00　<年中無休>

電話番号はお間違いのないようにお願いします。
お電話いただく前に、有料放送役務契約約款（http://www.skyperfectv.co.jp/top/legal/yakkan/）の内容をご確認ください。
※個人情報の取扱いに関しましては、プライバシーポリシー（http://www.skyperfectv.co.jp/privacypolicy/）に記載しております。

番組の最大録画可能数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大録画可能数は、ディスクの傷や汚れ、停電などにより、下記の数値より少なくなることがあります。（P.126もご覧ください。）

- 本体 ························· 1000番組
- ブルーレイ（BD-RE/BD-R）····· 200番組

停電があった場合

■ 全般

- 停電から復帰すると、自動的に停電の前の状態に戻ります。
- 停電によって録画が中断したときは、内部メールでお知らせします。P.146

■ 録画の種類別では

録画予約の録画開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時刻が自動修正される（または時刻を合わせ直す）と予約内容が復活します。

デジタル放送の一発録画中に停電したとき、および録画予約の録画実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻（時間）前に復帰したときは、録画終了時刻（時間）まで録画されます。
- 録画終了時刻後に復帰したときは、録画は停電したところで終了します。

デジタル放送以外の一発録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。

■ 本体・ディスク別では

本体

- 停電前後の番組が分割して録画一覧画面に登録されます。
- 停電直前の10分程度が録画されていないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、初期化が必要となることがあります。

ブルーレイ（BD-RE/BD-R）

- 停電前に録画された録画内容は録画一覧画面に登録されないため、再生することができません。また、録画された分だけディスクの残量時間が減ります。
- 停電復帰後にディスクの認識に時間がかかる場合（番組数が多い場合など）は、本体に代理録画されることがあります。本体に代理録画された場合は、本体の録画一覧画面に登録されます。
- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。

お知らせ

- ダビング中に停電があった場合は、P.139をご覧ください。

テレビ番組を今すぐ録る(一発録画)

視聴中の番組を、今すぐ録画できます。

一発録画をする

デジタル放送、側面端子入力、i.LINK(TS)入力 **本体**

1 一発録画 を押す

- 本体が録画可能な状態のときは、録画が始まります。
- 本機で現在選ばれている録画モードで録画されます。
  (一発録画する前に録画モードを変更するときは、P.168 をご覧ください。)

デジタル放送の一発録画中は

- 番組を録画中に、放送やチャンネルを切り換えて別の番組を見ることができます。(2番組同時録画中を除く。)
- 番組を録画中に、別の番組(または同じ番組)に切り換えてもう一度押すと一発録画の2番組同時録画になります。
  番組を録画中にもう一度押すと、同じ番組の一発録画の2番組同時録画になります。
  (2番組同時録画できる組み合わせがありますので、P.76 のご注意もご覧ください。)
- 番組が終了すると、自動的に録画を停止します。

他の機器からの映像・音声の一発録画中は

- 録画中は、一部番組の切り換えなどができません。くわしくは、P.77 をご覧ください。
- 番組終了時に自動で録画停止できませんので、停止 で録画を停止してください。
  そのまま録画を続けると8時間後に録画停止します。

2 録画を一時停止するときは

一時停止 を押す

- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 2番組同時録画中は、録画を一時停止したい番組を選局してから実行してください。

3 録画中に録画を停止するときは

停止 を押す

- 確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選んで 決定 を押します。

■ 2番組同時録画中/追っかけ再生中/録画同時再生中に録画を停止するときは

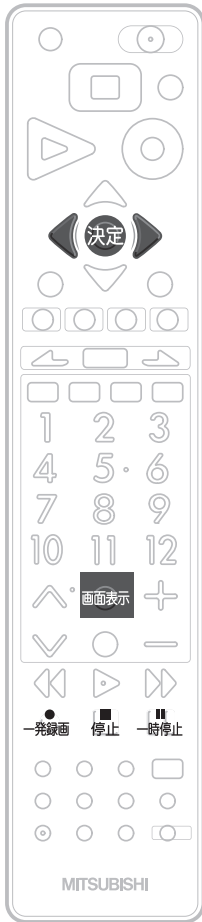
P.96 をご覧ください。

お願い！

● **録画中は、必ず主電源(本体右側 P.18)を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できなくなります。**
録画中はデジタルインジケーター P.18 が赤色でゆっくり点滅します。

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。P.76・78

お知らせ

- 番組情報が取得できていない番組については、一発録画できません。
- 停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 停止した位置までが、1番組(タイトル)となります。
- 現在録画中の番組の放送、チャンネル、録画モードを確認したいときは、画面表示 を押して画面表示を表示すると確認できます。
- 他の機器から外部入力で録画する場合は、側面端子入力、i.LINK(TS)入力だけから録画できます。

番組を録画予約する ［簡単予約］

番組表（Gガイド）から簡単に予約する（簡単予約）

デジタル放送 **本体**

番組表から予約したい番組を選ぶだけで、簡単に予約できます。

1 予約 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。（番組表の見かたは P.49 をご覧ください。）

■ 別の放送の種類の番組表を見るときは

地上 BS CS を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

2 ▲▼◀▶ で予約したい日の番組を選ぶ

■ 別の日の番組表を見るときは

青 を押して「日付選択」画面を表示し、▲▼ で日付を選んで 決定 を押します。

3 決定 または 予約 番組表 を押す

- 予約が確定し、選んだ番組に「予」が表示されます。
  (現在放送中の番組の場合は、番組内容画面が表示されます。P.86 の手順3〜7を行って、予約を確定してください。)
- 予約が重なって、一部またはすべての録画ができない場合は確認メッセージが表示されます。
  「はい」のままで 決定 を押すと、「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。P.95
  ◀▶ で「いいえ」を選んで 決定 を押すと、「予約一覧」画面は表示されず、確認メッセージが消えます。

■ 毎週この番組を予約するときは

緑 を押します。

■ 他の番組を続けて予約するときは

このあと、手順2、3をくり返します。

4 予約の設定が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

お願い！

● **録画予約をしたときは、必ず主電源(本体右側 P.18)を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

お知らせ

- 簡単予約するときの録画モードは、その番組を予約したときに画面下の[決定]のガイドに表示されていた録画モードで予約されます。

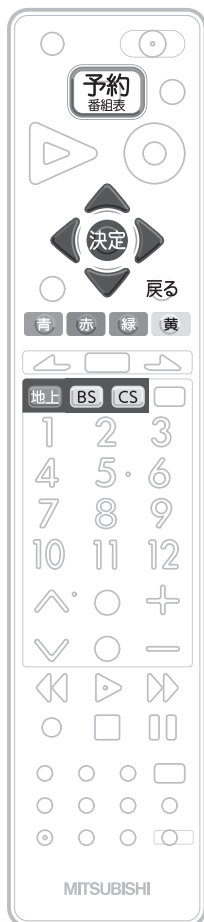
  決定 簡単予約(DR)

  録画モードを変更して簡単予約するときは、手順2のときに、次の操作を行います。
  ① サブメニュー を押してサブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼ で「録画モード」に移動し、◀▶ で希望の録画モードを選ぶ
  ③ 変更後、戻る を押して、サブメニュー画面を消す

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。P.76・78

番組表（Gガイド）から好みの設定で予約する（詳細予約）

デジタル放送 **本体** **BD-RE** **BD-R**

番組表から予約したい番組を選んで、好みの設定で予約できます。

準備 ブルーレイ（BD-RE/-R）に録画するときは、初期化されていて録画が可能で残量があるディスクを入れておく P.130

● ディスクの再生が始まる場合は、停止しておきます。

1 予約 番組表 を押す

● 番組表が表示されます。（番組表の見かたは P.49 をご覧ください。）

■ 別の放送の種類の番組表を見るときは

地上 BS CS を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

2 ▲▼◀▶ で予約したい日の番組を選び、黄 を押す

● 「番組内容」画面が表示されます。

■ 別の日の番組表を見るときは

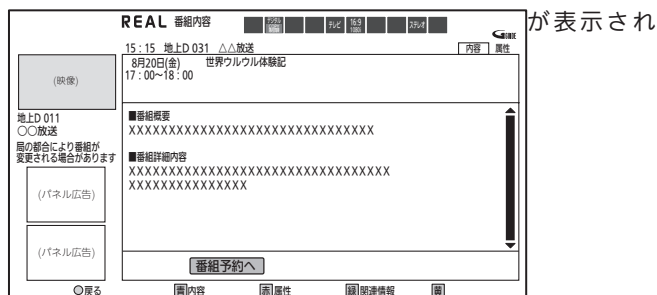
青 を押して「日付選択」画面を表示し、▲▼ で日付を選んで 決定 を押します。

■ フリーワード、ジャンル、キーワード、人名などから予約する番組を探すときは P.51

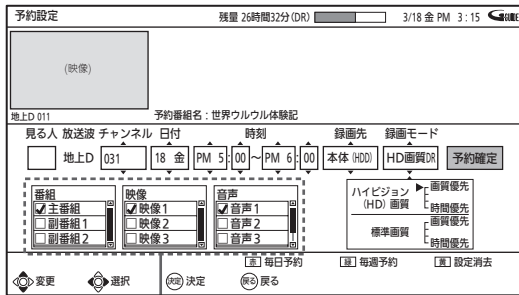
3 「番組予約へ」が選ばれているので、決定 を押す

● 「予約設定」画面が表示されます。

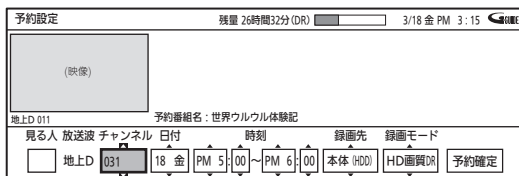
次ページへつづく

お願い！

●録画予約をしたときは、必ず主電源(本体右側 P.18)を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。P.76・78

4 予約内容を確認する

映像・音声が複数ある番組を録画モードDR以外で予約するときにだけ、表示されます

5 予約内容を変更するときのみ、

◀▶ で希望の項目に移動し、▲▼ で内容を変更する

■ **放送局（チャンネル）の枝番を切り換えるときは**

「チャンネル」項目に移動し、希望の枝番がついたチャンネルに変更します。

■ **毎週/毎日録画をするときは**

「日付」項目に移動し、希望の表示（毎週土、毎日、月ー土、月ー金など）に変更します。

- ▼ を押していくと、毎週/毎日録画用の表示を早く表示することができます。
- 毎週録画、毎日録画（「毎日」）は、手順7で簡単に設定することもできます。

■ **ブルーレイ（BD-RE/-R）に予約するときは**

「録画先」項目に移動し、「BD」に変更します。

■ **録画モードを変更するときは**

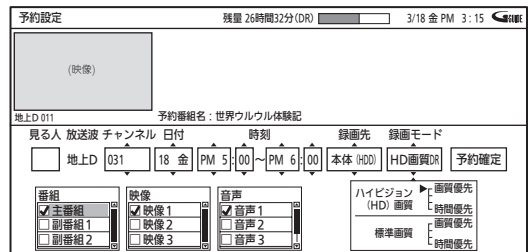
「録画モード」項目に移動し、希望の録画モードに変更します。（録画モードについては P.72）

■ **ユーザーを設定するときは（本体のみ）**

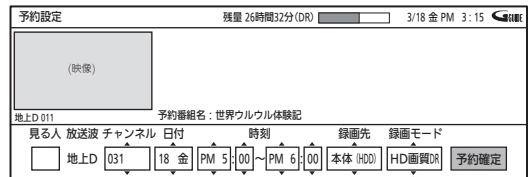
「見る人」項目に移動し、希望のユーザーマークに変更します。

（「録画一覧」画面 P.100 でユーザー別の録画一覧が利用できるようになります。）

6 映像・音声が複数ある番組（マルチ番組）を録画モードDR以外で予約するときのみ、

◀▶ で希望の項目（番組、映像、音声）に移動し、▲▼ で内容を変更したあと、決定 を押す

- デジタル放送のマルチ番組を録画モードDR以外で予約するときは、番組、映像、音声を選んで予約する必要があります。変更したい項目に移動し、予約したい内容を選んで決定します。

7 ◀▶ で「予約確定」に移動し、決定 を押す

- 予約が確定して番組表に戻り、録画予約した番組に「予」が表示されます。
- 予約が重なっているときは「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。P.95

■ **毎週/毎日録画を簡単に設定するときは**

毎週録画をするときは

この手順のときに、 緑 を押します。

毎日録画（「毎日」）をするときは

この手順のときに、 赤 を押します。

■ **他の番組を続けて予約するときは**

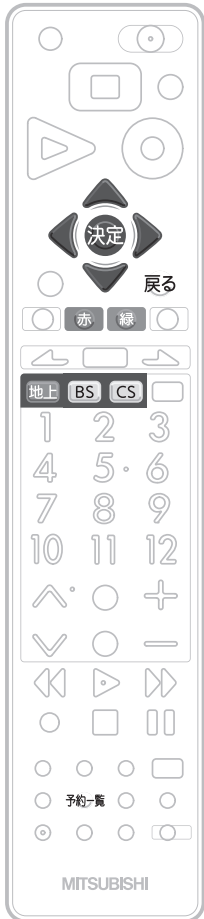
このあと、手順2～7をくり返します。

お知らせ

- チャンネルを変更して予約を行った場合、番組表に「予」は表示されません。
- 予約録画により2番組同時録画となったときは予約を優先しますので、視聴中の番組が録画している番組に切り換わります。P.77（視聴中の番組が予約番組と同じ場合は切り換わりません。）
- 現在放送中の番組を詳細予約で毎週/毎日録画した場合は、現在放送中の番組は録画されず、次回から録画されます。

予約内容を手動で入力して予約する　（時刻指定予約）

デジタル放送、側面端子入力　本体　BD-RE　BD-R

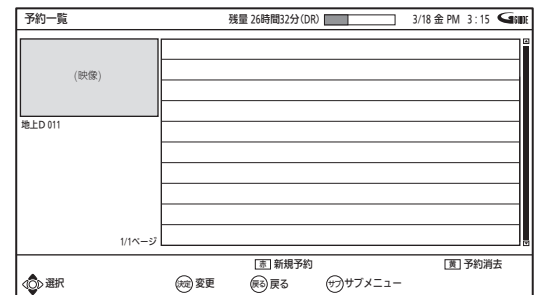
自分でチャンネルや予約日、開始/終了時刻などを入力して予約できます。

準備　ブルーレイ（BD-RE/-R）に録画するときは、初期化されていて録画が可能で残量があるディスクを入れておく P.130

● ディスクの再生が始まる場合は、停止しておきます。

1　地上 BS CS で予約したい放送を選ぶ

● 他の機器からの映像・音声を録画予約するときは、「側面端子」に切り換えます。P.46

2　予約一覧 を押す

● 「予約一覧」画面が表示されます。

3　赤 を押す

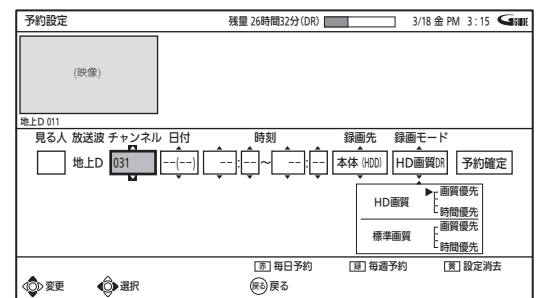
● 「予約設定」画面が表示されます。

4　▲▼ で予約内容を設定し、◀▶ で項目を移動する

チャンネル、
日付、
開始時刻（時、分）、
終了時刻（時、分）、
録画先、
録画モード

を合わせます。

● 昼の12時は「PM 0:00」に、夜の12時は「AM 0:00」に合わせます。
● チャンネルは、手順1で選んだ放送だけが選べます。

お願い！

● **録画予約をしたときは、必ず主電源(本体右側 P.18)を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

お知らせ

● 他の機器から外部入力で予約する場合は、側面端子入力だけから予約することができます。

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。P.76・78

■ 放送局（チャンネル）の枝番を切り換えるときは

「チャンネル」項目に移動し、希望の枝番がついたチャンネルに変更します。

■ 毎週/毎日録画をするときは

毎週録画をするときは

項目をすべて設定したあと 緑 を押すと、「日付」で設定した日からの毎週録画で確定します。（この場合は、手順5の操作は不要です。）

毎日録画（「毎日」）をするときは

項目をすべて設定したあと 赤 を押すと、「日付」で設定した日からの毎日録画で確定します。（この場合は、手順5の操作は不要です。）

毎日録画（「月ー土」、「月ー金」など曜日指定）をするときは

「日付」項目に移動し、希望の表示に変更します。

- ▼を押していくと、毎週/毎日録画用の表示を早く表示することができます。

■ブルーレイ（BD-RE/-R）に予約するときは

「録画先」項目に移動し、「BD」に変更します。

■ 録画モードを変更するときは

「録画モード」項目に移動し、希望の録画モードに変更します。

■ ユーザーを設定するときは（本体のみ）

「見る人」項目に移動し、希望のユーザーマークに変更します。

（「録画一覧」画面 P.100 でユーザー別の録画一覧が利用できるようになります。）

5 ◀▶で「予約確定」に移動し、決定を押す

- 予約が確定し、「予約一覧」画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。P.95

■ 他の番組を続けて予約するときは

このあと、手順3 ～ 5をくり返します。

6 確認が終わったら 戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

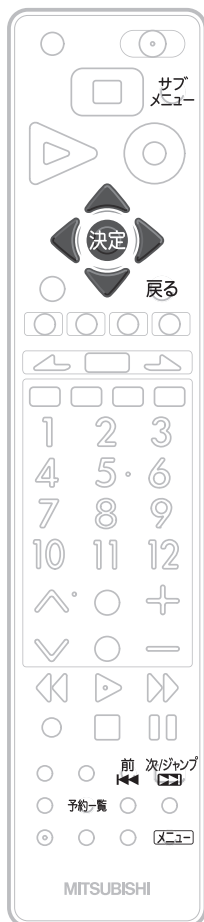
- 時刻指定予約を行った場合、番組表に「予」は表示されません。
- 予約録画により2番組同時録画となったときは予約を優先しますので、視聴中の番組が録画している番組に切り換わります。P.77（視聴中の番組が予約番組と同じ場合は切り換わりません。）

過去の録画履歴などをもとに、条件に合った番組を番組表から抽出して自動予約できます。

過去の録画履歴などをもとに、本機におまかせで自動予約する（おすすめ自動録画）

デジタル放送 **本体**

工場出荷時は、自動予約･録画されない設定になっていますので、自動予約･録画をしたいときは設定を変更してください。

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。P.76・78

おすすめ自動録画の設定を変更するとき

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「録画・再生設定」を選び、決定 を押す

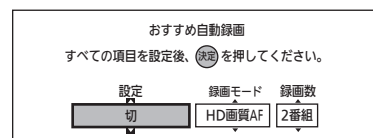
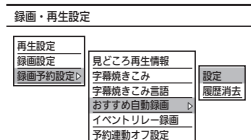
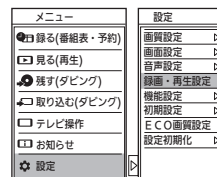
4 ▲▼ で「録画予約設定」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で「おすすめ自動録画」を選び、決定 を押す

6 「設定」が選ばれているので、決定 を押す

- 「おすすめ自動録画情報」画面が表示されます。

7 ◀▶ で希望の項目を選び、▲▼ で設定を変更する

＿＿は工場出荷時の設定です。

番組の抽出方法の設定

「入（安心型＋発掘型）」･･･ 安心型と発掘型の両方から抽出された番組を自動予約･録画するとき。

「入（発掘型のみ）」･･･････ 過去の録画履歴や再生履歴などをもとに、ユーザーの嗜好（しこう）に合った番組を番組表から抽出して自動予約･録画するとき。

「入（安心型のみ）」･･･････ 過去の録画履歴があるのに予約されていない番組を番組表から抽出して自動予約･録画するとき。

「切」･･･････････････････ 自動予約･録画をしないとき。

録画モード（自動予約・録画するときの録画モード）

「HD画質DR」「HD画質AF」「HD画質AN」「HD画質AE」

録画数（1日の最大自動予約・録画番組数）

「4番組」「2番組」「1番組」

8 決定 を押し、変更を確定する

9 変更が終わったら
戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

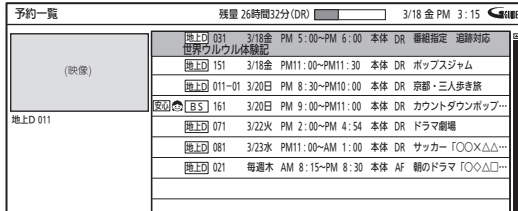
おすすめ自動録画の予約状況を確認するとき

1 予約一覧 を押す

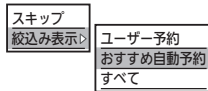
- 「予約一覧」画面が表示されます。

予約一覧　残量 26時間32分(DR)　3/18 金 PM 3：15　G-GUIDE

地上D	031	3/18金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	番組指定 追跡対応 世界ウルウル体験記	
地上D	151	3/18金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム	
地上D	011−01	3/20日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅	
安心 BS	161	3/20日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…	
地上D	071	3/22火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場	
地上D	081	3/23水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「○○×△△…	
地上D	021	毎週木	AM 8：15~PM 8：30	本体	AF	朝のドラマ「○◇△□…	

(映像)
地上D 011

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「絞込み表示」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「おすすめ自動予約」を選び、決定 を押す

5 予約を確認する

■ 別のページを表示するときは

前、次/ジャンプ を押します。

■ 内容を変更したい予約があるときは P.95

■ 不要な予約を削除するときは P.95

6 確認が終わったら 戻る を押し、通常画面に戻す

おすすめ自動録画の番組抽出タイミング

- **1日1回、番組表(Gガイド)の番組データを受信終了後に抽出されます。**
- 「入(安心型＋発掘型)」の場合は、まず「安心型」の番組を抽出し、予約数に余裕があれば「発掘型」の番組を抽出します。同一番組が両方で抽出された場合は、「安心型」で画面に表示されます。

おすすめ自動録画で録画された番組の自動削除

- **本体(HDD)の残量が10%未満になった場合、本体(HDD)の残量が10%以上になるように、次のすべての条件を満たす番組が録画日付の古い順に自動削除されます。**
  - おすすめ自動録画された番組。
  - 録画後見ないまま8日以上経過した番組。
- **保護されている番組は、自動削除されません。**
  自動削除されたくない番組は、番組を保護しておいてください。P.121
- 自動削除は、おすすめ自動録画の番組抽出と同時に実行されます。
- 一度も再生していない番組でも、再生の有無にかかわらず削除されます。
- 本体の残量が10%以上ある場合、自動削除は実行されません。
- おすすめ自動録画の抽出方法を「切」に設定しているときは、自動削除は実行されません。

お知らせ

- 自動予約数が40番組になった場合や、総予約数が80番組になった場合、それ以上は予約されません。
- 本体(HDD)の残量(1週間先までの録画予約分の容量を含む)が10%未満になった場合は、自動予約されません。また、本体の残量がなくなった場合、おすすめ自動録画は実行されません。
- 毎週放送の連続ドラマなどの場合、毎回自動予約されるとは限りませんので、確実に録画したいときはユーザー予約で毎週録画してください。
- 毎日、月～金、月～土の同じ時間に放送されている番組を録画した場合は、最初に録画された曜日の番組だけが自動予約の対象となります。
  (例) 月～土曜日に放送の朝の連続ドラマを予約･録画した場合は、次週の同じ曜日の番組だけが自動予約の対象となります。翌日など、録画した曜日とは違う曜日は、自動予約の対象となりません。
  毎日録画をする場合は、ユーザー予約してください。
- 不要な予約が自動予約によって予約一覧に登録されている場合は、その予約を手動で削除してください。
  削除すると、以降はその番組は自動予約されません。
- おすすめ自動録画の履歴は、おすすめ自動録画の「設定」を「切」にしていても蓄積されていきます。
- おすすめ自動録画の履歴は、消去することができます。
  ① P.90 の手順1 ～ 5を行い、「録画・再生設定」画面の「録画予約設定」－「おすすめ自動録画」を選ぶ
  ② ▲▼ で「履歴消去」を選び、決定 を押す
  ③ ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
- おすすめ自動録画機能は、当社独自の機能です。
  Gガイドの機能ではありません。

予約の便利な機能

番組表から予約したデジタル放送の予約を自動追跡する

デジタル放送　**本体**

自動追跡

デジタル放送の番組を番組表から予約した場合、次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。

（例）
- 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
- 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
- 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
- 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。

自動追跡対象の番組は、「予約一覧」画面の番組情報欄に「番組指定 追跡対応」と表示されます。

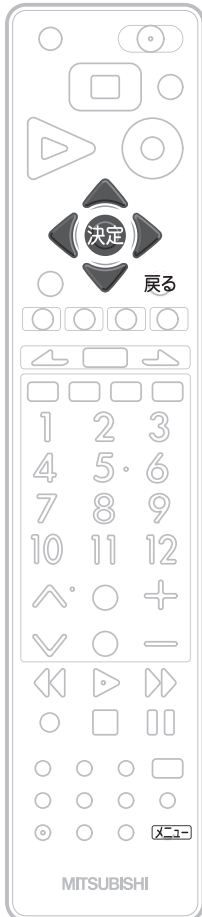
自動的に録画開始/終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週/毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。

イベントリレー録画

P.169の「録画・再生設定」画面の「録画予約設定」ー「イベントリレー録画」の設定を「する」にすると、野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。

（例）　昼の時間帯に「NHK総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK教育」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。

お知らせ

- 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、P.82 の「予約が重なった場合」の例に従って録画されます。
- 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合だけ有効となります。

見どころ再生（スポーツ）/見どころ再生（音楽）用の情報を盛り込んで録画する（見どころ再生情報）

本体

見どころ再生（スポーツ）のハイライト部分または見どころ再生（音楽）の楽曲部分の情報を盛り込んで録画することができます。（見どころ再生については、P.102 ～ 104 をご覧ください。）

本機の番組表（Gガイド）を使って予約するとき

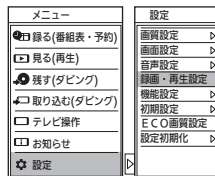
通常は、設定を変更する必要はありません。

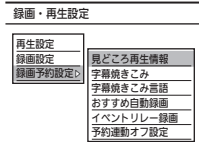
工場出荷時の設定は、

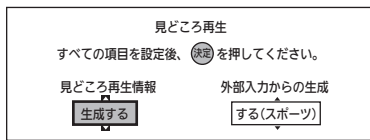
- ジャンルが「スポーツ」の番組の場合は、見どころ再生（スポーツ）のハイライト部分の情報が盛り込まれて録画されます。
- ジャンルが「音楽」の番組の場合は、見どころ再生（音楽）の楽曲部分の情報が盛り込まれて録画されます。

設定を変更するときは

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「録画・再生設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「録画予約設定」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で「見どころ再生情報」を選び、決定 を押す

6 ▲▼ で「見どころ再生情報」の設定を変更し、決定 を押す

「生成する」…… 見どころ再生の情報を盛り込むとき。
「生成しない」…. 見どころ再生の情報を盛り込まないとき。

7 変更が終わったら
戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

他の機器から外部入力で予約するとき P.97

（ケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスや、スカパー！ e2のチューナーなど）

側面端子入力、i.LINK（TS）入力だけから録画できます。

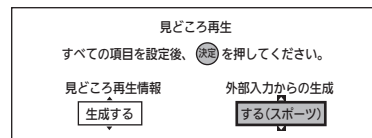
工場出荷時の設定は、見どころ再生（スポーツ）のハイライト部分の情報が盛り込まれて録画されます。

見どころ再生（音楽）の楽曲部分の情報を盛り込んで録画したいときは、設定を変更してください。

設定を変更するときは

1 左記の手順1 ～ 5を行い、「見どころ再生」の設定画面を表示する

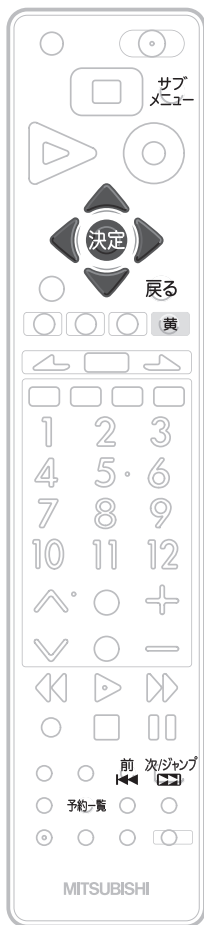
2 ◀▶ で「外部入力からの生成」に移動する

3 ▲▼ で設定を変更し、決定 を押す

「する（スポーツ）」… ハイライト部分の情報を盛り込むとき。
「する（音楽）」…….. 楽曲部分の情報を盛り込むとき。
「しない」………… 情報を盛り込まないとき。

4 変更が終わったら
戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

お知らせ

- 他の機器から外部入力で予約する場合、ハイライト部分と楽曲部分の情報のどちらか一方だけを盛り込んで録画することができます。

予約の確認・変更・削除をする

設定済みの予約を確認する（「予約一覧」画面の表示）

1 予約一覧 を押す

● 「予約一覧」画面が表示されます。

予約一覧　残量 26時間32分（DR）　3/18 金 PM 3：15

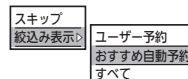
（映像）
地上D 011

地上D	031	3/18金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	番組指定　追跡対応 世界ウルウル体験記
地上D	151	3/18金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム
地上D	011−01	3/20日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅
安心 BS	161	3/20日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…
地上D	071	3/22火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場
地上D	081	3/23水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「○○×△△…
地上D	021	毎週木	AM 8：15~PM 8：30	本体	AF	朝のドラマ「○◇△□…

■ 一覧（すべて、ユーザー予約だけ、おすすめ自動録画だけ）P.71を絞り込みたいときは

① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

② ▲▼ で「絞込み表示」を選び、決定 を押す

③ ▲▼ で表示方法を選び、決定 を押す

■ 別のページを表示するときは

前、次/ジャンプ を押します。

2 確認が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

● 次回に「予約一覧」画面を表示するときは、上の一覧の切り換えは保持されず、「すべて」の予約の一覧が表示されます。

一時的に毎週/毎日録画をやめる（予約スキップ）

祝日などでその週/日の番組の放送がない場合、予約をそのまま残して録画だけ実行されないようにすることができます。

●予約スキップの設定をした予約は、1回だけスキップされます。（次回からは録画されます。）

1 上記の手順**1**で「予約一覧」画面を表示したあと
▲▼ で一時的に毎週/毎日録画をやめたい予約を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 「スキップ」が選ばれているので、 を押す

● 予約スキップを設定した予約には、「ｽｷｯﾌﾟ」が表示されます。

予約一覧　残量 26時間32分（DR）　3/18 金 PM 3：15

（映像）
地上D 011

地上D	031	8/20金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	世界ウルウル体験記
地上D	151	3/18金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム
地上D	011−01	3/20日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅
安心 BS	161	3/20日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…
地上D	071	3/22火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場
地上D	081	3/23水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「○○×△△…
ｽｷｯﾌﾟ 地上D	021	毎週木	AM 8：15~PM 8：30	本体	AF	番組指定　追跡対応 朝のドラマ「○◇△□繁盛物語」

4 設定の変更が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

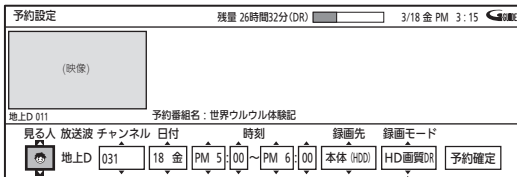
■ 予約スキップを中止するときは

「予約一覧」画面で予約スキップを解除する予約を選び、手順**3**で「スキップ解除」のまま 決定 を押すと、「ｽｷｯﾌﾟ」が消えます。

設定済みの予約の内容を変更する

録画実行中の予約は変更できません。

1 P.94（「予約一覧」画面の表示）の手順1で「予約一覧」画面を表示したあと
▲▼ で変更したい予約を選び、
決定 を押す

2 ◀▶ で変更したい項目に移動し、
▲▼ で内容を変更する

3 ◀▶ で「予約確定」に移動し、決定 を押す

- 予約が確定し、予約一覧画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。
- 自動予約の内容を変更したときは、安心 や 発掘 マークが消え、ユーザー予約に変わります。

4 設定の変更が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

不要な予約を取り消す

予約の取り消しは1予約ずつのみとなります。
録画実行中の予約の取り消しはできません。録画を停止させると取り消されます。P.96

番組表から予約を取り消す

1 番組表を表示中に
「 予 」が表示されている番組で、予約を取り消したい番組を選ぶ P.85

2 決定 を押して、「 予 」を消す

3 予約の取り消しが終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

「予約一覧」画面から予約を取り消す

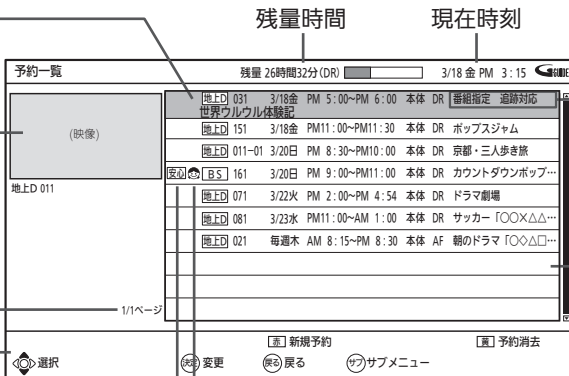
1 P.94（「予約一覧」画面の表示）の手順1で「予約一覧」画面を表示したあと
▲▼ で取り消したい予約を選ぶ

2 黄 を押す

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、
決定 を押す

4 予約の取り消しが終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

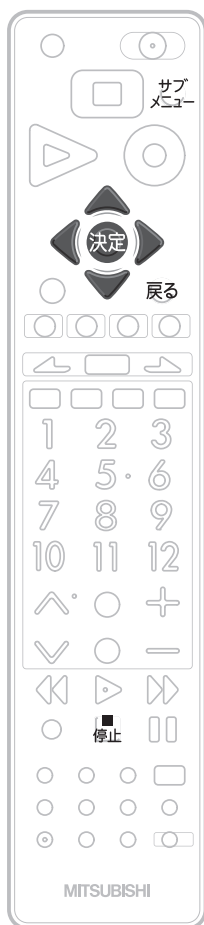
「予約一覧」画面の見かた

(例)「すべて」の予約を表示する設定にしているとき

番組指定：番組表予約(簡単予約、詳細予約)、おすすめ自動予約で予約した番組
時刻指定：時刻指定予約で予約した番組
追跡対応：追跡録画対応番組
（スポーツアイコン）：見どころ再生(スポーツ)対象番組
（音楽アイコン）：見どころ再生(音楽)対象番組

重○、重×：予約重なり P.82
重○：その番組の全部が録画されます
重×：その番組の全部または一部が録画されません
- 重なっている予約は、背景が黄色になります。

安心、発掘：おすすめ自動録画 (本体のみ) P.90
- 予約内容を変更した場合は、マークが消え、ユーザー予約に変わります。

ｽｷｯﾌﾟ：予約スキップ中の予約 P.94

録画実行中の予約の録画を停止する

1番組だけ録画して、再生していない場合

1 停止 を押す

2 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

2番組同時録画中 / 追っかけ再生中 / 録画同時再生中の場合

1 追っかけ再生/録画同時再生をしているときは
停止 を押して、再生を停止する

- 録画一覧画面が表示される場合は、戻る を押して通常画面に戻します。

2 サブメニュー を押す

- 「サブメニュー」画面が表示されます。

3 ▲▼ で録画を停止したい番組の「録画を停止する」を選び、決定 を押す

■ 2番組同時録画で、録画中のもう一方の番組も録画を停止する場合は

停止 を押します。

- 確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

お知らせ

- 録画を停止すると、その番組の予約が取り消されます。
- 停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 停止した位置までが、1番組(タイトル)となります。

他の機器の映像を録画する

CATV(ケーブルテレビ)で受信している番組を録画する

側面端子入力、i.LINK(TS)入力

事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。
設定が間違っていると、正しく録画できません。

- 本機とケーブルテレビのアンテナやホームターミナル/セットトップボックスの接続 P.28・33

  他の機器から外部入力で録画する場合は、側面端子入力、i.LINK(TS)入力だけから録画できます。
- 「録画・再生設定」画面の「録画設定」-「外部音声選択」の設定 P.168(工場出荷時の設定:ステレオ)
- 二重音声を録画する場合は、「録画・再生設定」画面の「録画設定」-「二重音声選択」、「外部音声選択」の設定 P.168

お願い!

- **録画中や録画予約をしたときは、必ず主電源(本体右側 P.18)を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

  録画中は、デジタルインジケーター P.18 が赤色でゆっくり点滅します。

側面端子入力から録画・録画予約する

本体 BD-RE BD-R

デジタル放送のハイビジョン映像は、標準画質で録画されます。

一発録画するときの例 本体のみ

1 ケーブルテレビのi.LINK(TS)非対応セットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本機
入力を「側面端子」に切り換える P.46

3 本機
一発録画する P.84

- 自動で録画は停止しません。停止 で停止してください。

録画予約で録画するときの例 本体 BD-RE BD-R

1 ケーブルテレビのi.LINK(TS)非対応セットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本機
入力を「側面端子」に切り換える P.46

3 本機
時刻指定予約をする P.88

4 ケーブルテレビのi.LINK(TS)非対応セットトップボックス
予約開始時刻に、電源が入っているようにしておく

- 電源が入っていないと、録画できません。

i.LINK(TS)入力からの録画・録画予約をする

本体

デジタル放送のハイビジョン映像を、ハイビジョン画質のままで録画できます。

i.LINK(TS)入力から録画予約をするときは、必ず P.177 の「機能設定」画面の「高速起動設定」の設定を「入」にしてください。(「切」にすると録画できません。)

お願い!

- P.82 の「i.LINK(TS)入力から録画・録画予約する場合」や、P.223 の「【解説】i.LINK(TS)入力からの録画」もご覧ください。

一発録画するときの例

1 ケーブルテレビのi.LINK(TS)セットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本機
入力を「i.LINK」に切り換える P.46

3 本機
一発録画する P.84

- 自動で録画は停止しません。停止 で停止してください。

録画予約で録画をするときの例

1 本機
入力を「i.LINK」以外に切り換える P.46

2 ケーブルテレビのi.LINK(TS)セットトップボックス
i.LINKの設定をし、本機がi.LINK機器として認識されていることを確認する

3 ケーブルテレビのi.LINK(TS)セットトップボックス
録画予約の設定をする

- 録画機器を「D-VHS」に、録画モードを「自動」に設定してください。(本機には録画モードDRで録画されます。)

4 本機
電源を切る

- 録画予約の開始時刻になると、自動的に本機の録画が始まります。(本機の電源が切のときは自動的に電源が入り、録画が始まります。)
- 録画予約の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

お知らせ

- i.LINK(TS)入力からの録画を予約するときは、番組の最初の部分が録画されない場合があるため、録画開始時刻を多少早めに設定しておくことをおすすめします。
- i.LINK(TS)入力から録画予約で本機に録画する場合のみ、録画終了後も録画モードはDRのままとなります。他の番組をDR以外で録画されるときは、録画モードを変更してください。P.168
  i.LINK(TS)入力から一発録画で本機に録画する場合は、本機で現在選ばれている録画モードで録画され、録画終了後も録画モードはそのままとなります。

スカパー！ＨＤ対応チューナーから録画する（「スカパー！ＨＤ録画」）

本体

事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。
設定が間違っていると、正しく録画できません。

- 本機とスカパー！ＨＤ対応チューナーの接続 P.34
- 「スカパー！ＨＤ録画」をするときは、必ず P.177 の「機能設定」画面の「高速起動設定」の設定を「入」にする（「切」にすると録画できません）
- ネットワークの設定 P.185

お願い！

- **録画中や録画予約をしたときは、必ず主電源(本体右側 P.18)を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**
  録画中は、デジタルインジケーター P.18 が赤色でゆっくり点滅します。
- P.83 の『「スカパー！ＨＤ録画」をする場合』や、P.224 の『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。

お知らせ

- スカパー！ＨＤのデータ放送、ラジオ放送は本機に録画できません。
- 地上デジタル放送を受信可能なスカパー！ＨＤ対応チューナーから、地上デジタル放送を本機に録画予約することはできません。
  本機側で録画予約してください。
- ネットワーク環境により、通信速度が遅い場合は録画が停止することがあります。
- 番組の最初の部分が録画されない場合があります。
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」番組の場合は、最初の部分が録画されないことがあります。
- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面、ダビング一覧画面などに表示されないことがあります。視聴制限を解除すると、表示されるようになります。
- 次のような場合、録画したスカパー！ＨＤの番組の字幕表示の入/切や文字スーパーの記録はできません。
  - スカパー！ＨＤ対応チューナーが字幕や文字スーパーの出力に対応していないとき
  - 標準画質の番組のとき
  - 「スカパー！ＨＤ録画」した番組を等速ダビングするとき
  - 本機以外で「スカパー！ＨＤ録画」した番組のとき

スカパー！ＨＤ対応チューナーから録画・録画予約をする

現在放送中の番組を録画するときの例

1 スカパー！ＨＤ対応チューナー

本機が録画先になるように設定する

- 設定については、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

2 スカパー！ＨＤ対応チューナー

録画するチャンネルに合わせる

3 スカパー！ＨＤ対応チューナー

スカパー！ＨＤ対応チューナーのリモコンを操作し、現在放送中の番組の録画を開始する

- 録画番組の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

お知らせ

- 本機の電源が切のときは自動的に電源が入り、録画が始まります。この場合、電源入から録画ができる状態になるまでしばらく時間がかかりますので、録画の最初の部分は録画されません。

録画予約で録画するときの例

1 スカパー！ＨＤ対応チューナー

本機が録画先になるように設定する

- 設定については、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

2 スカパー！ＨＤ対応チューナー

録画予約の設定をする

- スカパー！ＨＤ対応チューナーで設定した予約が、本機の「予約一覧」画面に登録されます。

3 本　機

予約を確認する P.94

- 本機には録画モードDRで録画されます。
- 接続しているスカパー！ＨＤ対応チューナーによって、または視聴制限がある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。視聴制限を解除すると、表示されるようになります。
- 録画予約の開始時刻になると、自動的に本機の録画が始まります。
- 録画予約の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

お知らせ

- 予約によっては、番組の最初の部分が録画されない場合があります。

スカパー！ＨＤ対応チューナーからの録画予約の設定の変更・取り消し

■ 録画予約の設定の変更

- 本機では変更できません。
- 本機とスカパー！ＨＤ対応チューナーの電源を入れた状態で、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で変更してください。

■ 録画予約の設定の取り消し

- 本機とスカパー！ＨＤ対応チューナーの電源を入れた状態で、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で取り消しを行ってください。自動的に本機の予約一覧から消去されます。
  スカパー！ＨＤ対応チューナー側で取り消し操作を行っても本機の予約一覧から消去されない場合は、本機の予約一覧画面から取り消しを行ってください。

スカパー！放送サービスおよびご契約内容の変更に関するお問い合わせは

（2011年2月現在）

スカパー！カスタマーセンター

0570-039-888（PHS・IP電話のお客様は045-287-7777）

受付時間　10：00～20：00　<年中無休>

電話番号はお間違いのないようにお願いします。
お電話いただく前に、有料放送役務契約約款（http://www.skyperfectv.co.jp/top/legal/yakkan/）の内容をご確認ください。
※個人情報の取扱いに関しましては、プライバシーポリシー（http://www.skyperfectv.co.jp/top/privacypolicy/）に記載しております。

本体に録画した番組を見る

本機で録画した番組を見るときは、画面に録画一覧画面を表示させて、見たい番組を選んで再生します。

録画した番組の一覧について（録画一覧画面）

録画一覧画面の見かた

(例) 本体の録画一覧(全)で日付順に並んでいるとき

※1　本体の一覧にだけ、表示されます。
※2　「全」「ユーザー」の一覧にだけ表示されます。

選択中の番組の音声付き早見再生(約1.3倍速)画面
- 録画中の番組は、右のような表示になります。

録画中のため表示できません

選択中の番組と情報(青色)
- 9回：コピー可能（数字はコピー可能回数） P.81・133
- ：ムーブ(移動)のみ可能 P.81・133
- 安心、発掘：おすすめ自動録画で録画された番組　※1 P.90

選択中のラベル　※1
ラベルごとに下記の内容で分類された番組の一覧が表示されます。
- 「全」以外は、表示される番組がないときには選べません。

全：再生可能なすべての番組の一覧 P.101
(ネットワークでダウンロードした番組を除く)

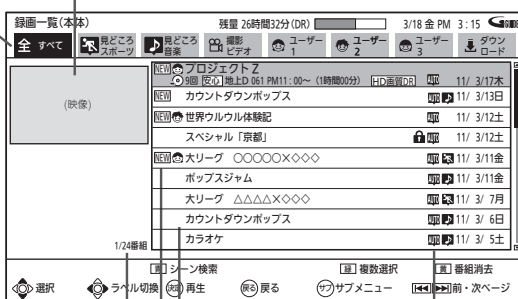
：見どころ再生(スポーツ)が可能な番組の一覧 P.103

：見どころ再生(音楽)が可能な番組の一覧 P.104

：AVCHDで記録された動画をダビングした一覧 P.117

：ネットワークでダウンロードした番組の一覧 P.63

その他：ユーザーアイコン別の番組の一覧

録画一覧(本体)　残量 26時間32分(DR)　3/18 金 PM 3:15
全 すべて　見どころ スポーツ　見どころ 音楽　撮影 ビデオ　ユーザー1　ユーザー2　ユーザー3　ダウンロード
(映像)
NEW プロジェクトZ　9回 安心 地上D 061 PM11:00～(1時間00分) HD画質DR　11/ 3/17木
NEW カウントダウンポップス　11/ 3/13日
NEW 世界ウルウル体験記　11/ 3/12土
スペシャル「京都」　11/ 3/12土
NEW 大リーグ　○○○○○×◇◇◇　11/ 3/11金
ポップスジャム　11/ 3/11金
大リーグ　△△△△×◇◇◇　11/ 3/ 7月
カウントダウンポップス　11/ 3/ 6日
カラオケ　11/ 3/ 5土
1/24番組
シーン検索　複数選択　番組消去
選択　ラベル切換　再生　戻る　サブメニュー　前・次ページ

ガイド表示

ユーザー　※1

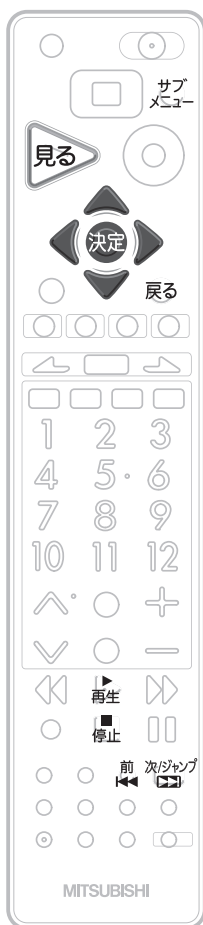
まだ一度も見ていない(未再生の)番組　※1
- 再生すると消えます。

選択中の番組の順番/総数

：保護されている番組 P.121
：おすすめ自動チャプターが記録されていてCMのある番組　※1 P.101・168
：見どころ再生(スポーツ)が可能な番組　※1
：見どころ再生(音楽)が可能な番組　※1
：録画中の番組　※2

- 本機の録画一覧画面は、本体、ディスクごとに別々の画面になっています。
- 一覧の並び順は、「番組名順」「読み込み順」「日付順」「未再生順」から選べます。
（「未再生順」は本体の一覧のみ、「読み込み順」はディスクの一覧のみ）
- 日付順、未再生順の番組は、録画日付の新しい順に並びます。
- 番組名順で最初の5文字が同じ名前の番組は、（フォルダー）でまとめて表示されます。（連続ドラマ一括機能）
（フォルダー）内の一覧を表示したいときは、で の付いた番組名を選んで決定すると、フォルダー内の一覧が表示されます。フォルダー内から元の一覧に戻るには、戻る を押します。
- 番組の情報欄の録画モードが「変換予定」となっている番組は、録画された際に録画モードがいったんDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードが変換されます。 P.76・78
- P.161 の「音声設定」画面の「読み上げ設定」－「自動読み上げ」を「入」に設定していると、選択中の番組内容の一部を読み上げます。（複数の読みかたや特殊な読みかたをする場合、本来の読みかたと異なる読みをすることがあります。）
- 番組名をGガイドから引用しているときは、番組名の左に「GG」が表示されます。（本体の一覧のみ）

お知らせ

- 本体にダビングした番組や、側面端子入力から一発録画した番組は、録画一覧(全)/(ユーザー)画面にだけ表示されます。
- 番組を部分削除、分割したときは録画一覧()/()画面には表示されなくなり、見どころ再生ができなくなります。部分削除、分割後の番組を再生するときは、録画一覧(全)/(ユーザー)画面から選んでください。
- ダビングした番組は、チャンネル番号が「－－ch」になることがあります。
- 番組の消去・編集をするときは、 P.118～126 をご覧ください。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目などで画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 録画一覧画面から番組を再生したときは、その番組の再生が終わると自動的に停止し、録画一覧画面に戻ります。
- 本体再生中にSDカードを入れたりUSB機器を接続すると再生が停止し、SDカードやUSB機器の内容を見るための画面が表示されます。
- ファイナライズ中 P.128 や初期化中 P.193 は、再生できません。

本体に録画した番組全部を見る（本体の通常再生）

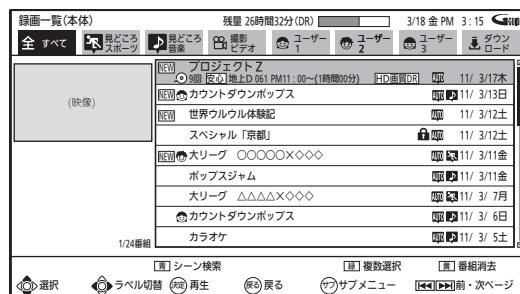
本体

1 を押す

● 録画一覧（全）画面が表示されます。

■ 本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは

「録画した番組を見る」が選ばれているので、決定 を押す

2 ▲▼ で見たい番組を選ぶ

■ ラベルを切り換えるときは

◀▶ で切り換えます。

■ 別のページを表示するときは

前、次/ジャンプ を押します。

■ 一覧の並び順を変えたいときは

① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す

③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

3 再生 または 決定 を押して、再生を始める

● 再生が始まる位置（始めから、続きから）については、P.108 をご覧ください。

4 再生を停止するときは 停止 を押す

● 再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。（停止位置が記憶されます。）
● 再生停止後、戻る を押すと通常画面に戻ります。

再生中に、場面の切りかわるところや本編と CM の変わり目で次の場面までとばしたいときは（おすすめチャプター）

録画一覧画面で「AUTO」が付いた番組には、録画中に場面が切り換わるところや本編とCMの変わり目で、チャプターマークが自動的に記録されています。（おすすめ自動チャプター） P.168

次/ジャンプ を押すと、次の場面（チャプターマークの位置）までとばされます。

● とばされる位置は、録画時のおすすめ自動チャプターの設定（「おすすめ自動1」、「おすすめ自動2」）によって異なります。

録画したスポーツ/音楽番組のハイライト/楽曲部分を見る（見どころ再生）

本機の見どころ再生には、見どころ再生（スポーツ）と見どころ再生（音楽）の2種類があります。

こんなことができます

- 画面にハイライト部分/楽曲部分の情報を表示させて、盛り上がり具合を確認しながらハイライト部分/楽曲部分を検索したり、ハイライト部分/楽曲部分だけを連続して再生したりすることができます。
- 「設定」画面の「録画・再生設定」−「録画予約設定」−「見どころ再生情報」で見どころ再生のハイライト部分/楽曲部分の情報を盛り込んで録画するかどうかを設定することができます。P.93

見どころ再生とは？

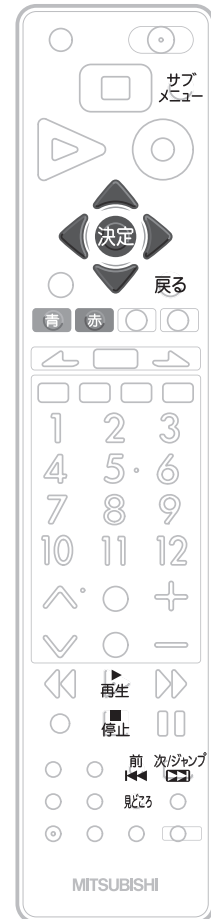
■ 見どころ再生（スポーツ）は

- 本機の番組表（Gガイド）を使ってジャンルが「スポーツ」になっている番組を予約すると、番組の実況アナウンサーの声や観衆の歓声、拍手などをもとに、スポーツ番組のハイライト部分だけを再生するための情報が盛り込まれて録画されます。
- 再生時には、見どころ再生（スポーツ）でハイライト部分だけを再生することができます。
- 見どころ再生（スポーツ）中に、ハイライト部分の再生レベルを変更することができます。

■ 見どころ再生（音楽）は

- 本機の番組表（Gガイド）を使ってジャンルが「音楽」になっている番組を予約すると、番組の音声（LR）の拡がりや場面の切り換わりなどをもとに、音楽番組の楽曲部分（歌の部分など）だけを再生するための情報が盛り込まれて録画されます。
- 再生時には、見どころ再生（音楽）で楽曲部分だけを再生することができます。

■ ケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスやスカパー！ e2のチューナーなど、他の機器から外部入力で予約したときは

- 他の機器から外部入力で予約した番組に対して、スポーツ番組のハイライト部分の情報または音楽番組の楽曲部分の情報のどちらか一方が盛り込まれて録画されます。
- 「設定」画面の「録画・再生設定」−「録画予約設定」−「見どころ再生情報」の「外部入力からの生成」で、ハイライト部分/楽曲部分のどちらの情報を盛り込んで録画するかを設定する必要があります。P.93
- 再生時には、見どころ再生（スポーツ）または見どころ再生（音楽）でハイライト部分または楽曲部分だけを再生することができます。

お知らせ

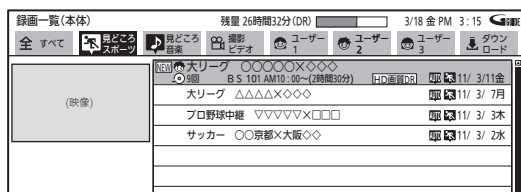
- 見どころ再生のハイライト部分/楽曲部分の情報は録画した番組の音声などをもとに検出しているため、次のような場合は見どころ再生が正しくできないことがあります。
  - ・番組の構成上、ハイライト部分/楽曲部分の情報が検出しづらいとき。（クラシック音楽番組など）
  - ・音楽番組でも、番組表のジャンルが「音楽」になっていないとき。
  - ・野球中継などで副音声を選択して録画したとき。
  - ・受信状態の悪い番組を録画したとき。（特に音声ノイズが大きいような場合）
  - ・他の機器から外部入力で録画時の音量レベルが低いまたは高いとき。
- 録画予約後に、手動で予約のチャンネル、日付（予約日）、開始/終了時刻を変更すると、その番組のハイライト部分/楽曲部分の情報は盛り込まれません。
- 録画予約後に、予約した番組の番組データが変更された場合、その番組のハイライト部分/楽曲部分の情報は盛り込まれません。
  予約当日に、番組表で予約した番組の番組データが変更されていないかどうか確認することをおすすめします。
- 本体へ代理録画された場合は、ハイライト部分/楽曲部分の情報は盛り込まれません。
- 見どころ再生中（見どころ再生の通常再生中を含む）は、次の機能は利用できません。
  ・リピート再生　　・頭だし　　・字幕、カメラアングルの切り換え

スポーツ番組の見どころ再生をするときは

本体

1 見どころ を押す

- 本体の録画一覧( )画面が表示されます。
- 該当する番組がない場合は、本体の録画一覧(全)画面が表示されます。
- 本体の録画一覧( )画面は、他のラベルの録画一覧画面を表示中に ◀▶ でラベルを切り換えて表示することもできます。

2 ▲▼ で見たい番組を選ぶ

3 再生 または 決定 を押して、再生を始める

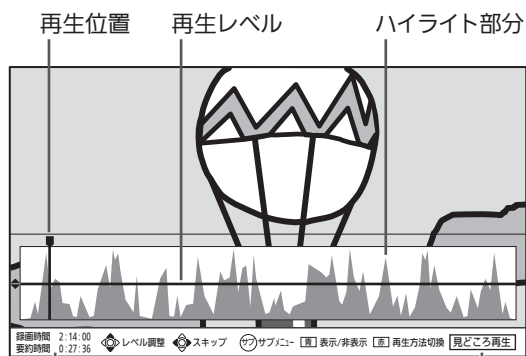
- 再生が始まる位置(始めから、続きから)については、P.108 をご覧ください。

4 見どころ再生をやめるときは 停止 を押す

- 見どころ再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。
- 見どころ再生の場合、停止位置は記憶されません。
- 再生停止後、戻る を押すと通常画面に戻ります。

お知らせ

- 見どころ再生(スポーツ)が可能な番組は、本体の録画一覧(全)画面から再生することもできます。
  ① 番組名の右に「 」が付いた希望の番組を選ぶ
  ② サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  ③ ▲▼ で「再生」を選び、決定 を押す
  ④ ▲▼ で「見どころ再生ースポーツ」を選び、決定 を押す

見どころ再生(スポーツ)中の画面と操作

■ ハイライト部分の情報の表示/非表示を切り換えるとき

青 を押すたびに、表示/非表示が切り換わります。

■ 再生方式を切り換えるとき

赤 を押すたびに、見どころ再生と通常再生が切り換わります。

「見どころ再生」のときは
再生レベルから上の部分だけが再生されます。

「通常再生」のときは
全部分が再生されます。

- 再生中に、再生速度の切り換え、30秒スキップ、チョット戻し、音声の切り換えができます。

■ 次または前のハイライト部分までとばすとき

◀▶ を押すと、次または前のハイライト部分までスキップします。
(前、次/ジャンプ でスキップすることもできます。)

■ 再生レベルを切り換えるとき

▲▼ で再生レベルの位置を上下させ、再生される部分を調整できます。(10段階)

本体に録画した番組を見る（つづき）

音楽番組の見どころ再生をするときは

本体

1 見どころ を押す

- 本体の録画一覧（見どころスポーツ）画面が表示されます。
- 該当する番組がない場合は、本体の録画一覧（全）画面が表示されます。

2 ◀▶ で録画一覧（♪）画面に切り換える

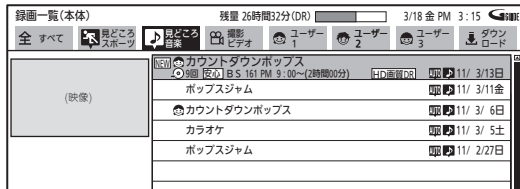
- 本体の録画一覧（♪）画面は、他のラベルの録画一覧画面を表示中に ◀▶ でラベルを切り換えて表示することもできます。

3 ▲▼ で見たい番組を選ぶ

録画一覧（本体）　残量 26時間32分（DR）　3/18 金 PM 3：15 G-GUIDE

全 すべて ｜ 見どころ スポーツ ｜ 見どころ 音楽 ｜ 撮影 ビデオ ｜ ユーザー 1 ｜ ユーザー 2 ｜ ユーザー 3 ｜ ダウン ロード

（映像）

番組	日付
NEW カウントダウンポップス 9回 安心 BS 161 PM 9：00〜(2時間00分) HD画質DR	AUTO ♪ 11/ 3/13日
ポップスジャム	AUTO ♪ 11/ 3/11金
カウントダウンポップス	AUTO ♪ 11/ 3/ 6日
カラオケ	AUTO ♪ 11/ 3/ 5土
ポップスジャム	AUTO ♪ 11/ 2/27日

4 再生 または 決定 を押して、再生を始める

- 再生が始まる位置（始めから、続きから）については、P.108 をご覧ください。

5 見どころ再生をやめるときは 停止 を押す

- 見どころ再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。
- 見どころ再生の場合、停止位置は記憶されません。
- 再生停止後、戻る を押すと通常画面に戻ります。

お知らせ

- 見どころ再生（音楽）が可能な番組は、本体の録画一覧（全）画面から再生することもできます。
  ① 番組名の右に「♪」が付いた希望の番組を選ぶ
  ② サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  ③ ▲▼ で「再生」を選び、決定 を押す
  ④ ▲▼ で「見どころ再生ー音楽」を選び、決定 を押す

見どころ再生（音楽）中の画面と操作

（上）全部分の再生時間
（下）楽曲部分の再生時間
現在の再生方式

楽曲部分の情報の表示/非表示を切り換えるとき

青 を押すたびに、表示/非表示が切り換わります。

再生方式を切り換えるとき

赤 を押すたびに、見どころ再生と通常再生が切り換わります。

「見どころ再生」のときは
楽曲部分だけが再生されます。

「通常再生」のときは
全部分が再生されます。

- 再生中に、再生速度の切り換え、30秒スキップ、チョット戻し、音声の切り換えができます。

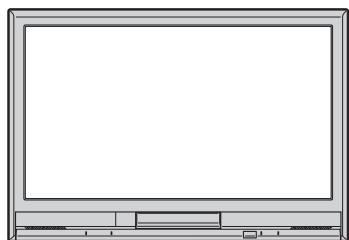
次または前の楽曲部分までとばすとき

◀▶ を押すと、次または前の楽曲部分までスキップします。
（前、次/ジャンプ でスキップすることもできます。）

ディスクを見る

再生可能なディスクの出し入れ

BD-RE BD-R BDビデオ -RW -R DVDビデオ 音楽用CD

再生可能なディスクの種類については P.67・68 をご覧ください。

1 トレイ開/閉ボタン(本体前面)を押して、ディスクトレイを開く

- ディスクトレイが開くまで、しばらく時間がかかることがあります。

2 本機で再生可能なディスクを、光った面を下にしてディスクトレイの上に置く

■ 両面ディスクを再生するときは
再生する面を下にしてください。

3 トレイ開/閉ボタン(本体前面)を押して、ディスクトレイを閉める

- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- 自動的に再生が始まります。ディスクによっては、自動的に再生が始まらないものもあります。

お願い

●新品(未使用)のディスクを入れると、初期化(フォーマット)選択画面が表示されます。P.130

お知らせ

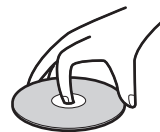
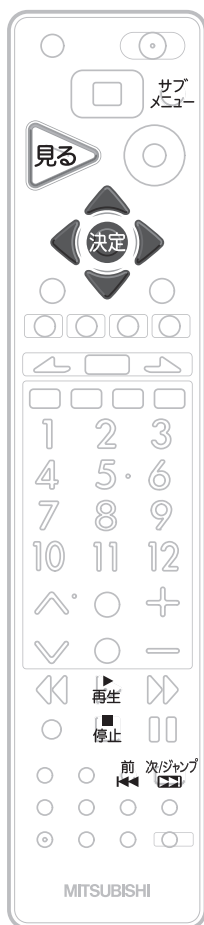
- 録画中(デジタルインジケーターがゆっくり赤点滅)はディスクの種類により再生ができない場合があります。くわしくは、「同時操作について」P.79 をご覧ください。

気を付けて

●ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。
ディスクの破損や本体が故障する原因となります。

ディスクの持ちかた

ディスクの端または中央を持ち、記録･再生面(光っている面)には手を触れないでください。

指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。
布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。
市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

ディスクに録画した番組を見る（ディスクの再生）

BD-RE　BD-R　-RW（AVCREC）　-R（AVCREC）　-RW（VR）　-R（VR）

1 再生したいBD/DVDを入れる P.105

- 自動的に再生が始まります。

2 再生を停止するときは
停止 を押す

- 再生が停止します。（停止位置が記憶されます。）
- 通常画面に戻ります。

■ 続きを見るときは

再生 を押します。

■ 続けて同じBD/DVDを見ないときは

トレイ開/閉ボタン（本体前面）を押して、BD/DVDを取り出しておきましょう。

- 本体に録画した番組を見るときなどに便利です。

同じ BD/DVD の他の番組を見るときは

1 見る を押す

2 本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるので
◀▶ で「ブルーレイ/DVDを見る」を選び、決定 を押す

- BD/DVDの録画一覧画面が表示されます。

3 ▲▼ で見たい番組を選ぶ

■ 別のページを表示するときは

前、次/ジャンプ を押します。

■ 一覧画面に表示する並び順を変えたいときは

① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す
③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

4 再生 または 決定 を押して再生を始める

- 再生が始まる位置（始めから、続きから）については、P.108 をご覧ください。

5 再生を停止するときは
停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。（停止位置が記憶されます。）
- 再生停止後、戻る を押すと通常画面に戻ります。

お知らせ

- DVD-RW（Video）/-R（Video）をファイナライズ P.128 したディスクは、録画一覧画面を表示して再生することができません。
P.107 でディスクメニューから再生してください。

市販のソフトを見る・聞く(ソフトの再生)

BDビデオ DVDビデオ 音楽用CD

1 再生したいディスクを入れる P.105

- 自動的に再生が始まります。

■ **ディスクを入れるとディスクのメニュー画面が表示される場合は**
画面の指示に従って操作してください。

2 自動的に再生が始まらない場合は
再生 を押して、再生を始める

- 再生が始まる位置(始めから、続きから)については、P.108 をご覧ください。

3 再生を停止するときは
停止 を押す

- 再生が停止します。(BDビデオ/DVDビデオの場合は、停止位置が記憶されます。) P.108

4 トレイ開/閉ボタン(本体前面)を押して、ディスクを取り出す

- 続けて見ないときは、BD/DVDを取り出しておくと、本体に録画した番組を見るときなどに便利です。

お知らせ

- **BD/DVDの2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。**
- 市販のソフトの再生中は、テレビ放送と比べて音量が小さく感じられます。おすすめ音量 P.160 を「標準」にしておくと、音量操作が自動的に行われ便利です。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で一時停止となったりディスクメニューが表示されたりすることがあります。
この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起こすことがありますので、お気を付けください。(P.14「画面の残像について」)
- 録画中(デジタルインジケーターがゆっくり赤点滅)は録画モードにより再生ができない場合があります。くわしくは、「同時操作について」P.79 をご覧ください。

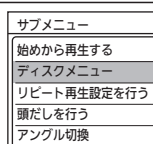
ディスクのメニューやトップメニュー、ポップアップメニューから操作するときは

メニューやポップアップメニューがある BDビデオ DVDビデオ

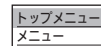
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。
また、BDビデオの場合はポップアップメニューを表示して、再生を止めずにいろいろな操作ができます。
ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクの説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

1 再生中に、サブメニュー を押す

2 ◀▶ で「ディスクメニュー」を選び、決定 を押す

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換

3 ◀▶ で希望のメニューを選び、決定 を押す

BDビデオの場合　ポップアップメニュー / トップメニュー

DVDビデオの場合　トップメニュー / メニュー

4 ▲▼◀▶ で希望のタイトルや項目を選び、決定 を押す

停止した位置の続きから見る（つづき再生・リジューム停止）

通常再生を停止すると、つづき再生の停止状態になり、停止位置が記憶されます。停止位置は電源を切っても記憶しています。

本体 / ディスク別では

■ 本体の場合は

番組ごとに停止位置が記憶されます。

- 見どころ再生の停止位置は記憶されません。

■ BD/DVD、AVCHD P.117 の場合は

停止位置が記憶されます。

- BDビデオ/DVDビデオでは、停止位置が記憶されないものがあります。

■ 音楽用CD、静止画（JPEG） P.115 の場合は

停止位置は記憶されません。

次のような場合は、記憶した停止位置が解除されます

- 停止中に、［停止］を押したとき。
  （本体の場合は、直前に見ていた番組の停止位置が解除されます。）
- 番組の削除や、番組/ディスクの編集をしたとき。
  （この場合、削除や編集をしていない番組の停止位置も解除されます。）
- 初期化をしたとき。

以下は、ディスクのみ

- ディスクトレイを開けたとき。
- ディスクのメニューを表示したとき。 P.107
- ファイナライズをしたとき。 P.128

など。

再生が始まる位置について

操作のしかたによって、再生が始まる位置（始めから、続きから）が変わります。

■ ［再生］を押して、すぐに再生を始めるときは
■ 本体の録画一覧（全）画面から ［決定］ を押して、すぐに再生を始めるときは

停止位置を記憶しているとき

- 記憶している停止位置（続き）から再生が始まります。

停止位置を記憶していないとき

- 番組の始めから再生が始まります。

■ 本体の録画一覧（全）画面から ［サブメニュー］ を押して、サブメニューから再生を始めるときは
■ BD/DVDの録画一覧画面から ［決定］ または ［サブメニュー］ を押して、サブメニューから再生を始めるときは

再生を始める位置（始めから、続きから）を選んで再生します。

①録画一覧画面を表示中に、［サブメニュー］を押してサブメニュー画面を表示する

②▲▼ で「再生」を選び、［決定］ を押す

③再生を始める位置を選んで再生する

記憶している停止位置（続き）から再生するとき
▲▼ で「続きから再生」を選び、［決定］ を押す

始めから再生するとき
「始めから再生」のまま、［決定］ を押す

再生 ▷
手間なしダビング
編集
並べ替え
録画モード変換
視聴制限一時解除

始めから再生
続きから再生
見どころ再生－スポーツ
見どころ再生－音楽

お知らせ

- つづき再生が始まる位置は、停止位置によって多少ずれることがあります。
- ディスクによっては、つづき再生ができないことがあります。

再生速度を変えて見る･聞く

一部を除き、音声は出ません。

早く見る/聞く（早送り/早戻し）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ 音楽用CD

再生中に、早戻し、早送り を押す

- 押すたびに、再生速度が5段階で切り換わります。
- 音楽用CDの再生速度の切り換えはできません。
  音楽用CDの早送り/早戻し中は、およその再生位置が確認できる程度の音声が断続的に出ます。
- 再生 を押すと、通常の速さに戻ります。

音声付きで早く見る（早見再生）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ

再生中に、早送り を1回押す

- 音声付きの約1.3倍速の早送りになります。
- 再生 を押すと、通常の速さに戻ります。

再生を一時的に止める（再生一時停止）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ 音楽用CD

再生中に、一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- 再生 を押すと、通常の再生に戻ります。

ゆっくり見る（スロー /逆スロー再生）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ

再生一時停止中に、早戻し、早送り を押す

- 押すたびに、再生速度が2段階で切り換わります。2でより遅くなります。
  （録画モードAF ～ AEで録画された番組を逆スロー再生する場合は、1と2で同じ速度になります。）
- BDビデオやAVCHDで録画された動画の逆スロー再生はできません。
- 再生 を押すと通常の再生に、一時停止 を押すと再生一時停止に戻ります。
- スロー /逆スロー再生を約5分続けると、再生一時停止に戻ります。

コマを進める/戻す（コマ送り/コマ戻し）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ

再生一時停止中に、前、次/ジャンプ を押す

- 押すたびに、コマが進み/戻ります。
- BDビデオやAVCHDで録画された動画のコマ戻しはできません。
- 再生 を押すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマ飛びして再生されないことがあります。
- ディスクによっては、再生速度の変更ができないことがあります。
- 市販の3D対応BDビデオでは、音声付き早送り(早見再生)はできません。

見たい番組や場面までとばす

見たい／聞きたいところまでとばす（スキップ）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ 音楽用CD

再生中に、前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押す

- 押すたびに（連続10回まで）、チャプターやトラックがとばされます。

30秒単位で先にとばす（30秒スキップ） 15秒単位で前に戻す（チョット戻し）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ

再生中に、チョット戻し、30秒スキップ を押す

- 30秒スキップは、押すたびに（連続10回まで）、約30秒ずつ最大5分先の場面までとばされます。
- チョット戻しは、押すたびに（連続10回まで）、約15秒ずつ最大2分30秒前の場面まで戻ります。

番号や時間を指定してとばす（頭だし）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ 音楽用CD

1 再生中または再生一時停止中に、サブメニュー を押す

2 ▲▼ で「頭だしを行う」を選び、決定 を押す

サブメニュー
始めから再生する
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択

3 ▲▼ で希望の頭だしを選ぶ

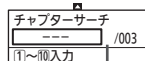
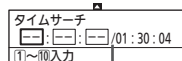
- 押すたびに、頭だしの種類が切り換わります。
- 再生中の本体やディスクの種類によって、選べる頭だしの種類が異なります。
  本体 ･････････ チャプター、タイム（時間）
  BD、DVD ････ チャプター、頭だし、タイム（時間）
  音楽用CD ････ 頭だし、タイム（時間）

（例） チャプターのとき

チャプターサーチ
--- /003
①〜⑩入力

頭だしする番号/総数

タイムのとき

タイムサーチ
--:--:-- /01 : 30 : 04
①〜⑩入力

頭だしする時間/総時間（時間 : 分 : 秒）

4 1 〜 10 で番号または時間を入力し、決定 を押す

- 入力を間違えたときは、黄 を押します。
- 指定した番号または時間までとばされます。

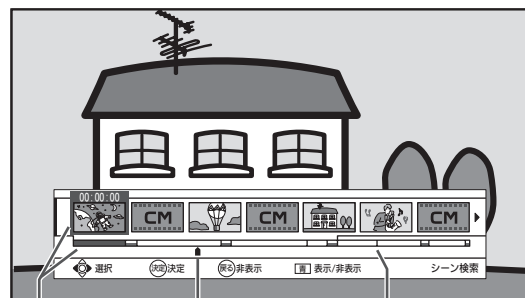
見たい場面を選んでとばす（シーン検索）

本体

「自動チャプターマーク」P.168 を「おすすめ自動1」または「おすすめ自動2」に設定して録画した番組だけ、シーン検索できます。

1 再生中または録画一覧画面を表示中に、青（シーン検索）を押す

- 録画一覧画面を表示中は、再生が始まります。
- 画面下部に、場面（シーン）が7画面まで表示されます。

（例）

2 ◀▶ で希望の場面を選んで、決定 を押す

- 選んだ場面までとばされます。
- 現在表示されている場面よりも前/先の場面があるときは、◀▶ を押していくと前/次の画面が表示されます。（最大99画面まで）
- 表示される場面（シーン）は、録画したときの「自動チャプターマーク」の設定（「おすすめ自動1」か「おすすめ自動2」か）によって異なります。
- 番組の構成によっては、シーン検索の場面（シーン）が表示されないことがあります。
- シーン検索で選んだ場面と実際の場面の切り換わり位置は、ずれることがあります。
- シーン検索の場面の代わりに、「番組」と表示されることがあります。

3 検索が終わったら 戻る を押し、シーン検索画面を消す

お知らせ

- とびこすチャプターやトラック、時間がないときは、見たい番組や場面までとばすことができません。
- ディスクによっては、見たい番組や場面までとばすことができないことがあります。
- 次の場合は、シーン検索できません。
  - 「自動チャプターマーク」を「おすすめ自動1」、「おすすめ自動2」以外に設定して録画した番組
  - 部分削除や分割した番組

くり返して見る（リピート再生）

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ 音楽用CD

1 再生中に、サブメニュー を押す

2 ▲▼ で「リピート再生設定を行う」を選び、決定 を押す

サブメニュー
始めから再生する
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択

3 ▲▼ で希望のリピート再生を選ぶ

- 再生中の本体やディスクの種類によって、選べるリピート再生の種類が異なります。
  本体、BD、DVD ‥ チャプター、番組
  音楽用CD ‥‥‥‥ ディスク、トラック
- リピート再生が始まります。

4 リピート再生をやめるときは
手順3のときに、「オフ」を選ぶ

■ リピート再生をやめて、再生も停止するときは

停止 を押します。

お知らせ

- リピート再生中に録画一覧画面を表示すると、リピート再生が解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生ができないことがあります。

他の機器で作成したプレイリストを再生する（プレイリスト再生）

BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR)

録画一覧画面表示中に、青 を押すとプレイリストの一覧画面が表示されますので、再生したいプレイリストを選んでください。

本機では、プレイリストの作成や編集はできません。

録画中の番組を最初から見る（追っかけ再生）

本体

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら（停止させずに）番組の最初から見ることができます。

1 録画中に、見る を押す

2 選択画面が表示されるときは
◀▶ で「録画した番組を見る」を選び、決定 を押す

- 本体の録画一覧画面が表示されます。

3 ▲▼ で録画中の番組（録画中マーク）を選ぶ

4 再生 を押して、追っかけ再生を始める

5 追っかけ再生をやめるときは
停止 を押す

- 再生が停止します。（録画は続きます。）

■ このあと、録画も停止させるときは

P.96 をご覧ください。

お知らせ

- 録画開始直後の15秒程度は、追っかけ再生ができません。
- 追っかけ再生中に早送りなどを行って、再生が録画に追いついた場合は、自動的に再生が停止します。（録画は続きます。）
- 追っかけ再生中にスキップや頭だしなどを行って、再生が録画に追いつく場合は、その操作は実行できません。
- 追っかけ再生中は、通常再生になります。（見どころ再生はできません。）

再生中の切り換え

音声(言語)、字幕(言語)、カメラアングルを切り換える

音声(言語)を切り換える

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ

再生中の番組に複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

再生中に、音声切換 を押す

- 押すたびに、音声(主音声、副音声など)や音声言語が切り換わります。
- BDビデオでは、連続しての切り換え操作はできません。

字幕(言語)を切り換える

本体 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ

再生中の番組に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕表示の入/切を選んだりすることができます。
(本機で録画した番組の場合は、録画モードDRで録画した番組だけ切り換えできます。P.75)

再生中に、字幕 を押す

- 押すたびに、字幕言語が切り換わります、または字幕が入/切します。
  (字幕がない場合は、何も表示されません。)
- **字幕** を押したあと、▲▼ で切り換えることもできます。
- ボタンを押してから表示が切りかわるまで時間がかかることがあります。
- BDビデオでは、連続しての切り換え操作はできません。

カメラアングル(見る角度)や映像を切り換える

本体 BD-RE BD-R BDビデオ DVDビデオ

再生中の番組に複数のカメラアングルや映像が記録または収録されているときは、映像を選んだり、見る角度を選ぶことができます。

- カメラアングルが選べる場面では、画面に「🎥」が表示されます。

1 再生中に、サブメニュー を押す

サブメニュー
- 始めから再生する
- リピート再生設定を行う
- 頭だしを行う
- アングル切換
- BD再生選択
- 画面サイズ

2 ▲▼ で「アングル切換」を選び、決定 を押す

3 ▼ で希望の映像やカメラアングルに切り換える

お知らせ

- BD/DVDビデオソフトの場合、音声、字幕、カメラアングルの内容はディスクによって異なりますので、ディスクの説明書もご覧ください。
- BD/DVDビデオソフトによっては、ディスクメニュー P.107 を使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- ディスクによっては、本機では音声言語、字幕言語、カメラアングルの切り換えができないことがあります。
- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 本機の電源を切ったりディスクトレイを開けたりすると、音声の設定が P.164 「録画・再生設定」画面の「再生設定」—「音声言語設定」の設定に戻ります。(BD/DVDビデオによっては、そのディスクで決められている言語になります。)
  また、「アングル切換」の設定が「1」に戻ります。
- P.162 の「音声設定」画面の「光音声出力設定」を「ビットストリーム」に設定して二重音声を再生しているときは、デジタル音声(光)出力端子から出力している音声を、本機の「音声切換」操作で切り換えることはできません。この場合は、「光音声出力設定」を「PCM」に設定するか、アンプ側で切り換えてください。
- いろいろな速度での再生中は、字幕は表示されません。
- カメラアングルのアイコン「🎥」は、P.164 の「録画・再生設定」画面の「再生設定」—「アングルアイコン」で表示されないように設定することもできます。

BDビデオの子画面の映像・音声や字幕のスタイルを切り換える

ピクチャー・イン・ピクチャー対応の BDビデオ
字幕スタイル切換対応の BDビデオ

子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応のBDビデオソフトでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。また、字幕スタイル対応のBDビデオソフトでは、字幕のスタイルを選ぶことができます。

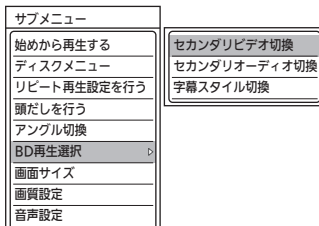
- 子画面の再生のしかたは、BDビデオソフトの取扱説明書をご覧ください。

1 BDビデオの再生中に、サブメニュー を押す

2 ▲▼ で「BD再生選択」を選び、決定 を押す

- 子画面の設定は、親画面/子画面の同時再生中にだけ設定できます。

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択
画面サイズ
画質設定
音声設定

セカンダリビデオ切換
セカンダリオーディオ切換
字幕スタイル切換

3 ▲▼ で希望の項目を選び、決定 を押す

「セカンダリビデオ切換」
・・・ 子画面の映像を切り換えるとき。
「セカンダリオーディオ切換」
・・・ 子画面の音声を切り換えるとき。
「字幕スタイル切換」
・・・ 字幕のスタイルを切り換えるとき。

4 ▲▼ で希望の設定に切り換える

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。

PINコードの入力画面が表示されたときは

BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC)

他社のBDレコーダーなどでディスクにPINコードが設定されているときは、本機で使用するときにPINコードの入力画面が表示されます。
1 〜 10 で設定されたPINコードを入力し、決定 を押してください。

- 本機では、PINコードの設定や変更はできません。

BD-LIVE対応のBDビデオを楽しむ

BD-LIVE対応の BDビデオ

BD-LIVE対応のBDビデオソフトでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなど、いろいろな機能を楽しむことができます。

ほとんどのBD-LIVE対応のBDビデオソフトでは、BD-LIVE機能を利用して再生するために、他のメディア(ローカルストレージ)にコンテンツのデータをダウンロードする必要があります。
本機では、SDカードをローカルストレージとして使用します。
SDスピードクラスのCLASS 2以上で、残量が1GB以上あるSDカードをお使いください。(SDカードが挿入されていない場合、BD-LIVE機能は利用できません。)

- 次のような場合は、BDビデオソフトの説明書をご覧ください。
  - 利用できるBD-LIVE機能や、再生のしかた。
  - インターネットに接続してBD-LIVE機能を利用するためにアカウントの取得が必要な場合の取得方法。
  - SDカードへのダウンロードのしかた。

1 ネットワークの接続と設定を行う P.29・185

2 「録画・再生設定」画面の「再生設定」−「BD-LIVE接続設定」を、「有効」または「有効(制限付き)」に設定する P.164

3 SDカードを入れる P.114

4 BD-LIVE対応のBDビデオソフトを入れる P.105

お知らせ

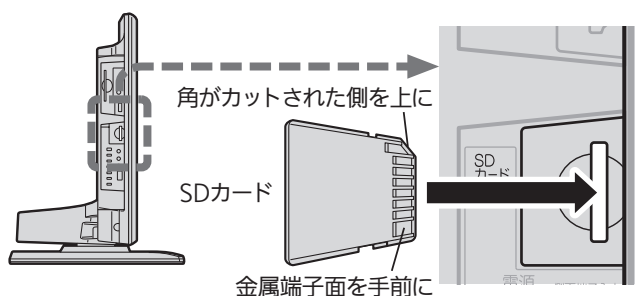
- 他のデータが入ったSDカードや、他の機器でフォーマットされたSDカードを使用すると、正しく再生されないことがあります。その場合は、P.194 でSDカードを初期化するか、他のSDカードをお使いください。
- SDカードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。また、ダウンロードが完了していない部分へスキップができないなど、一部の機能が利用できないことがあります。
- 再生中、映像や音声が停止することがあります。
- 再生中に、レコーダーやディスク認識IDをインターネット経由でコンテンツプロバイダーに送信することがあります。
- 次のような場合、再生を停止することがあります。
  ・録画中　・2番組同時録画中　・ダウンロード中、など

SDカードやUSB、CDの写真を見る

パソコンやデジタルカメラなどでJPEG形式の写真を記録したCD-RW/-RやSDカードを本機で再生することができます。
また、JPEG形式の写真を記録したUSB機器と本機をUSBケーブルで接続すると、本機で再生することができます。

●SDカードやUSB機器の認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。
SDカード、USB機器や本体の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
・本機の電源を切ったり、主電源を切る
・SDカードやUSBケーブルを抜く

SDカードの出し入れ

SD

1 入れるときは

SDカードの角がカットされた側を上にし、金属端子面を手前にして、奥まで(止まるまで)まっすぐ差し込む

2 取り出すときは

SDカードの中央部分を押してロックをはずし、まっすぐに引き出す

USB機器との接続

USB

1 接続するときは

USBケーブルを本機とUSB機器に接続する

- 接続した機器に設定画面が表示されることがあります。その場合は、パソコンを接続するモードに設定してください。(くわしくは、接続するUSB機器の取扱説明書をご覧ください。)

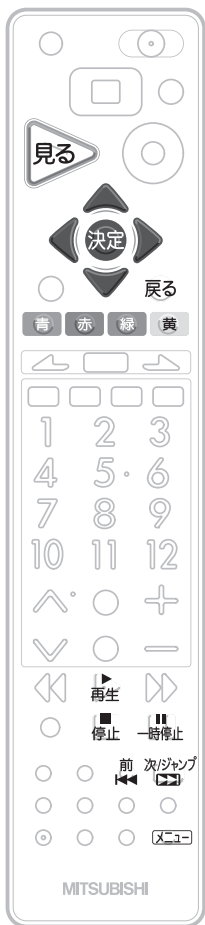
2 接続を解除するときは

USBケーブルを本機からはずす

SD カードについて

- 本機は、SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされたSDHCカードと、FAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDカードに対応しています。
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。

USB 機器について

- 本機で利用できるUSB機器は、USBマスストレージクラス(大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBの機器タイプ)に対応し、JPEG対応のデジタルカメラまたはAVCHD対応のデジタルビデオカメラだけです。
- 上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本体の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は、保障しておりません。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本体の故障の原因となります。

写真を連続して再生する（スライドショー）

CD (JPEG) SD (JPEG) USB (JPEG)

1 JPEGの写真・静止画一覧画面を表示する

CD の場合

①再生したいディスクを入れる P.105

②メニュー を押す

③▲▼ で「見る（再生）」を選び、決定 を押す

④▲▼ で「CD写真・静止画一覧」を選び、決定 を押す

SD カードの場合

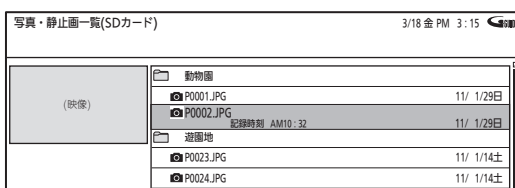
再生したいSDカードを入れる P.114

■写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されるときは
◀▶ で「写真静止画一覧」を選び、決定 を押す

USB 機器の場合

再生したいUSB機器を接続する P.114

■写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されるときは
◀▶ で「写真静止画一覧」を選び、決定 を押す

2 ▲▼ で見たい写真（ファイル）を選ぶ

■ （フォルダー）内の一覧を表示するときは

▲▼ で希望のフォルダー（ ）を選び、決定 を押します。

■ 別のページを表示するときは

前、次/ジャンプ を押します。

3 連続再生するとき（スライドショー）

赤 または 再生 を押し、再生を始める

- 選んだ写真（ファイル）と、それ以降に収録されているファイルが連続再生されます。
- 1ファイルの再生時間（表示間隔）は5秒です。
P.164 の「録画・再生設定」画面の「再生設定」－「JPEGスライドショー」で、10秒に変更することもできます。

選んだファイルだけ再生するとき

青 または 決定 を押し、再生を始める

■ 再生中の写真を回転させたいときは

再生中に 緑 または ◀（左回転）、黄 または ▶（右回転）を押します。

- 回転させた情報は記憶されません。

■ ガイド表示の表示/非表示を切り換えるときは

再生中に、青 を押すたびに表示/非表示が切り換わります。

お願い！

- SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用してJPEG再生や映像取り込み（ダビング）を行ってください。

次ページへつづく

SDカードやUSB、CDの写真を見る（つづき）

4 スライドショーの再生を一時停止するときは
赤 または 一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- もう一度 赤 を押すか 再生 を押すと、再生に戻ります。

5 再生を停止するときは
戻る または 停止 を押す

- 再生が停止し、写真・静止画一覧画面に戻ります。停止したファイルが選ばれています。
- 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止して写真・静止画一覧画面に戻ります。
- JPEG再生の場合、停止位置は記憶されません。

6 SDカードを抜く、USBケーブルをはずす P.114、またはディスクを取り出す

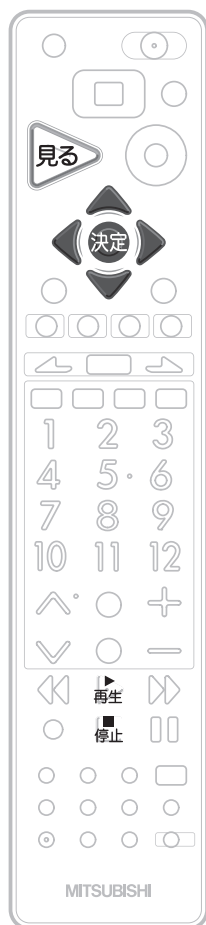
お知らせ

- 再生できないファイルには、「⃠」が表示されます。
- JPEGの録画一覧画面には、JPEG形式のファイルだけが表示されます。
- 写真や絵の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- JPEG再生中に録画予約の録画が始まると、JPEG再生は自動的に停止します。
- 録画中やダビング中は、JPEG再生はできません。
- JPEG形式以外のファイルは再生できません。
- 記録状態などによっては、一覧に表示されるファイルでも再生できないことがあります。
- JPEG再生中に再生できないファイルがあった場合は、再生を中止して録画一覧画面に戻ります。
- USB機器からJPEG再生中または映像取り込み（ダビング）中に、「USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。」というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。
  その場合は、USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。

本機で再生できる JPEG 形式について

- データ名の右端に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた、Exif 2.1準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。
  ただし、上記の拡張子が付いたファイルでも、JPEG形式で記録されていないものは、再生するとノイズが出ることがあります。
- 最大255フォルダー、999ファイルまで対応しています。
- 画素数は、34×34 ～ 8192×8192まで対応しています。
  画素数の小さなファイルを再生した場合は、拡大して表示されます。
- 一覧のフォルダー /ファイル名は、半角で8文字まで表示されます。
- 使用できるディスクは、ISO9660でフォーマットされているCD-RW/-Rだけです。
- 記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEGには対応していません。

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画を見る

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどでディスクに撮影されたAVCHDのハイビジョン画質の動画を、本機で再生することができます。(録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけが再生可能です。)
また、本機の本体にダビングしたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生することができます。

ディスクに撮影されたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生する

DISC(AVCHD)

1 再生したいディスクを入れる P.105

2 再生 を押す

■ ディスクを入れるとディスクのメニュー画面が表示されるときは

ディスクによってメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクを録画した機器の説明書をお読みください。
ここでは、一般的な操作の例を示します。

▲▼◀▶ ････ 希望のタイトルや項目を選びます。
決定 ･･････････ 決定します。

3 再生を停止するときは
停止 を押す

● 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)

本体にダビングしたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生する

本体

1 見る を押す

● 本体の録画一覧(全)画面が表示されます。

■ 本体再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは

「録画した番組を見る」が選ばれているので、決定 を押す

2 ◀▶ で録画一覧(🎥)画面に切り換える

● 録画一覧(🎥)画面は、本体にダビングしたAVCHDの動画がない場合は選べません。

3 ▲▼ で見たい番組を選ぶ

4 再生 または 決定 を押して、再生を始める

● 再生が始まる位置(始めから、続きから)については、P.108 をご覧ください。

5 再生を停止するときは
停止 を押す

● 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)

AVCHDで記録された動画の再生中に、次の再生が利用できます。 P.109 ~ 112

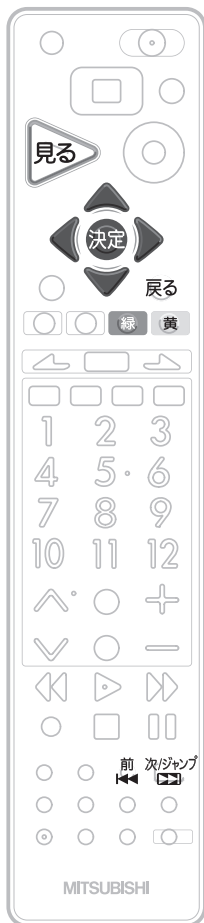
- 通常再生　　・早送り/早戻し
- 早見再生　　・再生一時停止
- スロー再生　・コマ送り
- スキップ　　・30秒スキップ
- チョット戻し　・頭だし
- リピート再生
- 音声切換　　・字幕切換

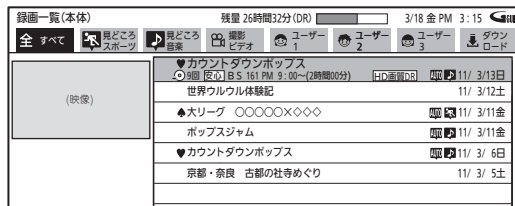
(逆スロー再生、コマ戻しはできません。)

お知らせ

- AVCHD準拠でない動画は、再生できません。
- SDカードやUSB機器に記録されたAVCHDの動画は、本機で直接再生することはできませんが、本体に取り込む(ダビングする)ことができます。 P.140

番組を消去する

●削除（消去）された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。

本体 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 見る を押して録画一覧画面 P.101・106 を表示し、不要な番組を選ぶ

2 黄 を押す

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

● 番組が削除されます。

4 削除が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

●録画中の番組の消去はできません。P.126

番組を削除したときの残量時間について

本体 BD-RE -RW(VR)

番組を削除すると、残量時間が増えます。

BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -R(VR)

番組を削除しても、残量時間は増えません。

DVD-RW(AVCREC)は、番組を削除しても残量時間を増やすことはできません。初期化（再フォーマット）P.194 による録画内容の全消去のみになります。

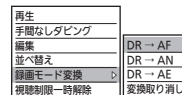
本体の残量時間を増やすため、録画モードDRで録画された番組を録画モードAF ～ AEに変換することができます。

① 録画一覧画面を表示し、希望の番組を選ぶ P.101

② サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

③ ▲▼ で「録画モード変換」を選び、決定 を押す

④ ▲▼ で希望の変換を選び、決定 を押す

⑤「確認」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

■ 録画モード変換予定番組の自動変換をやめる（録画モードDRのまま残す）こともできます。

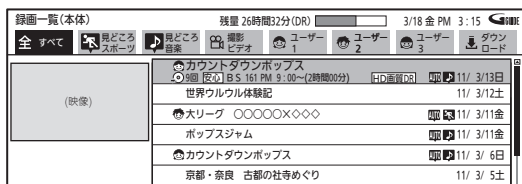
① 上記の手順①～③を行う

② ▲▼ で「変換取り消し」を選び、 を押す

複数の不要な番組を一括削除する

本体 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

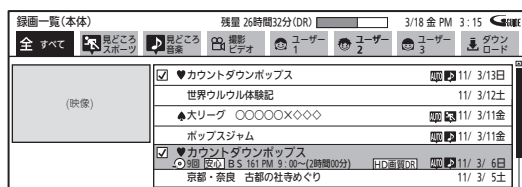
1 見る を押して録画一覧画面 P.101・106 を表示し、不要な番組(1番組目)を選ぶ

2 緑 を押して、削除する番組(1番組目)の左に「☑」を表示する

3 ▲▼ で削除する番組(2番組目)を選ぶ

■ 別のページを表示するときは

前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

- 2番組目以降を選ぶときは、ラベル P.100 の切り換えはできません。

4 緑 を押して、削除する番組(2番組目)の左に「☑」を表示する

5 手順3、4をくり返し、一括削除する番組に「☑」を表示させる

- 最大20番組まで一度に削除できます。

■ 削除を取り消すときは

「☑」の番組を選んで 緑 を押し、「☑」を消します。

6 黄 を押して、一括削除する番組を確定する

- 確定せずにやめるときは、戻る を押します。

7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 番組が一括削除されます。

8 削除が終わったら 戻る を押し、通常画面に戻す

番組を消去する

残す(ダビング)

お知らせ

- 「スカパー!HD録画」した番組や「ネットワーク」からダウンロードしたコンテンツの録画モード変換はできません。
- 左記の方法で録画モードをDRからAF～AEに変換した番組は
  - 画質が低くなります。
  - マルチ番組の音声は、映像1・音声1だけとなり、再生中の切り換えはできません。
  - 字幕は表示できません。
- 録画モード変換予定番組が5番組以上ある場合、左記の操作はできません。
- 録画モード変換予定番組は、録画一覧画面 P.100 の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
  (例) 録画モードAFに変換予定の番組の場合
  変換前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 変換予定➜AF
  変換終了後、変換取り消し後 ・・・ HD画質AF
- 録画モードの変換は、本機の電源が「切」(主電源は「入」)になってから数分後、録画日時の古い変換予定番組(自動変換予定番組 P.76, 78～80 も含む)から順に自動的に開始されます。(変換順は前後することがあります。)
  変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。(変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。)
  変換中に本機の電源が入になったときは、そのとき変換実行中の番組の変換を中止し、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

番組を編集する

お知らせ

● 録画中の編集の制限については、P.126 をご覧ください。

チャプターマークを手動で追加・削除する

本体 BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR)

チャプターマークの手動追加・削除は、通常再生（番組全部の再生）時にのみ、行うことができます。
見どころ再生時には、チャプターマークの手動追加・削除はできません。

チャプターマークを手動で追加する

通常再生中、通常再生の一時停止中に追加できます。

通常再生中または通常再生の一時停止中に、チャプターマークを追加したい場面が映ったら 緑 を押す

● チャプターマークが追加されます。

チャプターマークを手動で削除する

通常再生の一時停止中に削除できます。

1. **通常再生中に、前、次/ジャンプ を押し、スキップで削除したいチャプターまでとばす**
2. **一時停止 を押して、再生を一時停止する**
3. **黄 を押す**
   ● チャプターマークが削除されます。

お知らせ

● チャプターマークは、録画した番組の始めに自動的に追加されます。録画一時停止中から自動で録画が始まった場合は追加されません。
● 本体の場合は、録画中に自動でチャプターマークを追加することもできます。P.168
● 番組の始めに記録されているチャプターマークは削除できません。

ユーザーを変更する

本体

1 見る を押して録画一覧画面 P.101 を表示し、ユーザーを変更する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「ユーザー変更」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で希望のユーザーアイコンを選び、決定 を押す

再生
手間なしダビング
編集
並べ替え
録画モード変換
視聴制限一時解除

部分削除
分割
番組名変更
ユーザー変更
保護設定

なし
ユーザー1
ユーザー2
ユーザー3

- ユーザーは3人まで選べます。

■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

6 変更が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- ユーザーアイコンは、12種類の中から選ぶことができます。（アイコンの重複はできません。） P.164

番組を保護する・保護を解除する

本体 BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR)

1 見る を押して録画一覧画面 P.101・106 を表示し、保護または保護を解除する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 番組を保護するとき

▲▼ で「保護設定」を選び、決定 を押す

- 番組を保護すると、録画一覧画面の番組名に「🔒」が表示されます。

■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

保護されている番組の保護を解除するとき

▲▼ で「保護設定解除」を選び、決定 を押す

■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

5 変更が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- 番組やディスクが保護されているときは、番組の消去や他の編集、ダビング制限のある番組のダビングはできません。

番組を編集する（つづき）

番組名を変更する

本体 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 見る を押して録画一覧画面 P.101・106 を表示し、番組名を変更する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「番組名変更」を選び、決定 を押す

再生	
手間なしダビング	
編集 ▷	部分削除
並べ替え	分割
録画モード変換	番組名変更
視聴制限一時解除	ユーザー変更
	保護設定

■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

5 録画一覧画面上で番組名を変更する

（文字の入力のしかたは、右記を参照）

6 すべての文字入力が終わったら

決定 を押して文字入力を終了する

7 変更が終わったら

戻る を押し、通常画面に戻す

文字入力のしかた

入力可能な最大文字数について

番組名、ディスク名

全角で31文字分（半角で62文字分）まで表示されます。

- 表示される画面や表示によって最大表示可能数が異なり、後半部分が表示されないことがありますので、お気を付けください。
- 未確定のまま入力できる文字数は、全角12文字までです。

一覧などで表示可能な最大文字数について

録画一覧画面の番組名、ディスク名

番組名・・・・・・・全角31文字分（半角62文字分）まで表示されます。
ディスク名・・・全角10文字分（半角20文字分）まで表示されます。

画面表示を表示させたときの番組名

全角20文字分（半角40文字分）まで表示されます。

DVD-RW（Video）/-R（Video）のファイナライズ後に表示されるDVDメニューの番組名、ディスク名

番組名・・・・・・・全角12文字分（半角24文字分）まで表示されます。
ディスク名・・・全角24文字分（半角48文字分）まで表示されます。

お知らせ

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- 本機でBD-RE/BD-Rの番組名やディスク名を変更した場合、本体→BD-RE/BD-Rにダビングした場合、または他の機器で録画されたり、番組名やディスク名を変更されたBD-RE/BD-Rの場合、本機では一部の文字が以下のように表示されることがあります。
  - カナ（半角）文字は、全角カタカナで表示されます。
  - ①〜⑩、Ⅰ〜Ⅹなどの文字は、空白（全角スペース）で表示されます。

入力できる文字の種類

ボタン	文字の種類			
	漢字　(全角かな)	カナ (半角)	英字 (半角)	数字 (半角)
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ		1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	abcABC	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	ghiGHI	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	pqrsPQRS	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	tuvTUV	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
11 わ 記号#	わをんゎー(長音) 記号 ※2	ワヲンー(長音)	記号 ※3	
10 ゛゜	(濁音/半濁音の切換) ※1	゛゜		0

※1 押すたびに、濁音(゛)、半濁音(゜)が切り換わります。(例) か → が → か → ・・・、 は → ば → ぱ → は → ・・・

※2 全角記号一覧が表示され、次の全角記号の中から希望の記号を選んで入力することができます。

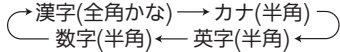
、。，．・：；？！々／〜…（）［］｛｝「」＋－±×÷＝＜＞♂♀￥＄％＆＊＠☆★○●◎
◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓⇒⇔♪①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ（スペース）

※3 半角記号一覧が表示され、次の半角記号の中から希望の記号を選んで入力することができます。

！＃＄％＆’（）＊＋，－．／：；＜＝＞？＠［￥］＿｛｝￣・（スペース）

文字入力に使うボタン

- 押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。

  漢字(全角かな) → カナ(半角) → 英字(半角) → 数字(半角) → 漢字(全角かな)

  切り換えた状態は、画面下側のガイド表示に表示されます。

  [赤] [漢字]　(ガイド表示)
- 漢字、全角カタカナは、「漢字」で入力したあとに変換します。

1 〜 11

- 押すたびに入力文字が切り換わります。(文字の割り当ては左下表を参照。)

- 「漢字」で入力中(未確定状態のとき)は、押すたびに前/次候補を表示します。
- 「英字」、「数字」で入力中は、押すたびに半角/全角が切り換わります。

- カーソルを左右に移動します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときに ▶ を押すと、スペースが入ります。

黄

- 入力中の文字やカーソルで選んでいる文字を削除します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときは、左横の文字にカーソルが移動します。

- 「漢字」で入力中(未確定状態のとき)は、変換中の文字を確定します。
- それ以外のときは、すべての文字を確定させて、文字入力を終了します。

戻る

- 文字入力を途中でやめます。

漢字に変換するときは

例：「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

1 赤 を押して、漢字入力モードに切り換える

2 「かよう」を入力後に、「火曜」に変換する

次の文字が同じボタン上にあるときは

▶ を押すと、カーソルが1文字右へ移動します。
そのあと、同じボタンを押して入力を続けてください。

- 数字の場合(同じ番号を続けて入力する場合)は、この操作は不要です。

記号を入力するときは

1 記号一覧が表示されるまで、11 を何回か押す

2 ▲▼◀▶ で希望の記号を選び、決定 を押す

■ 入力しないで記号一覧を消すときは

黄 を押します。

データ放送表示中 P.43、フリーワード検索 P.51、ネットワーク利用中 P.60 に文字入力する場合は、次のボタンで入力してください。

- 文字の種類(かな、カナ、英数、数字)を切り換えるときは、緑 で切り換え、決定 で決定します。
  漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
- 文字を入力するときは、1 〜 12 で入力し、決定 で決定します。(「数字」で入力中は、決定 で決定する必要はありません。)
  - 漢字に変換するときは、「かな」で文字を入力後に ▲▼ で変換候補を選び、決定 で決定します。
  - 濁音/半濁音を入力するときは、文字に続けて 10 を押します。
  - 同じボタンで続けて入力するときは、▶ を押してカーソルを1文字右へ移動します。
  - かな、カナの記号は、“かな” “カナ”のときに 10 で入力します。(または、「きごう」と入力後に ▲▼ で変換候補を選び、 で決定します。)
  - 英数の記号は、「英数」のときに 1 または 10 で入力します。(1 と 10 で入力できる記号が異なります。)
    “#”、“*”は、「数字」のときに 11、12 を押します。
  - 入力を間違えたときは、黄 を押します。

番組を編集する（つづき）

●**削除された部分は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。**

番組の不要な部分を削除する（部分削除）

本体

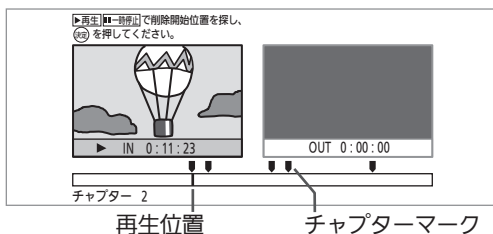
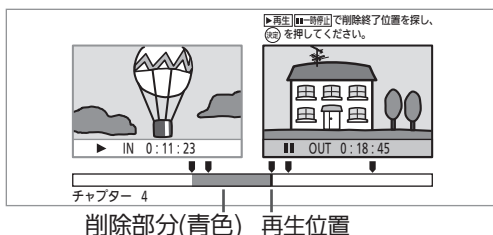
1 見る を押して録画一覧画面 P.101 を表示し、部分削除する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 「部分削除」が選ばれているので、決定 を押す

■ 確認メッセージが表示されるときは
◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

5 左側（IN）の映像を見ながら、不要な部分の開始位置を探し、決定する

6 同様に操作して
右側（OUT）の映像を見ながら、不要な部分の終了位置を探し、決定する

● 選択メニューが表示されます。

7 同じ番組の別の部分を削除するときは
選択メニューの「続けて編集する」で、そのまま 決定 を押す

8 手順5、6をくり返す

9 不要な部分の選択が終わったら
▲▼ で選択メニューの「削除結果を確認する」を選び、決定 を押す

● 右側（OUT）で、削除結果が連続再生（※）されます。

10 確認が終わったら
■停止 を押す

11 ▲▼ で選択メニューの「削除を実行する」を選び、決定 を押す

続けて編集する
削除を実行する
削除結果を確認する

12 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

● 不要な部分が削除されされ、通常画面に戻ります。

お知らせ

● **手順5、6で「この位置に設定できません」というメッセージが表示されたときは**
部分削除の終了位置を設定する場合、チャプターマーク位置から先の数秒間は設定できないことがあります。
この部分に部分削除の終了位置を設定したい場合は、次の操作を行って該当のチャプターマークを削除してください。
① 通常画面に戻るまで 戻る を押して、いったん部分削除の操作を中止する
（確認メッセージが表示される場合は、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。）
② 該当のチャプターマークを削除する P.120
③ もう一度、部分削除の操作を行う

●**分割された部分は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。**

番組を分割する

本体

1 見る を押して録画一覧画面 P.101 を表示し、分割する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「分割」を選び、決定 を押す

再生	
手間なしダビング	部分削除
編集 ▷	分割
並べ替え	番組名変更
録画モード変換	ユーザー変更
視聴制限一時解除	保護設定

■ 確認メッセージが表示されるときは
◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

5 映像を見ながら、分割位置を探し、決定する

再生 ➡ 探す ※ ➡ 決定

再生位置　チャプターマーク

6 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

● 番組が分割され、通常画面に戻ります。

お知らせ

● **手順5で「この位置に設定できません」というメッセージが表示されたときは**
分割位置を設定する場合、チャプターマーク位置から先の数秒間は設定できないことがあります。
この部分に分割位置を設定したい場合は、次の操作を行って該当のチャプターマークを削除してください。
① 通常画面に戻るまで 戻る を押して、いったん分割の操作を中止する
（確認メッセージが表示される場合は、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。）
② 該当のチャプターマークを削除する P.120
③ もう一度、部分分割の操作を行う

※**部分削除の開始/終了位置の検索をするとき、**
削除結果の確認再生をするとき、
分割位置の検索をするとき、
は、次の再生が利用できます。 P.109·110

・再生　・早送り/早戻し
・再生一時停止　・スロー/逆スロー再生
・スキップ（再生一時停止中からでもできます）
・30秒スキップ　・チョット戻し

● コマ送り/コマ戻しをするときは、再生一時停止中に 赤（コマ送り）、青（コマ戻し）を押します。

● 部分削除の開始/終了位置の検索時のみ、再生一時停止中に 停止 を押すと、番組の先頭に移動させることができます。

お知らせ

●**録画中は、番組の部分削除や分割はできません。** P.126

● 番組の部分削除や分割をしたあとは、その番組の見どころ再生ができなくなり、録画一覧（🏃）/（♪）画面には表示されなくなります。
部分削除・分割後の番組を再生するときは、録画一覧（全）/（ユーザー）画面から選んでください。

● 指定した部分削除の開始/終了位置や分割位置と、実際に編集される箇所とは、1秒程度ずれることがあります。

番組を編集する（つづき）

番組の編集の制限

ダビングすると「ムーブ（移動）」になる部分を含んでいる番組の編集について

- 「ムーブ（移動）」になる部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「ムーブ（移動）」でダビングされます。
- 本体に録画された番組で、「ムーブ（移動）」になる部分だけを部分削除した場合や、「ムーブ（移動）」になる部分と「コピー」になる部分を分割した場合でも、部分削除・分割後の番組は「ムーブ（移動）」になります。（「コピー」にはなりません。）

録画中にできる編集について

- 本体やBD-RE/-Rの録画中は、次の編集ができます。

○：できる　×：できない　－：該当なし

機能	本体の録画中			BD-RE/-Rの録画中	
	本体の録画済みの番組	本体の録画中の番組	BD-RE/-R、DVD-RW/-R	本体	BD-RE/-R
再生中のチャプターマークの追加･削除	○	×	○	○	×
1番組の削除、複数番組の一括削除	○		×		
番組の部分削除	×		－		
番組の分割	×		－		
番組名の変更	○		○		
ユーザーの変更	○		－		
番組の保護/保護解除	○		○		

お知らせ

- **番組やディスクが保護されているときは、番組の消去や他の編集、ダビング制限のある番組のダビング、ファイナライズ** P.128 **はできません。**
- 一部のBD-Rでは、本機で編集できない場合があります。
- ネットワークでダウンロードした番組のチャプター追加/削除、部分削除、分割などの編集はできません。
- DVD-R/DVD-R DL（片面2層）ディスクの編集(番組名やチャプターの変更、ダビング)を約200回以上行うと、ディスク残量にかかわらず編集ができなくなります。

最大録画可能数 / 登録数について

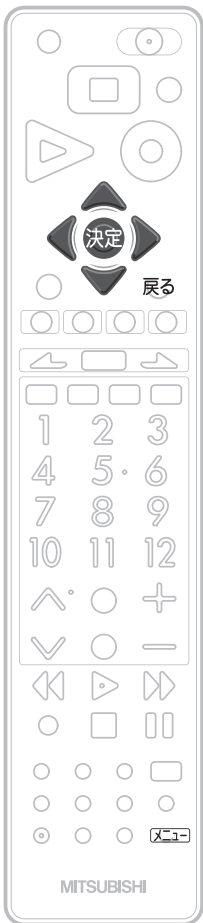
上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大録画可能数/登録数は、ディスクの傷や汚れ、停電などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

本体
- 番組数 ･･････････････････････････････ 1000
- 1番組あたりのチャプター数･･････････････ 997

BD-RE/-R
- 番組数 ･･････････････････････････････ 200
- 1番組あたりのチャプター数･･････････････ 100
- ディスク全体のチャプター数 ････････････ 999

DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）
- 番組数 ･･････････････････････････････ 200
- 1番組あたりのチャプター数･･････････････ 100
- ディスク全体のチャプター数 ････････････ 999

DVD-RW（VR）/-R（VR）
- 番組数 ･･･････････････････････････････99
- ディスク全体のチャプター数 ････････････ 999

ディスクを編集する

ディスク名を変更する

BD-RE　BD-R　-RW (AVCREC)　-R (AVCREC)　-RW (VR)　-R (VR)

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「設定初期化」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「メディア管理（初期化）」を選び、決定 を押す

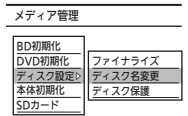
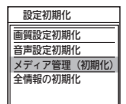
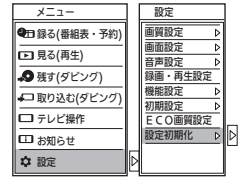
5 ▲▼ で「ディスク設定」を選び、決定 を押す

6 ▲▼ で「ディスク名変更」を選び、決定 を押す

7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

8 ディスク名を変更する
（文字の入力のしかたは、P.122 ～ 123 をご覧ください。）

9 すべての文字を確定したら
決定 を押して文字入力を終了する

10 変更が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- ディスクが保護されているときは、再生のみ可能です。
- 録画中は、ディスクの編集はできません。
- BD-REは、ディスクが保護されている場合でもディスクの初期化 P.193 ができます。

ディスクを保護する・保護を解除する

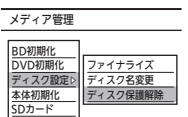
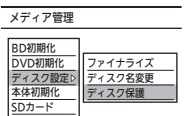
BD-RE　BD-R　-RW (AVCREC)　-R (AVCREC)　-RW (VR)　-R (VR)

1 上記の手順 1 ～ 5 を行う

2 ディスクを保護するとき
▲▼ で「ディスク保護」を選び、決定 を押す

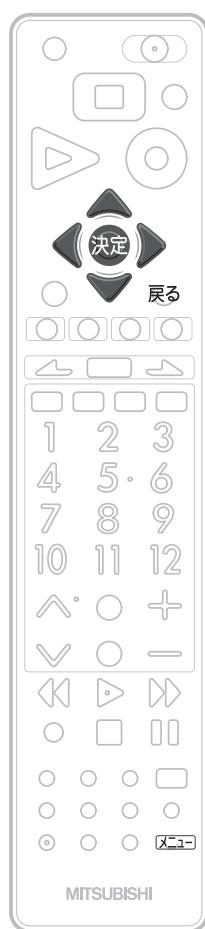
保護されている番組の保護を解除するとき
▲▼ で「ディスク保護解除」を選び、決定 を押す

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

4 変更が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

他のDVDビデオプレーヤーなどで再生できる

本機で録画したディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応した他のBD/DVDプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生することができます。

気を付けて

- **ファイナライズ後は、録画や編集ができなくなります。（DVD-RW（VR）以外は解除もできません。）録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。**
- **ファイナライズは数分から数十分かかります。（録画時間が短い場合や録画した番組数が多い場合は、ファイナライズに時間がかかります。）**
- **ファイナライズ中は、途中で中止できません。**
- **ファイナライズ中/ファイナライズ解除中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。ディスクの破損や本体が故障する原因となります。**
- **ファイナライズ中/ファイナライズ解除中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。**

本機で録画したディスクをファイナライズするときは

BD-R **-RW(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **-RW(VR)** **-R(VR)** のとき

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

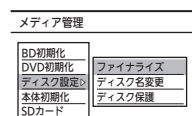
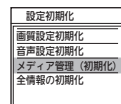
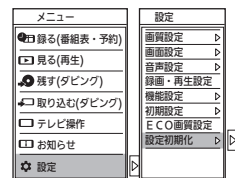
3 ▲▼ で「設定初期化」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「メディア管理（初期化）」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で「ディスク設定」を選び、決定 を押す

6 「ファイナライズ」が選ばれているので、決定 を押す

7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- ファイナライズが始まり、ファイナライズの進捗表示が表示されます。
- 進捗表示は目安です。ディスクによっては、90%以降の表示の進捗がかなり遅くなることがあります。
- ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

-RW(Video) **-R(Video)** のとき

ダビングが終わると、自動的にファイナライズされます。
手動でファイナライズすることはできません。

- ファイナライズ後は、録画一覧画面が利用できなくなります。
- ファイナライズ後は、ディスクメニューが作成されますので、再生するときはディスクメニューから希望の番組を選んでください。 P.107

ようにする（ファイナライズ）

本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除するときは

-RW(VR)

本機でファイナライズしたDVD-RW（VR）の場合だけ、本機でファイナライズを解除することができます。
解除すると、再び録画や編集をすることができます。

左記の手順6のときに、「ファイナライズ解除」が選ばれているので、

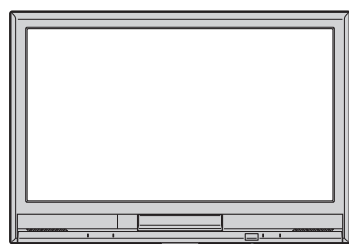
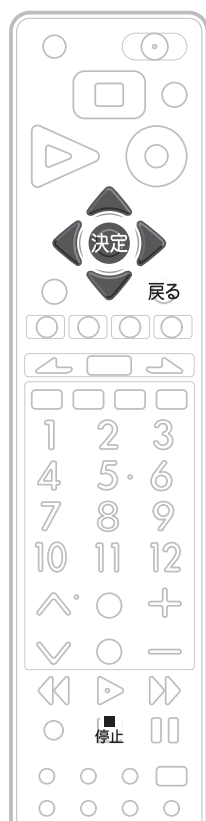
決定 を押す

お願い！

- **他機で録画・ファイナライズされたディスクは、本機でファイナライズやファイナライズの解除ができないことがあります。**

お知らせ

- **BD-REには、ファイナライズはありません。ファイナライズをしなくても、BD対応であれば他のBDプレーヤー /レコーダーやパソコンで再生できます**
  （機器によっては、再生できない場合もあります。）
- DVD-RWは、ファイナライズ後も録画内容を全て消去する初期化(再フォーマット)を行えば、録画可能となります。
- チャプターマークの情報は、ファイナライズ後も引き継がれます。
- DVDプレーヤー /レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。
- ファイナライズ中/解除中に停電したときは
  - DVD-RWは、初期化が必要になることがあります。（初期化をすると、録画内容が消去されます。）
  - BD-R/DVD-Rは、そのディスクが使用できなくなることがあります。

ダビングの前に

録画可能なディスクの出し入れ

BD-RE BD-R -RW -R

録画可能なディスクの種類については P.66 をご覧ください。

1 トレイ開/閉ボタン（本体前面）を押して、ディスクトレイを開く

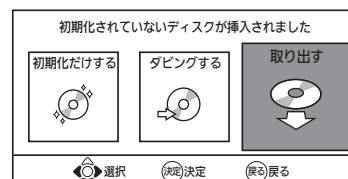
- ディスクトレイが開くまで、しばらく時間がかかることがあります。

2 本機で録画可能なディスクを、光った面を下にしてトレイの上に置く

3 トレイ開/閉ボタン（本体前面）を押して、ディスクトレイを閉める

- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。
  その場合は、停止 を押して停止させてください。

新品（未使用）のディスクを入れたときは

新品（未使用）のディスクを入れると、右の選択画面が表示されます。
P.131 をご覧になり、「初期化だけする」、「初期化とダビングを一括でする」、「初期化せずに取り出す」のいずれかを行ってください。（初期化しないと、録画やダビングはできません。）

- **録画やダビング中は、選択画面は表示されません。**

BD-RE/BD-R
お買上げ時には初期化されていません。使用前に初期化してください。

DVD-RW
お買上げ時には初期化されていません。使用前に録画方式を選んで初期化してください。

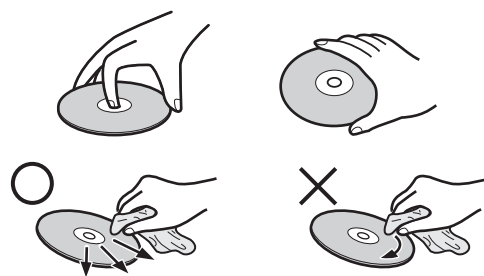
DVD-R
お買上げ時には初期化されていないかVideo方式で初期化されています。使用前に一度だけ録画方式を選ぶまたは変更して初期化することができます。

気を付けて

● ディスクの読み込み中や初期化（フォーマット）中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。ディスクの破損や本体が故障する原因となります。

ディスクの持ちかた

ディスクの端または中央を持ち、記録･再生面（光っている面）には手を触れないでください。

指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。
布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。
市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

新品（未使用）のディスクの初期化（フォーマット）

BD-RE　BD-R　-RW　-R

●BD-R、DVD-Rは、一度初期化すると初期化し直すことはできません。
BD-RE、DVD-RWは、あとで初期化し直すことができます。（初期化すると録画内容は消去されます。P.193・194）
●初期化中は、途中で中止できません。
●初期化中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。

初期化だけするとき

BD-RE/BD-R の場合

ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、

◀▶ で「初期化だけする」を選び、決定 を押す

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終了すると、終了メッセージを数秒間表示したあと、通常画面に戻ります。

DVD-RW/DVD-R の場合

1 ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、

◀▶ で「初期化だけする」を選び、決定 を押す

- 録画方式を選択する画面が表示されます。

2 **▲▼ で希望の録画方式（下欄参照）を選び、決定 を押す**

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終了すると、終了メッセージを数秒間表示したあと、通常画面に戻ります。

初期化とディスクへのダビングを一括でするとき

ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、

◀▶ で「ダビングする」を選び、決定 を押す

- DVDの録画方式の選び方がわからないときは、こちらを選んでください。
- ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、P.136 の手順3へ進んでください。
- 手間なしダビングするときは、先に初期化だけ行い、そのあとで手間なしダビングしてください。P.134

初期化せずに取り出すとき

ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、

「取り出す」で、そのまま 決定 を押す

お知らせ

- デジタル放送をDVD-RW/DVD-Rにダビングするときは、CPRM対応ディスクを使って、AVCRECまたはVR方式で初期化してください。
- 本機で2層ディスク（DVD-R DL）を使う場合は、AVCREC方式でのみ初期化できます。

DVD-RW/DVD-R の録画方式（AVCREC、VR、Video）について

DVD-RW/DVD-Rには録画方式が3種類あり、それぞれ次のような特徴があります。

方式	特徴
AVCREC方式 -RW (AVCREC) -R (AVCREC) DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）	● デジタル放送をハイビジョン画質で記録できる方式です。 ● CPRM対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」（コピー 9回＋ムーブ1回）番組の録画（ダビングのみ）ができます。 ● ファイナライズ後は、AVCREC方式対応のプレーヤー /レコーダーで再生できます。
VR方式 （DVDビデオレコーディング規格） -RW (VR) -R (VR) DVD-RW（VR）/-R（VR）	● DVDレコーダーの基本記録方式です。 ● CPRM対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」（コピー 9回＋ムーブ1回）番組の録画（ダビングのみ）ができます。 ● 一般のプレーヤー /レコーダーで再生できます。
Video方式 （DVDビデオ規格） -RW (Video) -R (Video) DVD-RW（Video）/-R（Video）	● 市販のDVDビデオソフトと同じ記録方式です。 ● 「制限なしに録画可能」番組だけ録画（ダビングのみ）でき、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機ではDVDビデオと同様の扱いとなります。DVDビデオプレーヤーで再生できます。 ● デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」（コピー 9回＋ムーブ1回）番組の録画はできません。

ダビングする前に、必ずお読みください！

ダビングをするときの録画モードとダビング速度

- **録画モードについては、P.72 の「録画モードとおよその録画時間（目安）」をご覧ください。**
- **ダビング元/先の組み合わせにより、音声の再生内容が変わります。P.74 をあわせてご覧ください。**

手間なしダビングするとき

ダビング元 メディア	ダビング元 録画モード		ダビング先 メディア	ダビング速度：録画モード（選択できません）
本体	DR	➡	BD-RE BD-R	高速 ：ダビング元と同じ
			-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	等速（1倍速）：AUTO（AF～AEの間）
			-RW (VR) -R (VR)	等速（1倍速）：AUTO（XP～EPの間）
			-RW (Video) -R (Video)	等速（1倍速）：AUTO（XP～EPの間） ※「制限なしに録画可能」番組のみ
	AF～AE	➡	BD-RE BD-R	高速 ：ダビング元と同じ
			-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	高速 ：ダビング元と同じ
			-RW (VR) -R (VR)	等速（1倍速）：AUTO（XP～EPの間）
			-RW (Video) -R (Video)	等速（1倍速）：AUTO（XP～EPの間） ※「制限なしに録画可能」番組のみ
	XP～EP	➡	BD-RE BD-R	等速（1倍速）：ダビング元と同じ
			-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	ダビングできません
			-RW (VR) -R (VR)	高速 ：ダビング元と同じ
			-RW (Video) -R (Video)	等速（1倍速）：AUTO（XP～EPの間） ※1
BD-RE BD-R	DR	➡	本体	ダビングできません
	AF～AE、XP～EP			等速（1倍速）：ダビング元と同じ
-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	AF～AE	➡		等速（1倍速）：ダビング元と同じ
-RW (VR) -R (VR)	XP～EP	➡		高速 ：ダビング元と同じ
-RW (Video) -R (Video)	XP～EP	➡		ダビングできません

※1 P.168 「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「Video高速ダビング」の設定を「入」にして、側面端子入力から本体に録画された番組をダビングする場合のみ、「高速」でダビングされます。

- 録画モード AUTO ･･･ ディスクの残量時間に合わせて、録画モードが自動的に調整されます。

ダビング一覧からダビングするとき

ダビング元 メディア	ダビング元 録画モード		ダビング先 メディア	選択できる録画モード：ダビング速度
本体	DR	➡	BD-RE BD-R	高速：高速、AF～AE、XP～EP：等速（1倍速）
			-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	ー AF～AE：等速（1倍速）
			-RW (VR) -R (VR)	ー XP～EP、AUTO：等速（1倍速）
			-RW (Video) -R (Video)	ー XP～EP、AUTO：等速（1倍速） ※「制限なしに録画可能」番組のみ
	AF～AE	➡	BD-RE BD-R	高速：高速、AF～AE、XP～EP：等速（1倍速）
			-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	高速：高速、AF～AE：等速（1倍速）
			-RW (VR) -R (VR)	ー XP～EP、AUTO：等速（1倍速）
			-RW (Video) -R (Video)	ー XP～EP、AUTO：等速（1倍速） ※「制限なしに録画可能」番組のみ
	XP～EP	➡	BD-RE BD-R	ー XP～EP：等速（1倍速）
			-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	ダビングできません
			-RW (VR) -R (VR)	高速：高速、XP～EP、AUTO：等速（1倍速）
			-RW (Video) -R (Video)	ー XP～EP、AUTO：等速（1倍速） ※2
BD-RE BD-R	DR、AF～AE、XP～EP	➡	本体	ー AF～AE、XP～EP：等速（1倍速） （DRは選べません）
-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	AF～AE	➡		ー AF～AE、XP～EP：等速（1倍速）
-RW (VR) -R (VR)	XP～EP	➡		高速：高速、ー
-RW (Video) -R (Video)	XP～EP	➡		ダビングできません

※2 P.168 「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「Video高速ダビング」の設定を「入」にして、側面端子入力から本体に録画された番組をダビングする場合のみ、「高速」が選択できます。

- 録画モード 高速 ･･･ ダビング元と同じ録画モードでダビングされます。
- 録画モード AUTO ･･･ ディスクの残量時間に合わせて、録画モードがXP ～ EPの間で自動的に調整されます。

「コピー」と「ムーブ(移動)」

P.81 **の「番組の録画制限、ダビング制限」をご覧ください。**

「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10(コピー 9回+ムーブ1回)」番組をダビングする場合は、ダビング後にダビング元の録画内容の扱い(コピーの場合:ダビング元の録画内容が残る、ムーブ(移動)の場合:ダビング元の録画内容が残らない)が変わります。

- ディスク→本体へダビングする場合、「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10(コピー 9回+ムーブ1回)」番組はダビングできませんが、ダビング不可までの判定に時間がかかります。
  ディスクを再生しないと上記の番組かどうかを本機が認識できないため、ダビングの最後まで再生後にダビング可能/不可の判定がされます。そのため、ダビングできない場合でもダビングできた場合と同じだけ時間がかかることがあります。

「高速ダビング」と「等速ダビング」

ダビング中にできる同時操作については、P.80 **の「同時操作について」をご覧ください。**

高速ダビング	● ダビング元と同じ画質(録画モード)でダビングするとき、高速ダビングになります。 ● 高速記録対応のディスクを使ってダビングすると、ダビングする番組の記録時間よりも短い時間でダビングされます。(高速ダビング中は、本機の動作音が通常よりも大きくなります。) ● 本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)へ高速ダビング中は、本機のチャンネルを切り換えたり、録画一覧画面/番組表などを表示したりすることはできません。
等速ダビング (1倍速ダビング)	● 画質(録画モード)を変えてダビング(レート変換ダビング)するとき、等速ダビングになります。 (ダビング元より高画質の録画モードに変換しても、画質は良くなりません。) ● ダビング元の番組の記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)をかけてダビングされます。 ● 等速ダビング中は、音声の切り換えなど、できない操作があります。

二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕のダビング

P.74 **の「二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕の録画」をご覧ください。**

- 手間なしダビング P.134 で等速ダビングするときは、ダビング再生中の音声が記録されます。

お知らせ

● 本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビングする場合は、ダビングが終わると自動的にファイナライズされ、それ以上ダビングできなくなります。複数の番組をダビングするときは、ダビング一覧からダビングしてください。

・ 本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビングする場合は、ダビングする映像の縦横比によって、「録画・再生設定」画面の「録画設定」−「Videoアスペクト」の設定を変更してダビングしてください。
違う設定でダビングした場合は、再生時に縦長や横長の映像になります。(再生時に画面サイズを変更できます。)
・DVD-RW(Video)は、初期化すると再び録画できるようになります。(この場合、ダビングした内容は消えます。)

● 本機でディスク→本体にダビングする場合は、「制限なしに録画可能」番組のダビングだけが可能です。
デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10」番組、ほとんどの市販のソフトはダビングできません。

● ダビングを開始すると、放送の画面に切り換わります。(ダビング中の映像を本機で見ることはできません。)

・ 本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビング中の場合のみ、ダビング中の画面に切り換わります。(放送の画面に切り換えることはできません。)

● ダビング中に 電源 を押して、画面と音声を消すことができます。(もう一度押すと戻ります。)

- ダビング元のチャプターマークもいっしょにダビングされます。ダビング先のチャプターマークは、多少ずれる場合があります。
- 他の機器のAVCREC方式で録画されたディスクを本機へダビングする場合は、ダビングできないことがあります。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- 高速ダビングの所要時間は、高速記録対応ディスクによって異なり、ディスク記載の倍速よりも遅い速度でダビングされる(ダビング時間がかかる)ことがあります。
- Video方式でファイナライズ済みのディスクを本体へダビングするときは、P.141 の方法でダビングしてください。
- 本体は録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
  大切な録画(録音)内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいる番組は、ダビングできません。
- 市販のソフトやレンタルディスク・テープのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされており、ダビングできません。

番組をダビングする

ダビングする前に、P.132 の「ダビングする前に、必ずお読みください！」をお読みください。

●DVD-RW（Video）/-R（Video）の場合は、ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。

再生中の番組をダビングする（手間なしダビング）

本体 → BD-RE BD-R -RW -R
BD-RE BD-R -RW -R → 本体

1 ダビングするディスクを入れる P.130
（本体→ディスクへダビングする場合は、残量のある録画可能なディスクを入れる）

■ 新品の（未使用の）ディスクを入れた場合は
先に初期化を行ってください。P.131

2 P.101・106 を参照し、ダビング元の番組/プレイリストの再生を始める

● 通常再生、見どころ再生から手間なしダビングすることができます。

3 再生中に、残すダビング を押す

4 確認メッセージに従って、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

● 手間なしダビングが始まります。

DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビングする場合のみ
ダビング終了後、自動的にファイナライズが始まります。
ファイナライズ中は、途中で中止できません。
ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ダビング実行中に途中で中止するときは

気を付けて

● ダビング実行中に途中で中止したときは
・ 再生側･･･内容がそのまま残ります。
・ 録画側
本体、BD-RE、DVD-RW（VR）の場合
･･･ダビングされません。
BD-R、DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）/-R（VR）の場合
･･･ダビングを中止したところまで録画され、ダビングされた分だけディスクの残量時間が減ります。（ダビングされた内容を再生することはできません。）
DVD-RW（Video）の場合
･･･初期化が必要となります。
DVD-R（Video）の場合
･･･ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

1 ダビング中に、残すダビング を約4秒間押し続ける

● DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビング中のときのみ、このあと確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

2 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

見どころ再生中の番組を、手間なしダビングするときは

見どころ再生中の番組を手間なしダビングすると、スポーツ番組のハイライト部分/音楽番組の楽曲部分だけがダビングされます。

●本体→ディスクにだけダビングできます。

●「ムーブ（移動）」になる番組をダビングする場合は、ダビング元の番組でダビングされなかった部分（見どころ以外の部分）はダビング後に消去されます。
番組全体をダビングしたい場合は、通常再生中の番組をダビングしてください。

お知らせ

● 再生中に、サブメニュー画面から手間なしダビングすることもできます。
① 再生中に サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「この番組をダビングする」を選び、決定 を押す

● 録画一覧画面を表示中に、サブメニュー画面から手間なしダビングすることもできます。
① 録画一覧画面を表示中に サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示し、ダビングしたい番組を選ぶ
② ▲▼ で「手間なしダビング」を選び、決定 を押す

● ダビング中に、サブメニュー画面からダビングを中止することもできます。
① ダビング中に サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「ダビングを中断する」を選び、決定 を押す
③ ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
④ 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

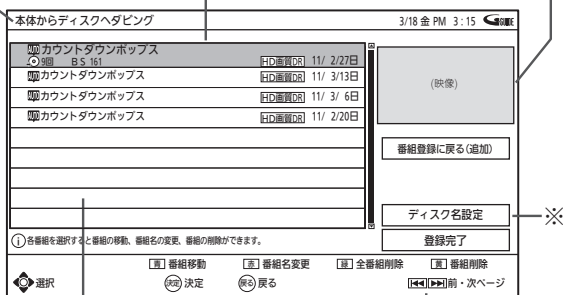
ダビングする前に、P.132 の「ダビングする前に、必ずお読みください！」をお読みください。

●DVD-RW(Video)/-R(Video)の場合は、ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。

複数の番組をまとめてダビングする (ダビング一覧からのダビング)

本体 → BD-RE BD-R -RW -R
BD-RE BD-R -RW -R → 本体

次の順序でダビングします。
1. ダビング用の録画一覧画面を表示する
2. ダビング一覧に番組を追加する/番組を削除する/ダビング順や番組名などを変更する
3. ダビングを開始する

ダビング一覧画面の見かた

●一覧の上から順に、追加された全番組がダビングされます。(一部の番組だけを選んでダビングすることはできません。)
ダビング順は、P.137 で変更することができます。

- 一覧には、以前のダビングで追加した番組が表示されることがあります。
P.136 で全番組または一部番組を削除することができます。

※「ディスク名設定」は、本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)にダビングするときのみ選択できます。

1. ダビング用の録画一覧画面を表示する
- 本体→新品(未使用)ディスクへダビングする場合

1 ダビングするディスクを入れる P.130

2 選択画面が表示されたら、
◀▶ で「ダビングする」を選び、決定 を押す P.131

- ダビング用の録画一覧画面が表示されます。

1. ダビング用の録画一覧画面を表示する
- 本体→初期化済みディスクへダビングする場合
- 本体→録画済みディスクへ追加でダビングする場合
- ディスク→本体へダビングする場合

1 ダビングするディスクを入れる P.130
(本体→ディスクへダビングする場合は、残量のある録画可能なディスクを入れる)

2 再生中でないことを確認し、
残す ダビング を押す

- ダビング用の録画一覧画面が表示されます。
- 再生中に 残す を押すと、手間なしダビング P.134 となります。

次ページへつづく

お知らせ

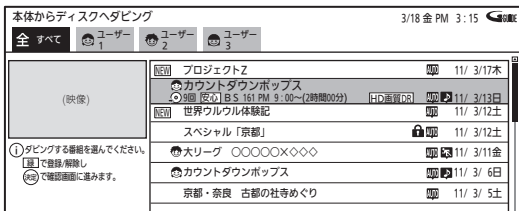
- 「メニュー」→「残す(ダビング)」→「本体録画番組を残す」から、または「メニュー」→「取り込む(ダビング)」→「BD ／ DVDからの映像取り込み」からでも、ダビング用の録画一覧画面を表示することができます。
メニューについては、P.142 をご覧ください。

2. ダビング一覧に番組を登録（追加）する / 番組を削除する / ダビング順や番組名などを変更する

次のようなことができます。

- ダビング一覧に番組を登録（追加）する場合 ‥ 手順3 ～ 6へ
- 全番組を削除する場合 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 手順7 ～ 8へ
- 一部の番組を削除する場合 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 手順9 ～ 11へ
- ダビング順を変更する場合 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 手順12 ～ 14へ
- ダビングする番組名を変更する場合 ‥‥‥‥‥ 手順15 ～ 18へ
- ディスク名を設定する場合
  （本体→DVD-RW（Video）/-R（Video）のみ）‥手順19 ～ 21へ

ダビング一覧に番組を登録（追加）する場合

3 ▲▼ で登録（追加）する番組を選ぶ

- 本体の録画一覧の場合は、（全）/（ユーザー）画面だけから選ぶことができます。
- ディスクのフォーマット方式により登録できない番組があります。
- 録画モードDR・AF～AEの番組と録画モードXP～EPの番組を混在させて登録したときは、標準画質（XP～EP）でダビングされます。

■ 別のページを表示するときは

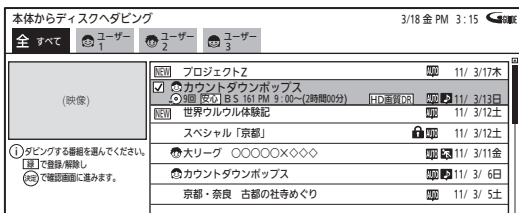
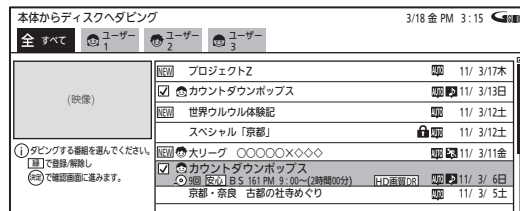
前⏮、次/ジャンプ⏭ を押します。

■ 一覧の並び順を変えたいときは

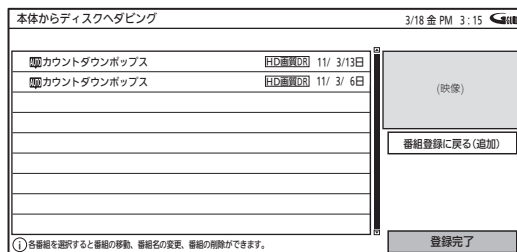
① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す
③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

■ ラベルを切り換えるときは

◀▶ で切り換えます。

4 緑 を押して、登録（追加）する番組（1番組目）の左に「☑」を表示する

5 2番組以降を一括して登録（追加）する場合のみ
左記の手順3 ～ 4を行い、登録（追加）する番組（2番組目以降）を選ぶ

- 2番組目以降を選ぶときは、ラベルの切り換えはできません。

6 決定 を押す

- 番組が登録（追加）されたダビング一覧が表示されます。

■ ダビング一覧画面表示中に、番組を追加するときは

▲▼ で右側の「番組登録に戻る（追加）」に移動し、決定 を押します。
（左側の一覧が選ばれている場合は、▶ ▲▼ で「番組登録に戻る（追加）」に移動し、決定 を押します。）
ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、手順3以降の操作を行ってください。

このあと、ダビングを開始する場合は ‥‥‥手順22へ

全番組を削除する場合

7 ダビング一覧画面を表示中に、
◀ で左側の一覧に移動し、緑 を押す

8 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

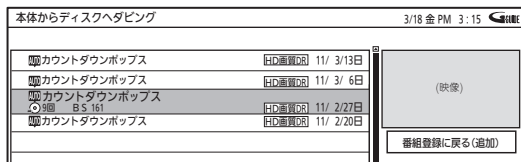
- ダビング一覧の全番組が削除されます。

■ このあと、ダビング一覧画面に番組を追加するときは

右側の「番組登録に戻る（追加）」が選ばれているので、そのまま 決定 を押します。
ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、手順3以降の操作を行ってください。

次ページへつづく

一部の番組を削除する場合

9 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

■ 別のページを表示するときは
前⏮、次/ジャンプ⏭ を押します。

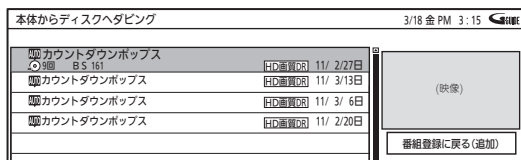
10 黄 を押す

11 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 選んだ番組が削除されます。

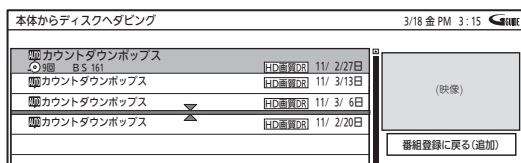
このあと、ダビングを開始する場合は ‥‥‥手順22へ

ダビング順を変更する場合

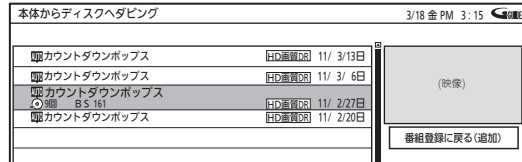
12 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

■ 別のページを表示するときは
前⏮、次/ジャンプ⏭ を押します。

13 青 を押す

14 ▲▼ で順番を移動する位置を選び、決定 を押す

- ダビングの順番が変更されます。

このあと、ダビングを開始する場合は ‥‥‥ 手順22へ

番組名を変更する場合

15 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

■ 別のページを表示するときは
前⏮、次/ジャンプ⏭ を押します。

16 赤 を押す

17 名前を変更する P.122 ～ 123

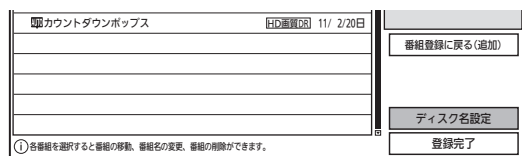
18 決定 を押して、文字入力を終了する

- 選んだ番組の名前が変更されます。

このあと、ダビングを開始する場合は ‥‥‥手順22へ

ディスク名を設定するときは

（本体→DVD-RW（Video）/-R（Video）のときのみ）

19 ダビング一覧画面を表示中に、
▶、▲▼ で、右側の「ディスク名設定」に移動し、決定 を押す

20 名前を設定する P.122 ～ 123

- 中止するときは、戻る を押します。

21 決定 を押して、文字入力を終了する

- ディスクの名前が設定されます。

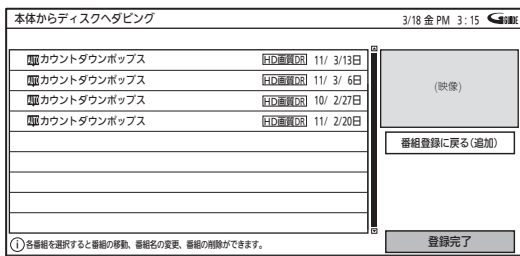
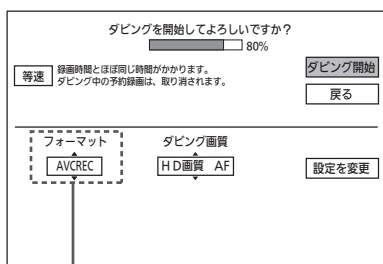
このあと、ダビングを開始する場合は ‥‥‥ 手順22へ

次ページへつづく

お知らせ

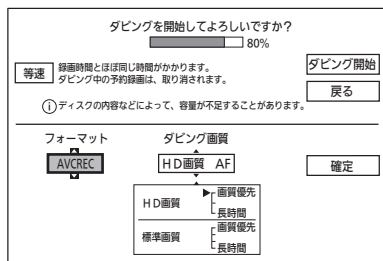
- ダビング一覧の全番組の削除/一部番組の削除/番組名の変更をした場合でも、オリジナルの番組はそのまま残ります。
- オリジナルの番組を消去すると、ダビング一覧の番組も削除されます。
- DVD-RW（Video）/-R（Video）以外のディスクにダビングする場合のディスク名は、ダビング完了後に設定できます。 P.127

3. ダビングを開始する

22 ▶、▲▼ で、右側の「登録完了」に移動し、決定 を押す

次のような画面が表示されます。

DVD-RW/-Rへダビングするときにだけ表示されます。
新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングするときにだけ、録画方式を選べます。

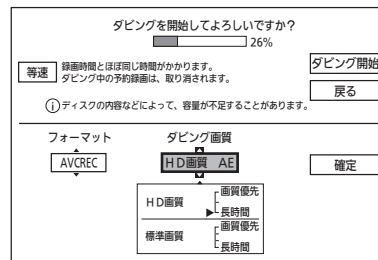
このあとは、
- 新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングする場合 ‥ 手順23へ
- 録画モードを変更する場合 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 手順24へ
- ダビングを開始する場合 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 手順26へ

23 新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングする場合のみ

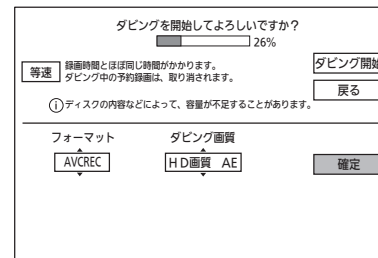
① ▲▼ で「設定を変更」を選んで 決定 を押し、
② ◀▶ で「フォーマット」に移動したあと、
③ ▲▼ で録画方式 P.131 を選ぶ

- 側面端子入力から本体に録画した番組を新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングする場合は、録画方式は「VR」となります。（選択不可）
- 録画方式を変更した場合は、手順25で容量を計算し直してください。

24 録画モードを変更する場合のみ

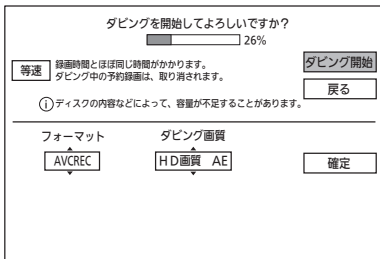
① ▲▼ で「設定を変更」を選んで 決定 を押し、
② ◀▶ で「ダビング画質」に移動したあと、
③ ▲▼ で録画モード P.72 を選ぶ

手順23の操作後に、この手順を行う場合は、①の操作は不要です。

- ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の録画モードなどによって、選べる録画モードは異なります。P.132
- 「高速」以外のモードを選んだときは、等速ダビングになります。
- AUTO（ジャストレコーディング）について
  - ディスクの残量に合わせて録画モードが自動調整されます。（条件により、高速ダビングとなることがあります。）
  - ディスクに傷があったり残量が著しく少ないときは、ジャストレコーディングをしても最後までダビングできないことがあります。
  - 番組の最初から録画モードEPでダビングしても残量が足りないときは、ジャストレコーディングをしても最後までダビングできません。
  - ダビングする番組の内容やディスクの状況によっては、ジャストレコーディング後に残量が残ることがあります。
- 録画モードを変更した場合は、手順25で容量を計算し直してください。

25 手順23・24で設定を変更した場合のみ

◀▶ で「確定」に移動し、決定 を押す

- 容量が計算し直されます。
（容量を計算し直さないと、ダビングを開始できません。）

次ページへつづく

26 ダビングを開始する場合は ▲▼ で「ダビング開始」に移動し、決定 を押す

- ダビングが始まります。
- ダビングの開始を中止するときは、戻る を押します。

新品（未使用）のディスクへダビングする場合のみ

ダビング前に、ディスクの初期化が始まります。
初期化が終わるまで、しばらく時間がかかります。
初期化が終わると、引き続きダビングが始まります。

気を付けて

- **BD-R、DVD-Rは、一度初期化すると初期化し直すことはできません。**
- **初期化中は、途中で中止できません。**
- **初期化中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。**

DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビングする場合のみ

ダビング終了後、自動的にファイナライズが始まります。
ファイナライズ中は、途中で中止できません。
ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ダビング実行中に途中で中止するときは

気を付けて

- ダビング実行中に途中で中止したときは
  - **再生側**･･･内容がそのまま残ります。
  - **録画側**
    - 本体、BD-RE、DVD-RW（VR）の場合
      ･･･ダビングされません。
    - BD-R、DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）/-R（VR）の場合
      ･･･ダビングを中止したところまで録画され、ダビングされた分だけディスクの残量時間が減ります。（ダビングされた内容を再生することはできません。）
    - DVD-RW（Video）の場合
      ･･･初期化が必要となります。
    - DVD-R（Video）の場合
      ･･･ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

1 ダビング中に、残す ダビング を約4秒間押し続ける

- DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビング中のときのみ、このあと確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

2 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

お知らせ

- ダビング中に、サブメニュー画面からダビングを中止することもできます。
  ① ダビング中に サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼ で「ダビングを中断する」を選び、決定 を押す
  ③ ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
  ④ 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

ダビング中に停電があったときは

■全般

- ダビングを中止します。

■再生側は

- 再生側の内容は、そのまま残ります。

■録画側は

本体/BD-RE/DVD-RW（VR）

- ダビングされません。
- 停電発生の状況によっては、ディスクの初期化が必要となったり、そのディスクが使用できなくなることがあります。

DVD-RW（Video）

- ダビングされず、初期化が必要となります。
- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。

BD-R/DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）/-R（VR）

- ダビングが中止されたところまで録画されますが、ダビングされた内容は再生できません。また、ダビングされた分だけディスクの残量時間が減ります。
- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。

DVD-R（Video）

- ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画をダビングする

ダビングする前に、P.132 の「ダビングする前に、必ずお読みください！」をお読みください。

AVCHDのハイビジョン画質で記録された動画を本体にダビングする

DISC(AVCHD) SD (AVCHD) USB(AVCHD) → 本体

デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質（AVCHD）の動画を本体にダビングできます。

- ディスクの場合は、録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけがダビング可能です。
- ダビング元で記録された録画モードで、高速ダビングされます。
  本機で録画モードを変更してダビングすることはできません。
- 編集したい場合は、ダビング後に本体で行ってください。
- ディスクにダビングしたい場合は、一度本体にダビングしてから、本体→ディスクにダビングしてください。

ダビングのしかた

1 ダビング用の録画一覧画面を表示する

ディスクの場合

①ダビングしたいディスクを入れる P.105
- ディスクの再生が始まる場合は、停止しておきます。

②［メニュー］を押す

③▲▼で「取り込む(ダビング)」を選び、［決定］を押す

④▲▼で「BD/DVDからの映像取り込み」を選び、［決定］を押す

SD カードの場合

ダビングしたいSDカードを入れる P.114

■写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されるときは
◀▶で「映像取り込み」を選び、［決定］を押す

USB 機器の場合

ダビングしたいUSB機器を接続する P.114

■写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されるときは
◀▶で「映像取り込み」を選び、［決定］を押す

2 P.136 ～ 139 の手順3 ～26を行い、ダビングを始める

- ダビング先（本体）の録画モードは、「高速」だけが選べます。

ダビング実行中に途中で中止するときは

1 ダビング中に、［残す ダビング］を約4秒間押し続ける

2 中止完了メッセージが表示されたら、［決定］を押す

ダビング後、再生するときは

ダビング後、本体の録画一覧（🎥）画面から再生することができます。P.117

お知らせ

- ダビング実行中に途中で中止したときは
  - 再生側 ………… 内容がそのまま残ります。
  - 録画側（本体）…… ダビングされません。
- AVCHD準拠でない動画は、ダビングできません。
- ダビング後の番組名は、撮影日となります。
- 同じ日に撮影された場面(シーン)は、まとめて1番組になります。ただし、デジタルビデオカメラの撮影状態によって、同じ日に撮影された場面(シーン)でも別々の番組になることがあります。くわしくは、デジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 1つの番組に99シーンを超えて記録されている場合は、99シーンごとに分けて取り込まれます。
- USB機器から映像取り込み（ダビング）中に、「USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。」というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。その場合は、USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。
- 「メニュー」→「取り込む（ダビング）」からでも、ダビング用の録画一覧画面を表示することができます。
  メニューについては、P.142 をご覧ください。
- ダビング中に、サブメニュー画面からダビングを中止することもできます。
  ① ダビング中に［サブメニュー］を押して、サブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼で「ダビングを中断する」を選び、［決定］を押す
  ③ ◀▶で確認メッセージの「はい」を選び、［決定］を押す
  ④ 中止完了メッセージが表示されたら、［決定］を押す

ビデオやビデオカメラから本機にダビングする

ダビングする前に、P.132 の「ダビングする前に、必ずお読みください！」をお読みください。

ビデオやビデオカメラ→本機へのダビングのしかた

他の機器 → **本体**

ビデオテープなどを、他の機器から本機の本体にダビングすることができます。

- ビデオテープをディスクにダビングしたい場合は、ビデオテープを本体にダビングしてから、本体→ディスクにダビングしてください。

事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。設定が間違っていると、希望の音声で録画できません。

- 本機と他の機器（ビデオ/ビデオカメラなど）との接続 P.31
  側面端子入力に接続した機器だけからダビング（録画）できます。
- 「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「外部音声選択」の設定 P.168 （工場出荷時の設定：ステレオ）
- 二重音声を録画する場合は、「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「二重音声選択」、「外部音声選択」の設定 P.168

ダビングのしかた

他の機器の操作については、その機器の取扱説明書をお読みください。

1 本 機

入力を切り換える P.46

- 他の機器をつないでいる入力（「側面端子」）に切り換えます。

2 他の機器

再生を始める

3 本 機

一発録画を始める P.84

4 本 機

録画を一時停止するときは

［一時停止］を押す

- 録画が一時停止します。（本体のみ）
  もう一度押すと、再び録画が始まります。

5 本 機

録画を停止するときは

［停止］を押す

- 録画が停止します。（停止後に次の操作ができるまでしばらく時間がかかることがあります。）
  停止した位置までが、1番組（番組）となります。
- 2番組同時録画中/追っかけ再生/録画同時再生中に録画を停止するときは、P.96 をご覧ください。

ダビング後、再生するときは

ダビング後、本体の録画一覧（全）画面から再生することができます。P.101

お知らせ

- 市販のソフトやレンタルディスク・テープのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされており、ダビングできません。
- 他の機器からBD/DVDにダビングしたい場合は、一度本体にダビングし、本体からBD/DVDにダビングしてください。
- 本体の録画モード（XP ～ EP）を切り換えてからダビングしたい場合は、「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「録画モード」の「アナログ」 P.168 の設定を切り換えてください。

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すだけで、いろいろな機能を呼び出せます。

メニュー画面

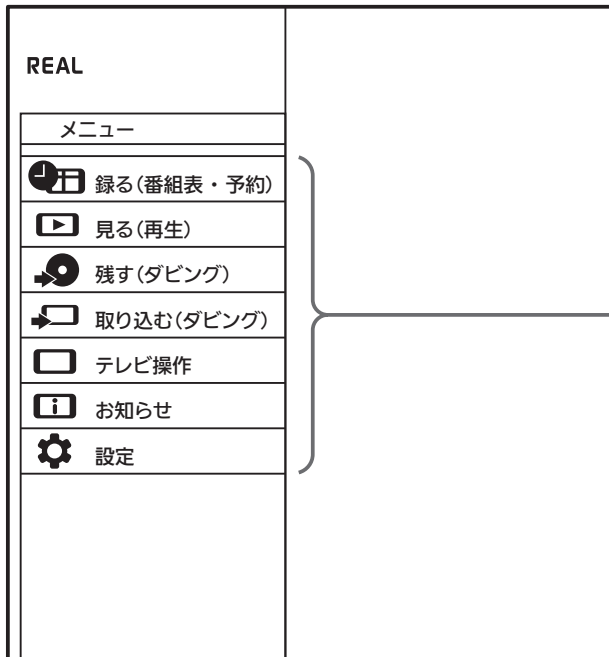
サブメニューを表示する P.143

2 メニュー欄から項目を選ぶ

選んで　決定する

1つ前の画面に戻る

1 メニュー を押す

メニュー画面 が表示されます。

録る（番組表・予約）

番組表の表示、予約の設定と変更や確認などができます。

項目	参照
番組表	P.49
時刻指定予約	P.88
予約変更・確認	

見る（再生）

本体やブルーレイなどのディスク、SDカードなどを見るときに操作できます。

項目	参照
続きから再生（本体）　※1	P.108
続きから再生（BD）　※1	P.108
続きから再生（DVD）※1	P.108
本体録画一覧	P.100
BD／DVDトップメニュー／録画一覧	
音楽CD再生　※2	
CD写真・静止画一覧 ※3	P.115
SDカード写真・静止画一覧	P.115
USB写真・静止画一覧	P.115
BD／DVD頭だし	
音楽CD頭だし ※2	
ネットワーク	

※1　続きから再生できるものが1つだけ表示されます。
※2　音声CD挿入時に表示されます。
※3　写真･静止画のあるCD挿入時に表示されます。

残す（ダビング）

本体に録画した番組やダウンロードしたコンテンツをブルーレイなどのディスクにダビングします。 P.130

項目	参照
本体録画番組を残す	P.135
ダウンロードコンテンツを残す	P.64

取り込む（ダビング）

ブルーレイなどのディスク､SDカード､USB機器の映像を本体にダビングします。 P.140

項目
BD／DVDからの映像取り込み
SDカードからの映像取り込み
USBからの映像取り込み

テレビ操作

視聴中に操作できる便利な機能です。

項目	ページ
オフタイマー　：　　切 ※4	P.54
オンタイマー	P.55
消画	P.54
放送視聴切換	P.144
選局対象　　　：すべて ※5	P.145
操作・報知音量：　　切 ※5	P.145

※4　オフタイマー使用中は「切」になるまでの時間が表示されます。
※5　設定内容が表示されます。

お知らせ

本機からの内部メールや放送局からの放送メール、ECOモニターなどを表示します。

項目	ページ
ECOモニター	P.56
内部メール	P.146
放送メール	P.146
ボード	P.147
B-CASカード	P.147
ソフトウェア情報	P.147
困ったときは	P.147

設定

いろいろな機能の設定ができます。

項目	ページ
画質設定	P.148
画面設定	P.154
音声設定	P.156
録画・再生設定	P.163
機能設定	P.170
初期設定	P.178
ECO画質設定	P.192
設定初期化	P.193

サブメニュー

サブメニュー を押して表示させます。

●デジタル放送を見ているとき

項目	ページ
番組内容を表示する	P.52
この番組を録画する	
画面サイズ	P.58
画質設定	P.148
音声設定	P.156
サラウンド	P.48
番号入力	P.42
録画を停止する【地デジ】【011ch】※6	P.96
録画を停止する【側面端子】※6	P.96
ダビングを中断する ※7	

●外部入力(側面端子)を見ているとき

項目	ページ
この番組を録画する ※8	
画面サイズ	P.58
画質設定	P.148
音声設定	P.156
サラウンド	P.48
録画を停止する【地デジ】【011ch】※6	P.96
録画を停止する【側面端子】※6	P.96
ダビングを中断する ※7	

●外部入力(ビデオ1、HDMI1～2)を見ているとき

項目	ページ
画面サイズ	P.58
画質設定	P.148
音声設定	P.156
サラウンド	P.48
録画を停止する【地デジ】【011ch】※6	P.96
録画を停止する【側面端子】※6	P.96
ダビングを中断する ※7	

●外部入力(i.LINK)を見ているとき

項目	ページ
この番組を録画する	
画面サイズ	P.58
画質設定	P.148
音声設定	P.156
サラウンド	P.48
録画を停止する【i.LINK】※6	P.96

図中のチャンネル表示等は一例です。
※6は、録画中のみ表示されます。
※7は、ダビング中のみ表示されます。
※8は、無信号のときは表示されません。

●再生のとき(CD以外)

項目	ページ
始めから再生する	
リピート再生設定を行う	P.111
頭だしを行う	P.110
アングル切換	P.112
BD再生選択	P.113
画面サイズ	P.58
画質設定	P.148
音声設定	P.156
サラウンド	P.48
この番組をダビングする	P.134

●CD再生のとき

項目	ページ
始めから再生する	
リピート再生設定を行う	P.111
頭だしを行う	P.110
画面サイズ	P.58
画質設定	P.148
音声設定	P.156
サラウンド	P.48

●等速ダビングのとき

項目
ダビングを中断する

他の画面でもサブメニューで便利な機能が呼び出せます。
例：番組表、録画一覧

暗証番号を入力する（視聴制限の一時解除）

視聴可能年齢 P.172 で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときは、暗証番号を入力する必要があります。

P.172 で設定した暗証番号を 1 ～ 10 で入力し、決定を押す

● メニュー画面から視聴制限を一時解除することもできます。

① メニュー を押す

② ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定 を押す

③ ▲ ▼ で「放送視聴切換」を選び、決定 を押す

④ ▲ ▼ で「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す

連動データ放送からテレビ放送に戻す（データ放送表示切）

連動データ放送 P.43 を視聴中に、データ d を押してもテレビ放送に戻らないときは、以下の操作でテレビ放送に戻すことができます。

① メニュー を押す

② ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定 を押す

③ ▲ ▼ で「放送視聴切換」を選び、決定 を押す

④ ▲ ▼ で「データ放送表示切」を選び、決定 を押す

マルチ番組の映像、音声などを切り換える（信号切換）

1 デジタル放送のマルチ番組を見ているときに

メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 **▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す**

3 **▲ ▼ で「放送視聴切換」を選び、決定を押す**

4 **▲ ▼ で「信号切換」を選び、決定を押す**

デジタル放送メニュー
- 視聴制限一時解除
- データ放送表示切
- 信号切換
- 枝番選局

項目選択 決定 戻る

放送内容により表示されない項目があります。

5 **▲ ▼ で項目を選び、◀ ▶ で設定をする**

信号切換

項目	設定
マルチビュー	◀ 主番組 ▶
映像	映像1
音声	日本語
二重音声	主
データ	データ1
字幕	入 切
字幕言語	日本語 英語

項目選択 設定変更 戻る

● 番組によって、選べる項目が変わります。
●「マルチビュー」は、映像、音声、字幕などの組み合わせが複数ある番組で、この項目を切り換えることでそれぞれの項目が一度に切り換わります。

6 設定が終わったら、

戻る を押す

枝番で選局できる放送局を確認/変更する（枝番選局）

地上デジタル放送で、隣接地域の同一チャンネル番号の放送も受信できる場合、3桁のチャンネル番号の後に番号を追加して区別します。この番号を枝番といいます。

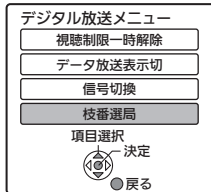
1 地上デジタル放送を見ているときに
メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「放送視聴切換」を選び、決定を押す

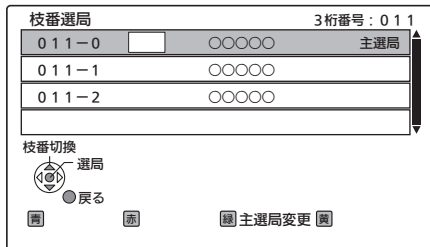
4 ▲ ▼ で「枝番選局」を選び、決定を押す

デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示切
信号切換
枝番選局
項目選択 決定 戻る

放送内容により表示されない項目があります。

選局するとき

5 ▲ ▼ で選局する放送局を選び、決定を押す

枝番選局		3桁番号：011
011−0	○○○○○	主選局
011−1	○○○○○	
011−2	○○○○○	

枝番切換 選局 戻る
青 赤 緑 主選局変更 黄

選んだ放送局の画面に切り換わります。

主選局の放送局を変更するとき

6 ▲ ▼ で主選局にする放送局を選び、緑 を押す

7 設定が終わったら、
戻る を押す

選局対象の設定をする

チャンネルボタンで選局できるデジタル放送のチャンネルを変更します。

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「選局対象」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で設定内容を変更する

「すべて」……………… 受信できるすべてのチャンネルを選局するとき。
「設定チャンネル」… チャンネル設定で設定されているPo1～36チャンネルだけを選局するとき。
「テレビ」……………… テレビ放送だけを選局するとき。
「ラジオ」……………… ラジオ放送だけを選局するとき。
「データ」……………… データ放送だけを選局するとき。

● 工場出荷時の設定は、「すべて」です。

5 メニュー を押す

操作音などの報知音量の設定をする

操作音などの報知音の大きさを調整できます。
音量は3段階から選べます。

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「操作・報知音量」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ でお好みの音量を選ぶ

「大」「標準」「小」…… 報知音が鳴ります。
「切」…………………… 報知音が鳴りません。

5 メニュー を押す

お知らせなどの情報を確認する（内部メール

内部メールを読む

内部メールには、予約重なりや停電などで録画予約の録画、初期化、ファイナライズができなかったときなどに、本機から送られるメッセージが表示されます。
本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「✉未読あり」が表示された場合は、以下の手順でメールの内容を確認してください。

1 メニュー を押す

● 「メニュー機能の使いかた」 P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「内部メール」を選び、決定を押す

4 メールの内容を確認する

内部メール		3/19 土 PM 3:15
✉	11/ 3/19(土)AM 0:14	AM 0:15～AM 1:30の予約録画は主電源が切られたか、停電のため一部またはすべて録画できませんでした。
✉	11/ 3/18(金)PM 8:29	PM 8:00～PM 9:00の予約録画は重複しているため中断されました。
✉	11/ 3/18(金)AM 0:14	AM 0:15～AM 1:30の予約録画は主電源が切られたか、停電のため中断されましたが録画を再開しました。

■ 別のページを表示するときは

前 (前ページ)、次/ジャンプ (次ページ)を押す

5 読み終わったら、
戻る を押す

内部メールをすべて削除するとき

1 上の手順 4 の画面のとき、 黄 を押す

2 確認メッセージの「はい」を選び、決定を押す

● すべての内部メールが削除されます。
● メールごとの手動削除はできません。

お知らせ

● 内部メールは32通まで表示できます。
● 最大表示数を越えると、日付の古いメールから削除されます。
● 内部メールは、予約が失敗したときなどに送られてくる重要な情報です。内部メールの内容は、必ずご確認ください。
● 内部メールの送信や返信はできません。

放送メールを読む

放送局からのメールを確認する

放送メールには、デジタル放送の放送局から送られてくるお知らせと、本機の機能向上のためのダウンロード更新情報が表示されます。

1 メニュー を押す

● 「メニュー機能の使いかた」 P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「放送メール」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で読みたいメールを選び、決定を押す

■ メール画面の続きがあるときは

▲ ▼ でスクロールする

5 内容を確認する

■ メール本文の続きがあるときは

▲ ▼ でスクロールする

■ 他のメールを読みたいときは

戻る を押す

6 読み終わったら、
戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

ダウンロード更新情報が届いたとき

ダウンロード設定 P.191 でダウンロード予約を「切」に設定している場合、ダウンロード更新情報が届いたときはダウンロード予約を「入」にしてください。
（ダウンロード予約を「入」に設定している場合は、自動的にダウンロード更新されます。）

お知らせ

● 放送メールは31通まで表示できます。
● 最大表示数を越えると、日付の古いメールから削除されます。放送メールは、ほとんどの場合お客さまご自身で削除することはできません。
● 放送メールの送信や返信はできません。

110度CSデジタル放送の情報(ボード)を確認する

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「ボード」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、決定を押す

5 確認が終わったら、
戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

B-CASカードの情報を確認する

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「B-CASカード」を選び、決定を押す

● 契約されている各委託放送事業者への問い合わせなどで必要な、B-CASカードの番号を確認します。

4 確認が終わったら、
戻る を押す

ソフトウェアの情報を確認する

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「ソフトウェア情報」を選び、決定を押す

● 本機で使用しているソフトウェアについての情報を確認します。

4 確認が終わったら、
戻る を押す

困ったときの問い合わせ先を確認する

「お客さま相談センター」の電話番号を表示します。

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「困ったときは」を選び、決定を押す

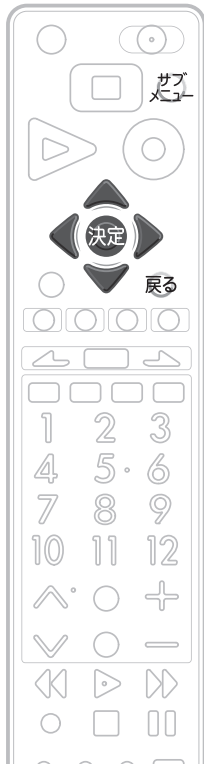
4 問い合わせ先を確認する

5 確認が終わったら、
戻る を押す

画質設定をする

画質の設定をお好みにしたいときに調整できます。

「画質設定」画面の表示のしかた

1 を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142~143 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「画質設定」を選び、決定 を押す

サブメニュー	
番組内容を表示する	
この番組を録画する	
画面サイズ	▷
画質設定	▷
音声設定	▷
サラウンド	▷
番号入力	

画質設定		
映像モード切換	:	ハイブライト
バックライト	:	＋30
コントラスト	:	＋30
黒レベル	:	0
色の濃さ	:	0
色あい	:	0
色温度	:	青みがかった白
シャープネス	:	0
プロ調整	:	▷
画質設定の初期化		
ジャンル適応（映像）	:	切
明るさセンサー	:	切
視聴者設定	:	切
明るさ順応補正	:	切

お知らせ

「メニュー」→「設定」→「画質設定」でも「画質設定」画面を表示できます。

「画質設定」画面について

画質設定		
映像モード切換	:	ハイブライト
バックライト	:	＋30
コントラスト	:	＋30
黒レベル	:	0
色の濃さ	:	0
色あい	:	0
色温度	:	青みがかった白
シャープネス	:	0
プロ調整	:	▷
画質設定の初期化		
ジャンル適応（映像）	:	切
明るさセンサー	:	切
視聴者設定	:	切
明るさ順応補正	:	切

映像モード切換 P.149
映像に合った画質設定を、5つのモードの中から選ぶことができます。

バックライト P.150
バックライトの明るさを調整します。

コントラスト P.150
映像コントラストを調整します。

黒レベル P.150
黒レベルを調整します。

色の濃さ P.150
色の濃さを調整します。

色あい P.150
色あいを調整します。

色温度 P.150
白の青み赤みを切り換えます。

シャープネス P.150
シャープネスを調整します。

プロ調整 P.151
画質設定をさらに細かく調整できます。

画質設定の初期化 P.152
現在選ばれている映像モードの画質設定を工場出荷時の状態に戻します。

ジャンル適応（映像） P.152
コンテンツに応じて、画質を自動的に切り換えます。

明るさセンサー P.152
お部屋の明るさに応じて、バックライトの明るさを自動で調整します。

視聴者設定 P.152
視聴者の視覚特性に応じて、バックライトの明るさと色温度を自動で調整します。

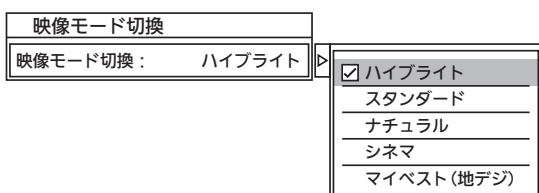
明るさ順応補正 P.153
視聴時間に対する目の順応特性に応じてバックライトの明るさを自動で調整します。

映像モードを切り換える

5つの映像モードから選ぶことができます。
それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。
P.150～151

1 「画質設定」画面を表示する P.148

2 ▲ ▼ で「映像モード切換」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

4 サブメニュー を押す

お知らせ

映像モードは、各入力（放送の種類やビデオ入力など）ごとに選ぶことができます。

映像モードの種類

- **ハイブライト**
  色調、画質ともにあざやかで、メリハリの効いた画質です。お部屋が特に明るく、コントラスト感が要求されるときにおすすめします。
- **スタンダード**
  標準的な画面です。一般的な視聴におすすめします。
- **ナチュラル**
  より自然で、落ちついた色合い、画質に補正された画質になります。
- **シネマ**
  お部屋を暗くして映画ソフトを楽しむのに適した画質です。
  ・初期設定のままご使用の場合、映像によっては動きが不自然になることがあります。
  「デジタルシネマ」 P.151 を「切」にするか、「シネマ」以外の映像モードでご覧ください。
- **マイベスト**
  各入力（放送の種類やビデオ入力など）ごとに、お好みに合わせて細かい調整ができます。 P.150～151

画質調整をする

映像モード P.149 は、それぞれお好みの画質に調整することができます。

1 「画質設定」画面を表示する P.148

2 ▲ ▼ で調整項目を選び、決定 を押す

3 バックライト、コントラスト、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネスの場合

◀ ▶ で調整する

バックライト
バックライト：　＋30　◁－30　＋30▷

色温度の場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

4 サブメニュー を押す

画質調整の調整項目

項目	調整範囲	調整内容
バックライト	－30 ～ ＋30	暗く ⟷ 明るく
コントラスト	－30 ～ ＋30	暗く しっとりする ⟷ 明るく メリハリがでる
黒レベル	－30 ～ ＋30	黒が暗くなる ⟷ 黒が明るくなる
色の濃さ	－30 ～ ＋30	色が淡く ⟷ 色が濃く
色あい	－30 ～ ＋30	肌色が紫がかる ⟷ 肌色が緑がかる
色温度	青みがかった白／標準／赤みがかった白	
シャープネス	－30 ～ ＋30	やわらかく ⟷ くっきり

より美しい映像で見るために

- **お部屋の明るさに応じて**
  「バックライト」または「明るさセンサー」で画面の明るさを調整してください。
- **テレビに近づいて見るときは**
  「バックライト」や「明るさセンサー」で画面をやや暗めに、
  「シャープネス」で少しやわらかめに調整してください。
- **暗い映画などで、黒がつぶれぎみのときは**
  「黒レベル」で黒つぶれが少なくなるように調整してください。
- **ノイズの多いビデオなどを再生するときは**
  「色の濃さ」で色を淡く調整してください。

さらに細かく画質調整をする(プロ調整)

「プロ調整」では、さらに細かく画質を調整することができます。

お知らせ

「プロ調整」は画質の変化が大きいため、一度に複数項目の変更をせず、1項目変更するごとに通常の「画質調整」P.150 を変更して確認しながら設定していくと、比較的早くお好みの最良画質にすることができます。
「プロ調整」項目を変更した場合は、通常の「画質調整」の変更で、更に画質が向上する場合があります。

1. 「画質設定」画面を表示する P.148
2. ▲ ▼ で「プロ調整」を選び、決定 を押す
3. ▲ ▼ で調整項目を選び、決定 を押す
4. ▲ ▼ で設定を選ぶ
   - ●「白バランス」は、◀ ▶ で調整してください。
5. サブメニュー を押す

プロ調整の調整項目

項目	設定	説明
ガンマ補正	☑強 / 中 / 弱 / 切	ガンマ特性を入力信号に合わせて調整し、コントラスト感のある画質に仕上げます。 強……暗部のコントラスト感が強調されます。 中……標準の設定状態です。 弱……明部のコントラスト感が強調されます。
色補正	☑モード1 / モード2 / 切	自然に見えるように色あいを補正します。 モード1……モード2よりも自然さと落ちつきを重視した設定です。 モード2……原色を鮮やかに補正します。自然の風景などを見る場合におすすめします。
コントラスト補正	☑強 / 中 / 弱 / 切	画面全体が暗い映像において、コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。
バックライト補正	☑入 / 切	「入」で、画面全般が暗い映像において、バックライトの輝度をおさえて、黒の締まりを改善します。
映像輪郭補正	強 / 中 / ☑弱 / 切	急峻で切れ味のよい輪郭にします。

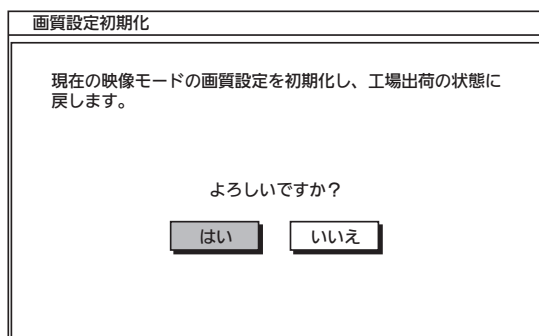
項目	設定	説明
色にじみ補正	強 / 中 / ☑弱 / 切	色境界部分の色にじみを改善します。
白バランス	◁−3 ―――― +3▷ 赤みかかる ⟷ 緑かかる	お好みの白色に補正します。
MPEG NR	強 / 中 / 弱 / ☑切	デジタル放送のブロック状のノイズと輪郭部分に現れるモスキートノイズを軽減します。
ブロックノイズNR	強 / 中 / 弱 / ☑切	デジタル映像のブロックノイズを少なくします。
3次元NR	強 / 中 / ☑弱 / 切	細微なノイズを減らします。
デジタルシネマ	自動 / ☑切	「自動」で、映画番組や映画ソフトであることを自動的に検出し、映画フィルム本来の映像の美しさを忠実に再現します。 ●映像により動きが不自然になる場合は「切」にしてください。

画質設定を初期化する

選んでいる映像モードの画質調整 P.150 とプロ調整 P.151 に関する内容を工場出荷時の状態に戻します。
映像モードごとに初期化できます。

1 「画質設定」画面を表示する P.148

2 ▲ ▼ で「画質設定の初期化」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶ で「はい」を選び、決定を押す

4 もう一度決定を押す

5 サブメニューを押す

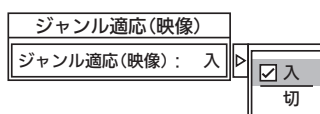
ジャンルに合った画質にする（ジャンル適応）

視聴中の番組のジャンルに合わせて、画質を自動的に切り換えます。

1 「画質設定」画面を表示する P.148

2 ▲ ▼ で「ジャンル適応（映像）」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

ジャンル適応（映像）
ジャンル適応（映像）：　入
☑入
切

4 サブメニューを押す

お知らせ

- 番組やソフトの内容に合わせて自動で画質を選びます。
- ジャンル適応（音声）については、 P.159 をご覧ください。

ECOモードで見る（明るさセンサー/視聴者設定）

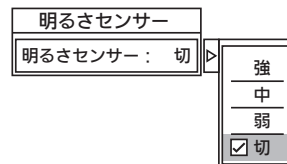
これらふたつの設定によりECOメーターの葉っぱマークの葉っぱの枚数が変わり、省エネ状態がチェックできます。 P.57

自動的にお部屋に合った画面の明るさにする（明るさセンサー）

本体前面の明るさセンサーがお部屋の明るさを感知して、お部屋が暗いとき画面がまぶしくないように、自動で画面の明るさをおさえます。消費電力も節約します。

1 「画質設定」画面を表示する P.148

2 ▲ ▼ で「明るさセンサー」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

「強」「中」「弱」… 本機までの距離でお選びください。近いときは「強」がおすすめです。「強」では画面の明るさを強くおさえるので、画面を暗く感じることがあります。
「切」…………… 明るさセンサーは、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

4 サブメニューを押す

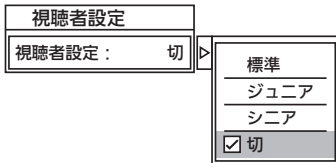
視聴者に合わせた画面にする（視聴者設定）

視聴される方に合わせて、目にやさしい画面の明るさを選ぶことができます。

1 「画質設定」画面を表示する P.148

2 ▲ ▼ で「視聴者設定」を選び、決定を押す

次ページへつづく

3 ▲▼で設定を選ぶ

「標準」………… まぶしさをおさえつつクッキリした画面にします。
「ジュニア」…… テレビを長時間ご覧になるときや、アニメなど明るさの変化が大きいときにおすすめします。
「シニア」……… 画面全体が明るいときのまぶしさをおさえます。
「切」…………… 視聴者設定は、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

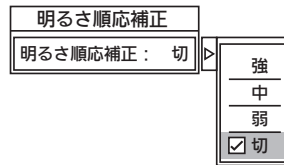
4 サブメニューを押す

明るさ順応補正の設定をする

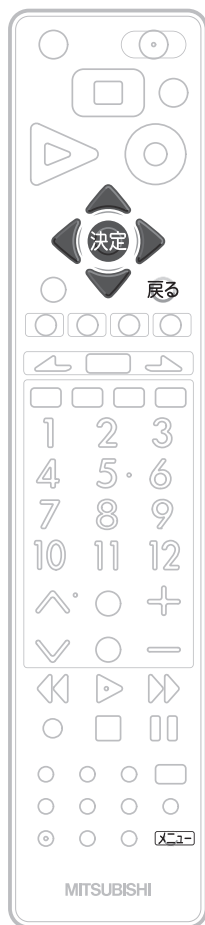
視聴時間に応じて目の順応に適した輝度に徐々に下げます。

1 「画質設定」画面を表示する P.148

2 ▲▼で「明るさ順応補正」を選び、決定を押す

3 ▲▼で設定を選ぶ

4 サブメニューを押す

画面設定をする

画面の調整と、画面サイズに関する設定ができます。

「画面設定」画面の表示のしかた

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「画面設定」を選び、決定を押す

「画面設定」画面について

画面設定	
垂直位置調整：	0
水平幅調整	：モード１(標準)
ＩＤ－１判定：	入

垂直位置調整 P.155

映像を上下に移動させてお好みの位置にして見ることができます。

水平幅調整 P.155

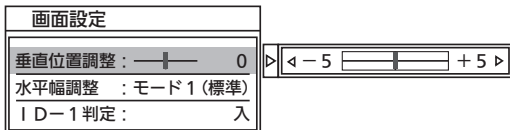
画面サイズが480i、480pの「標準」または「ダイナミック」で、画面の左右が切れたり黒い帯が出たりするときに設定を変えてください。

ID-1判定 P.155

画面サイズ情報（ID-1）があるビデオなどの画面サイズを自動で切り換えます。

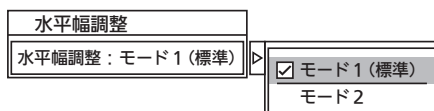
画面の調整や画面サイズの設定をする

1 「画面設定」画面を表示する P.154

2 ▲ ▼ で設定項目を選び、決定を押す

3 垂直位置調整の場合

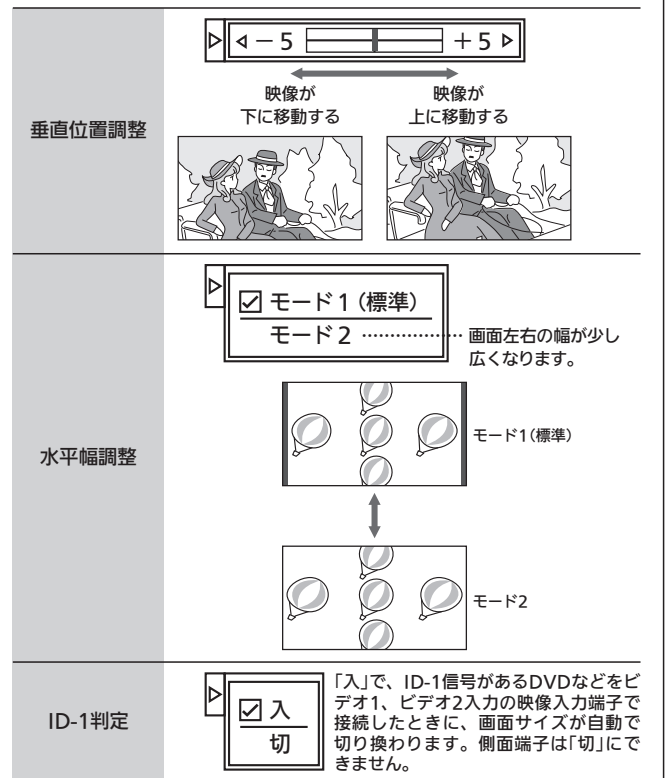
◀ ▶ で調整する

水平幅調整、ID-1判定の場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

4 メニュー を押す

お知らせ

- 「垂直位置調整」は、画面サイズごとに調整することができます。ただし、フルピクセル時は、操作はできますが無効です。
- 画面サイズについては P.58〜59 をご覧ください。
- 「水平幅設定」は、480i、480pの標準、ダイナミック時にのみ有効です。
- 次のようなときは、「ID-1判定」を「切」に設定してください。
  - ・DVDやデジタル放送を録画したビデオテープで正常に動作しないとき
  - ・ビデオの一時停止や早送り、巻戻しをするときに、画面サイズが変化するのが気になるとき

画面の調整項目

音声設定をする

音声の設定をお好みにしたいときに調整できます。

「音声設定」画面の表示のしかた

1 を押す

●「メニュー機能の使いかた」 P.142~143 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「音声設定」を選び、決定 を押す

サブメニュー	
番組内容を表示する	
この番組を録画する	
画面サイズ	▷
画質設定	▷
音声設定	▷
サラウンド	▷
番号入力	

音声設定		
音声モード切換	:	標準
高音	:	0
低音	:	＋1
左右バランス	:	0
重低音	:	切
ヘッドホン設定		▷
サラウンド	:	切
音質設定の初期化		
ジャンル適応（音声）	:	入
音量補正		▷
声ハッキリ	:	切
読み上げ設定		▷
操作・報知音量	:	切
光音声出力設定		▷

お知らせ

「メニュー」→「設定」→「音声設定」でも「音声設定」画面を表示できます。

「音声設定」画面について

音声設定		
音声モード切換	:	標準
高音	:	0
低音	:	＋1
左右バランス	:	0
重低音	:	切
ヘッドホン設定		▷
サラウンド	:	切
音質設定の初期化		
ジャンル適応（音声）	:	入
音量補正		▷
声ハッキリ	:	切
読み上げ設定		▷
操作・報知音量	:	切
光音声出力設定		▷

音声モード切換 P.157
映像に合った音質設定を、3つのモードの中から選ぶことができます。

高音 P.157
スピーカーの高音を調整します。

低音 P.157
スピーカーの低音を調整します。

左右バランス P.157
スピーカーの左右バランスを調整します。

重低音 P.157
スピーカーの重低音レベルを調整します。

ヘッドホン設定 P.158
ヘッドホンの音質を調整します。

サラウンド P.48･158
音の広がり感を切り換えます。

音質設定の初期化 P.159
現在選ばれている音声モードの音質設定を工場出荷時の状態に戻します。

ジャンル適応（音声） P.159
デジタル放送のジャンル情報に応じて、音質を自動的に切り換えます。

音量補正 P.160
番組内容やシーン、入力内容で異なる音量を、自動で補正します。

声ハッキリ P.160
お年寄りに聞きやすい音にします。

読み上げ設定 P.161
番組表などの読み上げに関する設定ができます。

操作･報知音量 P.162
操作音などの報知音の音量を切り換えます。

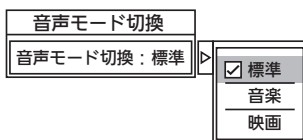
光音声出力設定 P.162
本機とアンプを光デジタルケーブルで接続している場合にだけ設定が必要です。接続機器に合わせて正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出ないことがあります。

音声モードを切り換える

映像に合った音質の設定を3つのモードの中から選ぶことができます。それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。調整方法については、右側の「音質調整をする」をご覧ください。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

2 ▲ ▼ で「音声モード切換」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選び、決定を押す

4 サブメニューを押す

お知らせ

音声モードは、各入力(放送の種類やビデオ入力など)ごとに選ぶことができます。

音声モードの種類

- **標準**
  標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。
- **音楽**
  低音、高音を強調した設定になっています。
  音楽番組や音楽ソフトを聞くときにおすすめします。
- **映画**
  聞きとりやすい音質になっています。
  映画番組や映画ソフトを長時間見るときにおすすめします。

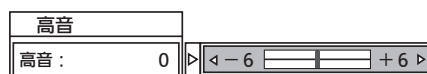
音質調整をする

音声モードは、それぞれお好みの音質に調整することができます。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

2 ▲ ▼ で調整項目を選び、決定を押す

3 高音、低音、左右バランスの場合

◀ ▶ で調整する

重低音の場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

4 サブメニューを押す

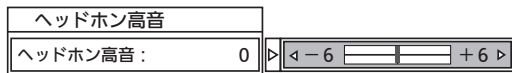
音質調整の調整項目

項目	調整
高音	−6 ～ +6　弱く ↔ 強く
低音	−6 ～ +6　弱く ↔ 強く
左右バランス	−6 ～ +6　左の音が大きく ↔ 右の音が大きく
重低音	強／中／弱／☑ 切　スピーカーの低音が大きくなり、迫力のある音になります。

テレビのスピーカーでは出しきれない低音を合成し、豊かな重低音を再現します。

ヘッドホンの音質調整をする(ヘッドホン設定)

スピーカーとは別に高音、低音、バランスを調整できます。

1. 「音声設定」画面を表示する P.156
2. ▲ ▼ で「ヘッドホン設定」を選び、決定を押す
3. ▲ ▼ で調整項目を選び、 決定を押す
4. ◀ ▶ で調整する

5. サブメニューを押す

ヘッドホン設定の調整項目

項目	調整範囲
ヘッドホン高音	－6（弱く）〜 ＋6（強く）
ヘッドホン低音	－6（弱く）〜 ＋6（強く）
ヘッドホンバランス	－6（左の音が大きく）〜 ＋6（右の音が大きく）

サラウンドで聞く

サラウンドを「入」にすると、音声の奥行き感や広がり感が強調されます。音楽番組やスポーツ中継などに適しています。

- ヘッドホン使用時にこの機能はありません。

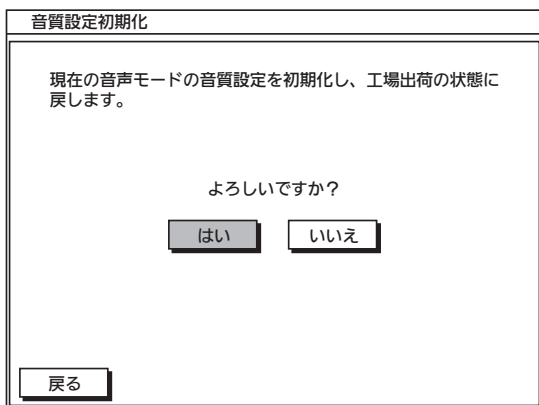
1. 「音声設定」画面を表示する P.156
2. ▲ ▼ で「サラウンド」を選び、決定を押す
3. ▲ ▼ で設定項目を選び、 決定を押す
4. ▲ ▼ で設定を選ぶ
   - サラウンドについてくわしくは P.48 をご覧ください。
5. サブメニューを押す

音質設定を初期化する

選んでいる音声モードの音質調整 P.157 とサラウンド P.48 に関する内容を工場出荷時の状態に戻します。
音声モードごとに初期化できます。
ヘッドホン挿入時は、ヘッドホン設定 P.158 が初期化されます。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

2 ▲ ▼ で「音質設定の初期化」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶ で「はい」を選び、決定を押す

4 もう一度決定を押す

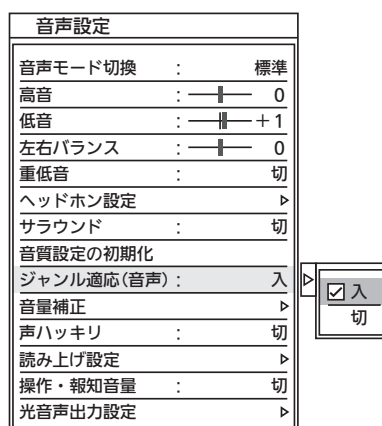
5 サブメニューを押す

ジャンルに合った音質にする（ジャンル適応）

視聴中の番組のジャンルに合わせて、音質を自動的に切り換えます。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

2 ▲ ▼ で「ジャンル適応（音声）」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

4 サブメニューを押す

お知らせ

- デジタル放送のときは、次のようになります。
  - ・ジャンル情報が「映画」のとき、音声モードを自動的に「映画」に切り換えます。
  - ・ジャンル情報が「音楽」のとき、音声モードを自動的に「音楽」に切り換えます。
- デジタル放送以外のときは、音質は切り換わりません。
- ジャンル適応（映像）については、P.152 をご覧ください。

聞きやすい音量にする(音量補正)

「おすすめ音量」を「標準」または「ナイトモード」に設定すると、CMになったとき、番組が変わったとき、入力を切り換えたとき、映画のシーンが変わったときなど、音量感が大きく変わることをおさえ、音量調節頻度を減らします。
「Dolby Digital Dレンジ圧縮」を「入」に設定すると、ドルビーデジタル音声を、小さい音でも聞きやすく調整します。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

2 ▲ ▼ で「音量補正」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定項目を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で設定を選ぶ

5 サブメニューを押す

お知らせ

- 静かなシーンが続くときなど、音量を大きくする効果が強くはたらくので雑音が聞こえることがあります。
- ダイナミックレンジが重要な音楽の視聴では、音量補正効果によりダイナミックレンジを圧縮するため迫力感が弱くなります。
- 「ナイトモード」設定で、外部入力で音楽DVDなど録音レベルの大きなコンテンツを再生する場合、音量補正効果により、音が小さく感じることがあります。

音量補正の項目

項目	設定	説明
おすすめ音量	標準	通常の使用において、聞き取りやすく自然な効果です。
	ナイトモード	補正効果が強くなります。夜間など音量を絞っているとき向きです。
	☑ 切	
Dolby Digital Dレンジ圧縮	入	「入」で、ドルビーデジタル音声を、小さい音でも聞きやすく調整します。
	☑ 切	

声ハッキリの設定をする

高音を強調して人の声をより聞きやすくします。ニュース番組などに有効です。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

2 ▲ ▼ で「声ハッキリ」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

「入」… アナウンサーや人の会話がより聞きやすくなります。
「切」… 声ハッキリがオフになります。

4 サブメニューを押す

お知らせ

雑音が気になるときは、「切」に設定してください。

読み上げの設定をする

メニュー P.142 （録画・再生設定を除く）、番組表 P.49 、番組内容 P.52 、録画一覧 P.100 などの画面で表示内容を自動的に読み上げるように設定できます。また、読み上げる速さと音量を変えることもできます。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

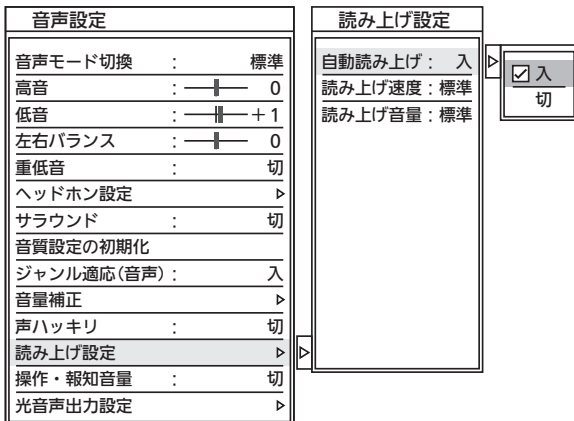
2 ▲ ▼ で「読み上げ設定」を選び、決定を押す

自動で読み上げるようにするとき

3 ▲ ▼ で「自動読み上げ」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

読み上げる速さを変えるとき

5 ▲ ▼ で「読み上げ速度」を選び、決定を押す

6 ▲ ▼ で設定を選ぶ

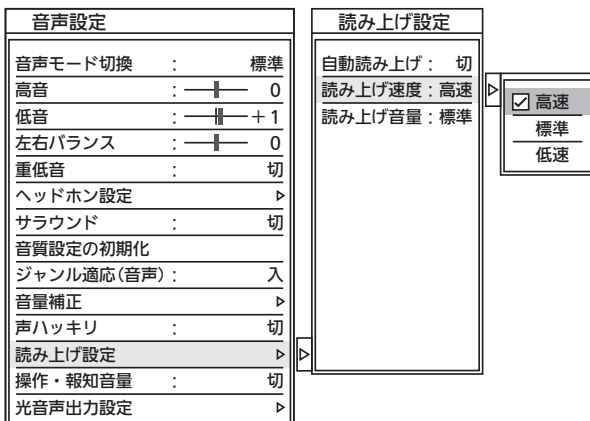
読み上げる音量を変えるとき

7 ▲ ▼ で「読み上げ音量」を選び、決定を押す

8 ▲ ▼ で設定を選ぶ

9 サブメニュー を押す

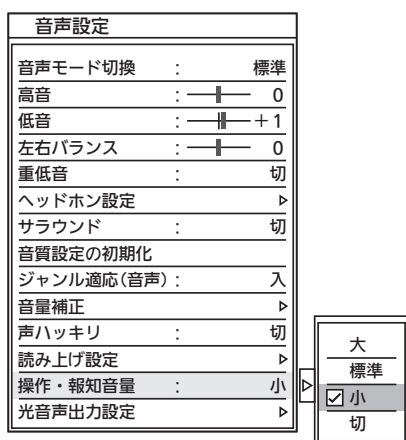
音声設定をする

テレビをお好みの設定にする

操作音などの報知音量の設定をする

操作音などの報知音の大きさを調整できます。
音量は3段階から選べます。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

2 ▲ ▼ で「操作・報知音量」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ でお好みの音量を選ぶ

4 サブメニューを押す

光音声出力設定をする

本機とアンプを光デジタルケーブルで接続している場合にだけ設定が必要です。
接続機器に合わせて正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出ないことがあります。

1 「音声設定」画面を表示する P.156

2 ▲ ▼ で「光音声出力設定」を選び、決定を押す

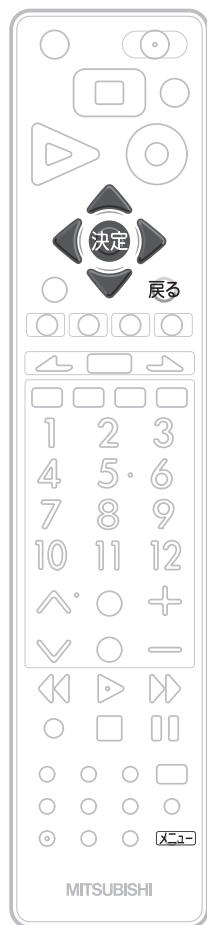
3 ▲ ▼ で設定項目を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で設定を選ぶ

5 サブメニューを押す

光音声出力設定の項目

項目	内容
Dolby Digital	ドルビーデジタル対応機器との接続状況を設定します。 ビットストリーム……ドルビーデジタル対応機器と接続しているときに選びます。 PCM
AAC	AAC対応機器との接続状況を設定します。 ビットストリーム……AAC対応機器と接続しているときに選びます。 PCM
DTS	DTS対応機器との接続状況を設定します。 ビットストリーム……DTS対応機器と接続しているときに選びます。 PCM

録画・再生設定をする

「録画・再生設定」画面の表示のしかた

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「録画・再生設定」を選び、決定を押す

「録画・再生設定」画面について

再生設定 ▷
録画設定
録画予約設定

再生設定 P.164
市販ソフトの再生時に便利な設定ができます。

録画設定 P.168
いろいろな録画の設定ができます。

録画予約設定 P.169
いろいろな録画予約の設定ができます。

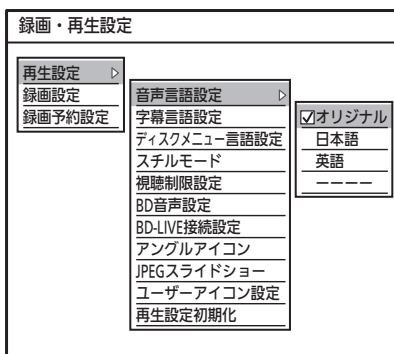
再生設定をする

再生時に便利な設定ができます。

1 「録画・再生設定」画面を表示する P.163

2 ▲▼ で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で設定項目を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で設定を選び、決定 を押す

5 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- 言語設定はBDビデオ/DVDビデオ側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BDビデオ/DVDビデオによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクの説明書をご覧ください。
- BDビデオ/DVDビデオによっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。
- 再生中に音声/字幕言語を切り換えるときは、P.112 をご覧ください。

再生設定の項目

項目	内容
音声言語設定	BDビデオソフト、DVDビデオソフトの再生時の音声言語を設定します。 ☑ オリジナル / 日本語 / 英語 / ーーーー ーーーー……「言語コード一覧表」P.165 から選んだ言語の音声にします。
字幕言語設定	BDビデオソフト、DVDビデオソフトの再生時の字幕言語を設定します。 自動 / ☑ 日本語 / 英語 / ーーーー ーーーー……「言語コード一覧表」P.165 から選んだ言語の字幕にします。
ディスクメニュー言語設定	BDビデオソフト、DVDビデオソフトの再生時のBD/DVDメニューの言語を設定します。 自動 / ☑ 日本語 / 英語 / ーーーー ーーーー……「言語コード一覧表」P.165 から選んだ言語のメニューにします。
スチルモード	再生一時停止中の映像の設定をします。 ☑ 自動……通常は、この設定にします。 フィールド……画像のブレを抑えます。 フレーム……小さな文字や細かい絵柄を見やすくします。
視聴制限設定	BDビデオソフト、DVDビデオソフト、「スカパー！ＨＤ録画」した番組、ネットワークのダウンロード番組の視聴制限年齢やレベルを設定します。P.166 ※ 設定すると、暗証番号を入力しない限り、再生や視聴制限の設定変更ができなくなります。 デジタル放送の視聴制限の設定をするときは、P.172 をご覧ください。
BD音声設定	Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD対応ビデオソフトの音声を設定します。 ☑ 複合音声……プライマリー音声とセカンダリー音声を出力します。 プライマリー音声……プライマリー音声だけを出力します。
BD-LIVE接続設定	BD-LIVEを利用するときに、インターネットへの接続を制限するかどうかの設定をします。 ☑ 有効……接続を制限しません。 有効(制限つき)……接続するときに暗証番号の入力が必要になります。 無効……接続を許可しません。
アングルアイコン	入 / ☑ 切 入……BDビデオソフト、DVDビデオソフトの再生中にカメラアングルが切り換え可能な場面になると、画面にアングルアイコン「🎥」が表示されます。
JPEGスライドショー	5秒 / ☑ 10秒 JPEGファイルの表示間隔を設定します。
ユーザーアイコン設定	予約一覧画面や録画一覧画面に表示されるユーザー1～3のアイコンを設定します。（全12種類）P.167
再生設定初期化	「再生設定」の設定内容を工場出荷時の設定に戻します。P.167

音声、字幕、ディスクメニューの言語を言語コード一覧から選ぶ

BDディスク、DVDディスクの再生時の音声、字幕、ディスクメニューの言語をそれぞれ設定できます。
「日本語」と「英語」はメニューから直接選べます。その他の言語は、このページの「言語コード一覧」から4桁の「言語コード」を入力して設定します。

1 「録画・再生設定」画面を表示する P.163

2 ▲▼で「再生設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で言語を変更したい項目を選び、決定を押す

4 ▲▼で「－－－－」（または数字）を選ぶ

5 右記の「言語コード一覧」を参考に、1あ～10%で言語コード（4桁）を入力し、決定を押す

- 入力を間違えたときは、黄を押します。

6 「設定」画面が消えるまで戻るをくり返して押す

言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード	言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747	Latvian;Lettish	lv	5868
Abkhazian	ab	4748	Malagasy	mg	5953
Afrikaans	af	4752	Maori	mi	5955
Amharic	am	4759	Macedonian	mk	5957
Arabic	ar	4764	Malayalam	ml	5958
Assamese	as	4765	Mongolian	mn	5960
Aymara	ay	4771	Moldavian	mo	5961
Azerbaijani	az	4772	Marathi	mr	5964
Bashkir	ba	4847	Malay	ms	5965
Byelorussian	be	4851	Maltese	mt	5966
Bulgarian	bg	4853	Burmese	my	5971
Bihari	bh	4854	Nauru	na	6047
Bislama	bi	4855	Nepali	ne	6051
Bengali;Bangla	bn	4860	Dutch	オランダ語	6058
Tibetan	bo	4861	Norwegian	no	6061
Breton	br	4864	Occitan	oc	6149
Catalan	ca	4947	(Afan)Oromo	om	6159
Corsican	co	4961	Oriya	or	6164
Czech	cs	4965	Panjabi	pa	6247
Welsh	cy	4971	Polish	pl	6258
Danish	da	5047	Pashto;Pushto	ps	6265
German	ドイツ語	5051	Portuguese	pt	6266
Bhutani	dz	5072	Quechua	qu	6367
Greek	el	5158	Rhaeto-Romance	rm	6459
English	英語	5160	Kirundi	rn	6460
Esperanto	eo	5161	Romanian	ro	6461
Spanish	スペイン語	5165	Russian	ru	6467
Estonian	et	5166	Kinyarwanda	rw	6469
Basque	eu	5167	Sanskrit	sa	6547
Persian	fa	5247	Sindhi	sd	6550
Finnish	fi	5255	Sangho	sg	6553
Fiji	fj	5256	Serbo-Croatian	sh	6554
Faroese	fo	5261	Singhalese	si	6555
French	フランス語	5264	Slovak	sk	6557
Frisian	fy	5271	Slovenian	sl	6558
Irish	ga	5347	Samoan	sm	6559
Scots Gaelic	gd	5350	Shona	sn	6560
Galician	gl	5358	Somali	so	6561
Guarani	gn	5360	Albanian	sq	6563
Gujarati	gu	5367	Serbian	sr	6564
Hausa	ha	5447	Siswat	ss	6565
Hindi	hi	5455	Sesotho	st	6566
Croatian	hr	5464	Sundanese	su	6567
Hungarian	hu	5467	Swedish	sv	6568
Armenian	hy	5471	Swahili	sw	6569
Interlingua	ia	5547	Tamil	ta	6647
Interlingue	ie	5551	Telugu	te	6652
Inupiak	ik	5557	Tajik	tg	6653
Indonesian(BAHASA)	id	5560	Thai	th	6654
Icelandic	is	5565	Tigrinya	ti	6655
Italian	イタリア語	5566	Turkmen	tk	6657
Hebrew	he	5569	Tagalog	tl	6658
Japanese	**日本語**	**5647**	Setswana	tn	6660
Yiddish	ji	5655	Tonga	to	6661
Javanese	jw	5669	Turkish	tr	6664
Georgian	ka	5747	Tsonga	ts	6665
Kazakh	kk	5757	Tatar	tt	6666
Greenlandic	kl	5758	Twi	tw	6669
Cambodian	km	5759	Ukrainian	uk	6757
Kannada	kn	5760	Urdu	ur	6764
Korean	韓国語	5761	Uzbek	uz	6772
Kashmiri	ks	5765	Vietnamese	vi	6855
Kurdish	ku	5767	Volapuk	vo	6861
Kirghiz	ky	5771	Wolof	wo	6961
Latin	la	5847	Xhosa	xh	7054
Lingala	ln	5860	Yoruba	yo	7161
Laothian	lo	5861	Chinese	中国語	7254
Lithuanian	lt	5866	Zulu	zu	7267

録画・再生設定をする（つづき）

再生時の視聴制限設定をする

BDビデオやDVDビデオ、「スカパー!ＨＤ録画」した番組、ネットワークのダウンロード番組の視聴制限を設定できます。
制限のあるBDビデオやDVDビデオ、「スカパー!ＨＤ録画」した番組、ネットワークのダウンロード番組を視聴するときは、暗証番号（4桁のパスワード）を入力します。

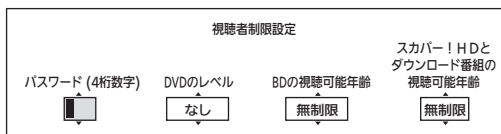
お知らせ

- ここで設定する暗証番号（パスワード）は、デジタル放送の視聴制限を解除する暗証番号 P.172 と共通です。デジタル放送の方で暗証番号を設定していなくても、ここでパスワードを入力すると暗証番号が設定されたことになり、デジタル放送の視聴制限番組を見るときに暗証番号の入力が必要になります。

1 「録画･再生設定」画面を表示する P.163

2 ▲▼で「再生設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

- 「視聴制限設定」画面が表示されます。

4 1～10で暗証番号（4桁のパスワード）を入力し、決定を押す

- 暗証番号は P.172 で登録した番号を入力します。
- 暗証番号が未登録の場合は、ここで入力した番号が暗証番号として登録されます。
- 入力した数字は、「＊」で表示されます。
- 入力中に番号を間違えたときは、黄を押します。

■「パスワードが間違っています。」メッセージが表示されたときは

間違った暗証番号を入力しています。決定を押したあと、正しい暗証番号を入力し直してください。

5 ◀▶で変更したい項目を選び、▲▼で設定内容を変更し、決定を押す

___は工場出荷時の設定です。

DVDのレベル

「なし」…… 制限なし
「レベル8」… 弱（ほとんどのDVDが再生可能）
～
「レベル1」… 強（子供用のDVDだけが再生可能）

- DVDのレベルの制限を超えるDVDを再生するときは、暗証番号の入力が必要となります。

BDの視聴可能年齢

「無制限」、「0歳」～「254歳」（1歳単位）

- 視聴可能年齢の制限を超えるBDを再生するときは、暗証番号の入力が必要となります。

スカパー！ＨＤとダウンロード番組の視聴可能年齢

「無制限」、「4歳」～「19歳」（1歳単位）

- 視聴可能年齢の制限を超える番組を再生するときは、暗証番号の入力が必要となります。

6 「設定」画面が消えるまで戻るをくり返して押す

ユーザーアイコン設定をする

予約画面や録画一覧画面に表示されるユーザー1～3のアイコンを設定します。(全12種類)

1 「録画･再生設定」画面を表示する P.163

2 ▲▼ で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「ユーザーアイコン設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で希望のユーザー(1～3)を選び、決定 を押す

5 ▲▼◀▶ で希望のアイコンを選び、決定 を押す

- ユーザー1～3で同じアイコンは選べません。

6 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- 録画一覧画面の番組のユーザーを変更するときは、P.121 をご覧ください。

再生設定を工場出荷時の設定に戻す

「再生設定」を工場出荷時の状態に戻します。

●再生設定初期化の実行中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。本機の故障の原因となります。

1 「録画･再生設定」画面を表示する P.163

2 ▲▼ で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「再生設定初期化」を選び、決定 を押す

4 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

- 「再生設定」の設定内容が、工場出荷時の設定に戻ります。

5 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- 再生設定を初期化した場合でも、視聴制限の設定はそのまま残ります。

録画設定をする

いろいろな録画の設定ができます。

1. 「録画・再生設定」画面を表示する P.163
2. ▲▼で「録画設定」を選び、決定 を押す
3. ▲▼で設定項目を選び、決定 を押す
4. ▲▼で設定を選び、決定 を押す
5. 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

録画設定を初期化する

「録画設定」を工場出荷時の状態に戻します。

気を付けて

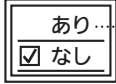
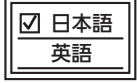
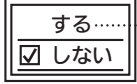
● **録画設定初期化の実行中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。本機の故障の原因となります。**

1. 「録画・再生設定」画面を表示する P.163
2. ▲▼で「録画設定」を選び、決定 を押す
3. ▲▼で「録画設定初期化」を選び、決定 を押す
4. ◀▶で「はい」を選び、決定 を押す
   - 「録画設定」の設定内容が、工場出荷時の設定に戻ります。
5. 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

録画設定の項目

項目	内容
自動チャプターマーク	録画中に、チャプターマーク P.69 が自動的に記録される間隔を設定します。　※ 本体に録画する場合のみ ☑ おすすめ自動1 ／ おすすめ自動2 …おすすめ自動チャプター 録画中に、次のようなところでチャプターマークが自動的に記録されます。1：本編とCMの変わり目と、場面が切り換わるところ 2：本編とCMの変わり目のみ 5分／10分／15分 切 …チャプターマークを記録しません。 ● チャプターマーク数の記録上限を超えるときは、それ以上追加することはできません。 ● チャプターマークの最大登録可能数は、P.126 をご覧ください。
二重音声選択	二重音声（二カ国語）を録画するときの音声を設定します。設定によって記録される音声については、P.74 をご覧ください。 ☑ 主音声 …主音声で録画します。 副音声 …副音声で録画します。
Video高速ダビング	側面端子入力から本体→DVD-RW（Video）/DVD-R（Video）へ高速ダビングするかどうかを設定します。設定によって、二重音声の記録のしかたが変わります。 入 …高速ダビングになります。二重音声は、「二重音声選択」で設定されている音声だけが記録されます。 ☑ 切 …等速ダビングになります。二重音声は主/副音声の両方が記録されます。
Videoアスペクト	DVD-RW（Video）/DVD-R（Video）に録画するときの画面の縦横比を設定します。 ☑ 4：3 …4：3で録画します。 16：9 …16：9で録画します。 ● 録画モードEPの場合は、この設定にかかわらず4：3で録画されます。
外部音声選択	側面端子入力から録画するときの音声を設定します。設定によって記録される音声については、P.74 をご覧ください。 ☑ ステレオ …通常は、この設定でお使いください。 二重音声 …外部入力で二重音声放送を録画するときに設定します。二重音声は、「二重音声選択」で設定されている音声だけが記録されます。

項目	内容
XP記録音声	側面端子入力から録画モードXPで録画するときの音声を設定します。 ☑ Dolby Digital …通常の音質（ドルビーデジタル）で録画します。二重音声は、主/副音声の両方が記録されます。 LPCM …高音質（リニアPCM）で録画します。二重音声は、「二重音声選択」で設定されている音声だけが記録されます。
録画モード	録画の画質を設定します。画質を優先させると、録画時間が短くなります。録画時間を優先させると、画質は低くなります。 「デジタル」…… デジタル放送、i.LINK(TS)入力の一発録画のとき：☑ DR／AF／AN／AE／XP／SP／LP／EP 「アナログ」…… 側面端子入力のとき：☑ XP／SP／LP／EP ● 録画モードごとの画質、録画時間、およびi.LINK(TS)入力の録画モードについては、P.72 をご覧ください。 ● 番組表を表示中に、サブメニューからも変更できます。
AEモード	録画モードAEで録画するときの、録画時間を設定します。 ☑ 5.5倍／12倍 「12倍」で、通常のAEよりも長時間録画できます。（画質は低下します。）
EPモード	録画モードEPで録画するときの、録画時間を設定します。 ☑ 6時間／8時間 「8時間」で、通常のEPよりも長時間録画できます。（画質は低下します。）
録画設定初期化	「録画設定」の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。(上記参照)

録画予約設定をする

いろいろな録画予約の設定ができます。

1 「録画・再生設定」画面を表示する P.163

2 ▲▼ で「録画予約設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で設定項目を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で設定を選び、決定 を押す

■ 設定項目が横に並んでいる場合は
◀▶ で項目を選び、▲▼ で設定します。

5 「設定」画面が消えるまで
戻る をくり返して押す

お知らせ

- 「字幕焼きこみ」の設定を「あり」にしているときは、字幕ありの番組を視聴しているときにDRモード以外の番組指定での録画予約が開始された場合や、DRモード以外の番組指定での予約録画中に字幕ありの番組に切り換えた場合、字幕が自動的に表示されます。
「なし」に設定しているときは、字幕表示が消えます。

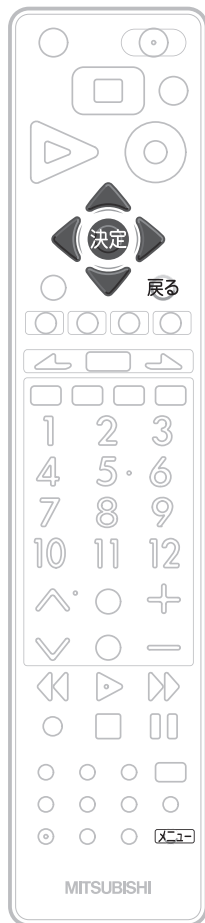
録画予約設定の項目

項目	内容
見どころ再生情報	見どころ再生用の情報を盛り込んで録画するかどうかの設定をします。 くわしくは、 P.93 をご覧ください。
字幕焼きこみ	録画モードDR以外で録画予約するときに、映像といっしょに字幕を記録するかどうかを設定します。 ※ デジタル放送の番組のみ あり……「あり」で、字幕がある場合に映像といっしょに字幕を記録します。 ☑ なし ● この設定を「あり」にして記録された字幕は、再生時に表示の入/切はできません。 ● 録画モードDRの場合は、この設定にかかわらず字幕の情報が記録され、再生時に表示の入/切ができます。
字幕焼きこみ言語	「字幕焼きこみ」で記録する字幕言語の設定をします。 ※「字幕焼きこみ」の設定が「あり」の場合のみ設定可能 ☑ 日本語 英語
おすすめ自動録画	過去の録画履歴などから番組を抽出し、自動的に予約して録画する設定をします。 ※ デジタル放送の番組のみ くわしくは、 P.90～91 をご覧ください。
イベントリレー録画	野球中継などで、延長部分が他のチャンネルで引き続き放送される場合、そのまま引き続き録画を続けるかどうかを設定します。 くわしくは、 P.92 をご覧ください。 する……「する」で、番組の延長部分が他のチャンネルで放送される場合、番組引き続き録画します。 ☑ しない
予約連動オフ設定	録画予約の録画終了後、本機の電源を切るかどうかを設定します。 入 …… 録画終了後、本機の電源を切ります。 ☑ 自動 …… 自動で制御します。本機を視聴中は、電源は入のままです。 ● 録画終了時に録画、再生、メニュー操作などを行っている場合は、電源は切れません。

機能設定をする

いろいろな機能を使うための設定ができます。

「機能設定」画面の表示のしかた

1 を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す

「機能設定」画面について

機能設定
節約設定 ▷
制限設定 ▷
入力スキップ設定
オートターン設定 ▷
使う人設定 ▷
高速起動設定

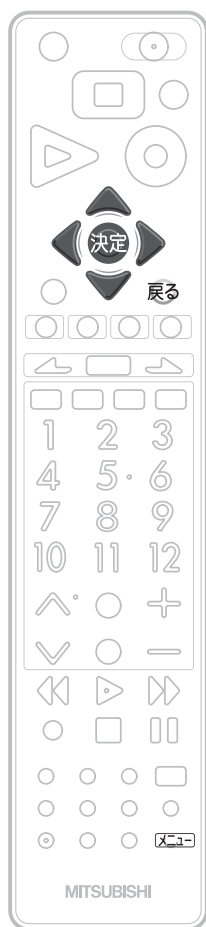
節約設定 P.171
いろいろな節約の設定ができます。

制限設定 P.172
放送、ネットワークの視聴許可年齢や、本体ボタン、リモコンボタンの制限を設定します。

入力スキップ設定 P.174
外部入力のスキップ設定をします。

オートターン設定 P.175
オートターンを無効にしたり、電源「切」にすると画面の向きが中央へ戻るように設定できます。

使う人設定 P.175
本機を使う人に合わせて、いろいろな機能をまとめて一度に設定できます。

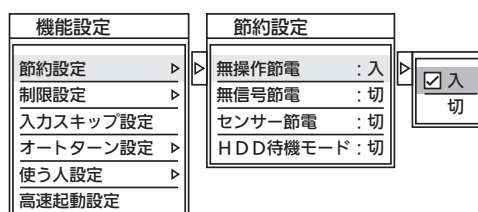
高速起動設定 P.177
電源を入れたときに、すぐに映像を表示し操作できるようにします。電源スタンバイ中（電源インジケーターが赤色に点灯中）の消費電力が増えます。

節約設定をする

いろいろな節約の設定ができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.170

2 ▲ ▼ で「節約設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で項目を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

5 メニュー を押す

節約設定の項目

項目	選択肢	説明
無操作節電	入 / ☑切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。約3時間テレビを操作しなかった場合、自動的に電源が切れます。
無信号節電	入 / ☑切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約10分経つと、自動的に電源が切れます。
センサー節電	入 / ☑切	「入」で、お部屋の照明をおとすと、自動的に電源が切れます。
HDD待機モード	入 / ☑切	「入」で、内蔵ハードディスク(本体)を10分程度操作(見たり録ったり)しないときに待機状態から自動的に停止状態にします。

お知らせ

無操作節電「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無操作節電　1分前」と表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。

無信号節電「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無信号節電　1分前」と表示されます。引き続き見るときは、「いいえ」が選ばれている状態で決定を押してください。
- 画面全体が青色になっている(ブルーバック)ときは、はたらきません。

センサー節電「入」では、

- テレビの前に人が立つなど照明をさえぎるようにすると、電源がオフされることがあります。
- お部屋の明るさがゆっくりと暗くなる場合は、電源がオフされません。

HDD待機モード「入」では、

- 一旦停止状態に入ると次の操作のときに動き始めるための時間がかかります。一発録画 P.84·97 では、録画が始まるまでが長くなります。
  特に、ケーブルテレビのi.LINK(TS)予約録画 P.97 や「スカパー！HD録画」 P.98 をご利用になる場合は、録画開始が遅れますので「切」をおすすめします。

視聴時の制限項目設定をする（制限設定）

視聴制限を解除するための暗証番号を設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組を視聴するときや、ネットワークを利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。

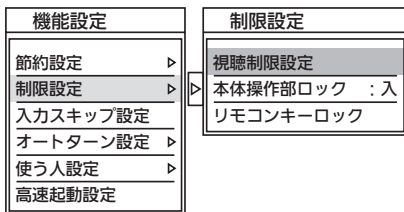
お知らせ

- ここで設定する暗証番号（パスワード）は、次のようなときの共通の番号になります。
  - ・デジタル放送の視聴制限の解除　・ネットワークの利用　・市販ソフトの視聴制限の解除 P.166
  - ・「スカパー！ＨＤ録画」した番組やネットワークのダウンロード番組の視聴制限の解除 P.166

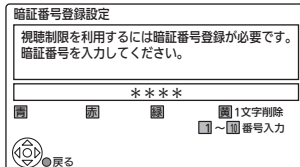
初めて設定するとき（暗証番号が未設定のとき）

1 「機能設定」画面を表示する P.170

2 ▲▼ で「制限設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「視聴制限設定」を選び、決定 を押す

- 「暗証番号登録」画面が表示されます。

4 1 ～ 10 で暗証番号（4桁）を入力する

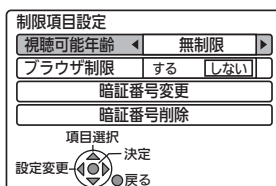
- 入力した数字は、「＊」で表示されます。

- 入力を間違えたときは、黄 を押します。
- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 4桁入力し終わると、再入力画面が表示されます。

5 再入力画面が表示されたら
1 ～ 10 で暗証番号（4桁）を再入力する

6 暗証番号の登録が終わったら、戻る を押す

- 「制限項目設定」画面が表示されます。

7 ◀▶ で視聴可能年齢を選ぶ

- 無制限、4才～19才（1才単位）が選べます。
- 工場出荷時の設定は、「無制限」です。

8 「制限設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

設定を変更するとき（暗証番号が設定済みのとき）

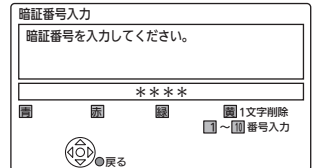
1 「機能設定」画面を表示する P.170

2 ▲▼ で「制限設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「視聴制限設定」を選び、決定 を押す

- 「暗証番号入力」画面が表示されます。

4 1 ～ 10 で暗証番号（4桁）を入力する

- 入力した数字は、「＊」で表示されます。

- 入力を間違えたときは、黄 を押します。
- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 4桁入力し終わると、「制限項目設定」画面が表示されます。
- 間違った暗証番号を入力した場合は、「制限項目設定」画面は表示されません。正しい番号を入力し直してください。3回連続で間違った番号を入力した場合は、それ以上入力できません。戻る を押して、元の画面に戻してください。

5 ◀▶ で視聴可能年齢を変更する

6 「制限設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- ここで暗証番号（パスワード）を設定していなくても、P.166 でパスワードを入力すると暗証番号が設定されたことになり、デジタル放送の視聴制限番組を見るときに暗証番号の入力が必要になります。

暗証番号を変更するとき

1 左記の「設定を変更するとき」の手順1～4を行って、「制限項目設定」画面を表示する

2 ▲▼ で「暗証番号変更」を選び、決定 を押す

- 「暗証番号変更」画面が表示されます。

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
ブラウザ制限	する しない
暗証番号変更	
暗証番号削除	

3 1 ～ 10 で新しい暗証番号（4桁）を入力する

- 入力した数字は、「*」で表示されます。
- 入力を間違えたときは、黄 を押します。
- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 4桁入力し終わると、再入力画面が表示されます。

4 再入力画面が表示されたら
1 ～ 10 で新しい暗証番号（4桁）を再入力する

5 「制限設定」画面が消えるまで
戻る をくり返して押す

暗証番号を取り消すとき

1 左記の「設定を変更するとき」の手順1～4を行って、「制限項目設定」画面を表示する

2 ▲▼ で「暗証番号削除」を選び、決定 を押す

- 「暗証番号削除」確認画面が表示されます。

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
ブラウザ制限	する しない
暗証番号変更	
暗証番号削除	

3 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

4 「制限設定」画面が消えるまで
戻る をくり返して押す

ネットワークを利用するときに、暗証番号を入力するように変更するとき

1 左記の「設定を変更するとき」の手順1～4を行って、「制限項目設定」画面を表示する

2 ▲▼ で「ブラウザ制限」を選ぶ

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
ブラウザ制限	する しない
暗証番号変更	
暗証番号削除	

3 ◀▶ で設定内容を変更する

「する」……ネットワークを利用するときに、暗証番号の入力を必要とするとき。

「しない」……ネットワークを利用するときに、暗証番号の入力を不要とするとき。

- 工場出荷時の設定は、「しない」です。

4 「制限設定」画面が消えるまで
戻る をくり返して押す

- 利用するときに入力する暗証番号は、P.172 で設定した番号を使用します。

気を付けて

- **暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。**
- 暗証番号を忘れたときは、有料放送を視聴するために契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。
- 有料放送の契約をされていない場合は、P.195 で本機を工場出荷時の状態に戻す必要があります（本体の録画内容も消去されます）ので、暗証番号を忘れないようにしてください。

機能設定をする（つづき）

本体やリモコンの操作を制限する（制限設定）

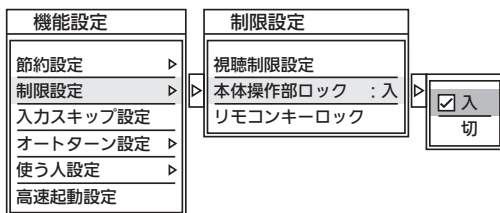
「本体操作部ロック」では、本体側面のボタン操作を無効にし、小さなお子様のいたずらを防ぎます。
「リモコンキーロック」では、リモコンの放送切換ボタン（地上デジタル、BS、CSの各ボタン）とメニューボタンを無効にできます。視聴しない放送を選択したり、希望しない設定を変更したりする誤操作を防ぎます。

1 「機能設定」画面を表示する P.170

2 ▲ ▼ で「制限設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「本体操作部ロック」または「リモコンキーロック」を選び、決定 を押す

4 本体操作部ロックの場合

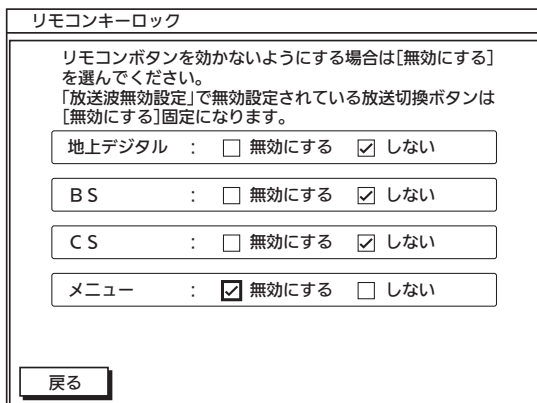
▲ ▼ で「入」を選ぶ

リモコンキーロックの場合

▲ ▼ でリモコンボタンを選んでから、◀ で「無効にする」を選び、決定 を押す

リモコンキーロック

リモコンボタンを効かないようにする場合は[無効にする]を選んでください。
「放送波無効設定」で無効設定されている放送切換ボタンは[無効にする]固定になります。

地上デジタル	：	□ 無効にする	☑ しない
ＢＳ	：	□ 無効にする	☑ しない
ＣＳ	：	□ 無効にする	☑ しない
メニュー	：	☑ 無効にする	□ しない

戻る

5 メニュー を押す

お知らせ

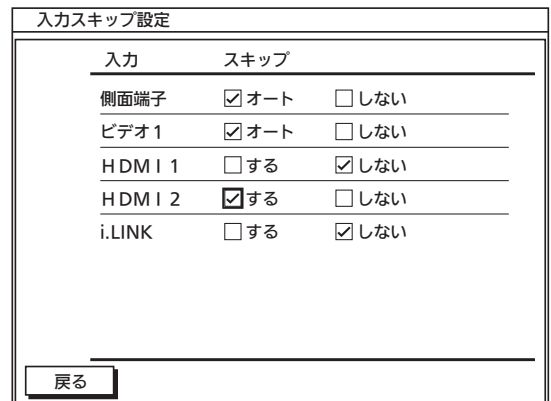
- 「放送波無効設定」 P.188 で無効に設定されている放送切換ボタンは、「無効にする」に固定されます。
- メニューボタンを「無効にする」に設定されていても、メニューボタンを3秒以上押すことで一時的にロックが解除され、メニュー画面を表示することができます。

外部入力のスキップ設定をする

HDMI入力、i.LINKに外部機器を接続していない場合は、以下の手順でスキップ「する」に設定してください。入力切換操作のときにスキップ（飛び越し）します。

1 「機能設定」画面を表示する P.170

2 ▲ ▼ で「入力スキップ設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ でスキップしたい入力を選んでから、◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

◀ ▶ を押すごとに次のように切り換わります。

側面端子、ビデオ1のとき
オート ⟷ しない

HDMI1/2、i.LINKのとき
する ⟷ しない

お知らせ

ビデオ入力の場合、「オート」に設定しておくと、外部機器を接続していない入力だけを飛び越します。

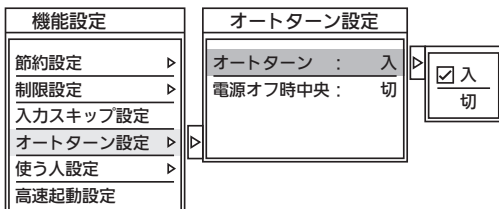
4 メニュー を押す

オートターンの設定をする

オートターン P.45 を無効にするための設定ができます。
小さなお子様のいたずらを防げます。
また、オートターンで本機の向きを変えたまま電源を切ったときに、自動で中央に戻すかどうかの設定ができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.170

2 ▲ ▼ で「オートターン設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定項目を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で設定を選ぶ

5 メニュー を押す

お知らせ

電源オフ時中央「入」では、

- 中央に戻るまで回転が止まりません。電源をオフにする際には本機の回りに障害物がないか、よくお確かめください。

オートターン設定の項目

オートターン	☑入 / 切	「切」で、オートターンが無効になり、小さなお子様のいたずらを防げます。
電源オフ時中央	入 / ☑切	「入」で、本機の電源を切ったときに自動で中央に戻るようにします。

使う人設定をする

使う人に合わせた設定を3つのモードから選べます。
それぞれのモードの設定内容は、お好みで変更することができます。

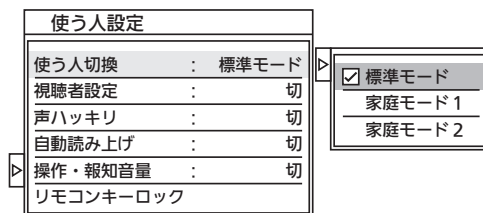
使う人のモードを切り換える

本機を使用する人に適した設定に一括で切り換えることができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.170

2 ▲ ▼ で「使う人設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「使う人切換」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ でお好みのモードを選ぶ

5 メニュー を押す

3つのモードと工場出荷時の設定内容

項目	工場出荷時の設定		
	標準モード	家庭モード1	家庭モード2
視聴者設定	切	シニア	ジュニア
声ハッキリ	切	入	切
自動読み上げ	切	入	切
操作・報知音量	切	標準	切
リモコンキーロック	すべてしない	すべてしない	すべてしない

各モードの設定内容を変更する

「使う人切換」で現在選択されているモードの「視聴者設定」「声ハッキリ」「自動読み上げ」「操作・報知音量」「リモコンキーロック」の設定をお好みで変更することができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.170

2 ▲ ▼ で「使う人設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で変更したい項目を選び、決定を押す

4 視聴者設定、声ハッキリ、自動読み上げ、操作・報知音量の場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

リモコンキーロックの場合

▲ ▼ でリモコンボタンを選んでから、◀ で設定を選び、決定を押す

5 メニュー を押す

使う人設定の項目

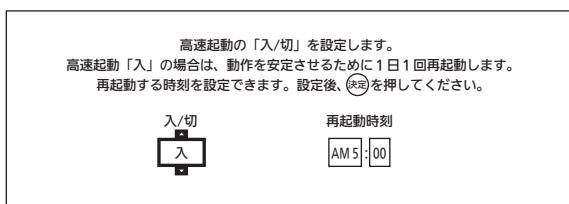
高速起動設定をする

i.LINK（TS）予約録画 P.97 や「スカパー！ＨＤ録画」 P.98 をご利用になる場合は必ず「入」に設定してください。録画を始められません。

「入」では内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときと比較して、待機時消費電力（リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力）が増えます。

1 「機能設定」画面を表示する P.170

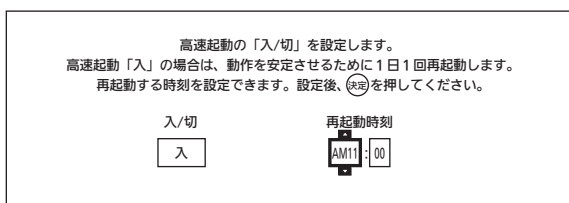
2 ▲ ▼ で「高速起動設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

「入」… 電源が切の状態から起動して（本機の電源が入になって）から本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。

「切」… 高速起動がオフになります。

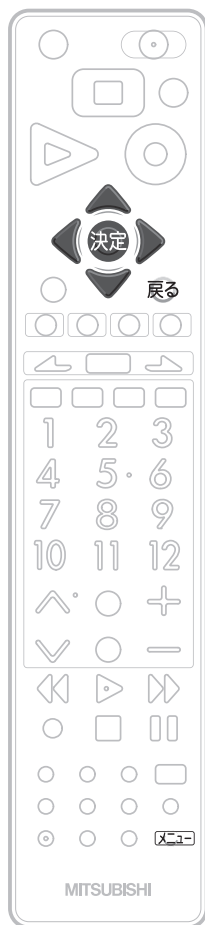
「入」に設定したとき

高速起動設定を「入」にすると、ソフトウェアの動作を保全するために定期的に電源を入れ直しますが、この再起動時刻をお好みの時刻に変更することができます。

4 ▲ ▼ ◀ ▶ で再起動時刻を選ぶ

- 時刻は10分単位で設定できます。
- ここで言う再起動では、映像が映ったり、音声が出たりすることはありません。録画機能の動作確認などを行います。そのため動作音がします。
- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせます。

5 決定を押す

初期設定をする

番組を視聴するための初期設定をします。

「初期設定」画面の表示のしかた

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

「初期設定」画面について

初期設定
らくらく設定
放送設置設定
放送波無効設定
リモコンコード設定 ▷
表示文字サイズ切換 ：標準
ダウンロード設定
時刻設定

らくらく設定 P.179

らくらく設定を行って、地上デジタル放送のチャンネルの自動設定、BS・110度CSデジタル放送のアンテナの設定などを行います。

放送設置設定 P.180

らくらく設定を使わずに、個別に地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送のチャンネルなどを設定・変更します。
また、ネットワークを利用する場合の設定などを行います。

放送波無効設定 P.188

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送ごとに視聴するかどうかを設定します。

リモコンコード設定 P.188

2台のテレビをご使用の場合、本機のリモコンで同時に動かないようにリモコンコードを切り換えることができます。
また、警告表示の有無を切り換えることができます。

表示文字サイズ切換 P.190

チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換えます。

ダウンロード設定 P.191

本機のダウンロード更新を自動で行わないように設定できます。

時刻設定 P.190

デジタル放送を受信していると自動で時刻が設定・修正されますが、デジタル放送を受信していない場合は、手動で時刻設定ができます。

らくらく設定をやり直す

地上デジタル放送のチャンネルの自動設定、BS・110度CSデジタル放送のアンテナの設定などを行います。
引っ越しなどでお住まいの地域が変わったときに、「らくらく設定」をやり直します。

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲▼で「らくらく設定」を選び、決定を押す

初期設定

- らくらく設定
- 放送設置設定
- 放送波無効設定
- リモコンコード設定 ▷
- 表示文字サイズ切換 ： 大
- ダウンロード設定
- 時刻設定

3 P.37からの手順3～18を行い、らくらく設定をする

- 手順7のときに、地上デジタルチャンネル設定の変更確認画面が表示されます。
  ◀▶で「はい」を選んで決定を押し、次の手順に進んでください。

4 らくらく設定後、必要に応じて各種設定を変更する

■ お好みの番号にお好みの放送を割り当てるには

- 「地上デジタル放送のチャンネル設定を手動修正する（マニュアル）」、または
- 「BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定を手動修正する（マニュアル）」

をご覧ください。P.180

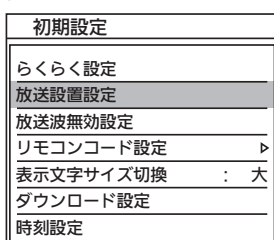
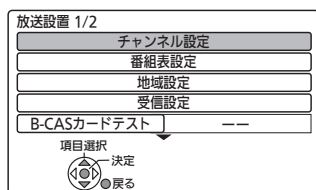
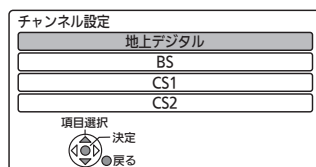
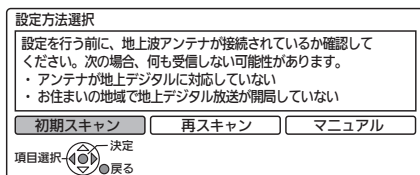
デジタル放送のチャンネル設定を変更する

デジタル放送のチャンネル設定を自動または手動で変更することができます。

引っ越しなどで地上デジタル放送の受信地域が変わり、設定をやり直すとき（初期スキャン）

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

初期設定
- らくらく設定
- 放送設置設定
- 放送波無効設定
- リモコンコード設定 ▷
- 表示文字サイズ切換 ： 大
- ダウンロード設定
- 時刻設定

3 「チャンネル設定」で、そのまま 決定 を押す

4 ▲▼ で「地上デジタル」を選び、決定 を押す

5 「初期スキャン」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

6 「らくらく設定」 P.38 の手順 8 ～ 9 を行い、チャンネルを自動設定する

- チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。
  設定が終わると、画面に一覧が表示されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

7 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

地上デジタル放送の電波状況が変わったときに受信できる放送局を追加するとき（再スキャン）

1 左記（初期スキャン）の手順 1 ～ 4 を行う

2 ▶ で「再スキャン」を選び、決定 を押す

- チャンネルスキャンが始まり、新たに受信できた放送局が自動的に追加されます。
  設定が終わると、画面に一覧が表示されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

3 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

地上デジタル放送のチャンネル設定を手動修正する（マニュアル）

地上デジタル放送のチャンネル割り当てを使いやすく変更したいときに行います。

1 左記（初期スキャン）の手順 1 ～ 4 を行う

2 ▶ で「マニュアル」を選び、決定 を押す

- 「地上デジタルチャンネル設定」画面が表示されます。

3 ▲▼ で修正したいPoを選び、決定 を押す

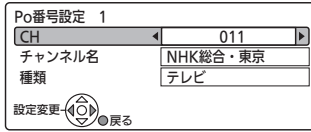
地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	121	放送大学	テレビ

Po（チャンネルポジション）（リモコンの番号ボタン）
…選局するときの番号です。変更できません。
1～12は、選局するときに 1 ～ 12 で直接選局することができる番号です。

- 選んだPoの「Po番号設定」画面が表示されます。

次ページへつづく

4 ◀▶ でCHのチャンネル番号を修正する

「CH」(表示チャンネル)
・・・チャンネルを選局すると、画面に表示される番号です。

- 「ーーーー」または「ーーー」のチャンネルは未設定です。

5 修正が終わったら、戻る を押す

■ チャンネルの順番を入れ換えたいときは

①手順3のときに 緑 を押す
②▲▼ で入れ換えをしたいPoを選び、決定 を押す
③▲▼ で入れ換え先のPoを選び、決定 を押す
④入れ換えが終わったら、戻る を押す

6 2つ以上のPo(チャンネルポジション)の設定を修正する場合は、手順3 ～ 5をくり返す

7 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定を手動修正する(マニュアル)

BS・110度CSデジタル放送のチャンネル割り当てを使いやすく変更したいときに行います。

1 左記(初期スキャン)の手順1 ～ 3を行う

2 ▲▼ で「BS」、「CS1」または「CS2」を選び、決定 を押す

- 「BSチャンネル設定」画面、「CS1チャンネル設定」画面または「CS2チャンネル設定」画面が表示されます。

3 左記(マニュアル)の手順3 ～ 7を行う

工場出荷時に設定されているチャンネル(2011年2月現在)

BS	BSデジタル放送	
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2 (2011年3月まで放送)
3	103	NHK h (2011年4月より BSプレミアム)
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日 1
6	161	BS-TBS
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ・181
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11
12	222	TwellV (トゥエルビ)

CS	CS1(110度デジタル放送)	
1	001	放送休止中
2	―――	
3	―――	
4	―――	
5	055	ショップチャンネル
6	―――	
7	―――	
8	―――	
9	―――	
10	―――	
11	―――	
12	―――	

CS	CS2 (110度デジタル放送)	
1	100	e2プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	―――	
4	300	日テレプラス
5	253	JスポーツPlusH
6	160	C-TBSウエルカム
7	―――	
8	―――	
9	194	放送休止中
10	―――	
11	―――	
12	―――	

お問い合わせ先

■ 「WOWOW」カスタマーセンター
TEL:フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　09:00～20:00(年中無休)
http://www.wowow.co.jp/

■ 「スター・チャンネル」総合案内窓口
TEL:0570-013-111
TEL:045-339-0399(PHS、IP電話)
受付時間　10:00～18:00(年中無休)
http://www.star-ch.co.jp/

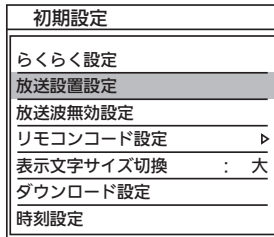
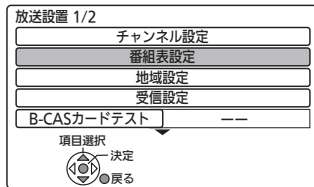
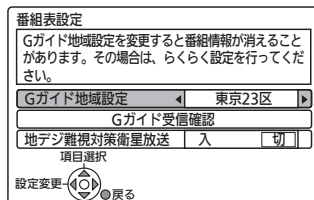
■ 「スカパー！e2」カスタマーセンター
TEL:0570-08-1212
TEL:045-276-7777(PHS、IP電話)
受付時間　10:00～20:00(年中無休)
http://www.e2sptv.jp/

番組表設定をする

番組表設定画面の設定内容を確認する

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、 を押す

初期設定
- らくらく設定
- 放送設置設定
- 放送波無効設定
- リモコンコード設定 ▶
- 表示文字サイズ切換 ： 大
- ダウンロード設定
- 時刻設定

3 ▲▼ で「番組表設定」を選び、 を押す

4 「Gガイド地域設定」がお住まいの地域に設定されているか確認する

- P.198 ～ 199 でどの地域にあてはまるか確認しておきましょう。

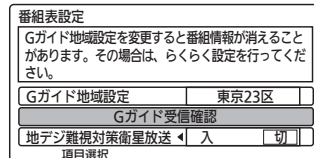
5 正しく設定されていない場合は、◀▶ で設定を変更する

- 「Gガイド地域設定」は、らくらく設定を行うと自動的に設定されます。
- 設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。表示されなくなった場合は、らくらく設定を最初からやり直してください。P.179

6 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

番組データの受信時刻を確認する

1 左記の手順**1** ～ **3**を行う

2 ▲▼ で「Gガイド受信確認」を選び、決定 を押す

- 「番組データ受信テスト中」が表示され、テスト終了後に次回の受信スケジュールが表示されます。（表示されるまで、最大で約6分かかります。）
- 受信スケジュールは、放送の種類によって異なります。

Gガイド受信確認

地上D　Gガイド受信スケジュール
地上デジタル　17：36～17：39

BS　Gガイド受信スケジュール
BS　16：52～17：00
CS1　17：56～18：04
CS2　18：04～18：12

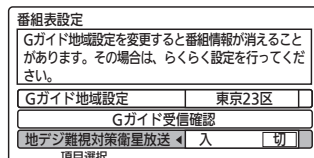
テレビの視聴、または予約実行などによって、予定時間に番組データが受信できないことがあります。

3 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

地デジ難視対策衛星放送を利用する

地デジ難視対策衛星放送とは、電波状態が悪いために地上デジタル放送が受信できない地域への受信対策として、暫定的に衛星放送を利用して行われる放送です。
放送の内容や利用できる地域、お申し込み方法などについては、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご覧ください。（一般の地域では利用できません。）

1 左記の手順**1** ～ **3**を行う

2 ▲▼ で「地デジ難視対策衛星放送」を選ぶ

3 利用する場合は、◀▶ で「入」を選ぶ

- BSデジタル放送の番組表に、地デジ難視対策衛星放送の番組表が表示されます。

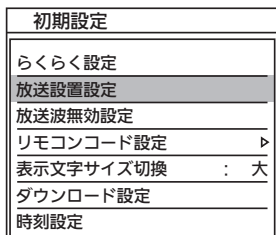
4 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

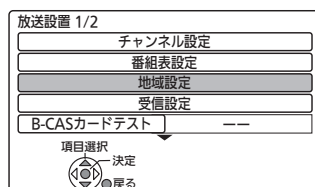
お知らせ

- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- 本機の電源が入のときや、停電したとき、主電源を切っていたときは、番組データを受信できず、番組表が空欄になるか前回の内容が残ります。
- チャンネル設定をやり直したときや、約1週間以上主電源を切っていたときは、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。

地域設定をする

データ放送が正しく受信できない場合に、地域設定を変更します。

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「地域設定」を選び、決定 を押す

- 「地域設定」画面が表示されます。

4 「県域設定」で、お住まいの都道府県を ◀▶ で選ぶ

- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都島部」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県島部」を選びます。

5 ▲▼ で「郵便番号」に移動し、決定 を押す

- 郵便番号入力画面が表示されます。

6 1 〜 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定 を押す

- 入力を間違えたときは、黄 を押します。

7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

8 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

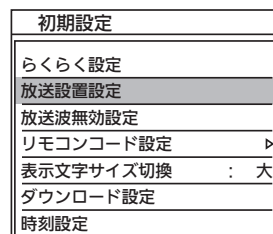
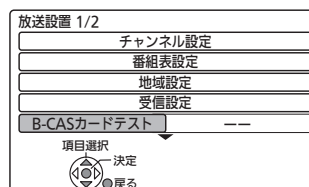
■「地域設定」を工場出荷時の設定に戻すときは

① 上記の手順4のときに、▲▼ で「地域設定削除」を選び、決定 を押す

② ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

B-CASカードテストをする

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「B-CASカードテスト」を選び、決定 を押す

- B-CASカードのテストが始まります。
- テスト終了後、「OK」が表示されます。

■ テスト終了後、「NG」が表示されたときは

① 本機の電源を切り、主電源(本体右側)を「切」にする

② B-CASカードを入れ直す P.25

4 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

受信設定をする

地上デジタル放送で映りが悪いチャンネルは、「受信設定」画面の「アッテネーター」（受信の強弱）の設定を変更すると、状況が改善されることがあります。

また、「受信設定」画面（BS・110度CSデジタル放送放送用）でアンテナの受信レベルを確認しながら、アンテナの向きを調整することができます。（マンションなどの共用アンテナやCATV（ケーブルテレビ）をご利用の場合は、この調整は不要です。）

お願い！

- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線を確認してから、P.185 の「BS・110度CSアンテナの受信レベルを調整する」の手順3でアンテナ電源を「入」にしてください。

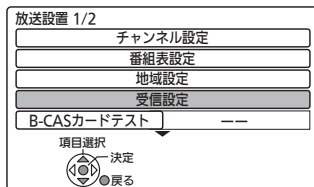
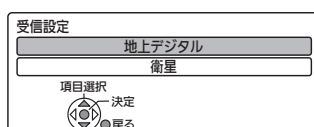
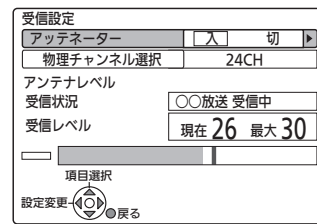
地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする

1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する P.42

2 「初期設定」画面を表示する P.178

3 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

初期設定
- らくらく設定
- 放送設置設定
- 放送波無効設定
- リモコンコード設定 ▷
- 表示文字サイズ切換　：　大
- ダウンロード設定
- 時刻設定

4 ▲▼ で「受信設定」を選び、決定 を押す

5 「地上デジタル」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

6 ▲▼ で「アッテネーター」を選び、◀▶ で設定を切り換える

- 受信の強弱が変更されます。
  「入」にすると弱くなります。受信環境により、設定を換えると受信レベルが改善されることがあります。
- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル（13～62CH）のことです。

■ 地上デジタル放送のアンテナの受信レベルを確認するときは

この画面で受信レベルを確認しながら、UHFアンテナの向きを調整することができます。

- 受信レベルは「22」以上が目安です。

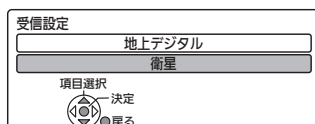
7 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- 「アッテネーター」の設定を切り換えた後は再スキャン P.180 を行ってみてください。受信できる放送が増えることがあります。逆に映りが悪くなったり、映らなくなる放送がある場合もありますので、その場合は「アッテネーター」の設定を元に戻し、再スキャンを行ってください。
- 「アッテネーター」の設定を切り換えた後にらくらく設定 P.179 を行うと、らくらく設定により「アッテネーター」の設定が切り換わる場合があります。

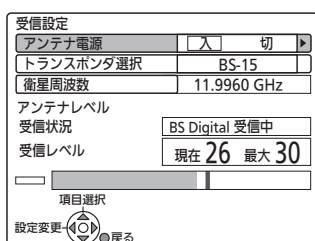
BS･110 度 CS アンテナの受信レベルを調整する

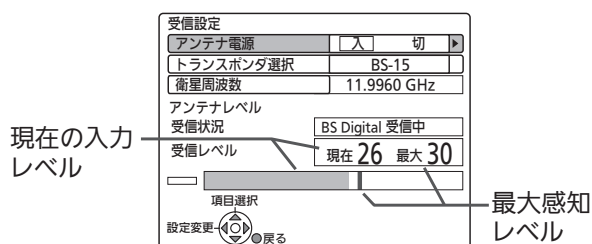
1 左記の手順**2** ～ **4**を行う

2 ▲▼ で「衛星」を選び、決定 を押す

3 「アンテナ電源」が「切」になっているときは、◀ で「入」を選ぶ

受信設定

アンテナ電源	入　切
トランスポンダ選択	BS-15
衛星周波数	11.9960 GHz

アンテナレベル
受信状況　BS Digital 受信中
受信レベル　現在 26　最大 30
項目選択
設定変更
戻る

- 本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給します。
- 「トランスポンダ選択」､「衛星周波数」は放送局からの案内がない限り変更しないでください。変更すると、視聴できなくなることがあります。

4 「現在」の数値が「最大」の数値に近づくように、アンテナの向きを調整する

- 受信レベルは「22」以上が目安です。

5 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- **「アンテナ電源」を「入」に設定した場合は、主電源(本体右側)を「切」にしないでください。**
- 1台のBS･110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。
- アンテナの受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。

ネットワーク設定をする

本機にLANケーブルを接続して、データ放送の双方向通信や「アクトビラ」「TSUTAYA TV」などをブロードバンド経由で利用したり、「スカパー！ＨＤ録画」をすることができます。

「スカパー！ＨＤ録画」をするときは、必ず P.177 の「機能設定」画面の「高速起動設定」の設定を「入」にしてください。(「切」にすると録画できません。)

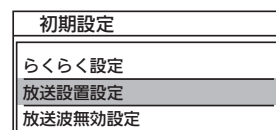
お願い

- プロバイダーとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に、設定してください。
- LAN端子に接続したあとや､「ネットワーク設定」､「ブラウザ設定」の各設定を変更したあとは、必ず接続テストを行ってください。
- スカパー！ＨＤ対応チューナーのネットワーク設定は、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

ネットワークの接続状態を確認する(接続テスト)

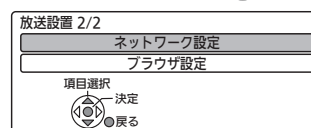
1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

初期設定
らくらく設定
放送設置設定
放送波無効設定

3 ▲▼ で「放送設置2/2」画面の「ネットワーク設定」を選び、決定 を押す

4 「接続テスト」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

ネットワーク設定 1/2

接続テスト	--
IPアドレス自動取得	する　しない
IPアドレス	--. --. --. --
サブネットマスク	--. --. --. --
ゲートウェイアドレス	--. --. --. --
DNS-IP自動取得	する　しない
プライマリDNS	--. --. --. --
セカンダリDNS	--. --. --. --

- 接続テストが始まります。(終わるまで、最大で約3分かかります。)
- 接続テスト終了後、「OK」が表示されます。

■接続テスト終了後、「NG」が表示されたときは

戻る を押してメッセージを消し、接続確認後に必要な設定を行ってください。

5 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

IP アドレスを取得する

通常は、「IPアドレス自動取得」を「する」に設定してお使いください。

1 P.185（接続テスト）の手順1 ～ 3を行う

2 ▲▼ で「IPアドレス自動取得」を選び、◀▶ で「する」を選ぶ

■手動で設定する必要があるときは

ルーターにDHCPサーバー機能がない場合や、ルーターのDHCPサーバー機能を使わないときは、次の設定を行ってください。

① この手順の「IPアドレス自動取得」で「しない」を選ぶ
② ▲▼ で「IPアドレス」に移動し、決定 を押す
③ 1 ～ 10 でIPアドレスの数値を入力し、決定 を押す
- 「IPアドレス」は、パソコンと違った数値で設定してください。
- 入力を間違えたときは、黄 を押します。

④ ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
⑤ 手順②～④をくり返し、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定する
- 「サブネットマスク」と「ゲートウェイアドレス」は、パソコンと同じ数値で設定してください。

3 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

DNS の IP アドレスを取得する

通常は、「DNS-IP自動取得」を「する」に設定してお使いください。

1 P.185（接続テスト）の手順1 ～ 3を行う

2 ▲▼ で「DNS-IP自動取得」を選び、◀▶ で「する」を選ぶ

■手動で設定する必要があるときは

プライマリDNS、セカンダリDNSを手動で設定する必要がある場合のみ、次の設定を行ってください。

① この手順の「DNS-IP自動取得」で「しない」を選ぶ
② ▲▼ で「プライマリDNS」に移動し、決定 を押す
③ 1 ～ 10 でプライマリDNSの数値を入力し、決定 を押す
- 「プライマリDNS」は、パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値で設定してください。
- 入力を間違えたときは、黄 を押します。

④ ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
⑤ 手順②～④をくり返し、「セカンダリDNS」を設定する
- 「セカンダリDNS」は、パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値で設定してください。

3 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

接続速度を手動で設定する

通常は、“接続速度自動設定”を“入”に設定してお使いください。IPアドレス設定、DNS-IPアドレス設定のあと、接続テストを行ってNGが表示されたときは、次の設定を行ってください。

1 P.185（接続テスト）の手順1 ～ 3を行う

2 ▲▼ で「ネットワーク設定2/2」画面の「接続速度自動設定」を選び、◀▶ で「切」を選ぶ

ネットワーク設定 2/2

接続速度自動設定	入	切
接続速度設定	--	
MACアドレス	00-00-00-00-00-00	

3 ▲▼ で「接続速度設定」に移動し、◀▶ で速度を設定する

- 速度は、「10BASE半二重」、「10BASE全二重」、「100BASE半二重」、「100BASE全二重」から選ぶことができます。接続するネットワークの環境に合わせて選んでください。

4 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

気を付けて

- **接続速度の設定を変更すると、機器によってはネットワークに接続できなくなることがあります。**

お知らせ

- 本機のMACアドレスを確認したいときは
  ① P.185（接続テスト）の手順1 ～ 3を行う
  ② ▲▼ で「ネットワーク設定2/2」画面を表示する
  ③ 「MACアドレス」を確認する
  ④ 「放送設置」画面が消えるまで、戻る をくり返して押す
- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合は、P.195で本機を工場出荷時の状態に戻すことをおすすめします。
- 本機に記憶されたお客さまの個人情報（メール、登録情報、ポイント情報など）の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ブラウザ設定をする

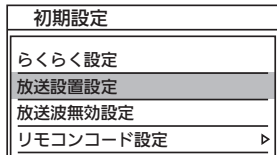
本機をブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、次の設定を行ってください。
デジタル放送では、ブロードバンドを利用して番組以外のいろいろな情報（情報コンテンツ）を配信するサービスが一部開始されており、これらのサービスを利用する際に情報コンテンツを正しく表示させるための設定です。

1. プロキシアドレスを設定する

プロキシアドレスとは？
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーから指定されるアドレスを入力します。（例：proxy_server.ne.jp）

1 「初期設定」画面を表示する P.178

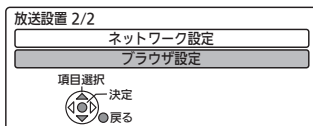
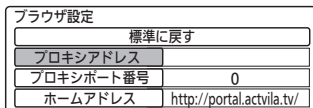
2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、 を押す

初期設定
らくらく設定
放送設置設定
放送波無効設定
リモコンコード設定

3 ▲▼ で「放送設置2/2」画面の「ブラウザ設定」を選び、決定 を押す

放送設置 2/2
ネットワーク設定
ブラウザ設定
項目選択
決定
戻る

4 ▲▼ で「プロキシアドレス」を選び、決定 を押す

ブラウザ設定

標準に戻す	
プロキシアドレス	
プロキシポート番号	0
ホームアドレス	http://portal.actvila.tv/

5 1 〜 12 でプロキシアドレスの文字（英字または数字）を入力し、決定 を押す

- 文字の種類（英数、数字）を切り換えるときは、緑 で切り換え、決定 を押します。
- 英字を入力するときは、「英数」のときに 2 〜 9 で入力し、決定 を押します。
- 数字を入力するときは、「数字」のときに 1 〜 10 で入力します。
- 同じボタンで続けて入力するときは、▶ でカーソルを1文字右へ移動します。
- 記号は、「英数」のときに 1 または 10 で入力します。（1 と 10 で入力できる記号が異なります。）「#」、「＊」は、「数字」のときに 11 、12 を押します。
- カーソルを左右に移動するときは、◀▶ を押します。
- 入力中の文字を消去するときは、黄 を押します。

6 確認画面が表示されたら、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

- 「ブラウザ設定」画面に戻ります。

2. プロキシポート番号を設定する

プロキシポート番号とは？
プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。（例：8000）

7 ▲▼ で「プロキシポート番号」を選び、決定 を押す

- 「プロキシポート番号設定」画面が表示されます。

8 1 〜 10 でプロキシポート番号を入力し、決定 を押す

- 入力を間違えたときは、黄 を押します。

9 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 「ブラウザ設定」画面に戻ります。

10 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

■「ブラウザ設定」を工場出荷時の設定に戻すときは

① 左記の手順 4 のときに、▲▼ で「標準に戻す」を選び、決定 を押す
② ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
- 「ブラウザ設定」画面に戻ります。

気を付けて

- プロキシサーバーを設定すると、ネットワークの動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダーに確認してください。

お知らせ

- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合は、P.195 で本機を工場出荷時の状態に戻すことをおすすめします。
- 本機に記憶されたお客さまの個人情報（メール、登録情報、ポイント情報など）の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

放送波無効設定をする

特定の放送波を無効にすることができます。
「無効にする」に設定された放送波の放送切換ボタンは、効かなくなります。

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲ ▼ で「放送波無効設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で無効にしたい放送波を選んでから、◀ ▶ で「無効にする」を選び、決定を押す

放送波無効設定

放送切換を効かないようにする場合は[無効にする]を選んでください。

地上デジタル	:	☑ 無効にする	☐ しない
BS	:	☐ 無効にする	☑ しない
CS	:	☐ 無効にする	☑ しない

戻る

4 メニュー を押す

リモコンコードの設定を変更する

リモコンコードを切り換える

本機の近くに他の当社製テレビを設置している場合は、リモコンコードを切り換えるとリモコンの誤動作を防げます。
工場出荷時は「リモコン1」に設定されています。

例：リモコン1からリモコン2に切り換えるとき

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲ ▼ で「リモコンコード設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「リモコンコード切換」を選び、決定を押す

4 「コード切換開始」が選ばれていることを確認し、決定を押す

次ページへつづく

5 ▲▼で「リモコン2」を選び、決定を押す

● 本体側がリモコン2に設定されます。

6 リモコン側もチャンネル∨と決定を同時に3秒以上押してリモコン2に設定する

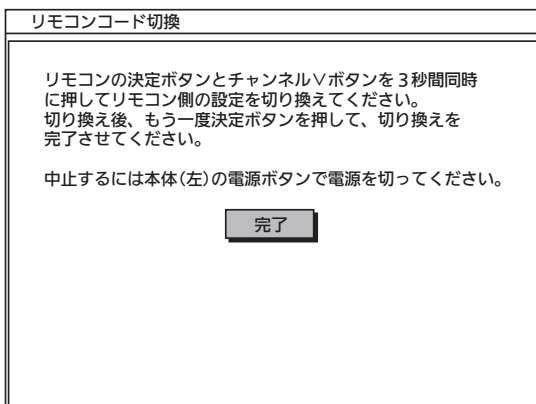
● リモコン側のコード切換方法は、リモコン背面にも記載しています。
● 同時押しは、しっかり3秒以上の長押しを行ってください。

7 もう一度決定を押す

リモコンコード切換

リモコンの決定ボタンとチャンネル∨ボタンを３秒間同時に押してリモコン側の設定を切り換えてください。
切り換え後、もう一度決定ボタンを押して、切り換えを完了させてください。

中止するには本体（左）の電源ボタンで電源を切ってください。

完了

● リモコンコードが変更されると、手順 3 の画面に戻ります。画面が切り換わらない場合は、再度手順 6 の操作を行ってください。
● リモコンコード切換を中止したいときは、決定を押さずに、本体左側面にある電源ボタンで電源を「切」にしてください。
手順 6 を行った後の場合は、チャンネル∧と決定を同時に押してリモコン側のコードを元に戻します。

8 メニュー を押す

お知らせ

● 本体側とリモコン側でリモコン1/2が一致していないと、リモコンでの操作はできません。その場合は画面右下に本体側で設定されているコードを示すアイコンが表示されますので、それに合わせてリモコン側の設定を変更してください。
● 電源ボタンでリモコンコード切換を中止できない（「本体操作部ロック」P.174 が「入」になっている）場合は、録画やダビング中でないことを十分確かめてから本体右側面の主電源ボタンで「切」にしてください。

リモコンコード警告の表示/非表示を設定する

本体側とリモコン側のリモコンコード（リモコン1/2）が一致していない状態でリモコン操作をすると、画面に警告のアイコンが表示されるようになっていますが、表示しないようにすることもできます。

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲▼で「リモコンコード設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「リモコンコード警告表示」を選び、決定を押す

4 ▲▼で設定を選ぶ

「入」… 警告のアイコンを表示します。
「切」… 警告のアイコンを表示しません。

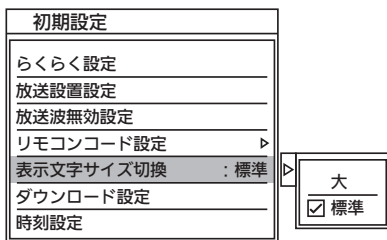
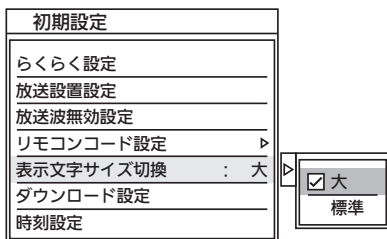
5 メニュー を押す

初期設定をする(つづき)

チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換える

番組のチャンネル番号、字幕の有無、音量、現在時刻などの文字サイズを切り換えることができます。

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲ ▼ で「表示文字サイズ切換」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

4 メニュー を押す

お知らせ

画面表示ボタン P.44 を押したときに表示される次の表示については、文字サイズを切り換えられません。

- ・音声の種類
- ・ディスクの情報
- ・ECOメーター
- ・画面サイズ
- ・明るさセンサー
- ・未読メールの有無
- ・オンタイマー

時刻設定をする

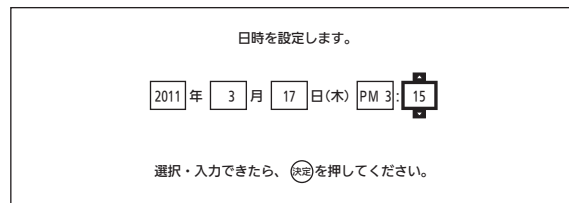
デジタル放送を受信できるときは、自動で時刻が設定・修正されますので、この設定は不要です。

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲ ▼ で「時刻設定」を選び、決定を押す

- 「時刻設定」画面が表示されます。

3 ▲ ▼ ◀ ▶ で時刻を合わせる

(移動)　(設定)

- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせます。

4 決定を押す

- 時刻が確定されます。

お知らせ

- 録画予約の設定があるときに時計を変更すると、正しく録画できないことがあります。
- 時刻を変更すると、番組が終了したとみなされる録画予約は削除されます。
- デジタル放送を受信していない場合は、主電源(本体右側面 P.18)を「入」にしておいてください。「切」にすると時刻の表示が「-- --:--」になります。

ダウンロード設定をする

本機のダウンロード更新を自動で行わないように設定できます。

通常は、自動更新されることをおすすめします。
(工場出荷時は自動更新されるように設定されています。)

1 「初期設定」画面を表示する P.178

2 ▲ ▼ で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

3 更新を自動で行わない場合は、◀ ▶ で「ダウンロード予約」の「切」を選ぶ

■ 更新を自動で行う設定に戻すときは

「入」を選びます。

4 戻る を押す

設定を「切」にしたときは、更新情報が届くと放送メールでお知らせします。
ダウンロード更新情報が届いたときはダウンロード予約を「入」にしてダウンロード更新を行ってください。
ダウンロード更新が行われたら、自動で更新を行いたくない場合は再び「切」に設定してください。

ダウンロード更新(オンエアーダウンロード)は、いつ行われるの?

自動で更新する場合は、本機の電源が「切」のときに、デジタル放送電波を使って本機の追加機能や機能向上などの情報がダウンロードされ、自動的に本機の制御プログラムが最新のものに書き換えられます。

●ダウンロード更新を自動で行わない設定にしている場合でも、ダウンロード更新情報が届いたときは必ずダウンロード更新を行ってください。

- ダウンロード後は、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- CATV(ケーブルテレビ)でもダウンロードは行われます。同様にお使いください。

気を付けて

●ダウンロード更新中は、主電源(本体右側)を「切」にしないでください。
本機の故障の原因となります。

お願い!

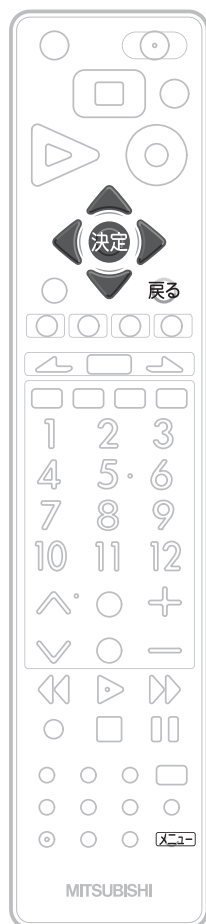
●ダウンロード更新中は、本機の操作はできません。
この間は動作ができないため、青一色の画面(ブルーバック)になり、音声も出ません。

- ダウンロード更新中のブルーバック状態が30分以上続く場合は、主電源ボタン(本体右側)で電源を「切」にし、1分程度待ってから再び「入」にしてください。
- ダウンロード更新中に予約の録画が始まったときは、ダウンロードは中止されます。
- 次のような場合には、自動でダウンロード更新する設定になっていても、実行されません。
  - ・主電源(本体右側)が「切」になっているとき。
  - ・悪天候などのために受信状態が悪いとき。
  - ・本機の電源が「入」のとき。
- ダウンロード更新が行われた場合は、放送メール P.146 が発行されます。

ECO画質設定にする

ECO画質設定にすると、一度に「映像モード」「明るさセンサー」「視聴者設定」「明るさ順応補正」を、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質の設定に切り換えることができます。
省エネ効果は、ECOモニターで確認できます。 P.56

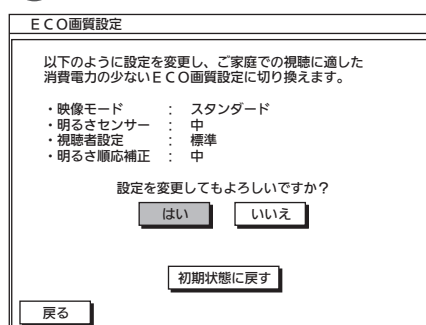
ECO画質設定を実行すると、次のような設定になります。

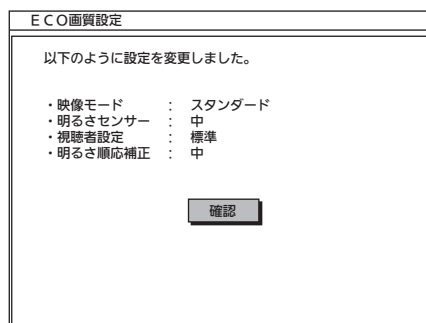
- 映像モード P.149 ………スタンダード
- 明るさセンサー P.152 …中
- 視聴者設定 P.152 ………標準
- 明るさ順応補正 P.153 …中

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」 P.142 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「ECO画質設定」を選び、決定を押す

4 画面表示を確認し、◀ ▶ で「はい」を選び、決定を押す

●◀ ▶ で「はい」を選び、決定を押すと設定を変更します。
●工場出荷時の状態に戻すには、▼ で「初期状態に戻す」を選び、決定を押してください。

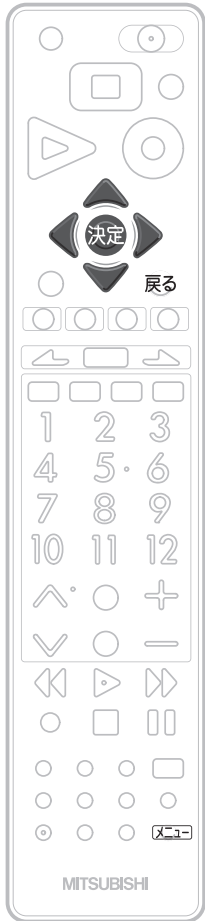
5 決定を押す

6 メニュー を押す

お知らせ

ECO画質設定により、バックライトでの消費電力を削減します。
例えば26V型の場合、ECO画質設定にすることで、工場出荷設定の状態のままでお使いになる場合と比べ、約29%消費電力が削減されます。
平成20年度改正省エネ法に定める液晶テレビの年間消費電力量測定における「節電機能による低減消費電力」の測定条件において、
ECO画質設定を行ったときの消費電力：約46 W
工場出荷状態のときの消費電力：約65 W
⇒ 29%≒(1−46/65)×100

本体・ディスクを初期化する

気を付けて

- **初期化を行って消去された録画内容は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから初期化してください。**
- **初期化中は、途中で中止できません。**
- **初期化中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。ディスク・カードの破損や本体が故障する原因となります。**
- **初期化中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。**

本体の録画内容を全部または一部消去する（本体初期化）

本体

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「設定初期化」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「メディア管理（初期化）」を選び、決定 を押す

- 「メディア管理」画面が表示されます。

5 ▲▼ で「本体初期化」を選び、決定 を押す

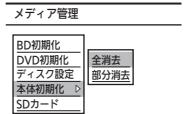
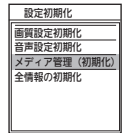
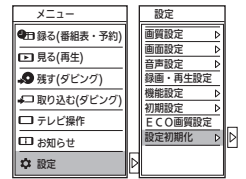
メディア管理
BD初期化
DVD初期化
ディスク設定
本体初期化
SDカード
全消去
部分消去

6 ▲▼ で希望の消去方法を選び、決定 を押す

「全消去」‥‥‥すべて消去するとき。

「部分消去」‥‥保護された番組以外を消去するとき。

7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

お知らせ

- 新品（未使用）のBD-RE/BD-Rを初期化（フォーマット）するときは、P.131 をご覧ください。
- BD-REは、ディスクが保護されている場合でも初期化されます。

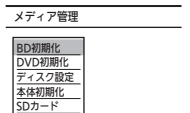
BD-REを初期化（フォーマット）する（BD初期化）

BD-RE

1 上記（本体初期化）の手順1 ～ 4を行って、「メディア管理」画面を表示する

2 「BD初期化」が選ばれているので、決定 を押す

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

本体・ディスクを初期化する（つづき）

DVD-RWを初期化（フォーマット）する（DVD初期化）

-RW

1 P.193（本体初期化）の手順1 ～ 4を行って、「メディア管理」画面を表示する

2 ▲▼で「DVD初期化」を選び、決定を押す

3 ▲▼で希望の録画方式を選び、決定を押す

- 録画方式については、P.131 をご覧ください。

4 ◀▶で確認メッセージの「はい」を選び、決定を押す

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

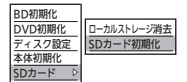
お知らせ

- 新品（未使用）のDVD-RW/DVD-Rを初期化（フォーマット）するときは、P.131 をご覧ください。
- 他の機器でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

SDカードを初期化（フォーマット）する（SDカード初期化）

SD

SDカードを初期化（フォーマット）する

1 P.193（本体初期化）の手順1 ～ 4を行って、「メディア管理」画面を表示する

2 ▲▼で「SDカード」を選び、決定を押す

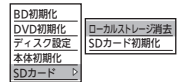
3 ▲▼で「SDカード初期化」を選び、決定を押す

4 ◀▶で確認メッセージの「はい」を選び、決定を押す

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ローカルストレージの内容を消去する

1 P.193（本体初期化）の手順1 ～ 4を行って、「メディア管理」画面を表示する

2 ▲▼で「SDカード」を選び、決定を押す

3 「ローカルストレージ消去」で、そのまま決定を押す

4 ◀▶で確認メッセージの「はい」を選び、決定を押す

- ローカルストレージ領域の消去が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 消去が終わると終了画面が表示され、数秒後に「メディア管理」画面に戻ります。

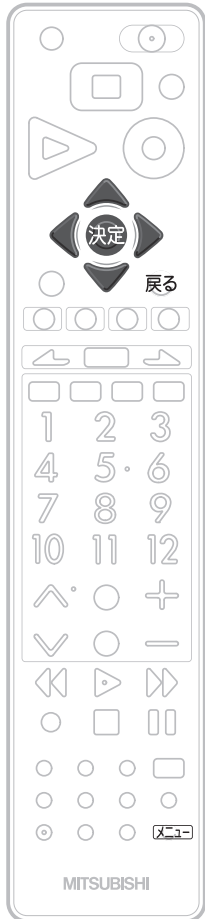
お知らせ

- ローカルストレージについては、P.113 をご覧ください。

本機を工場出荷時の設定に戻す

本機のすべて設定内容を工場出荷時の設定に戻します。

気を付けて

- **初期化の実行中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。本体の故障の原因となります。**
- **本体の録画内容も消去されるため、本機を譲渡するときや廃棄するとき以外は実行しないでください。**

1 メニュー を押す

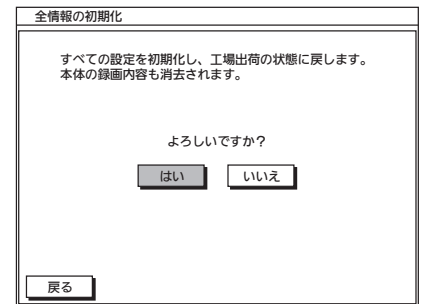
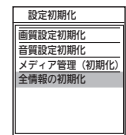
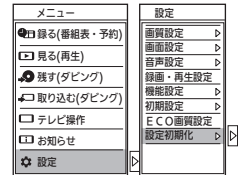
2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「設定初期化」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「全情報の初期化」を選び、決定 を押す

- 「全情報の初期化」画面が表示されます。

5 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

- 本機のすべて設定内容(録画内容も含む)が工場出荷時の設定に戻ります。
- スタンバイ(主電源が「入」の待機状態)になります。

お知らせ

- 次の設定内容を工場出荷時の設定に戻したいときは
  - 「画質設定」画面の設定内容 ･･･ P.152
  - 「音質設定」画面の設定内容 ･･･ P.159
  - 「再生設定」画面の設定内容 ･･･ P.167
  - 「録画設定」画面の設定内容 ･･･ P.168

お知らせ

- 本機に記憶されたお客さまの個人情報(メール、登録情報、ポイント情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

B-CASカードについて

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するためには、B-CASカードを必ず本機に挿入しておく必要があります。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用することになりました。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。
- 2008年7月から「ダビング10」の運用が開始されましたが、運用開始後も全ての番組が「ダビング10」になるものではありません。

●限定受信システム（CAS : Conditional Access Systems）とは

限定受信システム（CAS）とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル（放送内容をわからなくする技術）を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

●（株）B-CASとは

デジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するため設立された（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。

B-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。

付属のB-CASカード台紙に記載の内容をよくお読みください。

■ B-CASカードについてのお問い合わせは（2011年2月現在）

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL：0570-000-250（IP電話からの場合は045-680-2868）
受付時間　10：00～20：00（年中無休）
http://www.b-cas.co.jp/

デジタル放送について

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。
UHFアンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（110度CS対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

- デジタル放送全般については、社団法人　デジタル放送推進協会（Dpa）　http://www.dpa.or.jp/　をご覧ください。

地上デジタル放送

- 受信可能エリアなど、地上デジタルテレビ放送の受信に関するご相談・お問合わせは、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター　0570-07-0101（IP電話：03-4334-1111）へ。
  受付時間　月～金 9：00～21：00　土・日・祝日 9：00～18：00
- 地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビ（CATV）でも受信できます。お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。ケーブルテレビ放送会社によっては、放送方式が異なります。
  本機はすべての周波数（VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯）に対応する【CATVパススルー対応】の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

BSデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
  BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
  有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」カスタマーセンター
TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　　9：00～20：00（年中無休）
http://www.wowow.co.jp/

■「スター・チャンネル」総合案内窓口
TEL：0570-013-111
045-339-0399（PHS、IP電話）
受付時間　　10：00～18：00（年中無休）
http://www.star-ch.jp/

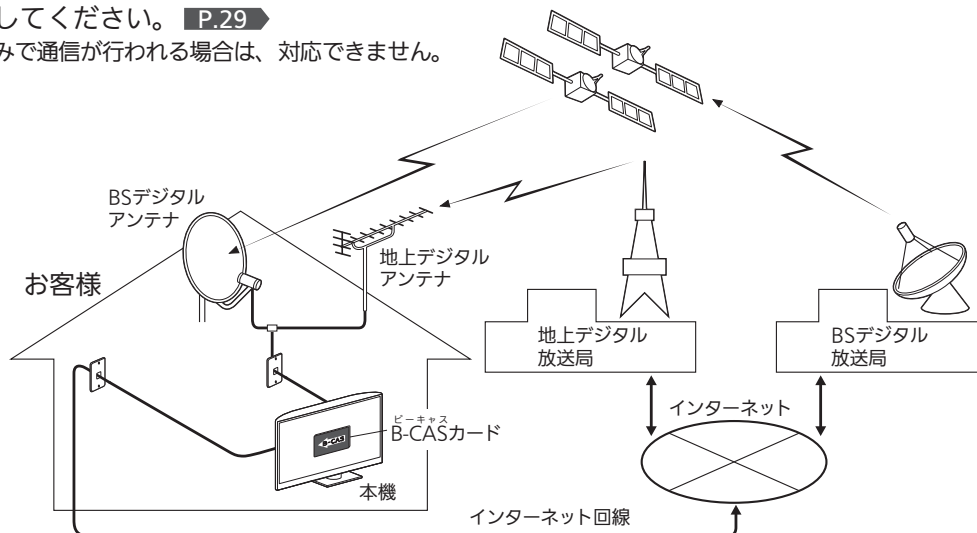
110度CSデジタル放送（スカパー！e2）

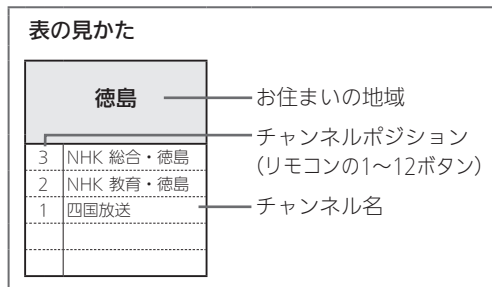
- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。
  ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー！e2」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。

■「スカパー！e2」カスタマーセンター
TEL：0570-08-1212
045-276-7777（PHS、IP電話）
受付時間　　10：00～20：00（年中無休）
http://www.e2sptv.jp/

●双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの1つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。P.29

※電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。

地上デジタル放送のチャンネル設定

- らくらく設定 P.37 ～ 40 で選択された地域の放送局とチャンネルポジション（リモコンの 1 ～ 12 ）の組み合わせは、下表のようになります。（2011年2月現在）
  他の地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。
- 割り当てられた放送が実際に開始される時期は、地域によって異なります。また、放送の開始時は、地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さな出力で放送されるので、受信エリアが限定されます。

お住まいの地域	北海道（札幌）	北海道（函館）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（釧路）	北海道（北見）	北海道（室蘭）
チャンネル名	3 NHK 総合・札幌	3 NHK 総合・函館	3 NHK 総合・旭川	3 NHK 総合・帯広	3 NHK 総合・釧路	3 NHK 総合・北見	3 NHK 総合・室蘭
	2 NHK 教育・札幌	2 NHK 教育・函館	2 NHK 教育・旭川	2 NHK 教育・帯広	2 NHK 教育・釧路	2 NHK 教育・北見	2 NHK 教育・室蘭
	1 HBC 札幌	1 HBC 函館	1 HBC 旭川	1 HBC 帯広	1 HBC 釧路	1 HBC 北見	1 HBC 室蘭
	5 STV 札幌	5 STV 函館	5 STV 旭川	5 STV 帯広	5 STV 釧路	5 STV 北見	5 STV 室蘭
	6 HTB 札幌	6 HTB 函館	6 HTB 旭川	6 HTB 帯広	6 HTB 釧路	6 HTB 北見	6 HTB 室蘭
	8 UHB 札幌	8 UHB 函館	8 UHB 旭川	8 UHB 帯広	8 UHB 釧路	8 UHB 北見	8 UHB 室蘭
	7 TVH 札幌	7 TVH 函館	7 TVH 旭川	7 TVH 帯広	7 TVH 釧路	7 TVH 北見	7 TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
チャンネル名	3 NHK 総合・仙台	1 NHK 総合・秋田	1 NHK 総合・山形	1 NHK 総合・盛岡	1 NHK 総合・福島	3 NHK 総合・青森	1 NHK 総合・東京
	2 NHK 教育・仙台	2 NHK 教育・秋田	2 NHK 教育・山形	2 NHK 教育・盛岡	2 NHK 教育・福島	2 NHK 教育・青森	2 NHK 教育・東京
	1 TBC テレビ	4 ABS 秋田放送	4 YBC 山形放送	6 IBC テレビ	8 福島テレビ	1 RAB 青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT 秋田テレビ	5 YTS 山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央テレビ	6 ATV 青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB 秋田朝日放送	6 テレビユー山形	8 めんこいテレビ	5 KFB 福島放送	5 青森朝日放送	8 フジテレビジョン
	5 KHB 東日本放送		8 さくらんぼテレビ	5 岩手朝日テレビ	6 テレビユー福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
チャンネル名	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・水戸	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・長野
	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・東京	2 NHK 教育・長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 abn
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	6 SBC 信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS 長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
チャンネル名	1 NHK 総合・新潟	1 NHK 総合・甲府	1 NHK 総合・大阪	1 NHK 総合・京都	1 NHK 総合・神戸	1 NHK 総合・和歌山	1 NHK 総合・奈良
	2 NHK 教育・新潟	2 NHK 教育・甲府	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪
	6 BSN	4 YBS 山梨放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ
	4 TeNY テレビ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ 21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS 京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
チャンネル名	1 NHK 総合・大津	1 NHK 総合・広島	1 NHK 総合・岡山	1 NHK 総合・高松	3 NHK 総合・松江	3 NHK 総合・鳥取	1 NHK 総合・山口
	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・広島	2 NHK 教育・岡山	2 NHK 教育・高松	2 NHK 教育・松江	2 NHK 教育・鳥取	2 NHK 教育・山口
	4 MBS 毎日放送	3 RCC テレビ	4 RNC 西日本テレビ	4 RNC 西日本テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY 山口放送
	6 ABC テレビ	4 広島テレビ	5 KSB 瀬戸内海放送	5 KSB 瀬戸内海放送	6 BSS テレビ	6 BSS テレビ	3 TYS テレビ山口
	8 関西テレビ	5 広島ホームテレビ	6 RSK テレビ	6 RSK テレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB 山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち			
	3 BBC びわ湖放送		8 OHK テレビ	8 OHK テレビ			

一覧（地域名を用いた設定）

地上デジタルテレビ放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで

総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

TEL 0570 (07) 0101

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
チャンネル名	3	NHK 総合・名古屋	3	NHK 総合・津	3	NHK 総合・岐阜	1	NHK 総合・金沢	1	NHK 総合・静岡	1	NHK 総合・福井	3	NHK 総合・富山
	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・金沢	2	NHK 教育・静岡	2	NHK 教育・福井	2	NHK 教育・富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBC テレビ	1	KNB 北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT 富山テレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	MRO	4	だいいちテレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・長崎	3	NHK 総合・鹿児島
	2	NHK 教育・松山	2	NHK 教育・徳島	2	NHK 教育・高知	3	NHK 総合・北九州	2	NHK 教育・熊本	2	NHK 教育・長崎	2	NHK 教育・鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHK 教育・福岡	3	RKK 熊本放送	3	NBC 長崎放送	1	MBC 南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHK 教育・北九州	8	TKU テレビ熊本	8	KTN テレビ長崎	8	KTS 鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC 九州朝日放送	4	KKT くまもと県民	5	NCC 長崎文化放送	5	KKB 鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB 毎日放送	5	KAB 熊本朝日放送	4	NIB 長崎国際テレビ	4	KYT 鹿児島讀賣 TV
							5	FBS 福岡放送						
							7	TVQ 九州放送						
							8	TNC テレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄	
チャンネル名	1	NHK 総合・宮崎	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・那覇
	2	NHK 教育・宮崎	2	NHK 教育・大分	2	NHK 教育・佐賀	2	NHK 教育・那覇
	6	MRT 宮崎放送	3	OBS 大分放送	3	STS サガテレビ	3	RBC テレビ
	3	UMK テレビ宮崎	4	TOS テレビ大分			5	QAB 琉球朝日放送
			5	OAB 大分朝日放送			8	沖縄テレビ（OTV）

- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

形名		LCD-26BHR500	LCD-32BHR500
種類		液晶カラーテレビ	
電源		AC100 V　50／60 Hz	
消費電力		90 W	99 W
		本体主電源「切」時　0 W・リモコン待機時　0.2 W （高速起動「入」設定時　約35 W）	
年間消費電力量※1		87 kWh／年※2［標準※3時］ 区分名※4：DK3（FHD以外、液晶ノーマル、付加機能3） 受信機型サイズ：26V	92 kWh／年※2［標準※3時］ 区分名※4：DN3（FHD以外、液晶ノーマル、付加機能3） 受信機型サイズ：32V
音声	実用最大出力　JEITA	10 W＋10 W	
	スピーカ	（10.3 cm×4.5 cm）×2	
アンテナ入力		VHF／UHF　1軸　75 Ω不平衡形（CATVパススルー対応）	
BS・110度CSアンテナ入力		75 Ω不平衡形（C15形）兼コンバーター用電源（DC 15 V）出力	
受信チャンネル		地上デジタル：000～999ch　BSデジタル：000～999ch　110度CSデジタル：000～999ch （CATVパススルー対応：VHF：1～12ch　UHF：13～62ch　CATV：C13～C63ch）	
液晶モジュール	液晶パネル	26V型カラーTFT液晶	32V型カラーTFT液晶
	表示画素数	1366 ドット×768 ライン	
	バックライトの種類	LED	
有効表示領域		幅57.6×高さ32.4／対角66.1 cm	幅69.8×高さ39.2／対角80.0 cm
表示色		1677万色	
HDD／BD部	録画方式（BD）	Blu-ray Disc Rewritable Format準拠、Blu-ray Disc Recordable Format準拠	
	録画方式（DVD）	DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠、AVCREC規格準拠	
	録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264	
	録音圧縮方式	ドルビーデジタル、リニアPCM（非圧縮）、MPEG-2 AAC	
	内蔵HDD容量	500 GB	
	録画可能ディスク	「本機で使えるメディア（ディスク・カード）」を参照	
	録画時間	「録画モードとおよその録画時間（目安）」を参照	
	再生可能ディスク	「本機で使えるメディア（ディスク・カード）」を参照	
	リージョンコード	BD：Region A　DVD：#2	
ヘッドホン		φ3.5ステレオミニジャック	
ビデオ入力端子		（映像）1.0 V（p-p）75 Ω（同期負極性） （音声）150 mV（rms）ハイインピーダンス	
音声出力端子		φ3.5ステレオミニジャック	
S（S2）映像端子		輝度信号　1.0 V（p-p）（同期負極性）75 Ω不平衡 クロマ信号　0.286 V（p-p）（バースト信号）75 Ω不平衡	
HDMI入力端子		2系統　2端子	
i.LINK TS入力		MPEG2-TS、S400対応	
LAN端子		10BASE-T/100BASE-TX	
SDメモリーカード挿入口		SDカード、SDHCカード、（miniSDカード、microSDカードはアダプター装着）が使用可能	
USB端子		ハイスピードUSB（USB2.0 準拠）　Type A　DC 5 V　最大 500 mA	
デジタル音声（光）出力端子		1系統　1端子（モニター）	
外形寸法		幅64.0×高さ47.4×奥行32.9 cm	幅76.2×高さ54.3×奥行32.9 cm
質量		10.7 kg	12.8 kg
キャビネット材質		PC＋ABS樹脂、PS樹脂	
スタンド角度調節範囲		左右各約30˚（オートターン、手動とも）	
使用周囲温度		0 ℃～40 ℃	
許容湿度		80 %最大（結露なきこと）	

リモコン	形名	RL19101
	電源	DC 3 V　単4形乾電池2個
	質量	約100 g（乾電池含む）

- テレビのV型（26V型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
  No servicing is available outside of Japan.
- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- JIS C 61000-3-2　適合品：「JIS C 61000-3-2」適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- デジタル放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について
  ・地上デジタル（HD放送）：17 Mbps　・BSデジタル（HD放送）：24 Mbps　・BSデジタル（SD放送）：12 Mbps
- デジタル放送のデータを圧縮変換して録画する場合の圧縮方法について
  ・MPEG-4 AVC/H.264　エンコード

※1：省エネ法（目標年度：平成24年度）に基づいて、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
※2：HDD停止、ディスク未挿入にて測定しています。
※3：一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の設定の一つです。このモデルでは、映像モード=スタンダード、視聴者設定=標準、明るさ順応補正＝中、バックライト補正=入、高速起動設定＝切、HDD待機モード＝入をおすすめしています。
※4：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間は、お買上げ日から1年間です

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この液晶カラーテレビの補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

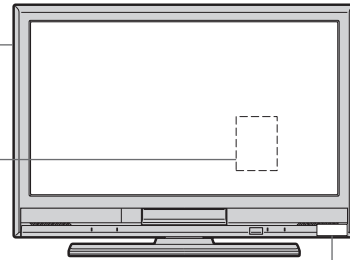
- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「故障かな？と思ったら」P.204～216 にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。
- **保証期間中は**
  - ・修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  - ・保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**

  修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
  点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金は**

  技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
- 据付（接続・調整・取扱説明等）を依頼されると**有料**となることがあります。
- **ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名	三菱液晶カラーテレビ
2. 形　　名	テレビ本体の形名表示位置をご覧ください。
3. 製造番名	テレビ本体の製造番号表示位置をご覧ください。
4. お買上げ日	年　月　日
5. 故障の状況	「症状確認シート」 の内容
6. ご　住　所	（付近の目印なども）
7. お名前・電話番号・訪問希望日	

■廃棄時にご注意願います。

- 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口** へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。

2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。

3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。

4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー　365日
フリーコール **0120-139-365**（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655（有料）

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル
0120-56-8634（無料）

インターネット
www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K10A

症状確認シート

万一、修理をお申し付けの際には円滑な対応をさせていただくため、次の内容を確認のうえ、お申し付けくださいますよう、お願い申し上げます。

【ご確認事項】 ※この内容は、訪問いたしましたサービスマンに必ずお伝えください。

HDDの初期化： 修理過程でやむを得ず記録内容が失われたり、本体（HDD）の初期化（録画内容の全消去）が必要な場合があります。

☐ 同意する
☐ 同意しない（初期化しないと修理できない場合があります）

【不具合症状について】

発生区分： ☐ 地デジ ☐ BS/CS ☐ HDD ☐ ディスク ☐ SDカード ☐ その他（ ）

発生区分： ☐ 常時 ☐ ときどき ☐ その他（ ）

症状（できるだけくわしく）： 例1. HDDからDVD-RWへ高速ダビング中に途中で止まってしまう
例2. 地上デジタル放送の◯◯チャンネルの『※△◇×』という番組だけ映像が乱れる

ディスクの種類（BD/DVD/CD関連時のみ）

☐ BD市販ソフト ☐ DVD市販ソフト ☐ CD市販ソフト	☐ 特定のタイトルのみ発生 ☐ 複数のタイトルで発生 タイトル名：________ タイトルNo.：________ チャプターNo.：________ タイム：____時間____分____秒
☐ BD-RE ☐ BD-R ☐ DVD-RW ☐ DVD-R	☐ 本機で記録 ☐ 他機で記録（メーカー名：_________ 機種名：________） ディスクメーカー名：________ タイトルNo.：________ チャプターNo.：________ タイム：____時間____分____秒
☐ その他	（ ）

SDカードについて： 静止画のとき、
SDカードのメーカー名：__________ 容量：________ 画像サイズ：________ MB 画像枚数：________
保存方法：☐ デジタルカメラで撮影したまま ☐ パソコンで編集、整理
デジタルカメラのメーカー名：________ デジタルカメラの形名：________

接続している機器

①ケーブルテレビ受信端末： ケーブルテレビ会社名：______________ 機種名：______________ 接続方法：☐ アンテナ線 ☐ 映像･音声コード ☐ HDMIケーブル ☐ i.LINKケーブル ☐ その他（ ）	③その他：☐ デジタルビデオカメラ ☐ ビデオ/ビデオカメラ ☐ アンプ ☐ 他（ ） メーカー名：__________ 機種名：____________ 接続方法：☐ 映像･音声コード ☐ S端子コード ☐ 光音声ケーブル ☐ その他（ ）
②レコーダー： メーカー名：__________ 機種名：____________ 接続方法：☐ 映像･音声コード ☐ S端子コード ☐ HDMIケーブル ☐ 光音声ケーブル ☐ その他（ ）	④回線の種類：☐ 光 ☐ ケーブルテレビ ☐ ADSL

故障かな？と思ったら

困ったときは

接続や操作方法がわからないときは、

まず、
「故障かな？と思ったら」と「メッセージ表示一覧」でお調べください。P.205～220

それでも解決しない場合は使用を中止し、
ディスクやSDカードを取り出してから、
必ず電源プラグを抜いたあと、

「ご相談窓口」へ

■全国どこからでも、おかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合
（03）3414-9655（有料）

ご相談内容により

「修理窓口」P.202を
ご紹介いたします。

● 「修理窓口」では、取扱いや据付・設置・基本設定の方法がわからない場合や、故障かどうか判断がつかない場合に、ご自宅へ訪問する出張サポートの受付も行っております。

出張サポート（有料）のご案内

出張サポートは、本書P.202に記載の「三菱電機 修理窓口」または上記「ご相談窓口」のフリーコールの音声ガイダンス「修理のご依頼［＊］［2］」で受付けております。

料金についてはお見積もりいたしますので、上記の窓口で受付時にご相談ください。
※保証期間中の製品故障の場合は、保証書の規定に従って無償で修理させていただきます。

電源を「入」にして画面左上に「起動中」と表示中は音量や選局以外の操作ができません。

→すぐ操作ができるようにしたいときは、高速起動設定P.177を「入」にします。

電　源

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。	●電源プラグが抜けていませんか。 ●主電源が「切」になっていませんか。 ●電源インジケーター(赤色)が点滅している場合は、主電源を切って、インジケーターが消えるのを待って、電源を入れ直してください。 →それでも電源が入らずインジケーターが点滅する場合は、次項を参照ください。	36 18 —
電源が入らない。 電源インジケーターが赤点滅する、または点灯しない。 (主電源「入」時)	●安全のための保護回路がはたらいたことを表しています。このとき安全のためリモコンで操作はできません。 →電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。	—
電源が入らない。 本体の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。 ●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に R1 または R2 のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 ・R1 が表示されたとき……リモコンのチャンネル ∧ と 決定 を同時に3秒以上押す ・R2 が表示されたとき……リモコンのチャンネル ∨ と 決定 を同時に3秒以上押す リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。	— 36 23 — 188〜189
急に電源が切れた。	●無操作節電、無信号節電が「入」になっていませんか。 ●オフタイマーの設定がされていた可能性があります。 →再度電源を入れた際、オフタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起こらないか確認してください。 ●センサー節電が「入」になっていませんか。お部屋の照明が落ちると電源をオフします。	171 54 171
電源を切ったら テレビが回転した。	●オートターン設定の「電源オフ時中央」が「入」になっていませんか。	175
リモコンで電源を切った後、しばらくして「カチッ」と音がした。	●電源を切った後もデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に「カチッ」と音がします。 故障ではありません。 電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。	—
電源を切っているときに「カチッ」と音がした。	●デジタル放送のデータ取得のための動作に入るとき、抜けるときの音です。 故障ではありません。	—
電源を入れた後、「カシャカシャ」というような機械音がする。	●BD／DVDの駆動部が立ち上がる際に回転音がします。ディスクを入れたままにしていると音が大きくなることがあります。気になるときは、取り出してください。 または、高速起動設定を「入」にしてみてください。	177
突然電源が入った。	●ディスクトレイ開閉の操作をすると電源が入ります。ディスクトレイの操作の後、テレビを使用しないときは電源を「切」にしてください。 ●オンタイマーの設定がされていませんか。	— 55
朝の5時に「カシャカシャ」というような機械音がする。	●高速起動設定を「入」にすると、ソフトウェアの動作を保全するために定期的に電源を入れ直す必要があります。本機ではそれを朝5時に行いますが、お好みの時刻に変更することもできます。その際BD／DVDの駆動部が立ち上がるため回転音がします。 異常ではありません。	177

故障かな？と思ったら（つづき）

■ リモコン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで操作できない。	●電源を「入」にした後、録画・再生機能の準備のため、数十秒程度は音量・選局以外の操作ができません。画面左上の「起動中」の表示が消えたら操作できます。 →すぐに操作できるようにするには「高速起動設定」を「入」にします。 ただし、電源「切」時の電力が増えます。	177
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	－
	●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。	36
	●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。	23
	●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。	－
	●デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1～12ボタンがデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル∧∨や番組表でチャンネル切換をしてください。	－
	●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に R1 または R2 のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 ・R1 が表示されたとき……リモコンのチャンネル∧と決定を同時に3秒以上押す ・R2 が表示されたとき……リモコンのチャンネル∨と決定を同時に3秒以上押す リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。	188～189
	●主電源を切り、しばらくしてから再度主電源を入れてください。 本機は、複雑なプログラムにより動作しています。まれにプログラム処理動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。主電源を入れ直すことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。	－

■ テレビを見ているとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
本体ボタンで操作できない。	●電源を「入」にした後、録画・再生機能の準備のため、数十秒程度は音量・選局以外の操作ができません。画面左上の「起動中」の表示が消えたら操作できます。 →すぐに操作できるようにするには「高速起動設定」を「入」にします。 ただし、電源「切」時の電力が増えます。	177
	●「本体操作部ロック」が「入」になっていませんか。	174
	●主電源を切り、しばらくしてから再度主電源を入れてください。 本機は、複雑なプログラムにより動作しています。まれにプログラム処理動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。主電源を入れ直すことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。	－
放送の切り換えができない。チャンネルが切り換えられない。	●2番組同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。	77
	●本体→DVD-RW（Video）/-R（Video）への高速ダビング中は、本機のチャンネルを切り換えることはできません。	133
映像も音も出ない。	●アンテナ線が外れていませんか。 （「受信できません。」のメッセージが表示されます。）	26～28 217
	●入力端子の接続と入力切換ボタンの操作が合っていますか。	46
	●外部機器の接続コードが外れていませんか。	31～35
映像は出るが、音が出ない。	●消音になっていませんか。または音量が0になっていませんか。	22
	●ビデオなどの入力端子が外れていませんか。	31～35
	●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。	19
ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない。	●ビデオ入力端子の接続コードが外れていないか調べてください。	31

テレビを見ているとき（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
音がつまったような感じがする。	●「おすすめ音量」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量をおさえる効果によりつまったように感じることがあります。	160
音の大きさが変化する。 人の声が変化する。	●「おすすめ音量」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量を補正する効果により変動することがあります。	160
音声に異音が入ったり映像にノイズが出る。	●テレビや接続機器の近くで携帯電話や無線機などを使用していませんか。 →携帯電話などを離して使用してください。	–
映りが悪い。	●アンテナ接続コネクタへのつなぎかたを確認してください。 ●アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ●アンテナが風でこわれたり、まがったりしていませんか。 ●アンテナは正しい方向に向いていますか。 ●自動車、オートバイ、電車、ヘアドライヤーなどからの妨害電波が入っています。 →アンテナを原因となるものから離してください。 ●ビデオを接続しているときに、ビデオのテレビ/ビデオ切換がビデオになっていませんか。 ●コントラストの調節を確認してください。 ●チャンネルの設定をやり直してください。 ●標準画質での放送ではありませんか。 →「番組内容」で確認できます。	26～28 – – – – – 150 180～181 52
色がつかない。 色がおかしい。	●色の濃さの調節をしてください。 ●色あいの調節をしてください。 ●S端子の場合、接続不良がないか確認してください。	150 150 31
画面の横幅が圧縮されて、左右に黒い帯が出る。	●画面サイズが「標準」になっていませんか。 →「サブメニュー」→「画面サイズ」で、映像に合った画面サイズを選んでください。	58～59
「ダイナミック」を選んでいるのに、左右に黒い帯が出る。	●ビデオやゲーム画面などでは、左右の黒い帯が残る場合があります。	58～59
字幕が切れる。	●画面サイズによっては切れる場合があります。 →メニュー機能で画面の上下の位置（垂直位置）を調整してください。	155
画面が暗い。 夜になると画面が暗くなる。	●ECOモード（視聴者設定/明るさセンサー）が設定されていませんか。 ●映像モードが変更されていませんか。 ●コントラストの調節を確認してください。 ●ご購入時の画質に戻すことができます。	152～153 149 150 152
外部入力の画面が選べない。	●側面端子、ビデオ1の場合、接続線が外れていませんか。 ●HDMI1/2、i.LINKの場合、「入力スキップ設定」が「する」に設定されていませんか。 ●DVD-RW（Video）/-R（Video）を高速ダビング中は、ビデオ1、HDMI1以外の外部入力は選べません。	19・31 174 133
テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い。	●本体上面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能品質には問題ありません。（本体の通風孔をふさがないように、お使いください。）	–

故障かな？と思ったら（つづき）

■ テレビを見ているとき（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで本体の向きが変わらない。	●「オートターン」が「切」になっていませんか。 ●後面の黄色いリード線をオートターン専用コネクタ（メス）にしっかり差し込んでいますか。 ●後面の黄色いリード線が抜けていませんか。	175 18 18
テレビからときどき「ピシッ」と音がする。	●室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮するときに発生する音です。画面や音声に異常がなければ心配ありません。	–
一発録画がなかなか始まらない。	●「HDD待機モード」が「入」になっていませんか。	171
チャンネルが勝手に切り換わった。	●2番組同時の予約録画、2番組同時録画可能な組み合わせでの連続予約録画をしていませんか。 →2番組同時録画中は録画している番組のみ視聴できます。連続録画でも十数秒間2番組同時録画状態となります。予約を優先しますので、視聴中の番組が録画している番組に切り換わります。 視聴中の番組が予約番組と同じ場合は切り換わりません。	76～77
映像の動きが不自然。	●「デジタルシネマ」が「自動」になっていませんか。画像によっては動きが不自然になることがあります。 →「デジタルシネマ」を「切」にしてみてください。	151

■ デジタル放送のとき（共通）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
デジタル放送が映らない。	●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず主電源を切って行ってください。	25
リモコンで操作できない。	●デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1～12 ボタンがデータ操作に使われる場合があり、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル ∧ ∨ や番組表でチャンネル切換をしてください。	–
字幕や文字スーパーが出ない。	●「字幕」が「オフ」に設定されていませんか。 →「日本語」に設定してください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 ●本機で録画モードDR以外で録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。 ●ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。 ●ディスクによっては、ディスクメニューを使って字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクの説明書をご覧ください。	47 – 75・112 – –
放送チャンネルを切り換えると、自動的に字幕が表示される。	●「録画予約設定」→「字幕焼きこみ」の設定を「あり」にしているときは、他の番組を視聴するために放送やチャンネルを切り換えると字幕が自動的に表示されることがあります。視聴中の番組の字幕を表示させたくない場合は、「字幕」を「オフ」に変更してください。	75・169 47・144
勝手に字幕が表示された。	●「録画予約設定」→「字幕焼きこみ」を「あり」に設定していると、自動的に表示されることがあります。	169

■ 地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
地上デジタル放送が 映らない。 映像が乱れる。	●お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか。 →地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さい出力電波で開始されているため、受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。	41
	●UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 →地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。	41
	●地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。 →従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。	41
	●地上デジタル放送の場合は、「受信設定」の「アッテネーター」の設定を切り換えると、映りが改善されることがあります。	184
	●地上アナログ放送（VHF帯）からの影響により地上デジタル放送が受信できない場合があります。市販のブースターを経由して受信している場合は、ブースターのゲイン調整を再確認してください。	–
映像や音が出ない、または ときどき出なくなる。 映像が静止する、または ときどき静止する。	●受信レベルが低い状態でご覧になっていませんか。 →受信レベルが低いと、天候や近隣の環境（建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など）の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなることがあります。	–
	●UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 →「アンテナレベル」で受信レベルを確認することができます。何らかの要因で受信レベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	184
地上デジタルの放送局の ロゴマークが表示されない。	●地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。 放送時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。	–

故障かな？と思ったら（つづき）

■ BS・110度CSデジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
BS・110度CSデジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	●「受信設定」→「衛星」→「アンテナ電源」で「入」を選んでいますか。 ●BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 ●BS・110度CSアンテナ線を分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。 ●分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 ●アンテナ接続コネクタがプラスチックのものをお使いの場合、正しく加工されていますか。 →「アンテナレベル」で受信レベルが「22」以上になっているか、ご確認ください。	185 － － － 185
BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い。	●アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 ●アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 →「アンテナレベル」で受信レベルが「22」以上になっているか、ご確認ください。	－ 185
データ番組の操作をしていたら、チャンネルが切り換わった。	●データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違ってリモコンの 1 ～ 12 ボタンを押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。	－
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる。	●本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。 →BS・110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	－
有料放送の視聴ができない。	●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず主電源を切って行ってください。 ●有料放送を視聴するための手続きをされていますか。 →視聴契約の手続きをしてください。	25 197
BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。	●110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。 ●ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用していますか。 ●契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。 ●110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBSの配線設備では見られないことがあります。	－ － － －
急に画像や音質が少し悪くなった。	●降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	－

BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着すると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。

■ ディスク・カードの出し入れ

●画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
ディスクの操作ができない。	●ディスクを入れていますか。 ●ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。	― ―
ディスクトレイの開閉ができない。	●操作中、ダビング中、各種メッセージの表示中は、トレイの開閉はできません。 ●本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなることがあります。 電源を「切」にしたあと、本体の［⏏開/閉］を押してください。電源を「切」にできない場合は、主電源を一旦「切」にします。再び主電源で「入」にしたあと、画面が映り画面表示が出る前に電源を「切」にし、その状態で［⏏開/閉］を押してください。	― ―
電源「切」のとき、トレイ開/閉でディスクトレイがなかなか出てこない。	●電源「切」状態から制御部を起動するまでの時間がかかります。ディスクが入っているとき、そのディスクの種類により2分程度かかる場合があります。	―
ディスクトレイがしばらく出てこない。 出てくるまで時間がかかる。	●情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。	―
ディスクを入れてから、しばらく操作ができない。	●ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	―
本機の設定画面やサブメニューが出ない。 表示されない項目がある。	●設定や項目の操作ができない場合は、選べなかったり表示されません。	―
本体(ハードディスク)やディスク、SDカードが正常に動作しない。	●露付きが起こっていませんか。 →電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。	14
SDカードの操作ができない。 SDカードの内容が読めない。	●SDカードを入れていますか。 ●SDカードを正しい向きで奥まで(止まるまで)差し込んでいますか。 ●パソコンで編集されたデータは読めないことがあります。	114 114 ―
USBの操作ができない。 USBの内容が読めない。	●本機で対応しているUSB機器を接続していますか。 ●USBケーブルがしっかり差し込まれていますか。 ●SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用してJPEG再生や映像取り込み(ダビング)を行ってください。 ●録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。 ●パソコンとの接続はできません。	114 114 115〜116・140 ― ―
USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった。	●USB機器からJPEG再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 →USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	116・140

故障かな？と思ったら（つづき）

■ 番組表（Gガイド）（ P.49 もご覧ください。）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
番組表が表示されない。 番組表が8日分表示されない。	●お買上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。	49
番組検索用の番組データを受信できない。	●番組検索用の番組データは、本機の電源が「切」のときだけ受信することができます。電源が「入」のときは受信できません。	49
予約した番組と録画された番組が合っていない。	●番組表が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。	49

■ 録画・録画予約（ P.66〜67・71〜83 もご覧ください。）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
録画できない。	●違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていませんか。	−
	●「録画禁止」番組を録画していませんか。	81
	●本体やBD-RE/-Rの残量時間が不足していませんか。 →不要な番組を削除するか、別のBD-RE/-Rに録画してください。	44・118〜119
	●番組数がいっぱいになっていませんか。 →不要な番組を削除するか、別のBD-RE/-Rに録画してください。	118〜119
	● 録画番組数が録画可能数を超えていませんか。 録画可能数を超える録画はできません。	83
ディスクに録画できない。	●録画可能なディスクを入れていますか。	66〜67・81
	●本機では、DVD-RW/-Rには直接録画はできません。 ダビングだけできます。	67・81
	●他機で記録したディスクは、本機では追加記録できない場合があります。	−
	●他機で初期化されたディスクは、本機では録画できないことがあります。	−
	●ディスクに傷や汚れがあると、録画できないことがあります。	70
	●ディスクの保護またはディスクのファイナライズをしていませんか。	127〜129
ケーブルテレビの セットトップボックスなど、 他の機器の映像が 録画できない。	●本機の入力切換を、録画したい他の機器を接続した側面端子入力に切り換えていますか。	46
	●つないだ機器の電源が入っていますか。	−
	●ケーブルやコードを違う端子（入力/出力も含む）につないでいませんか。	28・31・33〜35
	●本機にケーブルテレビ（CATV）のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して、側面端子入力でコピー制限のある番組を録画する場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW（AVCREC）/DVD-R（AVCREC）にダビングしたりすることはできません。 →BD-RE/BD-RまたはCPRM対応のDVD-RW（VR）/DVD-R（VR）にダビングすることをおすすめします。	81
	●i.LINK（TS）ケーブル経由で2台以上の機器を本機と接続している場合は、正しく動作しません。	33
	●本機のi.LINK（TS）端子に接続できる機器は、ケーブルテレビのi.LINK（TS）対応のセットトップボックス1台だけです。デジタルビデオカメラなどのi.LINK（DV）対応機器やD-VHSビデオなどのi.LINK対応機器は、接続しても動作しません。	33
i.LINK（TS）入力から予約録画した番組が録画できない。	●「高速起動設定」が「切」になっていませんか。	177
	●「【解説】i.LINK（TS）入力からの録画」もご覧ください。	223
スカパー!HDチューナーから予約録画した番組が録画できない。	●「高速起動設定」が「切」になっていませんか。	177
	●『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。	224

■ 録画・録画予約 (つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
録画予約できない。 録画予約した番組が 録画されない。	● 予約スキップをしていると、録画されません。 ● 停電があったときは、正しく録画されません。(内部メールで確認できます。) ● 時計(特に年や月)が合っていますか。 ● ファイナライズ、初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 ● 本機の予約とi.LINK(TS)入力からの予約が重なったときは、録画開始時刻が早いほうの予約が優先的に録画されます。	94 83・146 190 ー 82
i.LINK(TS)入力から予約録画した番組の最初が切れる。	●「HDD待機モード」が「入」になっていませんか。 →i.LINK(TS)入力から録画予約するときは、通信や起動のため、番組の最初の部分が録画されない場合がありますので、録画開始時刻を多少早めに設定しておくことをおすすめします。	171
番組の最後まで録画できていない。 予約で録画した最後の部分が録画できていない。	● 予約が重なっていませんか。 ● 前の予約の終了日時と後の予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。	82 82
2番組を同時に録画できない。	● 2番組を同時に録画できない組み合わせがあります。	76
勝手に録画される。	● おすすめ自動録画をしていませんか。	90
録画しても字幕が 記録されない。	● デジタル放送の字幕がある番組を録画モードDR以外で録画する場合は、「録画予約設定」の「字幕焼きこみ」の設定を「あり」にすると字幕が記録されます。(再生中の字幕の入/切はできません。)	75・169

■ 再生

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
ディスクの再生ができない。	● 本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか。 ● ディスクの表裏を正しく入れていますか。 ● 他機やパソコンで録画したディスクは、本機で再生できないことがあります。 ● 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW(Video)/DVD-R(Video)は、本機では再生できません。 ● 記録状態、ディスクの特性、傷、汚れなどにより、正常に再生できないことがあります。 ● BD/DVDビデオの視聴制限設定をしていませんか。 ● 初期化(フォーマット)のみ行われたディスクは録画一覧画面が表示されません。	66〜68 105 70 70 70 166 ー
番組の最初から再生が 始まらない。	● つづき再生になっていませんか。	108
録画一覧画面に、録画した番組が表示されない。 録画一覧画面に、録画中の番組が表示されない。 (追っかけ再生ができない。)	● 録画一覧( )、(♪)画面を表示していませんか。 →録画一覧(全)画面に切り換えると、すべての番組が表示されます。 ● 部分削除、分割をした番組は、録画一覧(全)/(ユーザー)画面にだけ表示されます。	101 100・125
見どころ再生ができない。	●「録画予約設定」→「見どころ再生情報」の設定を希望の設定にして録画予約しましたか。 ● 録画一覧画面の番組名の欄に または♪が付いていますか。 ● 部分削除、分割をした番組の見どころ再生はできません。	93・169 100 125

故障かな?と思ったら(つづき)

■ 再生(つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
シーン検索ができない。	●部分削除、分割など編集を行った番組のシーン検索はできません。	110
映像や音声が一瞬止まる。	●2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。	107
画面サイズがおかしい。	● 4:3 16:9 LB 16:9 PS のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。	–
再生中の映像が乱れる。	●早送り/早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 ●携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。 ●ディスクが汚れていませんか。	– – 70
DVDの再生が途中で自動的に止まる。	●DVDによっては、オートポーズ信号によって、再生が自動的に止まる場合があります。	–
音声が出ない。 字幕が出ない。	●AVアンプなどを接続している場合、つないでいる機器について次のことを確認してください。 ・つないだ機器の電源が入っていますか。 ・つないだ機器の入力切換が合っていますか。 ・ケーブルやコードを正しく(入力/出力も含む)つないでいますか。 ●AVアンプなどを接続している場合、「光音声出力設定」が、接続しているアンプなどに合わせて、正しく設定されていますか。 ●本機で録画モードDR以外で録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。 ●ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。	32 162 75・112 –
側面端子入力で録画した番組を再生すると、2つの音声が混ざって聞こえる。	●「録画設定」の「外部音声選択」を「ステレオ」にして録画していませんか。 →録画前に、設定を「二重音声」にしてから録画してください。	74・168
二重音声(二ヵ国語音声)が切り換えられない。 日本語と英語が切り換えられない。	●「録画設定」の「二重音声選択」、「外部音声選択」で設定されている音声で記録されます。 →録画前に、これらの設定を確認してから録画してください。	168
デジタル音声(光)出力から出力している二重音声を本機の音声切換操作で切り換えられない。	●「光音声出力設定」の「Dolby Digital」を「ビットストリーム」に設定してデジタル音声出力端子から音声を出力しているときは、本機の音声切換で音声を切り換えることはできません。 →設定を「PCM」にするか、アンプ側で音声を切り換えてください。	162
ディスクの音声言語や字幕言語が切り換えられない。	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●ディスクによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクの説明書をご覧ください。	– –
カメラアングルが切り換わらない。	●カメラアングルが切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。	112

■ 消去・編集・ダビング（P.132〜133 もご覧ください。）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
番組の編集・削除ができない。 ディスクの編集ができない。 チャプターマークの編集ができない。	●番組やディスクが保護されている場合は、消去や編集はできません。 →番組やディスクの保護設定を解除してください。 ●ファイナライズ済みのディスクは番組の消去や編集はできません。	121・127 128〜129
チャプターマークが追加できない。	●チャプターマーク数がいっぱいになっていませんか。 →不要なチャプターマークを削除してください。	120・126
ディスクの残量が、番組を削除しても増えない。	●BD-R、DVD-R、DVD-RW（AVCREC）は、番組を消去してもディスクの残量は増えません。	118
削除・分割した番組を元に戻せない。	●削除・分割された内容は、元に戻すことはできません。 録画内容をよく確認してから、削除・分割してください。	118・124〜125
初期化（再フォーマット）した内容を元に戻せない。	●初期化（フォーマット）して消去された内容は、元に戻すことはできません。 録画内容をよく確認してから、初期化してください。	193〜194
ファイナライズをしても、他のDVDプレーヤーで再生できない。	●DVDプレーヤーによっては、ファイナライズを行っても再生できないことがあります。	―
ファイナライズが解除できない。	●本機でファイナライズを解除できるのは、 本機でファイナライズを行ったDVD-RW（VR）だけです。	129
ダビングできない。	●市販のDVDソフト・ビデオソフト・レンタルテープなど、違法複製防止のためにコピーガードがかかっているディスク・テープは、ダビングできません。 ●他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW（Video）/DVD-R（Video）は、ダビングできません。 ●ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。 ●本機にケーブルテレビ（CATV）のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して録画したコピー制限のある番組の場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW（AVCREC）/DVD-R（AVCREC）にダビングしたりすることはできません。 BD-RE/BD-RまたはCPRM対応のDVD-RW（VR）/DVD-R（VR）にダビングすることをおすすめします。 ●他機で記録したディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 ●他機で初期化されたディスクは、本機ではダビングできないことがあります。	133 70 70 81 ― ―
ダビングすると、元の番組が消える。	●「1回だけ録画可能」番組のダビングや、「ダビング10（コピー9回＋ムーブ1回）」番組の10回目のダビングは、「ムーブ（移動）」になり、録画元の番組は削除されます。	81
ダビング一覧画面から見どころ再生の番組をダビングできない。	●見どころ再生中の番組は、手間なしダビングでのみダビングできます。	134
ダビングしても字幕がダビングされない。	●デジタル放送を録画モードDRで録画した番組を高速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。（字幕がある場合のみ）	75

故障かな？と思ったら（つづき）

■ その他

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
時計がずれる。（デジタル放送を受信していない場合のみ）	●本機には、ジャストクロック（時計の自動修正機能）はありませんので、時間経過とともに時計がずれます。（1ヶ月で数分程度）デジタル放送を受信できる場合は、時計が自動修正されます。	−
視聴制限設定の暗証番号（パスワード）を忘れた。	●「全情報の初期化」を行って本機をお買上げ時の状態に戻す必要があります（本体の録画内容も消去されます）ので、暗証番号を忘れないようにしてください。	195
番組ポーズができない。	●録画中は、番組ポーズはできません。	53
番組ポーズが自動的に終了する。	●チャンネルや入力を切り換えたときや、本機の電源を切ると、番組ポーズは自動的に終了します。	53
	●番組ポーズ中に録画予約の録画開始時刻になったときは、番組ポーズは自動的に終了します。	53
データ放送が見られない。	●i.LINK（TS）入力中は、データ放送を見ることができません。	−

● 地上デジタル放送に関するご相談・お問い合わせは、
地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
TEL　0570-07-0101（IP電話：03-4334-1111）へ。
受付時間　　月〜金　9：00〜21：00　　土・日・祝日　9：00〜18：00
（2011年2月現在）

●「アクトビラ」に関するお問い合わせは、
アクトビラ・カスタマーセンター
受付時間　　10：00〜19：00＜水・木・年末年始以外営業（水・木が祝日の場合は営業）＞
TEL　0570-091017
メールアドレス　　info@desk.actvila.jp
（2011年10月1日より）

●「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせ先は、
TSUTAYA TV公式情報サイトでご確認ください。
TSUTAYA TV公式情報サイト　http://tsutaya-tv.jp
または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認いただけます。
（2011年2月現在）

● スカパー！放送サービス及びご契約内容の変更に関するお問い合わせは、
スカパー！カスタマーセンター
0570-039-888（PHS・IP電話のお客様は045-287-7777）
受付時間　　10：00〜20：00＜年中無休＞
電話番号はお間違いのないようにお願いします。
お電話いただく前に、有料放送役務契約約款
（http://www.skyperfectv.co.jp/top/legal/yakkan/）の内容をご確認ください。
※個人情報の取扱いに関しましては、プライバシーポリシー
（http://www.skyperfectv.co.jp/privacypolicy/）に記載しております。
（2011年6月現在）

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面に「メッセージ」が表示されます。

■ 操作全般

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
BS・110度CS-IF入力に接続されたアンテナ線がショートしているか、接続・設定に不具合があります。 映像が映っていない場合は、今すぐ本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してください。 映像が映っている場合、またはアンテナを接続していない場合は、決定ボタンを押してください。 （E209） 衛星アンテナへの電源をオフします。	●映像が映っていない場合は、アンテナ線の芯線と編組線が接触していないか、受信設定でアンテナ電源の設定が間違っていないかを確認してください。 映像が映っている場合は、電源の設定をお使いの環境に合わせて切り換えます。	27・185
Ｂ－ＣＡＳカードを正しく挿入してください。	●B-CASカードが挿入されていません。 B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードの抜き差しは必ず主電源を切って行ってください。	25
地上デジタルのチャンネルは設定されていません。地上デジタルのチャンネル設定を行なってください。	●チャンネル設定が必要です。メニューの「設定」の「初期設定」「放送設置設定」から、「チャンネル設定」で地上デジタルの「初期スキャン」を行ってください。	180
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。 （E202）	●受信レベルが低くて受信できません。アンテナの接続や向きを確認してください。	180～181 184～185
⃠ ここではこの操作はできません。	●現在、その操作を行うことは禁止されています。	－
まもなく予約録画を開始します。 現在の操作を完了させないと予約録画ができません。現在の操作を中断しますか？	●まもなく予約の録画が始まりますが、現在予約を実行できる状態ではありません。 →予約を実行する場合は、録画できるように準備をしてください。	－
まもなく予約録画を開始します。録画の準備をしてください。	●BD-RE/BD-Rへの録画の場合、ディスクが入っていますか。	－
まもなく予約録画を開始します。この操作はできません。	●まもなく予約の録画が始まるため、その操作を行うことはできません。 →「同時操作について」も合わせてご覧ください。	78～80
録画中はこの操作はできません。	●現在録画中のため、その操作を行うことは禁止されています。 →「同時操作について」も合わせてご覧ください。	78～80
しばらくお待ちください。	●停電復帰時など、システムの設定中です。設定が終わるまで操作ができませんので、しばらくお待ちください。	－

■ メール

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
✉ （画面表示ボタンを押したとき）	●新着の内部メールまたは放送メールがあります。 →メールの内容を確認してください。	146

メッセージ表示一覧（つづき）

■ ディスク・カード挿入

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
未対応のディスクかキズや汚れのため読み込めません。ディスクを取り出して確認してください。	●本機で対応できないディスクが挿入されたか、傷や汚れのあるディスクが挿入されています。 →決定を押して通常画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	66〜68・70
リージョンコードエラー。再生できません。	●本機で再生できないリージョンコードのディスクが挿入されています。 →ディスクを取り出してください。	68
ＳＤカードに異常が発生しました。	●SDカードのデータを正しく読み込み/書き込みできませんでした。 →決定を押して通常画面に戻したあと、SDカードを取り出してもう一度正しく入れ直してください。	114
未対応のＳＤカードかキズや汚れのため読み込めません。ＳＤカードを取り出して確認してください。	●本機で対応できないSDカードが挿入されたか、傷や汚れのあるSDカードが挿入されています。 →決定を押して通常画面に戻したあと、SDカードを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	114
USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。	●USB機器からJPEG再生中または映像取り込み（ダビング）中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 →USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	116・140

■ 番組表

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
番組がありません。	●番組表を表示するための情報がありません。（お買上げ時は、番組データを取得するまでは番組表内に番組が表示されません。）	49〜50

■ 録画

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ディスクの汚れなどのため、録画を停止しました。	●本体やディスクの傷や汚れのため録画が停止しました。	70
この番組は録画が禁止されています。 停止する場合は確認の後、停止ボタンを押して下さい。	●「録画禁止」番組を録画しようとしています。 ●「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10（コピー9回＋ムーブ1回）」番組を、録画できないディスクに録画しようとしています。	81 81
残量不足のため、録画を中断しました。	●本体やディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。	－
8時間を超えたため、録画を停止しました。	●連続録画時間が8時間になったため、録画を停止しました。 ●1番組あたりの連続録画可能時間は最大8時間です。	72

■ 予約

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
予約が重なっています。	●予約日時が重なっています。 →決定を押してメッセージを消したあと、日時を変更してください。	82
残量が不足しています。	●ディスクの残量が不足しています。 →決定を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。	44
予約の設定内容が不足しています。	●時刻指定予約で未設定の項目や設定が間違っている項目があります。 →決定を押してメッセージを消したあと、必要な項目を変更してください。	88～89
予約日時が間違っています。	●開始と終了が同時刻になっています。	
現在、録画中です。この予約はできません。	●録画中に、予約完了後すぐに録画が始まる予約をしようとしています。	
ユーザー予約がいっぱいです。 予約数がいっぱいなので予約登録できません。	●ユーザー予約数がいっぱいのため、それ以上予約できません。総予約数は最大80番組です。（自動録画含む） →不要な予約を削除してください。	91・95

■ 再生

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ディスクの汚れなどのため、再生を停止しました。	●本体やディスクの傷や汚れのため再生が停止しました。	70
再生できるファイルがありません。	●JPEGのデータを正しく読み込み/書き込みできませんでした。 ●再生できるJPEGファイルがありません。	116 116
再生できませんでした。	●JPEGのデータを正しく再生できませんでした。	116

メッセージ表示一覧(つづき)

メッセージ
アイコン

■ 消去・編集・ダビング

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
正常終了しませんでした。 ディスクに問題がある可能性があります。	●ディスクの傷や汚れなどによって、正常に初期化やファイナライズができませんでした。 →決定を押して通常画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。 ●何も録画されていないディスクをファイナライズすることはできません。	70 —
これ以上選択できません。	●複数番組を一度に削除できる番組数がいっぱいになっています。複数番組を一度に削除できる番組数は、最大20番組です。 ●ダビング時、複数選択できる番組数がいっぱいになっています。複数選択できる番組数は、最大18番組です。	119 —
この位置に設定できません。	●番組の部分削除で、開始点と終了点の間隔が短すぎます。チャプターがあるところや、そのすぐ近くには設定できません。	124
この番組はダビングできません。	●ダビングができない番組をダビングしようとしています。	—
このディスクにはダビングできません。	●録画できないディスクに手間なしダビングしようとしています。	81
この番組はCPRM非対応のディスクにダビングできません。	●コピー制限のある番組は、CPRM対応でないディスクにダビングできません。	—
これ以上、番組を追加できません。	●ダビング一覧の登録タイトル数がいっぱいになっています。ダビング一覧に登録できるタイトル数は最大18です。	135
ダビング先の空き容量が足りません。 ダビング先の残量が不足しているため、ダビングできません。	●ダビングタイトルの総容量がダビング先の空き容量(残量)を超えています。 →ダビングする番組数を減らす、録画モードを変える、などにより容量を減らすことができます。	—
この番組は手間なしダビングできません。 ダビングメニューからダビングして下さい。	●手間なしダビングができない番組です。 →決定を押してメッセージを消したあと、ダビング一覧からダビングしてください。	135〜139
ディスクフルのため、ダビングを中止しました。	●ディスクの残量が無くなったため、ダビングを中止しました。	—
ダビングができませんでした。	●ダビング先のディスクの傷や汚れ、容量不足などによって、ダビングができませんでした。	—
録画中はダビングできません。	●録画中は手間なしダビングができません。	79

■ 設定

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
家庭内のネットワーク機器のみ接続可能です。 ルーターからIPアドレスが取得できませんでした。 アクトビラを使用する場合は ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●スカパー！HD対応チューナーと本機を直接接続して接続テスト P.185 を行ったときに表示されます。スカパー！HD対応チューナーとの接続が確認され使用可能です。 スカパー！HD対応チューナの他に、アクトビラなどの家庭外へのネットワーク接続が必要なサービスを利用される場合は、必要な接続が確認されませんでしたので、ケーブルの接続、本機やルーターの設定、プロバイダとのご契約状況などをご確認ください。	—

アイコン一覧

ジャンルアイコン

アイコン	アイコンの意味	アイコン	アイコンの意味
	映画		バラエティ
	映画(邦画)		情報／ワイドショー
	映画(洋画)		ニュース／報道
	ドラマ		ニュース／報道(天気)
	スポーツ		アニメ／特撮
	スポーツ(野球)		ドキュメンタリー／教養
	スポーツ(サッカー)		劇場／公演
	スポーツ(ゴルフ)		趣味／教育
	音楽		福祉

リモコン操作時

アイコン	アイコンの意味
R1 R2	リモコンコードが、テレビ側と リモコン側とで食い違っているときの、 テレビ側のリモコンコード

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず本体右側面の主電源を切り、電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。
  また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
  ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
- 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。
  研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。
  アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
- 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤等を使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。
  ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。

※表面は傷つきやすいので硬いもので押したりこすったり、たたいたりしないように、取り扱いには十分注意してください。
画面についたキズは修理できません。

※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】

- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。

内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。
  内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。
  電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

【解説】i.LINK（TS）入力からの録画

1 セットトップボックスと本機の接続

ポイント1 **i.LINK接続以外にもう1系統セットトップボックスと接続します。**
（セットトップボックスと本機の接続例は P.33 をご覧ください。）
i.LINK接続は録画用の映像/音声信号を入力するためだけの接続です。本機のi.LINK入力ではセットトップボックス側の番組表や録画一覧を見たり、予約などのセットトップボックス操作はできません。i.LINKとは別にビデオケーブルやHDMIケーブルでセットトップボックスと本機を接続し、その外部入力画面で操作をしてください。
※ビデオ端子と本機を接続する場合、セットトップボックス側の端子により「メニュー画面」や「番組表」が表示されない場合があります。ご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご確認ください。

ポイント2 **「S400」対応のi.LINKケーブル（市販）を使います。**
S400に対応していないi.LINKケーブルを使用すると、動作しません。

2 セットトップボックスと本機の設定

ポイント1 **セットトップボックス側で本機との接続を確認します。**
セットトップボックスと本機の電源を入れます。本機は、i.LINK入力ではなく、1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選びセットトップボックス側で接続機器として表示されているか確認してください。表示される内容や接続が確認できない場合の対処法はセットトップボックスの機種により異なりますのでくわしくはご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご確認いただくか、CATV会社へお問い合わせください。

ポイント2 **本機の高速起動設定を「入」にします。** P.177
予約録画を行う場合、本機の高速起動設定を「入」にしないと、録画が開始できる状態となるまでに時間がかかり、予約録画が実行されない場合があります。

3 予約録画の準備

ポイント1 **セットトップボックス側で予約設定を行います。** P.97
本機は、i.LINK入力ではなく、1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選び、セットトップボックス側の「番組表」や「予約設定画面」にて予約を行ってください。くわしくはご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご覧いただくか、CATV会社へお問い合わせください。

ポイント2 **本機からディスクを取り出します。**
録画が開始できる状態となるのに時間がかかり、予約録画が実行されない場合がありますのでブルーレイやDVDは本機から取り出しておきます。

ポイント3 **予約設定後は、本機の主電源を切らない。**
本体右側面の『主電源』ボタンで電源を切ると、電源コードをコンセントから抜いたのとほぼ同じ状態になり録画を含む全ての動作ができなくなります。

4 予約中の動作

ポイント1 **本機の予約とi.LINK入力からの予約の同時録画はできません。** P.82
録画開始時刻が早い方が優先的に録画され、開始時刻が後の予約は取り消されます。
先の録画が終了した時刻からの録画にはなりません。

ポイント2 **本機の主電源を切らない。**
本体右側面の『主電源』ボタンで電源を切ると、電源コードをコンセントから抜いたのとほぼ同じ状態になり動作が全くできなくなります。

5 セットトップボックス内蔵のHDDから本機へのダビング

ポイント1 **セットトップボックス側で操作を行います。**
i.LINK入力ではなく、1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選びセットトップボックス側で操作を行ってください。くわしくはご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご覧いただくか、CATV会社へお問い合わせください。

ポイント2 **ダビングが始まると本機は自動的にi.LINK入力画面に切り換わります。**
i.LINK入力画面に切り換わっても、リモコン操作にて他の放送波や入力に切り換えることができます。

【解説】「スカパー！ＨＤ録画」

1 スカパー！ＨＤ対応チューナーと本機の接続

ポイント1 **ネットワークケーブル以外にもう1系統スカパー！ＨＤ対応チューナーと接続します。**
（スカパー！ＨＤ対応チューナーと本機の接続例は P.34～35 をご覧ください。）
LAN端子への接続は録画用の映像/音声信号を入力するためだけの接続です。本機のLAN端子ではスカパー！ＨＤ対応チューナー側の番組表や録画一覧を見たり、予約などのスカパー！ＨＤ対応チューナー操作はできません。ネットワークケーブルとは別にHDMIケーブルでスカパー！ＨＤ対応チューナーと本機を接続し、その外部入力画面で操作をしてください。

ポイント2 **「クロスケーブル」（市販品）は、スカパー！ＨＤ対応チューナーと本機を直接接続する場合に使います。**
「ストレートケーブル」（市販品）は、ブロードバンドルーターやスイッチングハブを経由して接続する場合に使います。
カテゴリー5以上に対応していないネットワークケーブルを使用すると、動作しません。

2 本機の設定

ポイント1 **本機の高速起動設定を「入」にします。** P.177
予約録画を行う場合、本機の高速起動設定を「入」にしないと、録画が開始できる状態となるまでに時間がかかり、予約録画が実行されない場合があります。

ポイント2 **ネットワークの接続状態を確認します。** P.185
スカパー！ＨＤ対応チューナーと本機を直接接続する場合は「O.K.」の代わりに「宅内機器使用可」の表示となります。合わせて表示されるメッセージについては P.220 をご覧ください。

3 スカパー！ＨＤ対応チューナーの設定

ポイント1 **スカパー！ＨＤ対応チューナーのネットワーク設定を行います。**

ポイント2 **スカパー！ＨＤ対応チューナーに本機を録画機器として登録します。**
くわしくは、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

4 予約録画の準備

ポイント1 **スカパー！ＨＤ対応チューナー側で予約設定を行います。** P.98
本機は、1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選び、スカパー！ＨＤ対応チューナー側の「番組表」や「予約設定画面」にて予約を行ってください。くわしくはご使用のスカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

ポイント2 **本機からディスクを取り出します。**
録画が開始できる状態となるのに時間がかかり、予約録画が実行されない場合がありますのでブルーレイやDVDは本機から取り出しておきます。

ポイント3 **予約設定後は、本機の主電源を切らない。**
本体右側面の『主電源』ボタンで電源を切ると、電源コードをコンセントから抜いたのとほぼ同じ状態になり録画を含む全ての動作ができなくなります。

ポイント4 **予約を消去するときは、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で操作を行います。**
1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選び、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で操作を行ってください。くわしくはご使用のスカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

5 予約中の動作

ポイント1 **本機の主電源を切らない。**
本体右側面の『主電源』ボタンで電源を切ると、電源コードをコンセントから抜いたのとほぼ同じ状態になり動作が全くできなくなります。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

A、B、C・・・

1、2、3・・・

記号

「困ったとき」もくじ

テレビの上手な使いかた

キャビネットを傷めないために

ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変質する原因となります。

持ち運ぶときは

硬いもの（ズボンのベルト金属部、ジャンパーのファスナー、ボタンなど）が触れると傷が付きますので、注意してください。

液晶パネルは強く押さない

強く押すと、干渉しまが発生するなどの不具合が起きることがあります。
また、液晶パネル面に圧力を加えたままにすると、液晶の劣化やパネルの破損などの原因になります。

上手な見かた

お部屋の明るさに応じて、メニューで画面の「コントラスト」調整を行ってください。

- テレビからの距離は画面の高さの3～4倍で、また部屋の明るさは新聞が読める程度で見ると見やすく疲れません。
- 暗い部屋は目が疲れます。
  また連続して長い時間画面を見ていると目が疲れます。
- 画面に直接光が差込まない場所に設置してください。

液晶テレビの一部や付属品を廃棄する場合

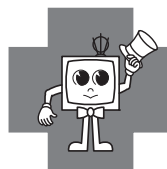
本機の破片、付属品・電池などを廃棄する際は法令・規則に従ってください。
くわしくは、所在の地方自治体にお問合わせください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客さま便利メモ

このテレビの形名は □LCD-26BHR500 □LCD-32BHR500 です。

ご購入年月日	ご購入店名
年　月　日	電　話　（　　）

製造番号	カードID（B-CASカード番号）
保証書および本体後面の銘板部に記載しています。	147ページに記載の「B-CASカード情報」で確認できる「カードID」の番号を記入してください。問合わせのときに必要な場合があります。

愛情点検

●長年ご使用の液晶テレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

本製品は「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク表示ガイドライン」に基づく、グリーンマークを表示しています。J-Moss（JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）に基づき、特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有についての情報を公開しています。詳細は、Webサイト http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/ctv/ をご覧ください。

京都製作所　〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

B

Printed in China